

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第24集

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群 23

HAKE SITE
ハケ遺跡第24地点

MATSUYAMA SITE
松山遺跡第99地点

KOMABAYASHI SITE
駒林遺跡第35・37地点

HIGASHIKUBOMINAMI SITE
東久保南遺跡第43地点

NISHINOHARA SITE
西ノ原遺跡第158地点

2019年3月

ふじみ野市教育委員会

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第24集

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群 23

HAKE SITE
ハケ遺跡第24地点

MATSUYAMA SITE
松山遺跡第99地点

KOMABAYASHI SITE
駒林遺跡第35・37地点

HIGASHIKUBOMINAMI SITE
東久保南遺跡第43地点

NISHINOHARA SITE
西ノ原遺跡第158地点

2019年3月

ふじみ野市教育委員会



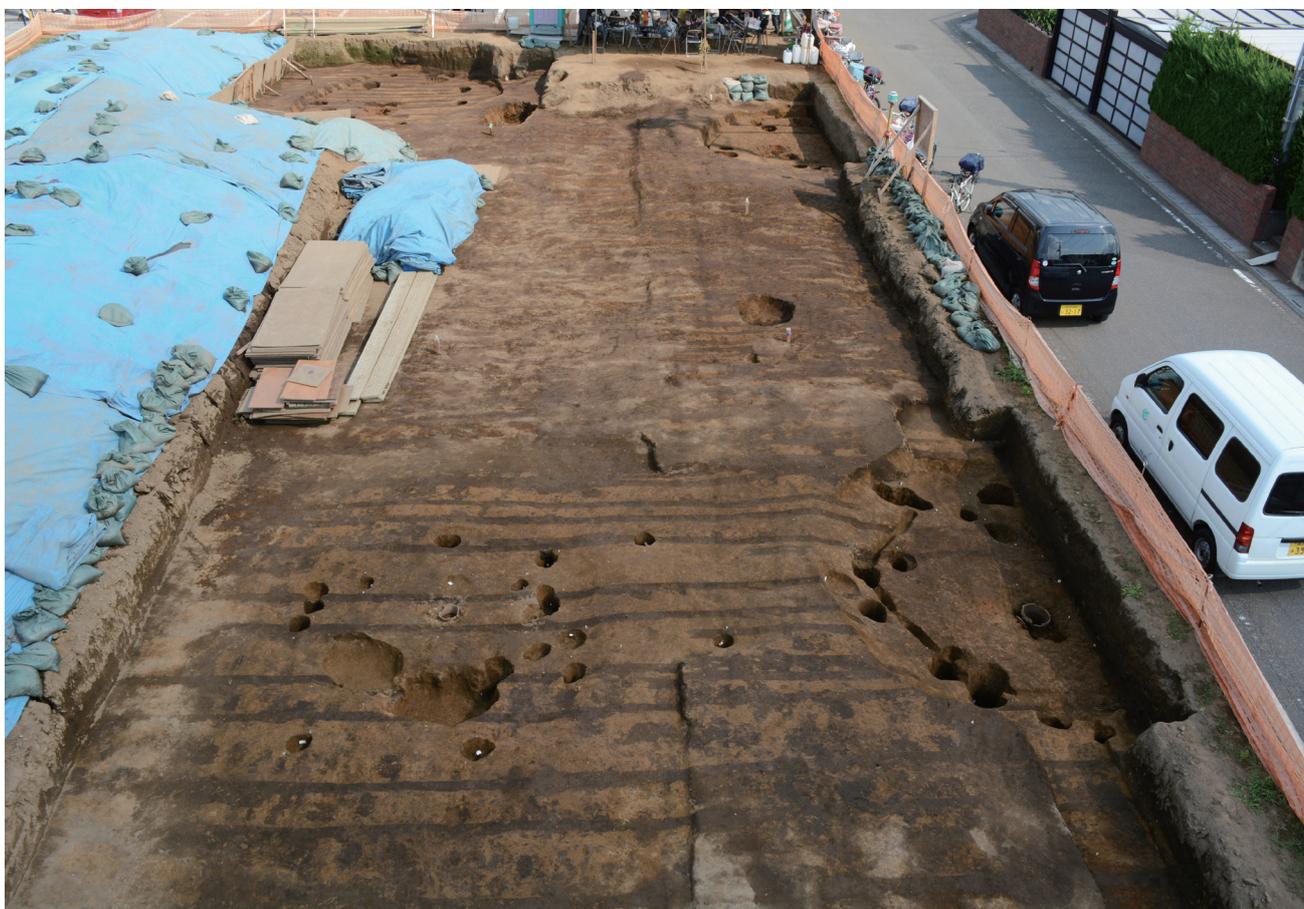
西ノ原遺跡第 158 地点 A 区全景 1



西ノ原遺跡第 158 地点 A 区全景 2



西ノ原遺跡第 158 地点 A 区全景 3



西ノ原遺跡第 158 地点 B 区全景



西ノ原遺跡第 158 地点 61 号住居跡



西ノ原遺跡第 158 地点 200 号住居跡完掘 1



西ノ原遺跡第 158 地点 61 号住居跡



西ノ原遺跡第 158 地点 197 号住居跡

はじめに

ふじみ野市は平成17年10月に旧上福岡市と旧大井町が合併し、平成27年に10周年を迎え、今また新しい時代を歩みはじめています。

ふじみ野市は、都心から30km圏内という立地条件にあるため、昭和30年代ごろから急激な開発の波が押し寄せ、企業の工場や研究所の進出、住宅の建設ラッシュ、大規模都市基盤整備事業が計画・実施されました。さらに、ふじみ野市となってからは、人口の増加も伴って周辺の自然・社会の環境は大きく変化しています。

新たな歴史を歩みはじめたふじみ野市内には、権現山古墳群や福岡河岸記念館、復元大井戸跡や旧大井村役場庁舎など、多くの文化財が存在し、2万数千年前の旧石器時代から現代までの永い歴史をみることができます。

本報告書は、国・県からの補助金と民間開発に伴い各事業者の皆様からの費用負担を受けて実施した、「市内遺跡発掘調査」の成果を記録した報告書です。

今回、市内で発掘調査された成果を一冊の冊子にまとめることが出来ました。その成果は、店舗や住宅建設など、近年の開発ラッシュに伴い発掘されたものです。永い歴史の中で繰り返し住まいの地として利用されるということは、いつの時代でも、ふじみ野の地が住み良い土地であることの証明ともいえます。

こうして発見された新たな歴史の一部を、「夢のある心豊かな学びのまちづくり」のため、貴重な文化財を将来にわたって保存・継承し、地域の皆様や子供たちが、生涯にわたって地域の歴史や文化を学び続けられるよう目指してまいります。貴重な文化財と共に、本書が将来にわたって活用されれば幸いです。

おわりに、土地所有者、開発関係者の皆様には多大なご負担とご協力を賜りました。地域の文化財保護・保存についてのご理解をいただいたことに対し、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。また、調査から本書刊行に至るまで、文化庁、埼玉県教育委員会文化資源課、市関係各課、調査関係者、そして各事業者の多くの皆様から、ご指導やご協力をいただきました。誌上をもって厚くお礼を申し上げます。

ふじみ野市教育委員会

教育長 朝倉 孝

例 言

1. 本書は、埼玉県ふじみ野市内に所在する遺跡群の、試掘調査・発掘調査6件の報告書である。
2. 本発掘調査に先立ち行った2017（平成29）年度の試掘調査と発掘調査および整理作業は、総経費8,434,167円に対し国庫補助金4,215,000円と県費2,107,000円の補助金の交付を受け、2017（平成29）年4月1日から2018（平成30）年3月30日まで実施、2018（平成30）年度が総経費7,201,485円に対し国庫補助金3,600,000円と県費1,800,000円の補助金の交付を受け、2018（平成30）年4月1日から2019（平成31）年3月31日まで実施したものの一部である。民間開発を原因として行った6件の本調査は、開発原因者から委託を受け、ふじみ野市教育委員会が主体となって行った。開発原因者・委託者は次のとおりで、各発掘調査及び整理作業に伴う費用は各開発原因者・委託者からの委託費により行った。

遺跡名・地点名	委託者	契約期間
西ノ原遺跡第158地点	高野 喜好	平成29年 3月16日 ～ 平成31年 3月31日
ハケ遺跡第24地点	株式会社ダイソーホーム	平成29年 7月28日 ～ 平成31年 3月31日
松山遺跡第99地点	有限会社プレミアムホーム	平成31年 1月18日 ～ 平成31年 3月31日
駒林遺跡第35地点	株式会社エステートコスモ	平成29年 8月23日 ～ 平成31年 3月31日
駒林遺跡第37地点	有限会社小坂部産業	平成30年 3月 8日 ～ 平成31年 3月31日
東久保南遺跡第43地点	大和ハウス工業株式会社埼玉支社	平成29年 11月14日 ～ 平成31年 3月31日

3. 調査組織

調査主体者	ふじみ野市教育委員会	文化財保護係調査担当者
担当課	社会教育課文化財保護係	高崎 直成 (2005.4.1～2018.3.31)
教育長	朝倉 孝 (2014.4.1～)	鍋島 直久 (2005.4.1～2017.3.31)
部長	中野 則之 (2015.4.1～2017.3.31)	長谷川 義行 (2017.4.1～)
	土屋 浩 (2017.4.1～)	岡崎 裕子 (2015.4.1～)
課長	佐藤 龍司 (2016.4.1～2018.3.31)	庶務担当 橋本 祐可子 (2015.4.1～)
	高崎 直成 (2018.4.1～)	発掘調査員補 鎌田 翔 (2015.11.2～2018.3.31)
副課長	佐藤 龍司 (2015.4.1～2016.3.31)	坪田 幹男 (2018.7.1～)
社会教育課副課長兼文化財保護係長 (2016.4.1から兼務)	高崎 直成 (2013.4.1～2018.3.31)	臨時的任用職員 高橋 京子 (2005.4.1～)
	小林 久美 (2018.4.1～)	

4. 本書作成にあたっての作業分担は、第3章を坪田、第6章を鎌田、それ以外を岡崎が行った。石器の観察表作成を鎌田が担当した。整理作業の分担は次のとおりである。遺物接合・復元：中田藤子、川中ひろみ。石器実測：岩城英子、鎌田翔。土器実測・拓本：斉藤有紀、坂本民子、佐竹里佳、鈴木千恵子、深谷美奈子、松平静、山内康代。遺構・遺物図トレース：小林登喜江。図版作成：青山奈保美、斉藤有紀、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子。遺構写真：岡崎裕子、鎌田翔。レイアウト・遺物写真：大久保明子、岡崎裕子

発掘調査から整理作業、報告書刊行までの業務委託は次のとおりである。ハケ遺跡第24地点の石器実測・トレース、遺構図版作成の一部と遺物写真は有限会社アルケリーサーチに業務委託した。西ノ原遺跡第158地点の石器実測は有限会社アルケリーサーチ及び株式会社東京航業研究所に業務委託した。駒林遺跡第35地点及び第37地点の土壌サンプル分析はパリノ・サーヴェイ株式会社に業務委託した。

5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。（敬称略）

天ヶ嶋岳、上田寛、越前谷理、大久保淳、岡田賢治、加藤秀之、神木繁嘉、久津間文隆、隈本健介、酒井智晴、笹森健一、佐藤一也、佐藤啓子、塩野敏和、清水理史、鈴木清、高木文夫、田中信、坪田幹男、中村愛、原口雅樹、早坂廣人、比嘉洋子、平野寛之、藤波啓容、堀善之、松尾鉄城、三上栄一、水口由紀子、柳井章宏、和田晋治、埼玉県教育委員会市町村支援部文化資源課、上福岡歴史民俗資料館、大井郷土資料館

6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。(敬称略)

青山奈保美、明石千とせ、新井和枝、飯塚恵津子、飯塚泰子、壹岐久子、井上麻美子、岩城英子、白井孝、大久保明子、岡良子、小口広、金澤とみ江、川中ひろみ、小林登喜江、坂本民子、桜井英史、佐竹里佳、鈴木勝弘、鈴木千恵子、須藤さち子、関田成美、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、野岡由紀子、長谷川雅之、比嘉洋子、深谷和江、深谷美奈子、福田美枝子、増澤勝実、松平静、山内康代、矢作梓、米田昇三、若林紀美代

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として、遺構配置図 1:300、遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30、炉などの詳細図 1:30、土器実測図 1:4、土器拓影図 1:4、石器実測図 1:4、2:3、銭 1:1 である。

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示は、

攪乱  地山(ローム)  焼土  煤・炭化物範囲 

撚糸文  赤色塗彩  黒色塗彩 

土器 ● 石器 ★ 黒曜石・チャート ▲ 礫 ○ 土製品 ☆ である。

(4) 土器断面図は、■が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

(5) 遺構・遺物実測図中の▲▼マークは、図の接続、結合を示す。

(6) 土器：陶磁器実測図の中心線が破線の場合は、180度回転させて復元実測したことを示す。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括してふじみ野市教育委員会に保管してある。

埼玉県ふじみ野市
市内遺跡群 23 目次

はじめに	i
例 言	ii
凡 例	iii
目 次	iv
挿図目次	v
表 目 次	vi
写真図版目次	vi
第 1 章 ふじみ野市の遺跡	1
I ふじみ野市の立地と環境	1
II 市内の遺跡	2
第 2 章 ハケ遺跡第 24 地点の調査	5
I 遺跡の立地と環境	5
II 調査に至る経過と概要	5
III 遺構と遺物	7
第 3 章 松山遺跡第 99 地点の調査	22
I 遺跡の立地と環境	22
II 調査に至る経過と概要	26
III 遺構と遺物	26
第 4 章 駒林遺跡第 35 地点の調査	29
I 遺跡の立地と環境	29
II 調査に至る経過と概要	29
III 遺構と遺物	32
第 5 章 駒林遺跡第 37 地点の調査	37
I 調査に至る経過と概要	37
II 遺構と遺物	38
第 6 章 東久保南遺跡第 43 地点の調査	44
I 遺跡の立地と環境	44
II 調査に至る経過と概要	44
III 遺構と遺物	47
第 7 章 西ノ原遺跡第 158 地点の調査	50
I 遺跡の立地と環境	50
II 調査に至る経過と概要	50
III 遺構と遺物	55
第 8 章 まとめ	124
附 編	130
写真図版	135
抄 録	181

挿 図 目 次

第1図	ふじみ野市の位置と周辺の地形	1	第54図	西ノ原遺跡第158地点198号住居跡(1/60)	72
第2図	ふじみ野市遺跡分布図(1/30,000)	3	第55図	西ノ原遺跡第158地点198号住居跡遺物出土状況(1/30)	73
第3図	ハケ遺跡の地形と調査区(1/4,000)	5	第56図	西ノ原遺跡第158地点198号住居跡炉・掘方(1/30)、ピット(1/60)	74
第4図	ハケ遺跡遺構分布図(1/2,000)	7	第57図	西ノ原遺跡第158地点199・204号住居跡(1/60)	75
第5図	ハケ遺跡第24地点遺構配置図(1/400)	8	第58図	西ノ原遺跡第158地点199号住居跡炉(1/30)、ピット(1/60)	76
第6図	ハケ遺跡第24地点J36号住居跡(1/60)	9	第59図	西ノ原遺跡第158地点199・204号住居跡遺物出土状況(1/30)	77
第7図	ハケ遺跡第24地点J36号住居跡炉・集石土坑・掘方・遺物出土状況(1/30)	10	第60図	西ノ原遺跡第158地点200号住居跡(1/60)	79
第8図	ハケ遺跡第24地点J36号住居跡埋葬・掘方(1/30)	11	第61図	西ノ原遺跡第158地点200号住居跡遺物出土状況(1/30)	80
第9図	ハケ遺跡第24地点堅穴遺構・遺物出土状況・土坑・ピット(1/60)	12	第62図	西ノ原遺跡第158地点200号住居跡炉(1/30)、ピット(1/60)	81
第10図	ハケ遺跡第24地点集石土坑1(1/30)	13	第63図	西ノ原遺跡第158地点201号住居跡遺物出土状況(1/60)	82
第11図	ハケ遺跡第24地点出土遺物①(1/4)	14	第64図	西ノ原遺跡第158地点201号住居跡炉・掘方(1/30)、ピット(1/60)	83
第12図	ハケ遺跡第24地点出土遺物②(1/4)	15	第65図	西ノ原遺跡第158地点203号住居跡(1/60)	84
第13図	ハケ遺跡第24地点出土遺物③(1/4)	16	第66図	西ノ原遺跡第158地点203号住居跡炉・掘方(1/30)、遺物出土状況(1/60)	85
第14図	ハケ遺跡第24地点出土遺物④(1/4)	17	第67図	西ノ原遺跡第158地点203号住居跡ピット(1/60)、変遷模式図(1/120)	86
第15図	ハケ遺跡第24地点出土遺物⑤(1/4)	18	第68図	西ノ原遺跡第158地点216号住居跡A・B(1/60)	87
第16図	松山遺跡の地形と調査区(1/4,000)	22	第69図	西ノ原遺跡第158地点216号住居跡A・B、掘り込み遺構遺物出土状況(1/30)	88
第17図	松山遺跡遺構分布図(1/3,000)	25	第70図	西ノ原遺跡第158地点216号住居跡炉(1/30)、216号住居内ピット(1/60)、A・B住居跡柱穴想定図(1/60)	89
第18図	松山遺跡第99地点遺構配置図(1/300)、土層(1/60・1/150)	26	第71図	西ノ原遺跡第158地点堅穴遺構(1/60)、遺物出土状況(1/30)	90
第19図	松山遺跡第99地点堀状遺構・ピット(1/60)	27	第72図	西ノ原遺跡第158地点土坑・ピット(1/60)	91
第20図	松山遺跡第99地点出土遺物(1/4)	28	第73図	西ノ原遺跡第158地点61号住居跡出土遺物①(1/4)	92
第21図	駒林遺跡の地形と調査区(1/5,000)	29	第74図	西ノ原遺跡第158地点61号住居跡出土遺物②(1/4)	93
第22図	駒林遺跡遺構分布図(1/2,000)	31	第75図	西ノ原遺跡第158地点61号住居跡出土遺物③(1/4)	94
第23図	駒林遺跡第35地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)	33	第76図	西ノ原遺跡第158地点62号住居跡出土遺物①(1/4)	95
第24図	駒林遺跡第35地点土坑・溝(1/60)	34	第77図	西ノ原遺跡第158地点62号住居跡出土遺物②(1/4・1/1)	96
第25図	駒林遺跡第35地点堀跡(1/120)	35	第78図	西ノ原遺跡第158地点62③・194①号住居跡出土遺物(1/4・2/3)	97
第26図	駒林遺跡第35地点出土遺物(1/4)	36	第79図	西ノ原遺跡第158地点194②・196①号住居跡出土遺物(1/4・2/3)	98
第27図	駒林遺跡第37地点遺構配置図(1/400)、土層(1/150)、溝(1/60)	37	第80図	西ノ原遺跡第158地点196号住居跡出土遺物②(1/4)	99
第28図	駒林遺跡第37地点ピット群(1/60)	39	第81図	西ノ原遺跡第158地点196③・197①号住居跡出土遺物(1/4・1/1)	100
第29図	駒林遺跡第37地点堀跡・ピット群(1/60)	41	第82図	西ノ原遺跡第158地点197号住居跡出土遺物②(1/4)	101
第30図	駒林遺跡第37地点出土遺物(1/4・1/1)	43	第83図	西ノ原遺跡第158地点197号住居跡出土遺物③(1/4)	102
第31図	東久保南遺跡の地形と調査区(1/4,000)	44	第84図	西ノ原遺跡第158地点197④・198①号住居跡出土遺物(1/4・2/3)	103
第32図	東久保南遺跡遺構分布図(1/2,000)	46	第85図	西ノ原遺跡第158地点198②・199①号住居跡出土遺物(1/4)	104
第33図	東久保南遺跡第43地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)	47	第86図	西ノ原遺跡第158地点199②・204号住居跡出土遺物(1/4)	105
第34図	東久保南遺跡第43地点J3号住居跡・遺物出土状況(1/60)、炉・掘方(1/30)	48	第87図	西ノ原遺跡第158地点200号住居跡出土遺物①(1/4)	106
第35図	東久保南遺跡第43地点ピット(1/60)、出土遺物(1/4)	49	第88図	西ノ原遺跡第158地点200号住居跡出土遺物②(1/4・2/3・1/1)	107
第36図	西ノ原遺跡の地形と調査区(1/4,000)	50	第89図	西ノ原遺跡第158地点201・203①号住居跡出土遺物(1/4)	108
第37図	西ノ原遺跡遺構分布図(1/2,000)	54	第90図	西ノ原遺跡第158地点203号住居跡出土遺物②(1/4・2/3)	109
第38図	西ノ原遺跡第158・159地点遺構配置図(1/300)	55	第91図	西ノ原遺跡第158地点216号住居跡・掘り込み遺構出土遺物(1/4)	110
第39図	西ノ原遺跡第158地点61号住居跡(1/60)	57	第92図	西ノ原遺跡第158地点堅穴遺構・遺構外出土遺物(1/4・2/3)	111
第40図	西ノ原遺跡第158地点61号住居跡炉・掘方(1/30)、ピット(1/60)	58	第93図	松山遺跡第60地点遺構配置図(1/600)、堀・溝(1/160)	126
第41図	西ノ原遺跡第158地点61号住居跡遺物出土状況(1/30)	59	第94図	松山遺跡第64地点溝(1/160)、土層(1/300)	127
第42図	西ノ原遺跡第158地点62号住居跡(1/60)	60			
第43図	西ノ原遺跡第158地点62号住居跡遺物出土状況(1/30)	61			
第44図	西ノ原遺跡第158地点62号住居跡炉(1/30)、ピット(1/60)	62			
第45図	西ノ原遺跡158地点194号住居跡(1/60)	63			
第46図	西ノ原遺跡第158地点194号住居跡遺物出土状況(1/30)	64			
第47図	西ノ原遺跡第158地点194号住居跡炉(1/30)、ピット(1/60)	65			
第48図	西ノ原遺跡第158地点196号住居跡(1/60)	66			
第49図	西ノ原遺跡第158地点196号住居跡遺物出土状況(1/30)	67			
第50図	西ノ原遺跡第158地点196号住居跡炉・掘方(1/30)、ピット(1/60)	68			
第51図	西ノ原遺跡第158地点197号住居跡(1/60)	69			
第52図	西ノ原遺跡第158地点197号住居跡遺物出土状況(1/30)	70			
第53図	西ノ原遺跡第158地点197号住居跡炉・掘方(1/30)、ピット(1/60)	71			

目 次

第 1 表	ふじみ野市遺跡一覧表	2	第 27 表	西ノ原遺跡住居跡一覧表	52
第 2 表	ハケ遺跡調査一覧表	6	第 28 表	縄文時代中期編年対比表	56
第 3 表	ハケ遺跡縄文時代住居跡一覧表	6	第 29 表	西ノ原遺跡第 158 地点 61 号住居内ピット一覧表	58
第 4 表	ハケ遺跡第 24 地点集石土坑・出土礫観察表	10	第 30 表	西ノ原遺跡第 48 地点 61 号住居内ピット一覧表	58
第 5 表	ハケ遺跡第 24 地点 J36 号住居内ピット一覧表	11	第 31 表	西ノ原遺跡第 158 地点 62 号住居内ピット一覧表	62
第 6 表	ハケ遺跡第 24 地点土坑一覧表	11	第 32 表	西ノ原遺跡第 48 地点 62 号住居内ピット一覧表	62
第 7 表	ハケ遺跡第 24 地点竪穴遺構内ピット一覧表	11	第 33 表	西ノ原遺跡第 158 地点 194 号住居内ピット一覧表	65
第 8 表	ハケ遺跡第 24 地点ピット一覧表	11	第 34 表	西ノ原遺跡第 158 地点 196 号住居内炉体礫一覧表	68
第 9 表	ハケ遺跡第 24 地点出土遺物観察表	19	第 35 表	西ノ原遺跡第 158 地点 196 号住居内ピット一覧表	68
第 10 表	ハケ遺跡第 24 地点出土石器観察表	21	第 36 表	西ノ原遺跡第 158 地点 197 号住居内ピット一覧表	71
第 11 表	松山遺跡調査一覧表	23	第 37 表	西ノ原遺跡第 158 地点 198 号住居内ピット一覧表	74
第 12 表	松山遺跡第 99 地点堀状遺構内ピット一覧表	28	第 38 表	西ノ原遺跡第 158 地点 199 号住居内ピット一覧表	76
第 13 表	松山遺跡第 99 地点出土遺物観察表	28	第 39 表	西ノ原遺跡第 158 地点 204 号住居内ピット一覧表	76
第 14 表	駒林遺跡調査一覧表	30	第 40 表	西ノ原遺跡第 158 地点 200 号住居内ピット一覧表	81
第 15 表	駒林遺跡第 35 地点堀跡内ピット一覧表	36	第 41 表	西ノ原遺跡第 158 地点 201 号住居内炉体礫一覧表	83
第 16 表	駒林遺跡第 35 地点土坑一覧表	36	第 42 表	西ノ原遺跡第 158 地点 201 号住居内ピット一覧表	83
第 17 表	駒林遺跡第 35 地点溝一覧表	36	第 43 表	西ノ原遺跡第 158 地点 203 号住居内炉体礫一覧表	85
第 18 表	駒林遺跡第 35 地点出土遺物観察表	36	第 44 表	西ノ原遺跡第 158 地点 203 号住居内ピット一覧表	86
第 19 表	駒林遺跡第 37 地点ピット一覧表	38	第 45 表	西ノ原遺跡第 158 地点掘り込み遺構内ピット一覧表	87
第 20 表	駒林遺跡第 37 地点出土遺物観察表	43	第 46 表	西ノ原遺跡第 158 地点 216 号住居内ピット一覧表	89
第 21 表	東久保南遺跡調査一覧表	45	第 47 表	西ノ原遺跡第 158 地点竪穴遺構内ピット一覧表	90
第 22 表	東久保南遺跡縄文時代住居跡一覧表	47	第 48 表	西ノ原遺跡第 158 地点土坑一覧表	91
第 23 表	東久保南遺跡第 43 地点 J3 号住居内ピット一覧表	49	第 49 表	西ノ原遺跡第 158 地点ピット一覧表	91
第 24 表	東久保南遺跡第 43 地点ピット一覧表	49	第 50 表	西ノ原遺跡第 158 地点出土遺物観察表	112
第 25 表	東久保南遺跡第 43 地点出土遺物観察表	49	第 51 表	松山遺跡第 64 地点溝一覧表	127
第 26 表	西ノ原遺跡調査一覧表	51			

写真図版目次

写真図版 1	ハケ遺跡第 24 地点 (1)	135	写真図版 24	西ノ原遺跡第 158 地点 (6)	158
写真図版 2	ハケ遺跡第 24 地点 (2)	136	写真図版 25	西ノ原遺跡第 158 地点 (7)	159
写真図版 3	ハケ遺跡第 24 地点 (3)	137	写真図版 26	西ノ原遺跡第 158 地点 (8)	160
写真図版 4	ハケ遺跡第 24 地点 (4)	138	写真図版 27	西ノ原遺跡第 158 地点 (9)	161
写真図版 5	ハケ遺跡第 24 地点 (5)	139	写真図版 28	西ノ原遺跡第 158 地点 (10)	162
写真図版 6	ハケ遺跡第 24 地点 (6)	140	写真図版 29	西ノ原遺跡第 158 地点 (11)	163
写真図版 7	ハケ遺跡第 24 地点 (7)	141	写真図版 30	西ノ原遺跡第 158 地点 (12)	164
写真図版 8	ハケ遺跡第 24 地点 (8)	142	写真図版 31	西ノ原遺跡第 158 地点 (13)	165
写真図版 9	松山遺跡第 99 地点 (1)	143	写真図版 32	西ノ原遺跡第 158 地点 (14)	166
写真図版 10	松山遺跡第 99 地点 (2)	144	写真図版 33	西ノ原遺跡第 158 地点 (15)	167
写真図版 11	駒林遺跡第 35 地点 (1)	145	写真図版 34	西ノ原遺跡第 158 地点 (16)	168
写真図版 12	駒林遺跡第 35 地点 (2)	146	写真図版 35	西ノ原遺跡第 158 地点 (17)	169
写真図版 13	駒林遺跡第 35 地点 (3)	147	写真図版 36	西ノ原遺跡第 158 地点 (18)	170
写真図版 14	駒林遺跡第 37 地点 (1)	148	写真図版 37	西ノ原遺跡第 158 地点 (19)	171
写真図版 15	駒林遺跡第 37 地点 (2)	149	写真図版 38	西ノ原遺跡第 158 地点 (20)	172
写真図版 16	駒林遺跡第 37 地点 (3)	150	写真図版 39	西ノ原遺跡第 158 地点 (21)	173
写真図版 17	東久保南遺跡第 43 地点 (1)	151	写真図版 40	西ノ原遺跡第 158 地点 (22)	174
写真図版 18	東久保南遺跡第 43 地点 (2)	152	写真図版 41	西ノ原遺跡第 158 地点 (23)	175
写真図版 19	西ノ原遺跡第 158 地点 (1)	153	写真図版 42	西ノ原遺跡第 158 地点 (24)	176
写真図版 20	西ノ原遺跡第 158 地点 (2)	154	写真図版 43	西ノ原遺跡第 158 地点 (25)	177
写真図版 21	西ノ原遺跡第 158 地点 (3)	155	写真図版 44	西ノ原遺跡第 158 地点 (26)	178
写真図版 22	西ノ原遺跡第 158 地点 (4)	156	写真図版 45	西ノ原遺跡第 158 地点 (27)	179
写真図版 23	西ノ原遺跡第 158 地点 (5)	157	写真図版 46	西ノ原遺跡第 158 地点 (28)	180

第1章 ふじみ野市の遺跡

I ふじみ野市の立地と環境

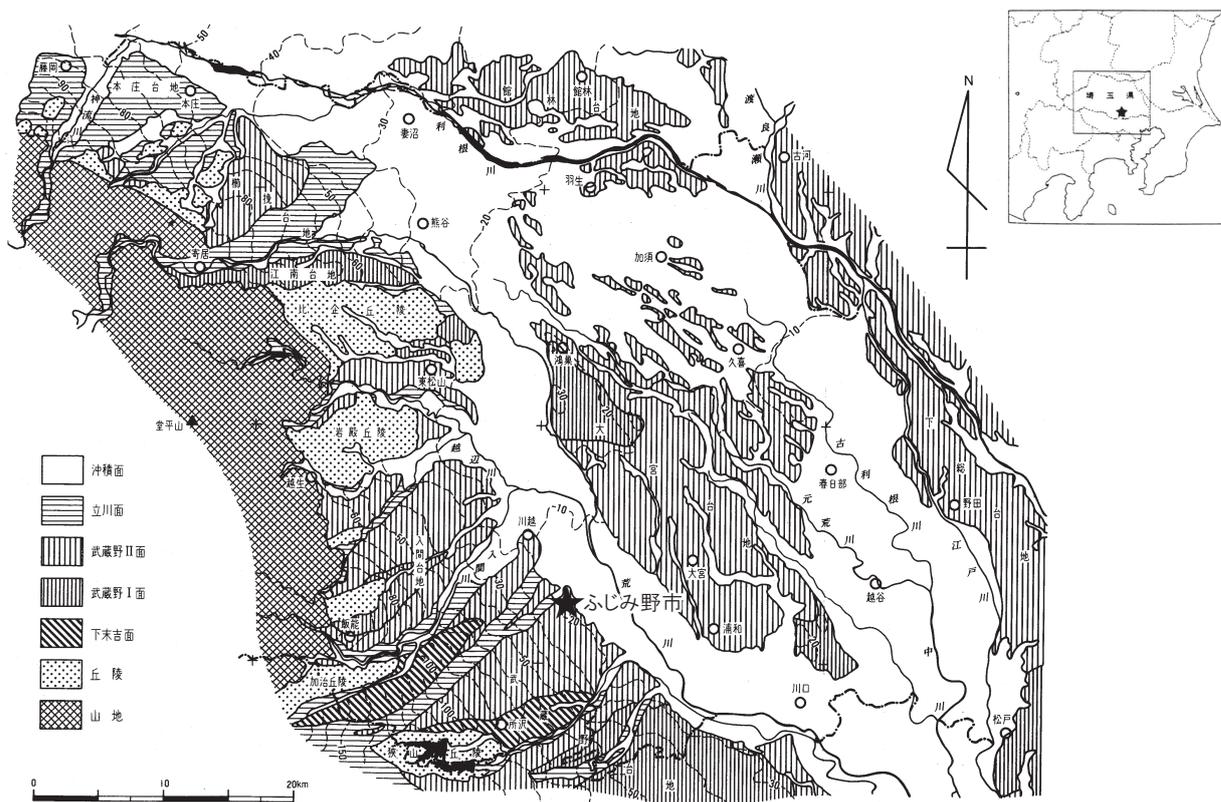
ふじみ野市は埼玉県の南西部に位置し、市内には国道254号バイパス、東武東上線、川越街道(国道254号線)、関越自動車道といった、交通の幹線が北西から南東方向に平行して存在する。市内の開発は、こうした幹線沿いや東武東上線上福岡駅周辺、ふじみ野駅周辺を中心に進んでいるが、郊外には畑地や田園風景も多くみられる。

ふじみ野市を地形的にみると、武蔵野台地縁辺部と荒川低地の沖積地に大きく分かれ、旧大井町域は武蔵野台地縁辺部に位置し、旧上福岡市域は台地縁辺部から荒川低地の沖積地に広がる。

武蔵野台地は古多摩川が形成した扇状地で、扇頂部で標高180m、扇端部は標高15~20mで比高差10m前後の急斜面となって荒川低地と接している。台地には柳瀬川、黒目川、石神井川等の中河川が荒川低地へ向かって流れ、深い谷と沖積地を形成し、河川に沿って多くの遺跡が分布している。他にも多数の小河川が流れ、台地縁辺を鋸歯状に開析することが多いが、中には急崖もなく、緩斜面のまま低地に接していくことがある。この緩斜面はもともと低位の段丘面で、低位台地と呼ばれる。旧大井町地域を南北方向の断面図で

見ると、北と南に高台が続き、その中間に低位台地(大井台)がある。この大井台の中を3本の河川が東流し、河川の流域に遺跡が集中している。中でも砂川堀は狭山丘陵に流れを発する中河川で、本来大井台はこの砂川の段丘面と捉えることができる。また、福岡江川や富士見市との境を流れるさかい川、浄禅寺川などの小河川は、市内に湧水源をもつ。湧水源は浅い窪地から発しており、こうした窪地の形成は従来から伏流水が再湧出したことによるものと、宙水からの流出によるものとの二通りが考えられている。

荒川低地は、荒川により形成された沖積地で、ふじみ野市の北東部から東部にかけて広がる。荒川の支流であった新河岸川は川越市周辺に水源を発し、その流れはふじみ野市、富士見市、志木市、朝霞市を経て東京都にまたがる。武蔵野台地縁辺部を縫うように流れ、不老川、九十川、福岡江川、砂川堀、柳瀬川、黒目川、越戸川、白子川などの支川と合流し、現在は東京都北区で隅田川に合流する。低地部は平坦に見えるが、荒川や新河岸川の河川改修等で取り残された沼や、氾濫でできた旧河道(埋没河川)、自然堤防、後背湿地などの地形が存在する。



(原図 堀口1980に一部加筆)

第1図 ふじみ野市の位置と周辺の地形

II 市内の遺跡

ふじみ野市の遺跡分布をみると、台地上の中小河川沿いと荒川低地部を望む縁辺部、低地部分に分かれる。

市内の主な遺跡を時代順に河川ごとに概観する。

【旧石器時代・縄文時代】市の北側を流れる川越江川では、右岸高台に鶴ヶ岡外遺跡、鶴ヶ岡遺跡、八幡神社遺跡(川越市)が位置し、縄文時代中期の集落である西遺跡へ続く。鶴ヶ岡外遺跡では旧石器時代の石器群と礫群が出土し、八幡神社遺跡では縄文時代中期の住居跡などが検出されている。

藤間江川・川越江川が新河岸川に合流する部分、荒川低地に張り出した舌状台地上に、川崎貝塚として著名な川崎遺跡が立地する。本遺跡ではローム層中からではないが旧石器時代の石器が出土し、縄文時代早期から後期の住居跡などを検出する。新河岸川は川崎遺跡を回り込み、低地部で台地東縁を沿うように流れる。台地東端は急峻を成し、崖線上には縄文時代中期のハケ遺跡、学史上著名な前期集落の上福岡貝塚が形成され権現山遺跡へと続く。台地の南端、市立福岡中学校周辺はかつて「熊野山」と呼ばれ、湧出した水が丘上から流れ落ち滝となっていたため「滝地区」の名

称が付いたとされる。清水は長宮氷川神社の裏手(北側)を北に流れていたが現在は道路となっており、新河岸川との合流部でその面影を残すのみである。滝遺跡、長宮遺跡はこの小河川に対峙して立地し、滝遺跡では前期の遺構と遺物を、長宮遺跡では前期関山期の集落跡が確認されている。

川越江川の1km南には福岡江川が流れ、新河岸川へ注ぐ。福岡江川の湧水地周辺域に縄文時代中期前半の集落である亀居遺跡が存在し、対岸にも中期前半の江川南遺跡がある。この2遺跡と鶴ヶ舞遺跡では、旧石器時代立川ローム第IV層の礫群と石器群を検出している。さらに市立亀久保小学校周辺では福岡江川に注ぐ埋没谷がみられ、東久保遺跡、亀久保堀跡遺跡、東久保西遺跡、東中学校西遺跡で旧石器時代から縄文時代中期の遺構と遺物が確認されている。川越江川最下流の新河岸川との合流部域には、前期集落の鷺森遺跡が存在する。

福岡江川の900m南には、富士見市との境にさかい川が流れ、3km下流で砂川堀と合流する。流域には縄文時代中期の拠点集落である西ノ原遺跡の他、10遺跡が存在する。旧石器時代の遺跡は西ノ原遺跡、中

第1表 ふじみ野市遺跡一覧表

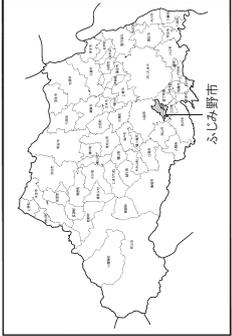
No.	遺跡名	主な時代	遺跡番号
1	鶴ヶ岡外遺跡	旧石器、縄文早期の集落跡	30-036
2	鶴ヶ岡遺跡	旧石器、縄文早期・中期の集落跡	30-047
3	西遺跡	縄文中期の集落跡	25-001
4	北野遺跡	縄文中期、奈良・平安の集落	25-002
5	川崎横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-004
6	川崎遺跡	旧石器、縄文前期・中期、古墳前期・中期、奈良・平安の集落跡	25-003
7	ハケ遺跡	縄文中期の集落跡、奈良・平安の集落跡	25-005
8	上福岡貝塚	縄文前期、古墳前期、奈良・平安の集落跡	25-006
9	権現山遺跡群(古墳群)	古墳前期の集落跡・古墳群、縄文中期、奈良・平安の集落	25-007
10	滝遺跡	縄文時代、古墳前期・中期、奈良・平安、近世の集落跡	25-008
11	西原遺跡	縄文の散布地	25-025
12	長宮遺跡	縄文前期、中・近世の集落跡	25-009
13	亀居遺跡	旧石器、縄文前期・中期の集落跡	30-030
14	鶴ヶ舞遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安の集落跡	30-046
15	富士見台群	古墳後期の横穴墓	25-011
16	福遺跡	古墳後期の横穴墓	25-023
17	松山遺跡	奈良・平安、中・近世の集落跡	25-010
18	天神廻遺跡	古墳中期の散布地	25-018
19	城山遺跡	中・近世の館跡	25-019
20	川袋遺跡	奈良・平安の散布地	25-020
21	江川南遺跡	旧石器、縄文中期、中・近世の集落跡	30-007
22	江川東遺跡	奈良・平安、近世の集落跡	30-045
23	東久保遺跡	旧石器、縄文中期、近世の集落跡	30-009
24	亀久保堀跡遺跡	中世の堀跡	30-006

No.	遺跡名	主な時代	遺跡番号
25	東久保西遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-042
26	駒林遺跡	近世の堀跡・中世の墳墓	25-013
27	福岡新田遺跡	縄文時代の散布地、中・近世寺院	25-015
28	鷺森遺跡	縄文前期の集落跡	25-017
29	伊佐島遺跡	古墳前期、平安の集落跡	25-021
30	東中学校西遺跡	縄文早期・中期、近世の集落跡	30-008
31	東久保南遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-032
32	西ノ原遺跡	旧石器、縄文早期・中期・後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-001
33	中沢前遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-044
34	神明後遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-041
35	苗間東久保遺跡	旧石器、縄文早期～後期	30-020
36	浄禅寺跡遺跡	旧石器、縄文早期・中期、中・近世の集落跡、近世寺院跡	30-022
37	小田久保遺跡	旧石器、縄文早期～中期、中・近世の集落跡	30-040
38	大井宿遺跡	近世～近代の宿場跡	30-010
39	大井氏館跡遺跡・大井戸遺跡	旧石器、縄文前期・中期、中・近世の集落跡	30-037
40	本村遺跡	旧石器、縄文早期～後期、中・近世の集落跡	30-034
41	西台遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安、近世の集落跡	30-039
42	大井戸上遺跡	旧石器、縄文前期・中期、近世の集落跡	30-014
43	東台遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡、製鉄遺跡	30-024
44	大井宿木戸跡	近世～近代の宿場跡	30-048
45	石塔畑	中世の散布地	30-027



ふじみ野市全図

位置図



第2図 ふじみ野市遺跡分布図 (1/30,000)

沢前遺跡、中沢遺跡・外記塚遺跡(富士見市)で立川ロームⅢ層～Ⅹ層の遺物が確認されている。縄文時代中期～後期の集落は時代を追うごとに、上流から下流域へ集落の拠点の拠点を移していく傾向がみられる。

さかい川の800 m南に、都市下水道と化した砂川堀が流れる。砂川流域は大きく3ヶ所の地域で遺跡分布がみられる。砂川最上流域の狭山丘陵裾部、伏流水となりはじめる中流域、一旦地中に姿を消したあと再び湧水してくる下流域である。下流域のふじみ野市地域では、砂川右岸が段丘となり5～6 mの急崖を形成する。この高台上には縄文時代中期の拠点集落である東台遺跡があり、旧石器時代の遺跡も西台遺跡から東台遺跡まで連続と続く。一方、砂川左岸の低位台地では、市内で最古の時期であるA T降灰前(立川ローム第Ⅶ層)の石器を本村遺跡の微高地上から検出する。縄文時代中期には上流の小田久保遺跡で小規模な集落がみられ、本村遺跡では炉穴、落とし穴が散在する。

【弥生・古墳時代】 荒川低地を流れる新河岸川の自然堤防上に、弥生時代後期の環濠集落である伊佐島遺跡が立地する。新河岸川右岸、舌状台地崖線上の東端に立地する権現山遺跡は、縄文時代から中世までの複合遺跡で、縄文時代の住居跡も存在するが、主体は遺跡北東部と北西端に築造された古墳群と、古墳時代前期から奈良・平安時代にかけての集落跡である。北東部に築造された古墳時代前期の古墳群(埼玉県指定史跡権現山古墳群)は、方墳11基の他に古墳時代初期の前方後方墳(2号墳)1基である。また権現山古墳群北西端の台地縁辺部には、古墳時代中期の古墳群(通称権現山北古墳群)3基がある。ハケ遺跡第16地点の調査(2014)で、古墳の周溝から、6世紀後半頃とみられる複数の人物埴輪と、円筒埴輪が新たに発見されたが、古墳の形態や主体部については不明である。また第19地点の調査(2015)では6世紀代の円墳3基が新たに発見され、群集墳であることが判明した。

他に古墳時代の集落は川崎遺跡と上福岡貝塚、滝遺跡で確認されている。

【飛鳥・奈良・平安時代】 7世紀には、前述の舌状台地の西側、川崎遺跡の南西隣に川崎横穴墓群、さらに南約1.5 kmの台地南側の崖線に、富士見台横穴墓群が存在する。集落は川崎遺跡、滝遺跡、松山遺跡、長宮遺跡など一段低い段丘面に展開し、川崎遺跡は10世紀前半まで、滝遺跡、松山遺跡は9世紀後半ごろま

で続く。

8世紀代には前述の他、ハケ遺跡、上福岡貝塚、権現山遺跡、神明後遺跡、東久保南遺跡などで住居跡を検出する。8世紀中葉から9世紀前半まで、砂川堀右岸の台地縁辺部に東台遺跡の大規模な製鉄遺跡が現われ、周辺の遺跡でも木炭窯などが確認されている。さらに9世紀以降10世紀までは伊佐島遺跡、東台遺跡、西ノ原遺跡などで住居跡を検出している。またハケ遺跡からは銚帯金具が、川崎遺跡からは瓦塔片と布目瓦などが出土しており注目される。

【中世】 駒林遺跡では14世紀代に造立された板碑の下に、蔵骨器が埋納された葺石墳墓を検出した。また本遺跡を囲む堀跡状の溝覆土層中から、茶毘跡などが確認されている。長宮遺跡、松山遺跡、本村遺跡などでは13～16世紀代の遺物を伴う遺構を検出する。特に本村遺跡では遺構を多数検出し、15世紀以降中世集落が発展したと思われる。

16世紀後半から17世紀前半では川崎遺跡、長宮遺跡、松山遺跡、神明後遺跡、浄禅寺跡遺跡などで屋敷地とみられる遺構を検出し、「新田」といった地名と共に開発の歴史を偲ばせる。特に城山遺跡は荒川低地の自然堤防上に立地し、周囲を方形に堀跡で囲む中世から近世の居館跡と思われる。

また、松山遺跡、駒林遺跡、亀久保堀跡遺跡、神明後遺跡では時期不詳の長大な堀跡が検出されている。

【近世】 近世以降の遺跡は、多数の遺跡で遺物などが確認されている。主な近世遺跡の分布は中世村落から続く集落跡や、街道沿いの宿場や新河岸川の河岸跡、寺院跡などにみられる。中でも、川越街道沿い大井宿の範囲にある大井氏館跡遺跡、大井戸上遺跡や大井宿遺跡、亀久保村地蔵院の江川南遺跡、旧苗間村の寺院跡である浄禅寺跡遺跡、長宮氷川神社周辺の長宮遺跡、新河岸舟運で栄えた福岡河岸の福田屋などでまとまった遺構と遺物が確認されている。また鷲森遺跡で、近・現代の盛り土の中から陶磁器が多数出土しているが、埋め立ての為に他から持ち込まれた可能性がある。

近世以降では、昭和初期の旧日本陸軍の軍需工場である東京第一陸軍造兵廠川越製作所(通称造兵廠「火工廠」)の跡地で、防爆土塁・防空壕・水溜・消火栓・排水枡などの遺構や遺物が、近年の調査で確認されている。

第2章 ハケ遺跡第24地点の調査

I 遺跡の立地と環境

ハケ遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の東側付け根に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。遺跡の北側は落差2m程度のゆるい斜面を形成し、小支谷が入る。標高は14～16mで、遺跡の範囲は南北360m、東西160m以上ある。宅地開発される遺跡中央に畑が残る。

周辺の遺跡は、舌状台地の北側に旧石器、縄文、古墳～奈良・平安時代、中近世の川崎遺跡が隣接し、台地続きの南東側に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の著名な上福岡貝塚、権現山遺跡がある。

1976年以降、宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2018年3月現在31ヶ所で調査が行われている。

主たる時代と遺構は縄文時代前期から後期の住居跡、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡、近世鍛冶遺構（旧福田屋跡）と、2014年に第16地点の発掘調査で、古墳の周溝から6世紀中頃の人物埴輪と円筒埴輪多数が出土した。さらに2015年

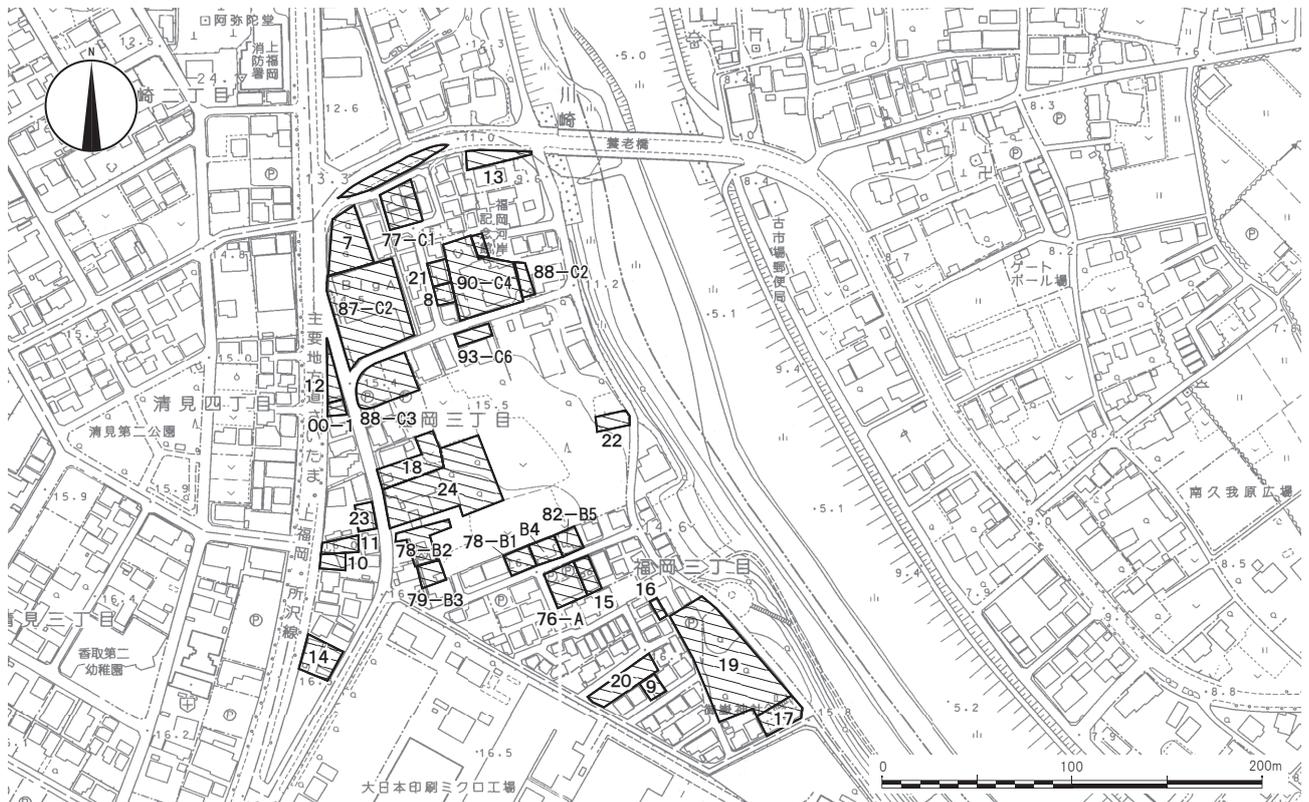
度の調査で6世紀代の円埴3基が新たに確認、検出された。

本遺跡は、かつてハケ遺跡A、ハケ遺跡B、ハケ遺跡Cと呼称していたが、現在はハケ遺跡に統一している。

II 調査に至る経過と概要

調査は宅地造成に伴うもので、原因者より2017年7月7日付で「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、7月19日～27日まで試掘調査を実施した。幅約1.5～2mのトレンチ9本を設定し、重機による表土除去後人力による精査を行ったところ、縄文時代住居跡、竪穴遺構、土坑、ピット等を確認した。現地表面から遺構確認面までの深さは30～40cmで遺跡への影響が避けられないため、原因者と再協議の結果、原因者負担による本調査を行った。

本調査は7月28日～8月7日まで実施した。調査



第3図 ハケ遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第2表 ハケ遺跡調査一覧表

地区 地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
A-1次	大字中福岡字遠見1228~2021	1976.9.11~16	306	個人住宅	古墳住居跡1、竪穴遺構3、縄文土器	上福岡市遺跡調査報告書
C-1次	大字中福岡字清見1480	1977.8.2~27	1,794	宅地造成	縄文住居跡5、奈良平安住居跡2、竪穴遺構、土坑、 炉跡	ハケ遺跡調査会ハケ遺跡C 地区
B-1次	中福岡1228-40	1978.8.28~9.10	165	個人住宅	遺構なし、縄文中期土器片	埋蔵文化財の調査(I)
B-2次	中福岡1181-2	1978.9.11~25	360	貸家建設	土坑4、炉跡1、土器	埋蔵文化財の調査(I)
B-3次	中福岡1228-37	1979.7.20~31	166		土坑3、縄文土器	埋蔵文化財の調査(II)
B-5次	大字中福岡字遠見1228-46	1982.5.10~17	165		溝1、縄文中期土器	埋蔵文化財の調査(V)
C-2次	福岡3-2068-1、2	1987.4.16~5.29	1,900	倉庫付住宅改築	縄文中期住居跡11、奈良平安住居4、掘立1	埋蔵文化財の調査(X)
C-3次	福岡2-2-1	1988.8.15~20	627	駐車場	縄文中期住居跡4、平安住居跡2	埋蔵文化財の調査(11)
C-試	福岡3-4-2	1988.10.24~28	60	擁壁改修工事	縄文前期住居跡1	埋蔵文化財の調査(11)
C-4次	旧福田屋敷地内	1990.6.20~9.6 H3.1月末~継続調査予定	500		旧福田屋柱礎石跡、鍛冶屋建物跡、(礎石・火処3・物 置跡・粘土貼りつけ円形小竪穴)・江戸前期~中期長方 形土坑12・溝1・平安住居跡3・縄文中期住居跡2、縄文 後・晩期住居跡3	平成2年度教育要覧市史資 料編
C-6次	福岡3-1189、2065-2	1993.5.6~18	141.91	個人住宅	縄文中期土坑6	埋蔵文化財の調査(16)
C-4次	福岡3-2069-1の一部	1994.6.10~1.31	54	河岸記念館管理 棟・庭造成工事	縄文中期住居跡5、土坑30	埋蔵文化財の調査(17)
C-試	福岡3-1884-8	2000.1.26	100	個人住宅	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(22)
C-7次	福岡3-2	(2006.7.10~22)	666	宅地造成	縄文・奈良平安遺構検出	市内遺跡群3
C区8	福岡3-2069-9	(2009.3.17)	99	個人住宅	住居跡確認	市内遺跡群6
C区9	福岡3-1257-7、1259-1	(2010.2.2~4)	120	個人住宅	土坑1、風倒木1	市内遺跡群8
10	福岡3-1363-14	(2011.4.22)	122.1	個人住宅	時期不明溝1	市内遺跡群14
11	福岡3-1363-11	(2011.4.21・22)	157.7	分譲住宅	縄文時代屋外埋蔵1、土器	市内遺跡群14
12	福岡3-1472-1	(2012.9.24)	122	個人住宅	ビット1、土器	市内遺跡群15
13	福岡3-1484-1	(2013.10.2・3)	183	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
14	福岡3-1363-15	(2013.11.22)	144	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
15	福岡3-1228-19	(2014.4.8・9)	184.09	共同住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群20
16	福岡3-1254-7、14、17	(2014.8.11~9)2.9.3~9	68	建売住宅	古墳1基、人物・円筒埴輪等、縄文土器	市内遺跡群21
17	福岡3-1219-1、2	(2014.9.26~30)	98.58	個人住宅	現代のゴミ穴1、近世~近代陶磁器、ガラス製品	市内遺跡群20
18	福岡3-1182、2066-5	(2014.12.4~10) 2015.1.6~16	510.67	個人住宅	縄文時代中期住居跡1、炉4、土坑2、溝2、縄文土器	市内遺跡群16
19	福岡3-1222-1、1223~1225、 1255	(2015.3.17~5.11・10.13) 2015.6.2~9.19	2,296.5	宅地造成	古墳3、溝2、縄文土器、土師器、埴輪	市内遺跡群21
20	福岡3-1252-1	(2015.10.14~16) 2015.10.29・30	375	分譲住宅	古代以降の堀跡1、土坑1、土師器、火工廠境界杭	市内遺跡群21
21	福岡3-1193-4、15、2069-10	(2016.1.5)	101	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群22
22	福岡3-2061の一部	(2016.12.26~2017.1.19) 2017.1.25~2.8	249.32	はけ自治会集会所施 設	古代住居跡1(H18)、土坑13、ビット13、縄文土器、土 師器	未報告
23	福岡3-1183-1の一部	(2017.7.18)	137	個人住宅	ビット、縄文土器片	未報告
24	福岡3-1178-1、1179-1、1180- 1、1181-1、2066-2、2067	(2017.7.19~27) 2017.7.28~8.7	1,702.15	宅地造成	縄文時代住居跡1、竪穴遺構1、土坑2、近代の集石土 坑1、ビット14、縄文土器、石器、須恵器、陶磁器	市内遺跡群23

第3表 ハケ遺跡縄文時代住居跡一覧表 (単位 cm)

住居 番号	調査 年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模	炉			埋蔵	周溝	主軸 方位	時期	備考	文献
						地床	炉体	石囲						
1	1977	C地区1号住居跡	1/4	(円形)	(600)			○				加曾利E II		ハケ遺跡C地区
2	欠												竪穴遺構に変更	
3	"	C地区5号住居跡	完掘	(方形)	400×500	○						諸礎		"
4	"	C地区6号住居跡	(完掘)			○						加曾利E III	7住と重複	"
5	"	C地区7号住居跡					○	○				加曾利E I		"
6	1987	C地区2次1号住居跡	1/3						○			加曾利E I		埋蔵文化財の調査X
7	"	C地区2次2号住居跡	西1/2	隅丸台形				○		○		加曾利E I	連弧文土器出土	"
8	"	C地区2次3号住居跡	完掘	楕円形	720×600			(○)		○		加曾利E II	連弧文、曾利系多い	"
9	"	C地区2次4号住居跡	北1/2					○				加曾利E II		"
10	"	C地区2次5号住居跡	ほぼ完掘	円形	620	○						加曾利E II		"
11	"	C地区2次7号住居跡	完掘	円形	700			○				加曾利E II		"
12	"	C地区2次8号住居跡	完掘	円形						○		加曾利E I	2軒の住居の重複	"
13	"	C地区2次9号住居跡	完掘	方形	(720)	○			○	○		加曾利E II	10住と重複	"
14	"	C地区2次11号住居跡	完掘	円形	450×400	○						加曾利E II		"
15	"	C地区2次14号住居跡	完掘	円形	660×640		○	○	○	○		加曾利E II	3度建替え	"
16	"	C地区2次16号住居跡	完掘	隅丸台形	670×650	○			○	○		加曾利E II		"
17	1988	C地区3次18号住居跡	完掘	円形	650				○	○		加曾利E II	17住と重複	"
18	"	C地区3次19号住居跡	西2/3	円形	800と500			○		○		加曾利E II	2軒の住居の重複	"
19	"	C地区3次21号住居跡	完掘	円形	460~480				○			加曾利E I	滑石製垂飾品	"
20	"	C地区3次22号住居跡	西4/5	不整形円形	700							加曾利E II		"
21	1990	C地区4次23号住居跡	1/4	(方形)								安行1	床面から土偶	市史資料編
22	"	C地区4次24号住居跡	西側未調査	楕円形										"
23	"	C地区4次25号住居跡	南東隅1/4	(円形)	500							加曾利E II		"
24	"	C地区4次26号住居跡	北東隅1/4	(楕円形)	600							加曾利E III古		"
25	"	C地区4次28号住居跡	土器片が多量に出土したため住居とした									加曾利E III		"
26	"	C地区4次29号住居跡							両耳壺			加曾利E III古		"
27	"	C地区4次30号住居跡	土器片が多量に出土したため住居とした									称名寺~堀之内		"
28	"	C地区4次31号住居跡	土器片が多量に出土したため住居とした									堀之内		"
29	"	C地区4次34号住居跡	一部	楕円形	560					○		加曾利E I		"
30	"	C地区4次35号住居跡	一部	(円形)	(8m×7m)	○						加曾利E III		"
31	2013	7地点J31号住居跡	70%	楕円形	690×550	○				○		勝坂~加曾利E I	H17住、集石土坑3・4と 重複	市内遺跡群13
32	"	7地点J32号住居跡	完掘	円形	480×408	○						勝坂II		"
33	"	7地点J33号住居跡	90%		570×500	○						加曾利E II	H16住、集石土坑1、溝2 と重複	"
34	2014	18地点J34号住居跡	完掘	楕円形	726×580	○	4		○	2		加曾利E II~III		市内遺跡群16
35	欠												竪穴遺構に変更	
36	2017	24地点J36号住居跡	掘り込み確認 できず	(楕円形)	(540×480) 以上			○		○		加曾利E II		市内遺跡群23

の結果、縄文時代住居跡 1 軒、集石土坑 1 基、竪穴遺構 1 基、土坑、ピット、近代の集石土坑 1 基を検出した。なお、旧石器時代の調査は行っていない。

III 遺構と遺物

(1) J36 号住居跡

【位置・検出状況】調査区中央部やや南東寄りに位置する。遺構検出の段階で既に床面であり、住居の掘り込みは確認できなかった。

【形状・規模】平面形態及び規模は不明であるが、ピットの検出状況から長軸 540 × 短軸 480 cm 以上を測る楕円形を呈する住居であったと推定される。

【構造】ピットは 28 基検出した。支柱穴はやや不均

等だが 4 本と考えられる。南側にピットが集中する傾向にあり、入口施設の可能性も考えられるが判然としない。周溝は確認できなかった。住居内ピットの規模等については第 6 図及び第 5 表参照。

【炉】住居の北寄りに位置し、炉体土器を伴う埋糞炉である。平面形態は南北に長い楕円形で、東側の一部が集石土坑によって壊される。炉体土器の周囲を長軸 60 × 短軸 45 cm の範囲で掘り込んでおり、深いところで約 15 cm である。

【埋糞】住居内南側に位置する。ピット 12、26 と切り合っており、平面形態は不明。底部を欠損する深鉢を正位に埋設する。確認面径は南北 40cm 以上、東西 30 cm 以上、深さ 20 cm である。



第 4 図 ハケ遺跡遺構分布図 (1/2,000)

【集石土坑】住居の北寄り、炉の東側に位置する。炉を一部壊して掘り込んでいる。出土遺物より住居に伴うものではなく、廃絶後に形成されたものと考えられる。集石土坑の詳細については第7図及び第4表参照。

【遺物出土状況】覆土がほとんどないため、出土量は多くない。集石土坑内の遺物が比較的多い。住居内からは加曾利EⅡ～Ⅲ式が大部分を占める。対して集石土坑内からは加曾利EⅢ式以降の土器が集中する。

【時期】炉体土器より加曾利EⅡ式期。集石土坑は加曾利EⅢ式期以降。

(2) 竪穴遺構

竪穴遺構は調査区北東部に位置する。当初はJ35号住居跡として調査を開始したが、焼土や被熱の痕跡等が見受けられず、また柱穴も確認できないことから、住居跡とは考えられない。平面形態は円形を呈し、南北390×東西370cm、深さ20cmである。遺構内にピット4基を検出したが、いずれも非常に浅く、土層観察からも竪穴遺構に伴うものとは断言できない。遺物は覆土中から僅かに出土した程度である。

(3) 土坑

土坑は、2基ともに遺構への影響がないためトレン

チ内の調査に留めた。詳細については第6表に掲載した。

①土坑1

調査区北側に位置する。深さが約60cmあり、壁が垂直に立ち上がる。土層の観察から近世以降に帰属し、イモビツ等の可能性が考えられる。遺物は覆土上層に集中し、遺構に伴うものではない。

②土坑2

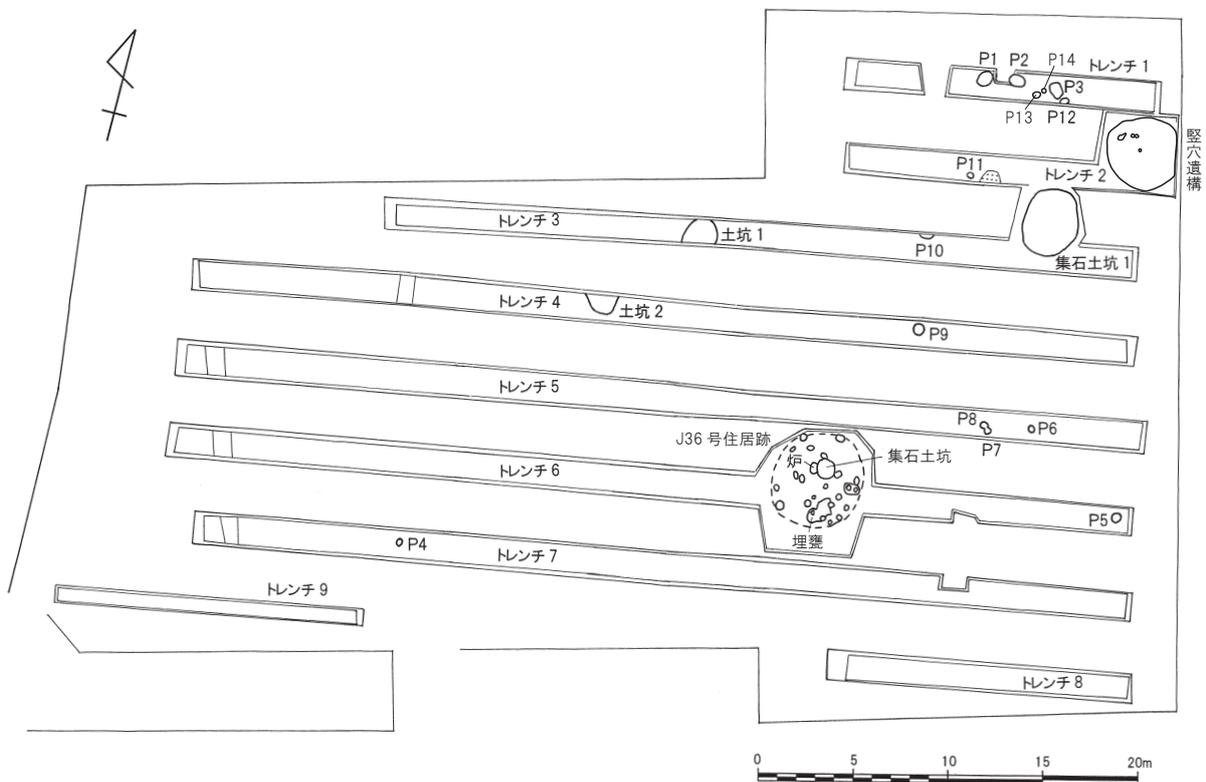
調査区北側、土坑1の南西に位置する。深さが67cmと深く、土坑1と同様に壁が垂直に立ち上がる。土層の観察から近世以降に帰属し、こちらもイモビツ等の可能性がある。遺物は覆土上層に集中し、遺構に伴うものではない。

(4) ピット

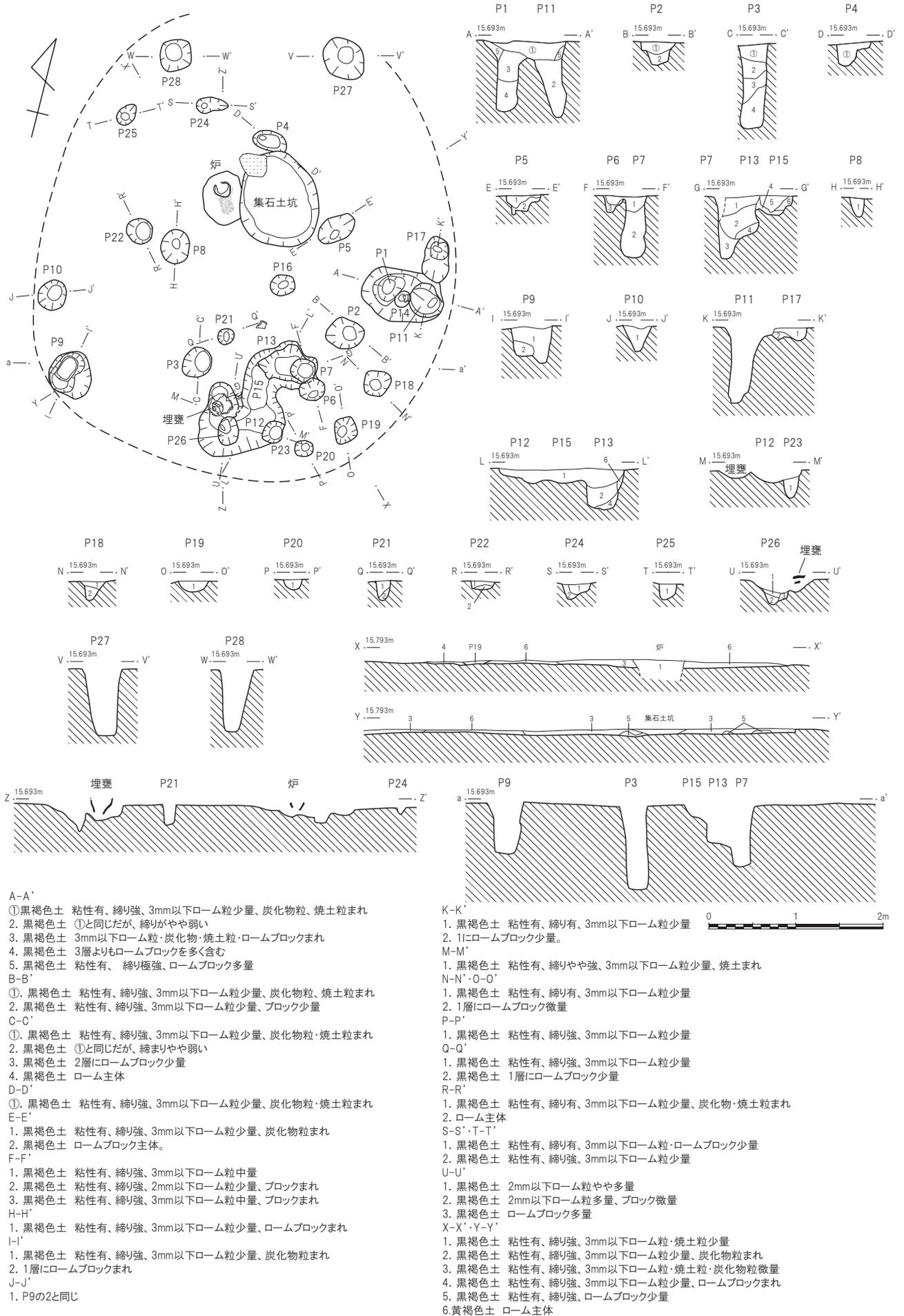
ピットの詳細については第8表に掲載した。ピット1、2、3、12からは比較的まとまって土器が出土したが、いずれも覆土上層からの出土であり、遺構の時期を確定するものではない。

(5) 集石土坑

集石土坑は調査区北東部に位置する。平面形態は楕円形を呈し、遺構の規模は長軸361cm、短軸297cm



第5図 ハケ遺跡第24地点遺構配置図(1/400)



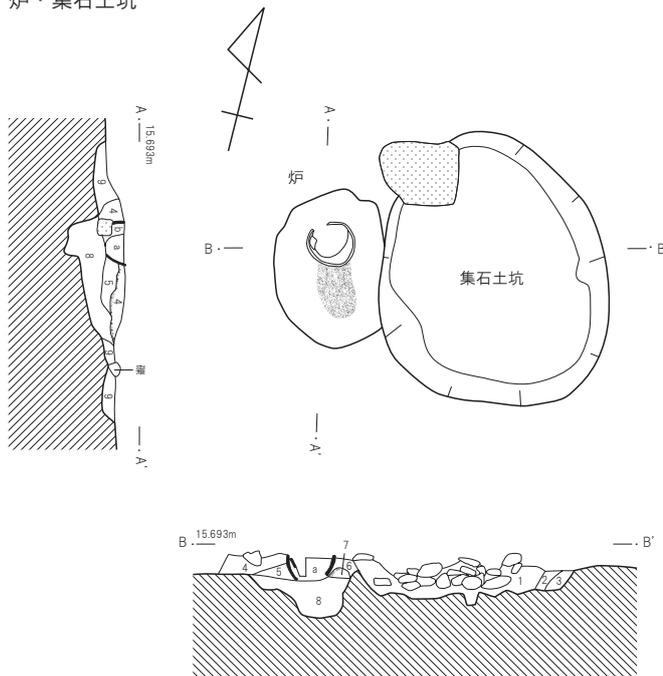
第6図 ハケ遺跡第24地点J36号住居跡(1/60)

を測る。底面は外側が低く、中央部がやや高くなる。土坑のほぼ中央に確認面径 60 × 49 cm、深さ 64 cm のピット状の落ち込みを有する。覆土中に多量の礫と共に縄文土器、石器、須恵器、陶磁器の破片が出土した。礫と遺物は比較的上層に集中している。陶磁器を含むことから縄文時代の集石土坑ではなく、近世以降に帰属する遺構と考えられる。多量の礫や土器を廃棄した痕跡である可能性が高い。

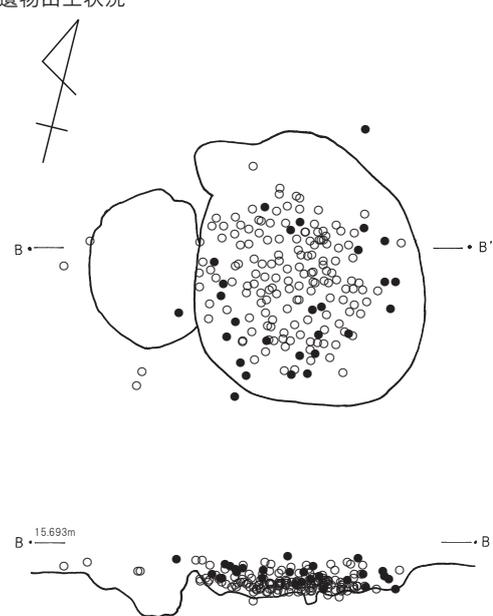
(6) 出土遺物

出土遺物の詳細については第9・10表に掲載した。特筆すべきは竪穴遺構、集石土坑、土坑、ピットから出土した縄文土器の時期が長期に渡ることである。特に近世以降のものと考えられる集石土坑から出土した土器は中期を中心としながらも、前期から後期までバラエティに富んでいる。縄文時代における周辺の遺構の分布状況も踏まえて考える必要があろう。

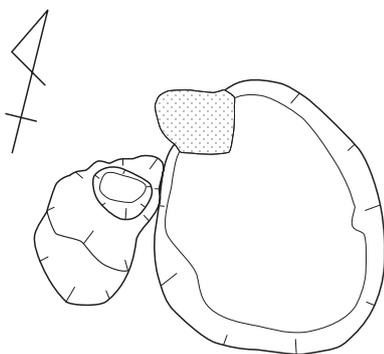
炉・集石土坑



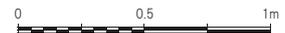
遺物出土状況



掘方



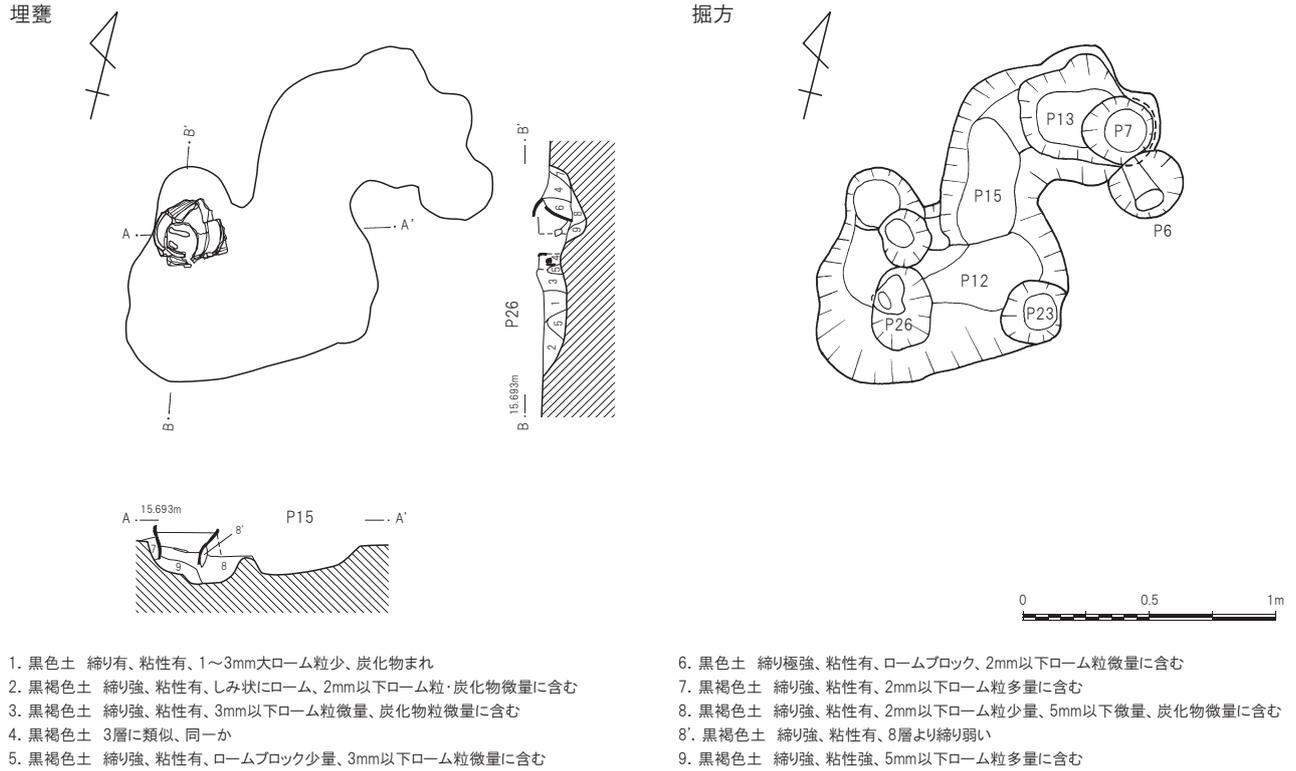
1. 黒褐色土 3mm以下ローム粒微量、炭化物・焼土粒まれに含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下のローム粒・炭化物粒微量に含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下のローム粒多量に含む
4. 黒褐色土 締り有、粘性やや弱、3mm以下ローム粒少量含む
5. 黒褐色土 締り有、粘性有、7mm以下焼土粒やや多量・5mm以下ローム粒少量含む
6. 黒褐色土 締り有、粘性有、1mm以下焼土粒やや多量、ブロック少量、炭化物まれに含む
7. 黄褐色土 締り有、粘性有、被熱ローム、上部焼土化
8. 褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、3mm以下ローム粒微量に含む
9. にぶい黄褐色土 締り強、粘性有、ローム主体
- a. 黒色土 締り有、粘やや弱、2mm以下ローム粒少量、焼土まれに含む
- b. 黒褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、1mm以下ローム粒、焼土粒少量含む



第7図 ハケ遺跡第24地点J36号住居跡炉・集石土坑・掘方・遺物出土状況 (1/30)

第4表 ハケ遺跡第24地点集石土坑・出土礫観察表 (単位cm・個数・g%)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	総点数	総重量	平均重量	破損数	完形数	焼成数	未焼成数	タール・煤付着数	タール・煤未付着数	備考
合計	楕円形	111×92	97×71	18.1	155	29,144.17	188.03	89(57.42%)	66(42.58%)	43(27.74%)	112(72.26%)	62(40%)	93(60%)	



第8図 ハケ遺跡第24地点J36号住居跡埋甕・掘方(1/30)

第5表 ハケ遺跡第24地点J36号住居内ピット一覧表(単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	不明	60×(40)	17×12	80.6	
2	方形	39×34	16×14	26.7	
3	円形	33×32	23×17	97.2	
4	楕円形	40×23	7×5	29.8	
5	楕円形	46×29	13×8	19.3	
6	不明	30×(23)	12×6	19.8	
7	円形	(28)×27	17×16	69.5	
8	円形	38×33	9×6	27.8	
9	円形	51×51	26×16	58.6	
10	円形	35×33	17×13	41.7	
11	不明	57×(38)	13×7	89.6	
12	不明	102×64	78×(28)	14.5	
13	不明	55×53	(28)×22	45.6	
14	円形	18×16	8×7	33.3	
15	不明	(64)×41	(49)×23	22.5	
16	円形	28×24	12×8	30.8	
17	不明	50×31	10×6	17.6	
18	方形	29×29	13×11	24.4	
19	方形	27×27	14×9	25.9	
20	円形	21×18	8×8	15.9	
21	円形	18×18	10×6	22.8	
22	円形	30×29	20×15	10.2	
23	円形	25×24	15×14	39.3	
24	ひょうたん形	35×16	7×5	19.0	
25	楕円形	26×18	9×8	18.2	
26	楕円形	32×23	8×5	21.0	
27	楕円形	52×46	18×17	78.6	
28	方形	36×35	21×17	71.1	

第6表 ハケ遺跡第24地点土坑一覧表(単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	不明	174×(128)	151×(67)	59.9	
2	不明	182×(109)	163×(90)	67.0	

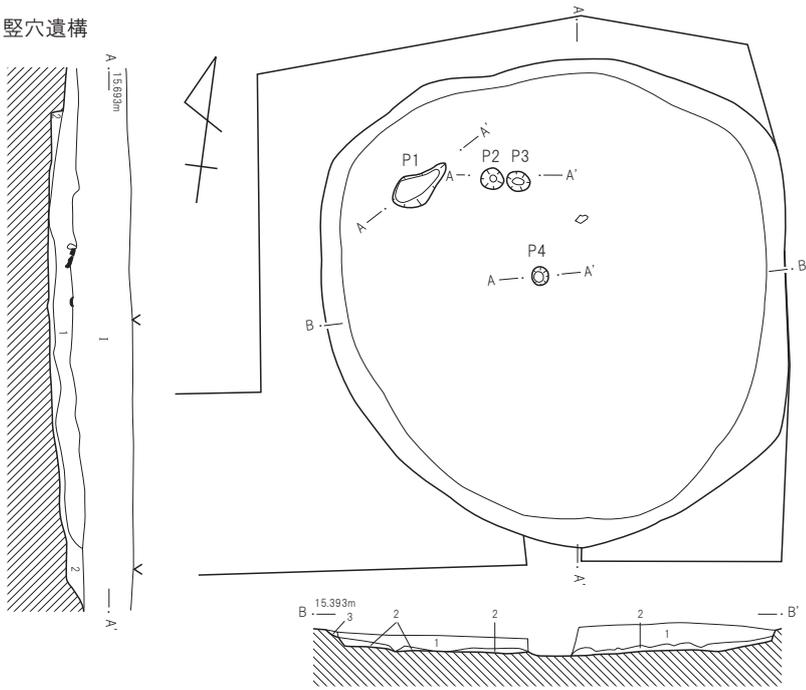
第7表 ハケ遺跡第24地点竪穴遺構内ピット一覧表(単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	ひょうたん形	50×27	40×16	12.1	
2	円形	18×17	6×5	20.6	
3	円形	18×16	9×5	15.9	
4	円形	15×13	8×8	15.6	

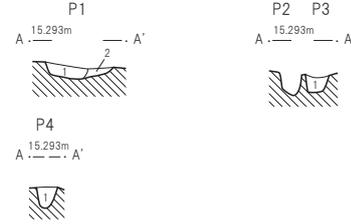
第8表 ハケ遺跡第24地点ピット一覧表(単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	楕円形	89×54	43×38	37.8	
2	円形	84×80	63×60	59.5	
3	楕円形	101×72	47×46	87.2	
4	円形	47×45	26×15	36.1	
5	楕円形	51×41	12×11	31.1	
6	楕円形	44×34	15×9	44.2	
7	不明	52×36	19×12	24.0	
8	不明	30×(28)	15×14	16.9	
9	円形	57×54	12×9	40.9	
10	不明	57×(28)	22×(22)	38.7	
11	円形	43×40	20×17	38.2	
12	不明	32×(19)	9×7	50.6	
13	楕円形	40×32	18×18	29.2	
14	円形	23×21	14×10	41.8	

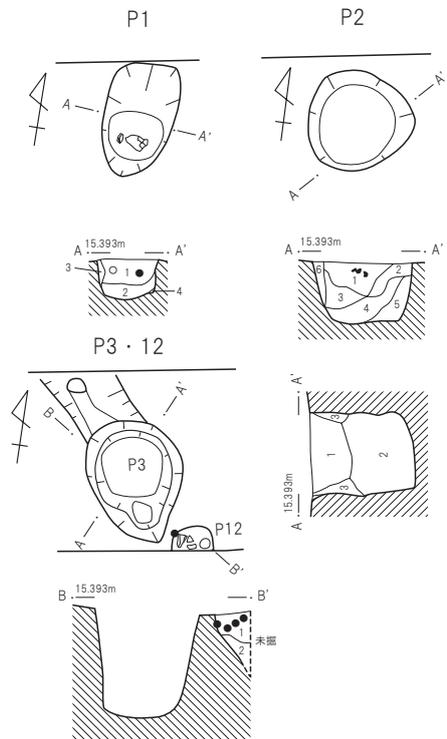
竪穴遺構



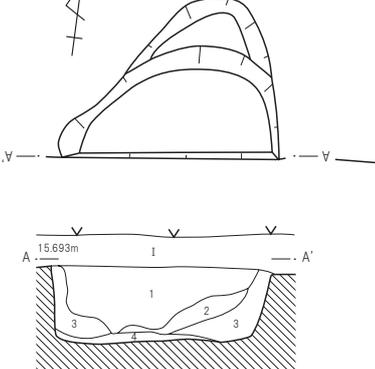
- A-A'
- I 表土
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少量、焼土粒まれ
 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック、ローム粒多量に含む
- B-B'
1. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、ローム粒少量含む
 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック、ローム粒多量に含む
 3. 黄褐色土 締りやや弱、粘性有、カクラン土



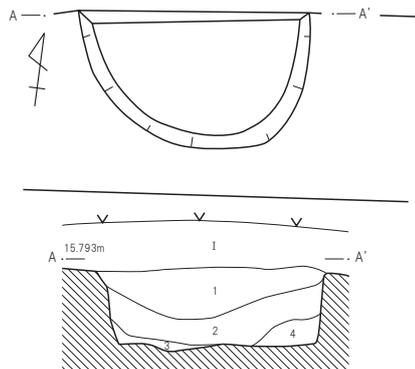
- P1~4
1. 暗褐色土 締りやや弱、粘性有、ロームブロック・粒多量に含む
 2. 黄褐色土 締りやや強、粘性有、ローム主体、暗褐色土を斑に含む



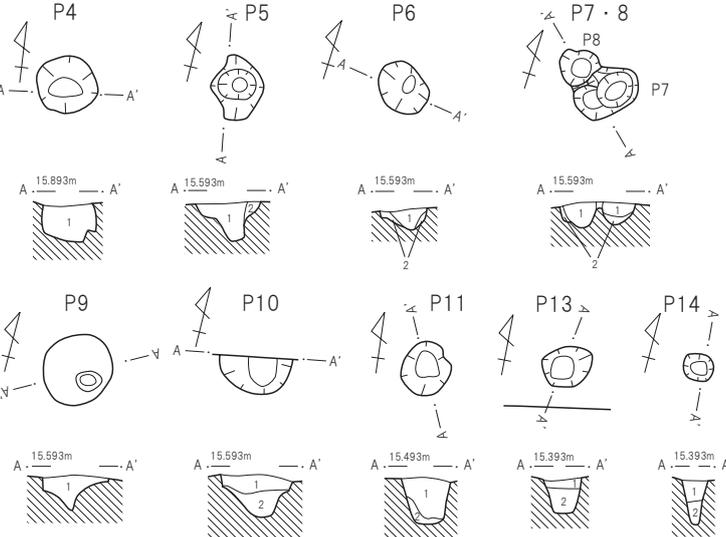
土坑 1



土坑 2



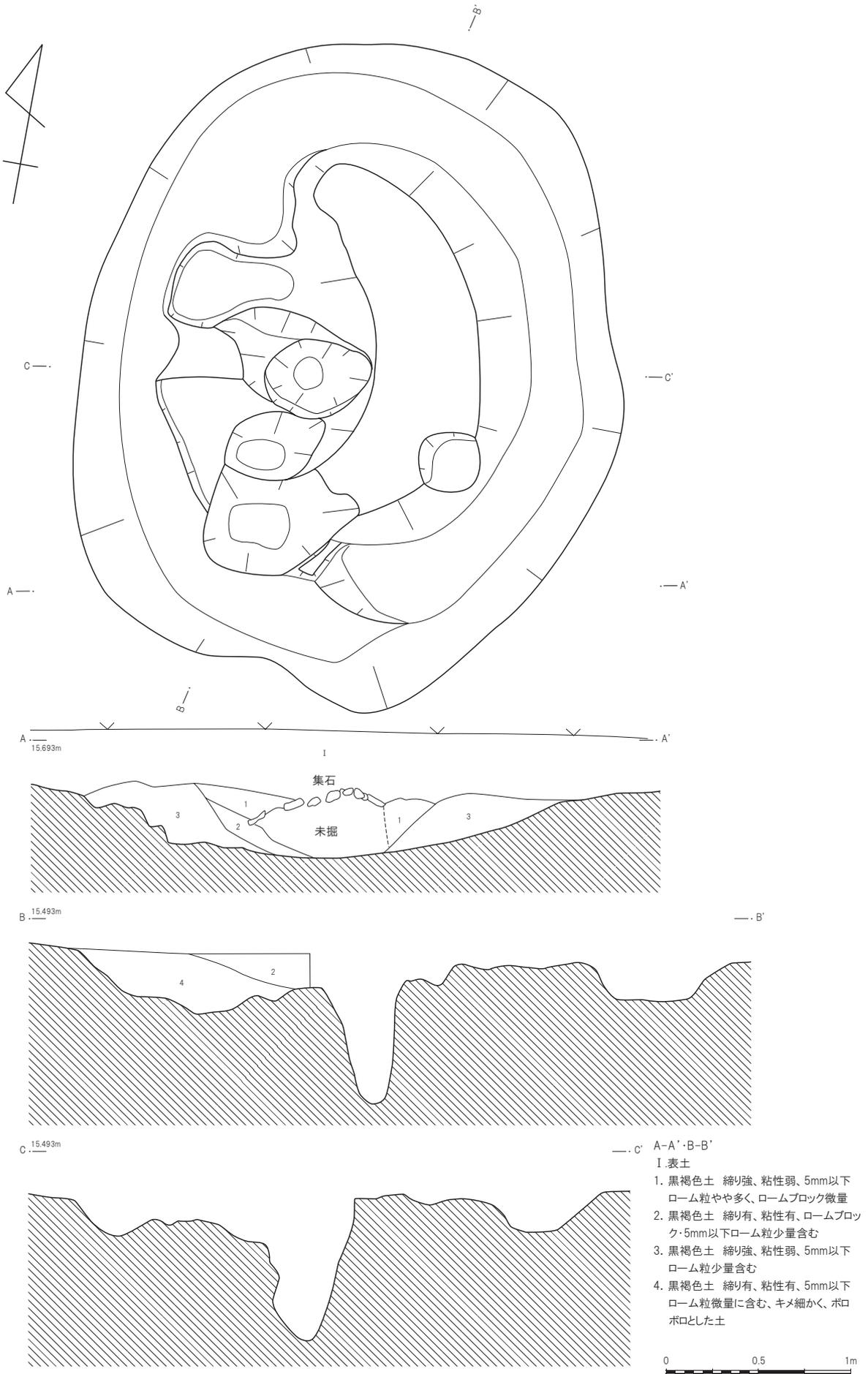
- I 表土
- 土坑1
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少量、炭化物・焼土粒まれ、土器片含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒少量、炭化物粒まれ
 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒中量、ブロックまれ
 4. にぶい黄褐色土 締り極強、粘性有、5mm以下ローム粒多量、ブロック少量含む
- 土坑2
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒中量、炭化物・焼土粒まれ、土器片を含む
 2. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、3mm以下ローム粒多量、ブロックまれ、炭化物粒まれ
 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒多量、ブロック少量、焼土粒まれ
 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒、ブロック少量含む



- P1
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒微量に含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒微量、炭・焼土粒まれ
 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック主体、崩落土
 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒多量に含む
- P2
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少量含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒やや多量に含む
 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒微量、ロームブロック少量含む
 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック少量含む
 5. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒多量、ブロック状に黒褐色土
 5. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム主体
- P3・P12
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少量含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒微量に含む
- P4
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少量含む
- P5
1. P4の1層と同じ
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒多量に含む
- P6・8・9・11
1. P4の1層と同じ
 2. ローム主体
- P10
1. P4の1層と同じ
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック中量含む
- P13
1. 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少量に含む
 2. 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒、ロームブロック微量に含む
- P14
1. 3mm以下ローム粒少量含む
 2. P13の2層と同じ

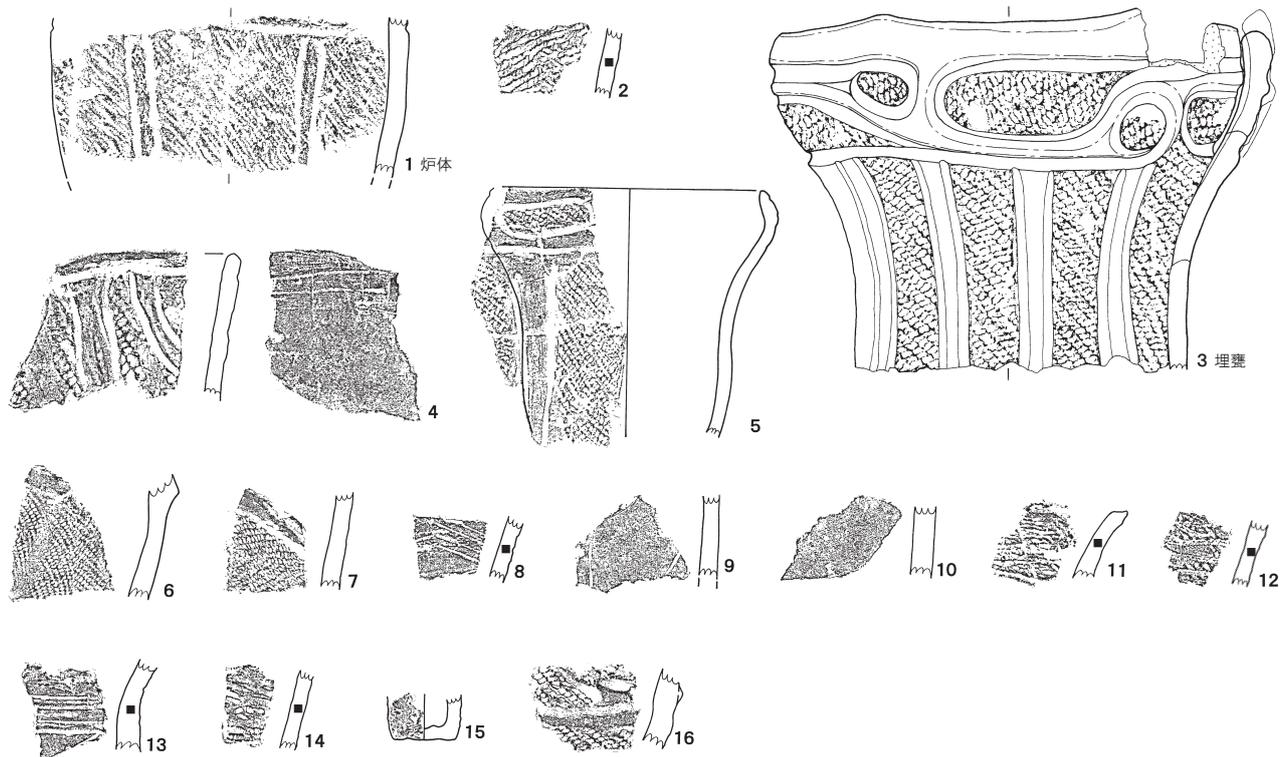


第9図 ハケ遺跡第24地点竪穴遺構・遺物出土状況・土坑・ピット (1/60)

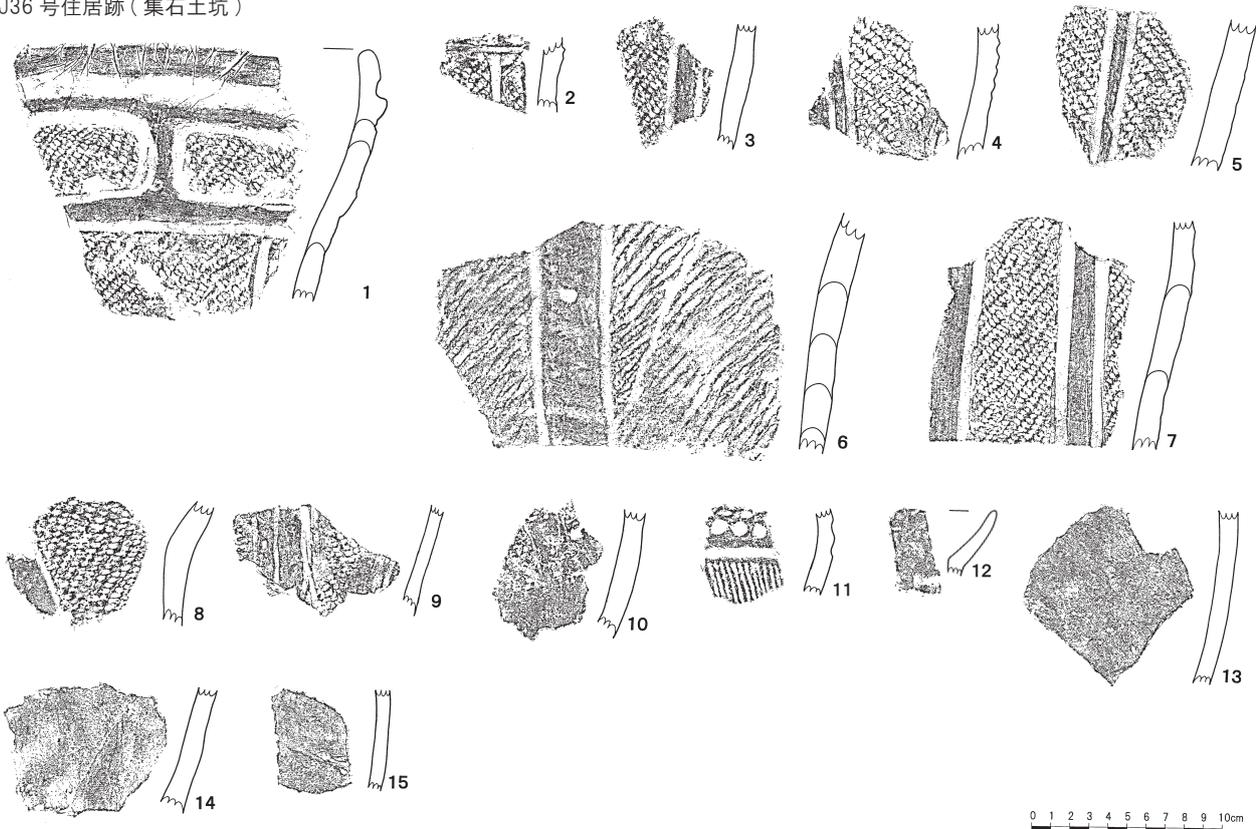


第10図 ハケ遺跡第24地点集石土坑1(1/30)

J36号住居跡

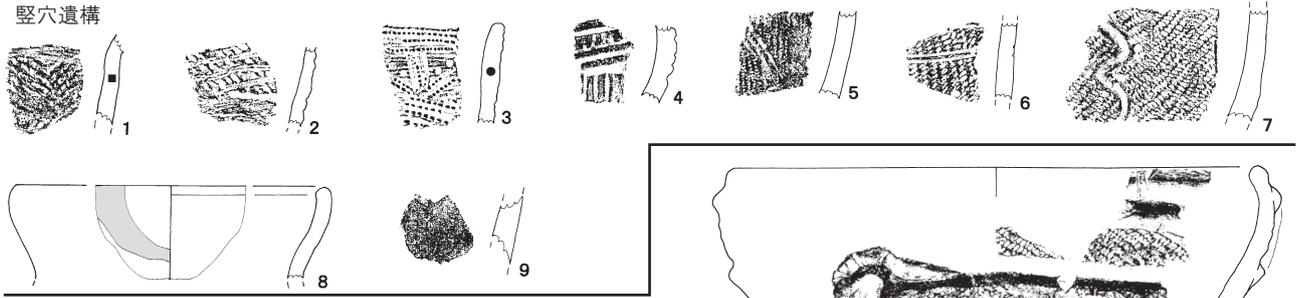


J36号住居跡(集石土坑)

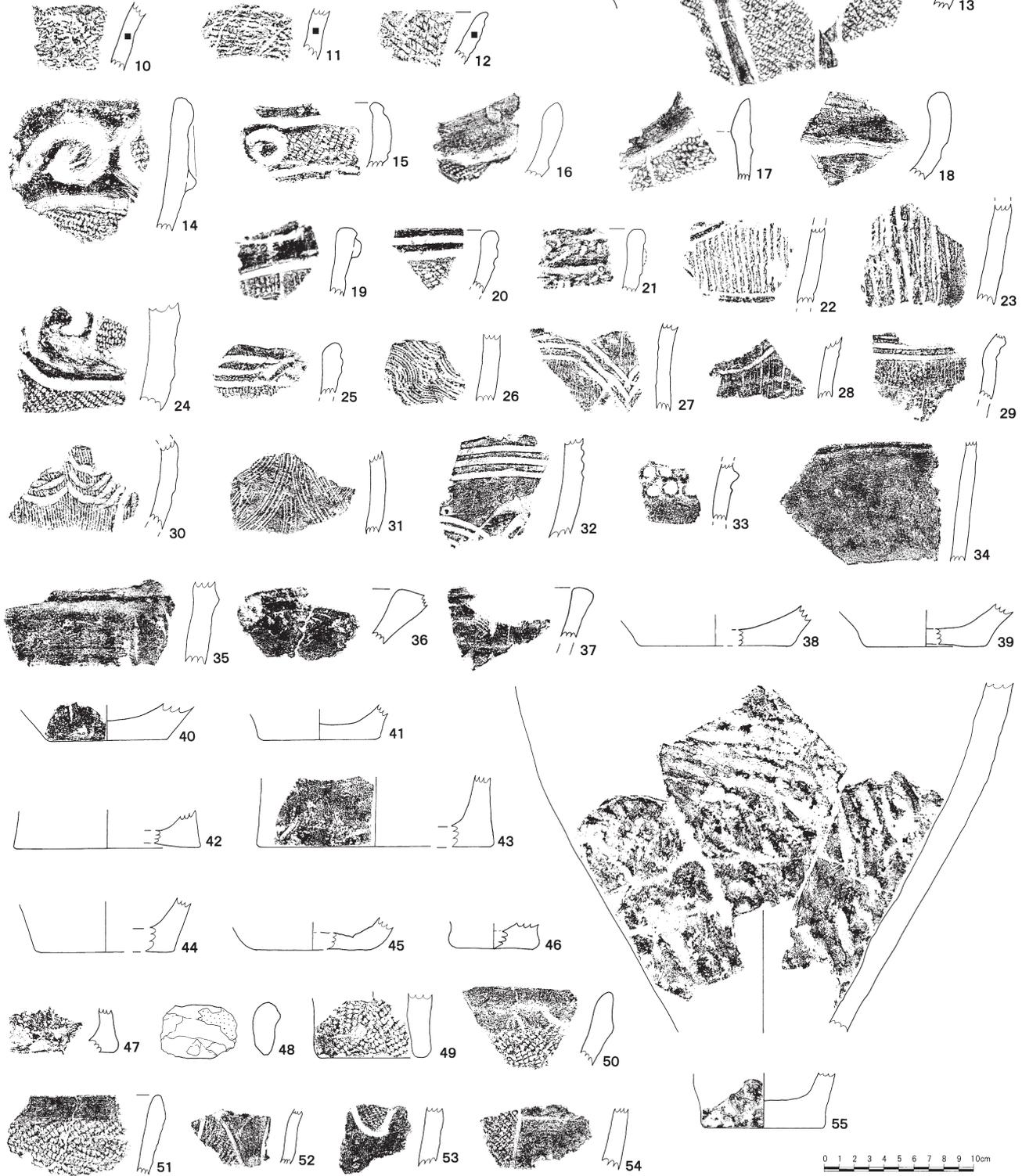


第11図 ハケ遺跡第24地点出土遺物①(1/4)

竪穴遺構

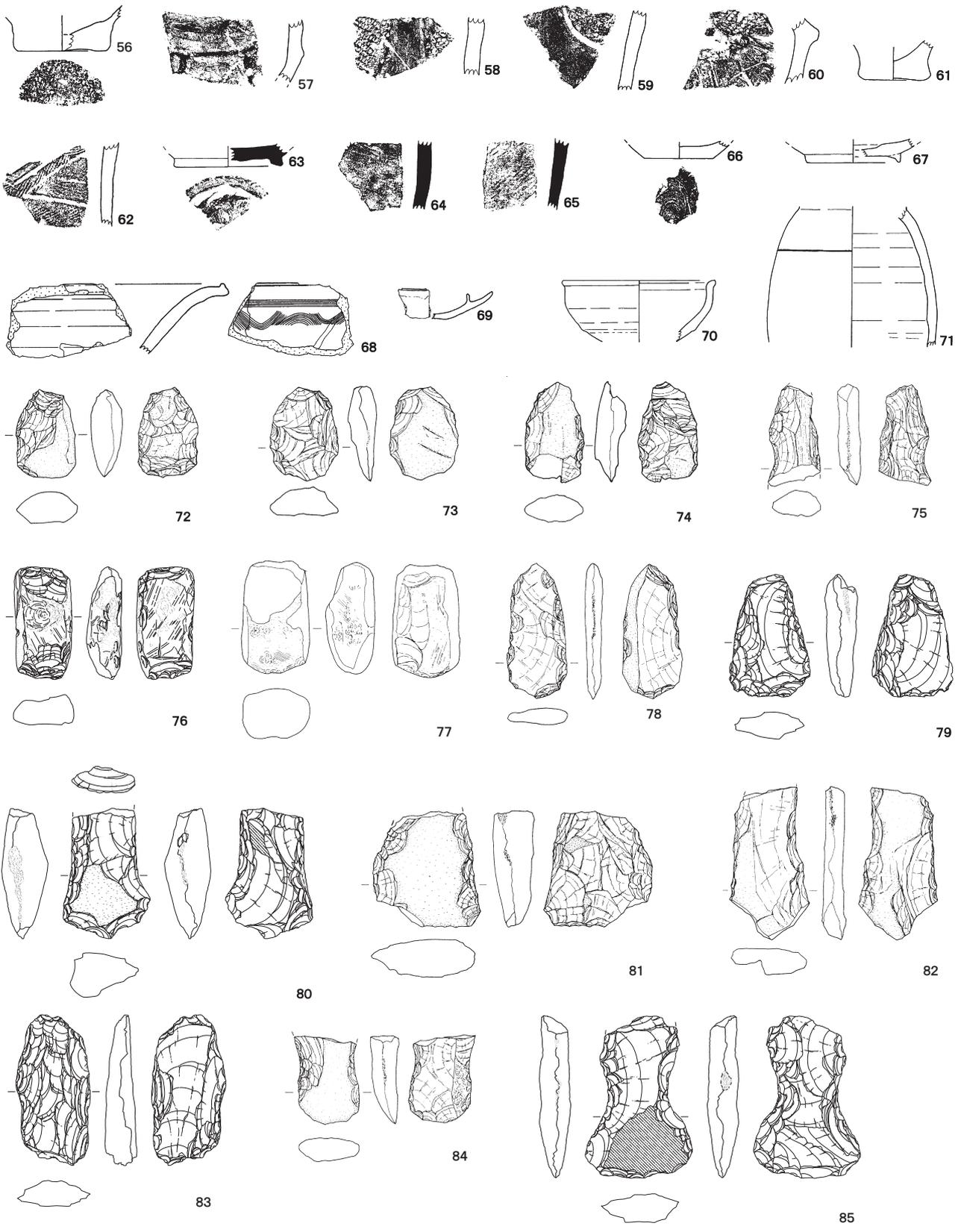


集石土坑



第12図 ハケ遺跡第24地点出土遺物②(1/4)

集石土坑



第13図 ハケ遺跡第24地点出土遺物③(1/4)

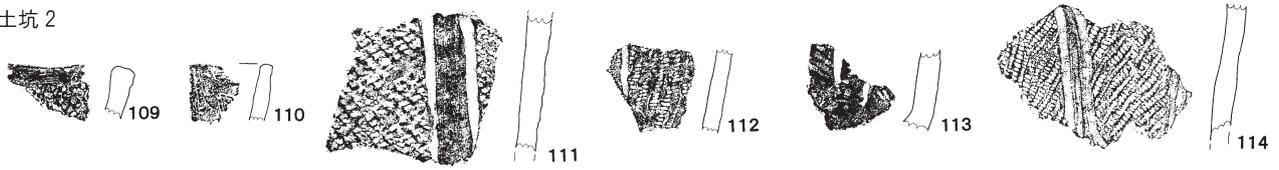


第14図 ハケ遺跡第24地点出土遺物④(1/4)

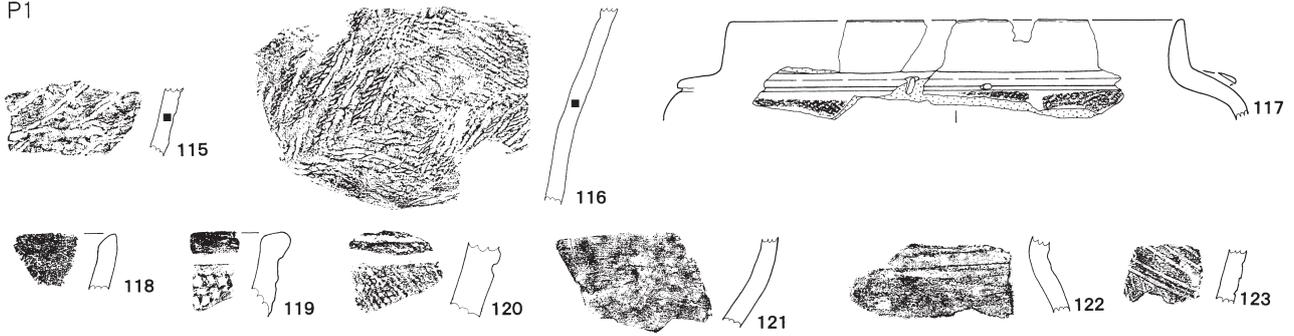
土坑1



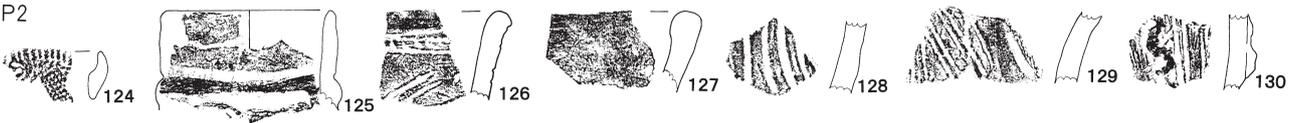
土坑2



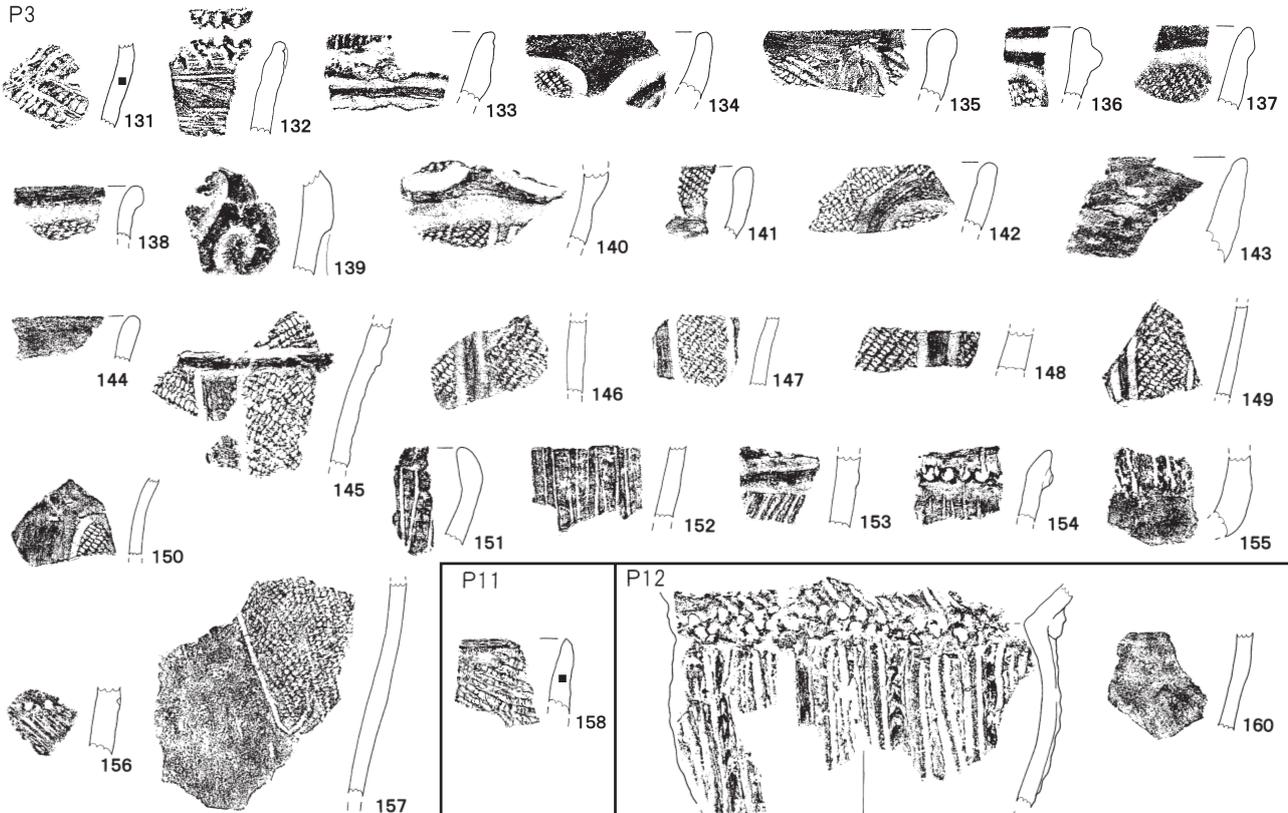
P1



P2



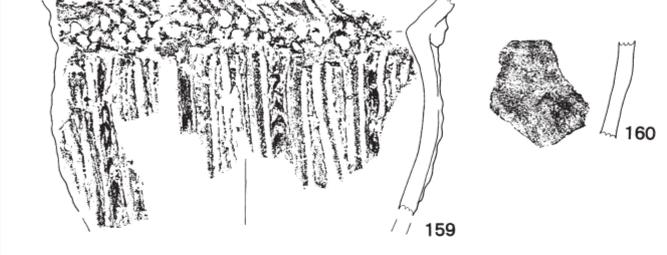
P3



P11



P12



遺構外



第15図 ハケ遺跡第24地点出土遺物⑤(1/4)

第9表 ハケ遺跡第24地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/胎土/備考	時期/型式	
第11図-1	J36号住居跡	深鉢/胴部	炉体土器、径18.5cm、現存高9.2cm/地文縦位RL/頸部とは横沈線で画し、平行沈線による懸垂文/内面のハジケ著しい/3mm大砂粒	加曽利EⅡ新	
第11図-2		深鉢/胴部	地文縦位Lr/繊維多/細粒砂少	黒浜	
第11図-3		深鉢/口縁部~胴部	埋甕、口径27cm、現存高18.7cm。波頭4箇所/口縁部区画内横位LR、胴部縦位RL、2本沈線間磨消懸垂文9単位/細白色粒	加曽利EⅡ新	
第11図-4		深鉢/口縁部	口縁部文様を失う、地文に雑な横位のLR施し沈線で区画・内面にナデ痕残す/白色微粒・粗砂粒	加曽利EⅢ	
第11図-5		深鉢/口縁部~胴部	推定口径14cm・地文細かいRLを施す。口縁部に沈線区画、沈線懸垂文/粗粒砂	加曽利EⅡ	
第11図-6		深鉢/胴部	縦位LR/白色粒/外面黒褐色	加曽利E	
第11図-7		深鉢/胴部	縦位RL/沈線による区画/橙色粒少	加曽利E	
第11図-8		深鉢/胴部	櫛歯による平行条線/極細粒砂多/繊維含む	諸磯	
第11図-9		深鉢/胴部	細い条線/粗砂粒	中期	
第11図-10		深鉢/胴部	無文帯部・磨き顕著/黒色粒多	加曽利	
第11図-11		深鉢/口縁部	地文Lr斜位/繊維多	黒浜	
第11図-12		深鉢/胴部	附加条2種/繊維多	黒浜	
第11図-13		深鉢/胴部	半竹による平行沈線上に小円形竹管文/白色砂粒小、繊維含む	諸磯	
第11図-14		深鉢/胴部	附加条を地文とするが施文が浅く不詳/繊維多	黒浜	
第11図-15		ミニチュア/底部	底径3.2cm/手捏ね	加曽利E	
第11図-16		深鉢/頸部	横位RL/白色砂粒多	加曽利EⅡ	
第11図-1	J36号住居跡 (集石土坑)	深鉢/口縁~胴部	地文LR、口縁部長楕円形区画、沈線懸垂文/橙色粒・白色細砂粒多/明茶褐色	加曽利EⅡ新	
第11図-2		深鉢/胴部	地文に横位LR、沈線懸垂文/橙色粒・白色細砂粒多	加曽利EⅡ	
第11図-3		深鉢/胴部	地文は縦位LR、沈線懸垂文/粗砂粒多/外面ハジケ著しい	加曽利EⅡ	
第11図-4		深鉢/胴部	縦位RL地文、沈線懸垂文/白色細砂粒多	加曽利EⅡ	
第11図-5		深鉢/胴部	地文縦位RLR/沈線懸垂文/白色細砂粒多	加曽利EⅡ	
第11図-6		深鉢/胴部	縦位Lr/幅広磨消懸垂文/白色細砂粒多	加曽利EⅡ	
第11図-7		深鉢/胴部	胴部過半が水平に欠失/地文に横位LRL、幅広磨消懸垂文と沈線で画す/粗砂粒多	加曽利EⅡ	
第11図-8		深鉢/胴部	横位LRL/粗砂粒多	加曽利EⅡ	
第11図-9		深鉢/胴部	横位のLR/沈線懸垂文/橙色粒多/内面に炭化物付着	加曽利E	
第11図-10		深鉢/胴部下	無文帯部/中粒砂/内面に炭化物付着	加曽利E	
第11図-11		深鉢/口縁部	円形列点文下に沈線/縦位の撚糸/白色粒多	加曽利EⅡ	
第11図-12		小型土器/口縁部	無文帯部	加曽利E	
第11図-13		深鉢/胴部	無文帯部/白色微粒、粗砂粒	加曽利E	
第11図-14		深鉢/胴部下	無文帯部/白色微粒	加曽利E	
第11図-15		深鉢/胴部	無文帯部/内外磨き丁寧	加曽利E	
第12図-1	竪穴遺構	深鉢/口縁部	縦位LrとRlの菱形縄文/白色微粒	黒浜	
第12図-2		深鉢/胴部上位	地文附加条LR+r/繊維多/細粒砂少	黒浜	
第12図-3		深鉢/口縁部	極細粘土紐を細半截竹管でなぞり結節状にする/細粒砂、白色粒、金雲母	十三菩提	
第12図-4		深鉢/胴部	上位に半截竹管、下位に縦位の沈線/白色粒	加曽利E	
第12図-5		深鉢/胴部	縦位撚糸Lr/中粒砂・白色粒	加曽利E	
第12図-6		深鉢/胴部	縦位LR/細粒砂	加曽利E	
第12図-7		深鉢/胴部	縦位RL/沈線による懸垂文/大粒砂少/極粗粒砂多	加曽利E	
第12図-8		深鉢/口縁部	無文帯部/極細粒砂多	加曽利E	
第12図-9		深鉢/胴部	無文帯部/極細粒砂多	中期	
第12図-10		深鉢/胴部	横位撚糸RL/繊維多	黒浜	
第12図-11		深鉢/胴部	地文附加条LR+r/繊維多/細粒砂少	黒浜	
第12図-12		深鉢/口縁部	縦位RL/極細粒砂多/繊維多	黒浜	
第12図-13		深鉢/口縁・胴部	横位RL/2本太い沈線懸垂文/極細粒砂	加曽利EⅡ	
第12図-14		深鉢/口縁部	口縁部・胴部共に斜位LR/沈線で渦巻文/中粒砂少	加曽利EⅡ新	
第12図-15		深鉢/口縁部	横位LR/中粒砂多	加曽利EⅡ	
第12図-16		深鉢/口縁部	波状口縁部、縦位LR/中粒砂多	加曽利EⅢ	
第12図-17		深鉢/口縁部	波状口縁部、斜位LR/中粒砂多	加曽利EⅢ	
第12図-18		深鉢/口縁部	区画は横位の沈線/細粒砂多	加曽利EⅢ	
第12図-19		深鉢/口縁部	地文は撚糸/白色粒砂中	加曽利EⅠ	
第12図-20		深鉢/口縁部	横位RL/粗粒砂少	加曽利EⅠ	
第12図-21		深鉢/口縁部	細い隆帯剥落/列点文1ヶ所	加曽利E	
第12図-22		集石土坑	深鉢/胴部	縦位撚糸Lr/粗粒砂多	加曽利E
第12図-23			深鉢/胴部	平行沈線/粗粒砂多	連弧文系?
第12図-24			深鉢/頸部	縦位RL/白色粗粒多、厚さ14mmと厚い	加曽利EⅡ
第12図-25			深鉢/口縁部	竹管による平行線/中粒砂多	加曽利E
第12図-26	深鉢/胴部		波状櫛歯状工具文/中粒砂中	加曽利E	
第12図-27	深鉢/胴部		縦位櫛歯状工具文/弧状の沈線/粗粒砂多	加曽利EⅡ	
第12図-28	深鉢/胴部		縦位櫛歯状工具文/弧状の沈線/粗粒砂多。No.27と同一個体か	加曽利EⅡ	
第12図-29	深鉢/胴部		縦位櫛歯状工具文/平行沈線/粗粒砂多	加曽利EⅡ	
第12図-30	深鉢/胴部		縦位撚糸RL/弧状の沈線/中粒砂中	加曽利EⅡ	
第12図-31	深鉢/胴部		櫛歯状工具文弧を描く/中粒砂中	加曽利EⅡ	
第12図-32	深鉢/胴部		3本の沈線で弧を描く/細粒砂中	加曽利EⅡ	
第12図-33	深鉢/胴部		地文無文、円形刺突具/細粒砂中	加曽利	
第12図-34	深鉢/胴部		無文/雲母、細粒砂中	中期	
第12図-35	深鉢/胴部		無文/つまみあげ隆帯/細粒砂中	加曽利EⅡ	

図版番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/胎土/備考	時期/型式	
第12図-36	集石土坑	深鉢/口縁部	無文/白色粒多	中期	
第12図-37		深鉢/口縁部	無文/剥離著しい/白色細粒多	中期	
第12図-38		深鉢/底部	無文/底径10.3/細粒多	中期	
第12図-39		深鉢/底部	無文/底径8.5/中粒砂中	中期	
第12図-40		深鉢/底部	沈線懸垂文/底径8.5/中粒砂中	中期	
第12図-41		深鉢/底部	無文/赤色粒多	中期	
第12図-42		深鉢/底部	無文	中期	
第12図-43		深鉢/底部	無文/白色粒多	中期	
第12図-44		深鉢/底部	無文	中期	
第12図-45		深鉢/底部	無文	中期	
第12図-46		深鉢/底部	無文	中期	
第12図-47		深鉢/底部	無文/垂直に立ち上がる	加曽利EⅢ	
第12図-48		深鉢/把手	無文/中央部をなでる	中期	
第12図-49		器台	縦位RL/内面無文/着地面平坦/粗粒砂少	加曽利	
第12図-50		深鉢/口縁部	口唇部無文,断面三角/横位LR・RL羽状	加曽利EⅢ	
第12図-51		深鉢/口縁部	口唇部無文/横位LR・RL羽状/粗粒砂少	加曽利EⅢ	
第12図-52		深鉢/胴部	沈線間磨消す・地文細Lr	加曽利EⅢ	
第12図-53		深鉢/胴部	沈線によるU字文、区画内細かいRL/粗粒砂	加曽利EⅢ	
第12図-54		深鉢/胴部	沈線によるU字文、区画内細かいLr充填/粗粒砂	加曽利EⅢ	
第12図-55		深鉢/胴部・底部	無文、ヘラ状工具で斜位になでる,厚さ1.9mm/褐色ないし明褐色/底径8.5	加曽利EⅢ	
第13図-56		深鉢/底部	垂直に立ち上がる/無文/粗粒砂少	加曽利EⅢ	
第13図-57		深鉢/口縁部	微隆起線で口唇部と画する/白色微粒多	加曽利EⅣ	
第13図-58		深鉢/胴部	微隆起線内は縦位Lrで充填/中粒砂中	加曽利EⅣ	
第13図-59		深鉢/胴部	沈線によるU字文、区画内剥離/微白色粒	加曽利EⅢ	
第13図-60		深鉢/胴部	隆帯上に横位LR、地文櫛状工具	加曽利E	
第13図-61		深鉢/底部	底径4.9/沈線/中粒砂多	堀之内	
第13図-62		深鉢/胴部	三角形の区画文を描く横位LR/中粒砂中	堀之内	
第13図-63		須恵器/長頸瓶高台付底部	轆轤成形・糸切底・底部周辺のなぞり痕/高台径8.0cm/白色針状物質少/色調:灰色		
第13図-64		須恵器/甕	轆轤成形/白色針状物質少/色調:明灰色		
第13図-65		須恵器/甕	轆轤成形・外面に平行叩き目/白色針状物質少/色調:灰色		
第13図-66		カワラケ/底部	轆轤成形/糸切痕/胎土:軟質でにぶい橙色	16c	
第13図-67		陶器/皿底部	轆轤成形/高台貼付/瀬戸・美濃		
第13図-68		陶器/水鉢	轆轤成形/緑釉流し掛け/内面刷毛目/瀬戸・美濃		
第13図-69		陶器/燈火受付皿	轆轤成形/灰釉、外面釉拭き取り/瀬戸・美濃	18c	
第13図-70		陶器/中碗	轆轤成形/鉄釉/瀬戸・美濃「天目茶碗」	17c	
第13図-71		磁器/中瓶	轆轤成形/染付、透明釉、肥前		
第15図-103		土坑1	深鉢/口縁部	貼付微隆起上にLr押圧/中粒砂中	堀之内
第15図-104			深鉢/口縁部	無文帯/中粒砂	加曽利
第15図-105			深鉢/胴部	横位LR/中粒砂多	加曽利
第15図-106			深鉢/胴部	無文帯・隆帯貼付裾部/中粒砂中	加曽利
第15図-107			深鉢/頸部	横位RL・羽状/平行沈線区画/中粒砂多	加曽利
第15図-108			深鉢/胴部	沈線/内外面研磨/細粒砂	堀之内
第15図-109	深鉢/口縁部		横位Lr/中粒砂中	加曽利	
第15図-110	深鉢/口縁部		細かい半截竹管/粗粒砂少	諸磯	
第15図-111	土坑2	深鉢/胴部	斜位RL/沈線幅広懸垂文/粗粒砂少	加曽利EⅡ	
第15図-112		深鉢/胴部	縦位LR/沈線/中粒砂	加曽利E	
第15図-113		深鉢/底部上	縦位細RL/沈線区画/赤色粒	加曽利E	
第15図-114		深鉢/胴部	縦位RL/幅広沈線/粗粒砂	加曽利EⅡ	
第15図-115	深鉢/胴部	地文附加条LR+r横位施文/白色粒砂	黒浜		
第15図-116	深鉢/胴部	附加条RL/白色粒砂少・繊維多	黒浜		
第15図-117	有孔鏝付/口縁部	地文に細縄文/粗粒砂・極細白色粒多	加曽利		
第15図-118	深鉢/口縁部	無文/粗粒砂多	中期		
第15図-119	P1	深鉢/口縁部	横位LR/沈線	加曽利E	
第15図-120		深鉢/胴部	縦位RL/沈線/白色粒砂	加曽利E	
第15図-121		深鉢/胴部	無文/内外磨きなど	中期	
第15図-122		深鉢/胴部	横位沈線/白色・黒雲母粒	中期	
第15図-123	深鉢/胴部	平行半截竹管/金雲母末	加曽利		
第15図-124	深鉢/口縁部	押引手法による連続半截竹管	中期初頭		
第15図-125	深鉢/口縁部	口縁部は垂直/無文帯/有孔鏝付か?/粗粒砂中	中期		
第15図-126	P2	深鉢/口縁部	口唇部直下に半截竹管押圧/地文に半截竹管/白色微粒	勝阪	
第15図-127		深鉢/口縁部	無文帯/中粒砂超多	加曽利	
第15図-128		深鉢/胴部	弧状沈線/中粒砂	加曽利	
第15図-129		深鉢/胴部	半截竹管工具による平行沈線/中粒砂多	加曽利	
第15図-130		深鉢/胴部	地文に条線、隆帯を波状に懸垂/中粒砂中	加曽利EⅠ	
第15図-131		深鉢/胴部	RI・Lr/微白色粒砂	黒浜	
第15図-132		深鉢/口縁部	口唇部波状折り曲げ/中粒砂多	諸磯C	
第15図-133	P3	深鉢/口縁部	口唇部刻み/微白色粒多	加曽利	
第15図-134		深鉢/口縁部	区画内RL/微白色粒多	加曽利EⅡ	
第15図-135		深鉢/口縁部	縦位RL/中粒砂中	加曽利EⅢ	
第15図-136		深鉢/口縁部	LR/橙色粒砂多	加曽利EⅡ	
第15図-137		深鉢/口縁部	摩滅著し/斜位LR/白色微粒	加曽利EⅡ	

図版番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/胎土/備考	時期/型式	
第15図-138	P3	深鉢/口縁部	横位LR/中粒砂中	加曾利E II	
第15図-139		深鉢/胴部	渦巻文/中粒砂多	加曾利E II	
第15図-140		深鉢/胴部	口縁部・胴部を沈線で区画・横位LR/白色微粒	加曾利E II	
第15図-141		深鉢/口縁部	縦位LR/粗粒砂少	加曾利E I	
第15図-142		深鉢/口縁部	地文斜位LR・沈線磨消/橙色粒	加曾利E III	
第15図-143		深鉢/口縁部	無文帯/白色粒	加曾利	
第15図-144		深鉢/口縁部	無文帯/小粒砂多	加曾利	
第15図-145		深鉢/胴部	横位LR・沈線懸垂文/中粒砂中	加曾利 II	
第15図-146		深鉢/胴部	横位LR・沈線懸垂文/中粒砂中	加曾利 II	
第15図-147		深鉢/胴部	縦位LR・沈線懸垂文	加曾利 II	
第15図-148		深鉢/胴部	横位LR・沈線懸垂/橙色粒砂	加曾利 II	
第15図-149		深鉢/胴部	縦位LR・沈線懸垂文	加曾利 II	
第15図-150		深鉢/胴部	横位RL・沈線区画・磨消/小粒砂	加曾利 III	
第15図-151		深鉢/口縁部	櫛歯状工具/中粒砂中	加曾利	
第15図-152		深鉢/口縁部	縦位櫛歯状工具/微白色粒砂中	加曾利	
第15図-153		深鉢/胴部	斜位櫛歯状工具・沈線区画/砂粒多	加曾利	
第15図-154		深鉢/口頸部	地文櫛歯状工具・貼付隆帯上刺突/砂粒中	曾利系	
第15図-155		深鉢/底部直上	櫛歯状工具/粗粒砂多	曾利系	
第15図-156		深鉢/胴部	櫛歯状工具・刺突	曾利系	
第15図-157		深鉢/胴部	横位LR・沈線区画/長石・小粒砂	加曾利 III	
第15図-158		P11	深鉢/口縁部	縦位Lr	黒浜
第15図-159		P12	深鉢/頸胴部	縦位6本歯櫛状工具・頸部貼付隆帯上に交互刺突・せり上げ懸垂・頸部上斜位櫛歯/粗粒砂多	曾利系
第15図-160			深鉢/胴部	無文帯/内外面磨き/白色粒多	後期
第15図-161		遺構外	深鉢/口縁部	縦位RL/微白色粒	黒浜
第15図-162			深鉢/口縁部	沈線渦巻文/細白色粒	加曾利E II
第15図-163			深鉢/胴部	横沈線で区画・縦位櫛歯・S字沈線懸垂文/砂粒多	曾利系
第15図-164			深鉢/口縁部	沈線下縦位細LR/粗粒砂	堀之内

第10表 ハケ遺跡第24地点出土石器観察表 (単位 cm・g)

図版番号	種別/器形	長さ	幅	厚さ	重量	石材/推定生産地	残存/備考
第13図-72	小型打製石斧	6.28	4.05	2.16	73.40	ホルンフェルス	撥型/完形
第13図-73	小型打製石斧	6.51	4.73	1.98	70.77	ホルンフェルス	丸みのある撥型/完形
第13図-74	小型打製石斧	6.64	3.99	1.88	61.93	細粒砂岩	自然面を残す/刃部欠損
第13図-75	打製石斧	6.82	3.45	1.62	48.98	粗粒砂岩	刃部欠損
第13図-76	小型打製石斧	7.93	3.99	2.45	139.85	緑泥片岩	短冊型、側面に自然面
第13図-77	打製石斧	7.91	4.93	3.54	201.60	安山岩	敲打による成形
第13図-78	打製石斧	9.45	4.26	1.16	62.46	頁岩	横長素材剥片を使用、自然面を残し、左側面陵上は刃潰し様の加工、横刃型石器か/完形
第13図-79	打製石斧	8.73	5.56	2.09	125.46	細粒砂岩	撥型/完形
第13図-80	打製石斧	9.32	6.07	3.31	192.59	礫岩	ややくびれる撥型/基部・刃部欠損
第13図-81	打製石斧	8.01	7.19	2.93	217.51	中粒砂岩	撥型/基部・刃部欠損
第13図-82	打製石斧	10.45	5.64	1.47	114.20	ホルンフェルス	刃部欠損
第13図-83	打製石斧	10.06	5.25	2.21	152.35	緑泥片岩	基部欠損
第13図-84	打製石斧	6.06	4.32	1.89	68.15	中粒砂岩	くびれの弱い分銅型/刃部欠損
第13図-85	打製石斧	11.54	7.48	2.09	201.29	粗粒砂岩	分銅型、刃部には摩滅が見られる/完形
第14図-86	打製石斧	8.78	7.40	2.27	145.02	中粒砂岩	分銅型、刃部には摩滅が見られる/完形
第14図-87	打製石斧	7.57	7.00	2.66	192.20	ホルンフェルス	側面に自然面を残す/下半欠損
第14図-88	打製石斧	7.14	5.76	1.62	94.32	中粒砂岩	下半欠損
第14図-89	打製石斧	9.42	7.08	4.09	349.36	ホルンフェルス	完形か
第14図-90	磨製石斧	12.43	4.70	2.33	217.46	輝緑凝灰岩	刃部の左側に使用による剥離が集中する、敲打痕が表裏・側面の上部に見られる
第14図-91	磨製石斧?	6.19	3.84	1.80	79.40	凝灰岩?	表裏面磨製、側面敲打痕/刃部欠損
第14図-92	敲石	10.06	2.69	2.65	117.76	緑色岩	端部・側面に敲打痕/一部残存
第14図-93	敲石	11.50	3.09	2.62	125.86	細粒砂岩	上下端部に敲打痕/一部欠損
第14図-94	凹石	10.23	9.83	2.18	352.28	緑泥片岩	完形か
第14図-95	凹石	7.60	6.69	1.27	83.72	結晶片岩	一部残存
第14図-96	磨石	7.28	7.87	3.28	262.52	花崗岩	側面以外平滑/2分の1残存
第14図-97	磨石・凹石	6.60	6.34	3.76	253.49	花崗岩	表裏中央に凹み、側面以外平滑/2分の1残存
第14図-98	磨石・凹石	4.07	8.65	4.25	234.14	花崗岩	表裏に凹み、側面以外平滑/被熱し一部黒色化/3分の1残存
第14図-99	磨石・凹石	7.80	7.22	3.67	310.18	花崗岩	表裏に凹み、側面以外やや平滑/6分の1残存
第14図-100	磨石	7.17	8.50	4.65	371.86	安山岩	接合/全面平滑/2分の1残存
第14図-101	磨石	10.43	4.61	3.99	205.75	花崗岩	裏面のみ平滑/4分の1残存
第14図-102	石核	5.41	6.09	4.37	226.13	頁岩	縦長の剥離

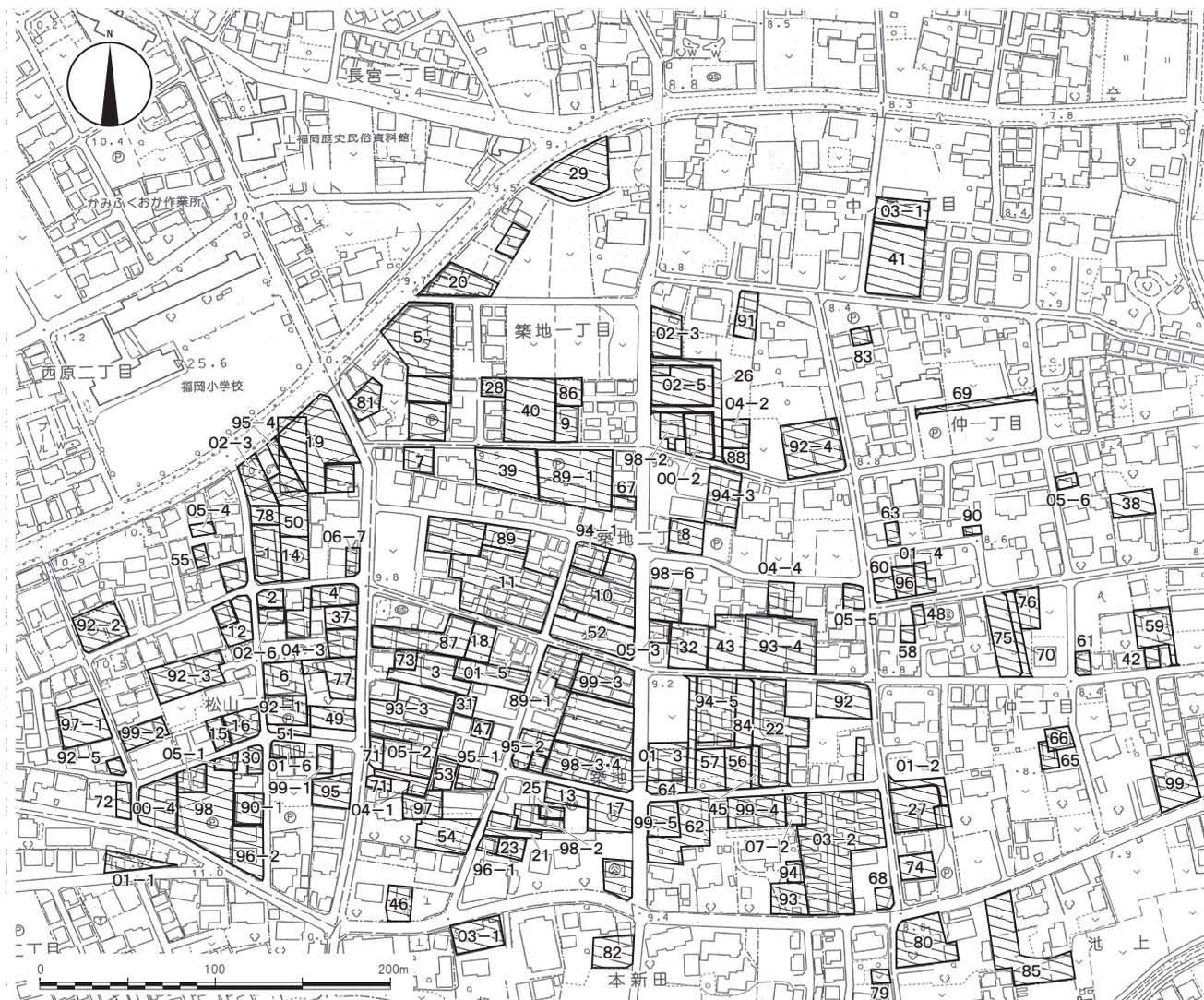
第3章 松山遺跡第99地点の調査

I 遺跡の立地と環境

松山遺跡は、亀居遺跡の南西側を水源とする福岡江川の左岸に位置し、緩やかな武蔵野段丘（M3面）に立地する。江川の水源地は出頭と呼ばれ豊富な地下水が湧出した。背後、とりわけ水源西側の平地林の開拓が進むにつれて水流は細くなり、特に三芳町上富の多福寺の山林大伐採があってからは江川の水量が大きく減退した。江戸時代後半には川幅15間というから27mを擁し、新河岸川の合流点から駒林まで舟運で肥料や荷物を運んだ。江川までの距離は南へ約200m。標高10～11mの範囲にあり、周辺は平坦な地であるが、遺跡から東の地形は緩やかに傾斜し、500mはなれた地点で標高7mの水田面に移行する。遺跡の主体時期は奈良時代から平安時代を経て主に平安時代に営まれた集落跡である。周辺の遺跡は、すぐ北側に縄文時代

早期～後期、飛鳥時代および中近世にわたる長宮遺跡がひろがり、西方350m前後に比高差約9mの段差をもつ武蔵野台地の南東崖面には、松山・長宮遺跡に居住した人々が造営したと推察される富士見台横穴墓群が望まれる。南東に位置する仲三丁目の水天宮の南側には赤沼と呼ばれた湧水池が存在した。1965年頃には枯渇したというが、農業用水として貴重な水源であったという。

1978年の宅地造成に伴う緊急調査で奈良時代の住居が確認されたのを皮切りに本地点で99ヶ所目の調査が行われている。遺跡の範囲は東西240m、南北210m程度のひろがりをもつと考えられ、主たる時代と遺構は長宮遺跡と接した北よりに飛鳥時代の住居跡が、中央部に奈良～平安時代の住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡、中近世以降の溝・井戸跡などが確認されている。



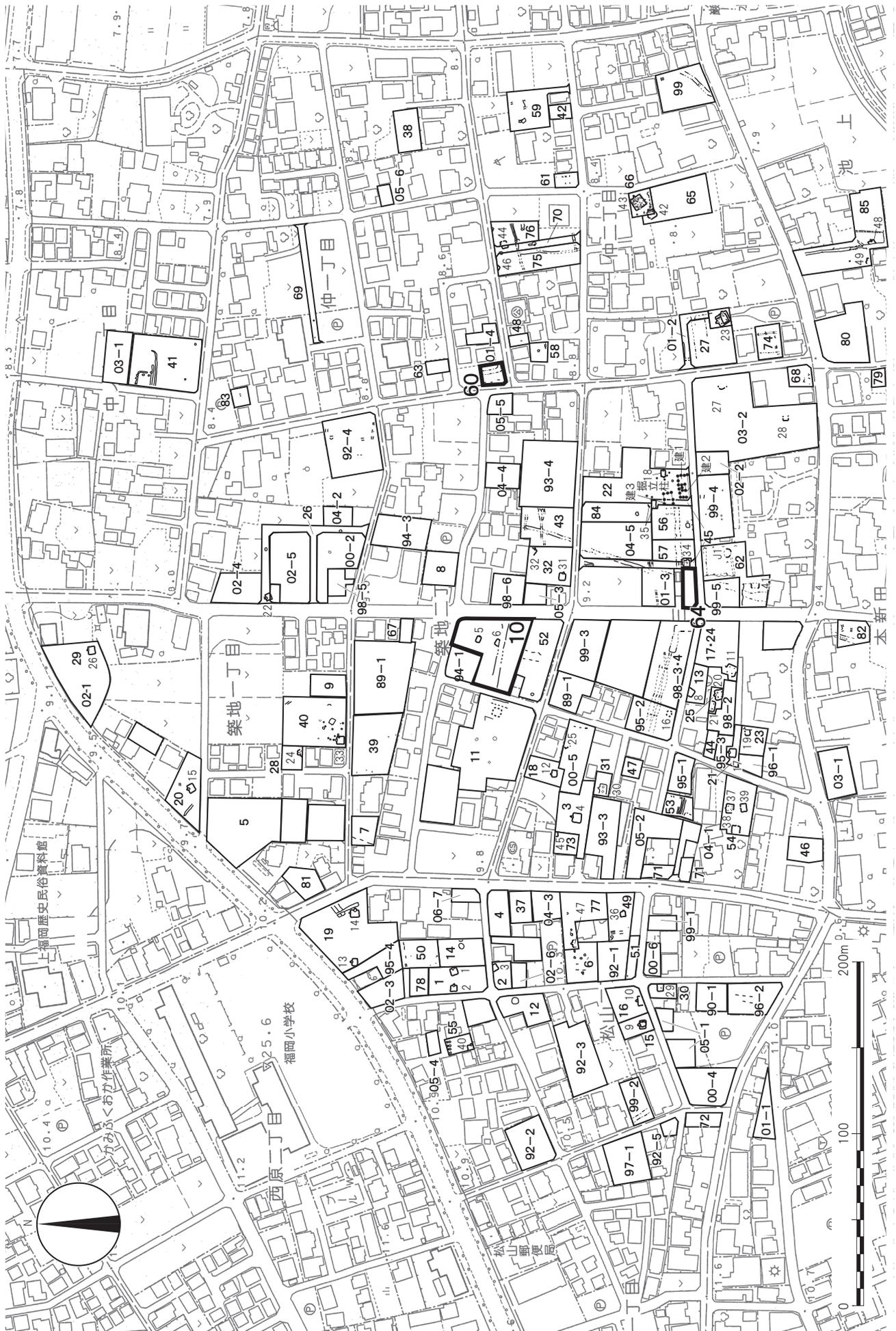
第16図 松山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第11表 松山遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1次	松山2-5-4	1978.10.14~11.6	479		住居跡2	埋(I)
2次	松山2-6-7	1979.4.26~5.1	161		住居跡1、土師器	埋(II)
3次	築地3-1-20	1979.8.7~16	733		住居跡1、土器	埋(II)
4次	松山2-6-9	1982.9.13~24	277		遺構なし、平安土器	埋(V)
5次	築地1-1-16	1983.4.20~28	1,461	住宅建設	なし	埋(VI)
6次	松山2-6-16	1984.8.13~28	330	住宅建設	溝1、土坑5	埋(VII)
7次	築地2-3-19	1986.1.13~21	237	個人住宅	溝1	埋(VIII)
8次	築地2-4-12	1986.7.1~8	319	個人資材置場	平安土器散布他	埋(IX)
9次	築地1-1-50	1987.10.1~3	288	個人住宅	なし	埋(X)
88試	築地3-3-4	(1989.1.9~10)	370	住宅建設	なし	埋(11)
89試	築地2-3-11	(1989.6.27~30)	1,342	共同住宅	なし	埋(12)
90試	松山2-2-9	(1990.9.7~12)	304	個人住宅	なし	埋(13)
10次	築地2-2-6	1991.10.14~18	450	個人住宅	平安住居跡(国分期)2、溝1	埋(14)
11次	築地2-1-10	1991.10.18~21	2,029	宅地造成	平安住居跡(国分期)1、溝1、土坑2、井戸状遺構1	埋(14)
92試(1)	松山2-6-22、23	(1992.4.17~24)	567	駐車場	なし	埋(15)
92試(2)	松山2-4-7	(1992.5.6~11)	571	駐車場	なし	埋(15)
12次	松山2-3-11	1992.5.12~20	393	宅地造成	平安井戸跡1	埋(15)
13次	築地3-2-18	1992.5.18~30	234	宅地造成	平安住居跡1	埋(15)
14次	松山2-5-17	(1992.5.21~30)	432	宅地造成	中世井戸跡2	埋(15)
92試(3)	松山2-3-31、13	(1992.6.12~18)	871.9	宅地造成	なし	埋(15)
92試(4)	築地1-3-17	(1992.6.3~11)	998	共同住宅	溝遺構、井戸状遺構	埋(15)
92試(5)	松山1-4-32	(1992.10.30)	78.4	共同住宅	なし	埋(15)
93試(1)	松山2-3-1	(1993.4.5~16)	509.19	宅地造成	なし	埋(16)
15次	松山2-3-41	1993.4.19~28	148	個人住宅	平安住居跡1	埋(16)
17次	築地3-2-19	1993.5.10~24	597	駐車場	古墳末期住居跡1	埋(16)
16次	松山2-3-43、44	1993.7.2~15	156.76	個人住宅	平安住居跡1	埋(16)
93試(3)	築地1-1-17、31	(1993.10.15~20)	994.22	共同住宅	なし	埋(16)
93試(4)	築地2-5-2の一部	(1993.10.22~26)	1,246.63	共同住宅	なし	埋(16)
18次	築地3-1-16	1993.12.1~7	290	駐車場	奈良末~平安住居跡1	5年教要
19次	松山2-5-9	1994.1.17~2.3	1,531.38	貸店舗	平安住居跡2、溝跡1	上遺調3集 松山遺跡第 19次調査概報
94試(1)	築地2-2-3	(1994.5.30)	310.48	分譲住宅	なし	埋(17)
20次	築地1-2-4	1994.6.24~7.1	559.17	共同住宅	古墳末期竪穴住居跡1、土師器、須恵器破片	埋(17)、 上遺調5集
94試(3)	築地2-4-7	(1994.8.3~12)	532.36	宅地造成	なし	埋(17)
95試(1)	築地3-1-9、10	(1995.5.10~19)	303	宅地造成	なし	埋(18)
95試(2)	築地3-3-2	(1995.5.22~6.15)	542	宅地造成	古墳末期住居跡1	埋(18)
95試(3)	築地3-2-23	(1995.10.17~20)	153.25	個人住宅	なし	埋(18)
21次	築地3-2-23	1995.10.17~20	378.53	市道敷設	古墳末期住居跡1	埋(18)
95試(4)	松山2-5-8、16	(1995.12.22)	413	宅地造成	なし	埋(18)
96試(2)	松山2-2-1	(1996.7.22~24)	489	宅地造成	溝1(時期不明)	埋(19)
97試(1)	松山1-4-17	(1997.9.11~18)	591	個人住宅	なし	埋(20)
22次	築地3-4-15、23	1997.12.15~24	419	個人住宅	平安初頭住居跡1、奈良末期掘立柱建物3、縄文集石土坑7、土師器、須恵器、縄文土器、墨書土器1	埋(20)
98試(1)	築地3-2-13、24	(1998.4.16)	240	宅地造成	23次調査参照	埋(21)
98試(2)	築地3-2-23外2筆	(1998.4.17、5.20~22)	450	宅地造成	なし	埋(21)
98試(3,4)	築地3-3-1	(1998.4.20~5.20)	922	宅地造成	中近世溝1他	埋(21)
23次	築地3-2-24の一部	1998.5.11~14	120	個人住宅	奈良後半住居跡1	埋(21)
98試(5)	築地1-3-18	(1998.7.1)	167.06	個人住宅	なし	埋(21)
24次	築地3-2-4の一部	1998.9.8~21	50	農地改良	飛鳥住居跡1	埋(21)
98試(6)	築地2-5-6	(1998.9.1~4)	363	個人住宅	なし	埋(21)
25次	築地3-2-23外2筆	1999.3.3~12	240	個人住宅	奈良初頭住居跡2	埋(21)
99試(1)	松山2-1-10	(1999.4.16)	166	個人住宅	なし	埋(22)
99試(2)	松山2-3-3	(1999.5.6~12)	340	宅地造成	溝1(時期不明)	埋(22)
99試(3)	築地3-3-14、15	(1999.6.22~24)	778.29	宅地造成(分譲)	なし	埋(22)
99試(4)	築地3-5-15の一部、24、27	(1999.8.2~6)	745.58	宅地造成(分譲)	ビット5	埋(22)
99試(5)	築地3-5-28	(1999.8.26~9.1)	331.3	個人住宅	溝1(時期不明)	埋(22)
26次	築地1-3-21	2000.5.15~6.2(2000.4.27~5.12)	627.9	市道設置	井戸2、竪穴住居跡1、土師器、須恵器、陶磁器片	埋(23)
00試(2)	築地1-3-5、25、27、35	(2000.5.17~25)	687.3	共同住宅	土坑1	埋(23)
27次	仲2-1-10の一部	2000.6.12~7.3(2000.5.22~6.8)	912	共同住宅建設及び市道設置	奈良竪穴住居跡1、土師器、須恵器、陶磁器片	埋(23)
00試(4)	松山2-2-5	(2000.10.30)	592	共同住宅	なし	埋(23)
28次	築地1-1-28	2001.2.8~21	165.6	個人住宅	奈良住居跡1	埋(23)
00試(5)	築地3-1-28	(2001.2.2~13)	614	宅地造成(分譲)	飛鳥~奈良住居跡1	埋(23)
00試(6)	松山2-1-8、17	(2001.3.21)	174.9	個人住宅	なし	埋(24)
01試(1)	新田2-450-1	(2001.4.12~13)	204.15	個人住宅	なし	埋(24)
01試(2)	仲2-1-10	(2001.5~18)	168	地区計画道路	近代以降溝3	埋(24)
01試(3)	築地3-4-10	(2001.5.10~15)	434.59	共同住宅	なし	埋(24)
01試(4)	仲1-1-2、3、14	(2001.9.12)	694.68	個人住宅	なし	埋(24)
02試(1)	築地1-2-8	(2002.5.20~23)	978	遺構所在確認	竪穴住居跡1	埋(25)
02試(2)	築地3-5-35、36	(2002.7.11)	248.09	宅地造成(分譲)	なし	埋(25)
29次	築地1-2-8の一部	2002.7.2~8.9	36	個人住宅	竪穴住居跡1	埋(25)
02試(3)	松山2-5-7	(2002.8.5)	358.57	宅地造成(分譲)	なし	埋(25)
02試(4)	築地1-3-28	(2002.8.20~21)	479	共同住宅	なし	埋(25)
02試(5)	築地1-3-22、25、30	(2002.8.22~28)	640.68	遺構所在確認	竪穴住居跡1【盛土保存】	埋(25)
02試(6)	松山2-6-5	(2002.9.9)	147	個人住宅	なし	埋(25)
03試(1)	本新田1-23	(2003.4.16~21)	1,080.48	共同住宅	なし	埋(26)
03試(2)	築地3-5-3他6筆	(2003.8.19~20)	2,578.02	宅地造成	飛鳥竪穴住居跡2【盛土保存】	埋(26)
30次	松山2-2-3	2003.10.3~10	142.47	個人住宅	奈良竪穴住居跡1【調査実施】	埋(26)
04試(1)	築地3-1-16、32	(2004.4.22~23)	976	宅地造成	なし	埋(27)
04試(2)	築地1-3-37	(2004.4.26)	165	個人住宅	なし	埋(27)
04試(3)	松山2-6-11	(2004.6.16)	309	宅地造成	なし	埋(27)
04試(4)	築地2-5-14、25、27	(2004.8.5)	280	個人住宅	なし	埋(27)
04試(5)	築地3-4-12	(2004.9.6~8)	911	宅地造成	溝1	埋(27)
05試(1)	松山2-2-4の一部	(2005.4.6~7)	313	土地分譲	遺構遺物なし	市内1
05試(2)	築地3-1-32、34、43	(2005.4.19~21)	549	土地分譲	遺構遺物なし	市内1
05試(3)	築地2-5-32	(2005.4.28)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
31次	築地3-1-69	2005.6.14~23(2005.6.9~13)	120	個人住宅	古墳時代住居跡1	市内1

地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
05試(8)	築地2-5-3	(2005.8.30～9.13)	567	宅地造成	平安時代住居跡1	市内1
32次	築地2-5-3の一部	(2005.8.30～9.7)2005.9.8～13	132	個人住宅	平安時代住居跡2	市内1
05試(5)	築地2-5-36	(2005.10.31)	125	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
05試(4)	松山2-4-23	(2005.10.20～21)	161	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
05試(6)	仲1-4-26	(2005.11.14)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
05試(7)	松山2-5-21	(2006.2.28)	100	個人住宅	遺構遺物なし	市内2
37	松山2-6-10、13	(2006.4.13)	228	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
38	仲1-4-3、9、12、13、24	(2006.5.29)	2,176	宅地造成	遺構遺物なし	市内3
39	築地2-3-10	(2007.1.10～20)	937	宅地造成	遺構遺物なし	市内3
40	築地1-1-5	(2007.2.2～8)2007.2.21～3.9	1,047	宅地造成	奈良時代住居跡1、中世遺構検出	市内3
41	中ノ島1-2-5	(2007.2.7～9)2007.2.21～3.5	1,281	宅地造成	中世遺構遺物検出	市内3
42	仲2-3-15	(2007.2.13)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
43	築地2-5-2	(2007.4.11～24)	668.13	分譲住宅	堀跡1、土坑1、旧石器ナイフ1点	市内4
44	築地2-3-10、14	(2008.6.9～11)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内6
45	築地3-4-7の一部外	(2008.9.4～30)2008.10.1～23	390	道路	奈良平安時代住居跡2、掘立柱建物跡2、竪穴状遺構1、時期不明の溝10、土坑、ビット	市内6
46	築地3-1-33、35の一部	(2009.2.17)	309	個人住宅	遺構遺物なし	市内6
47	築地3-1-52	(2009.5.11～12)	121	個人住宅	ビット	市内8
48	仲2-2-34	(2009.7.1)	67	個人住宅	遺構遺物なし	市内8
49	松山2-6-1、14、22の一部	(2009.10.17～22)2009.10.27～11.18	449	宅地造成	平安時代住居跡1(住居内鍛冶炉検出)、土坑1、溝1、ビット1	市内8
50	松山2-5-3、17	(2009.11.27～12.1)	797	分譲住宅	溝1、ビット7	市内8
51	松山2-6-22、23、28の一部	(2010.5.10～13)	360	分譲住宅	遺構遺物なし	市内10
52	築地2-2-1	(2010.8.26～9.3)	694	分譲住宅	溝1、落とし穴1、工事立会	市内10
53	築地3-1-11	(2010.9.10～21)	205	個人住宅	近代以降の溝3、アナグラ、慎重工事	市内10
54	築地3-1-6、76～83	(2010.9.21～10.1)2010.10.4～11.5	539.51	宅地造成	奈良平安時代住居跡3確認、西側の住居は盛土保存、他2は本調査	市内9
55	松山2-4-24の一部	(2011.1.17)2011.1.18～31	226.37	個人住宅	奈良平安時代住居跡1、掘立柱建物跡1、本調査	市内10
56	築地3-4-7、8の一部	(2011.4.4～14)2011.4.11～15	482.53	共同住宅	奈良平安時代掘立柱建物跡2他、本調査(一部工事立会)	市内11
57	築地3-4-47	(2011.4.4～15)	241	分譲住宅	隣接する45地点から続くH34号住居跡と溝、遺物なし	市内14
58	仲2-2-31	(2011.6.6～8)2011.6.14	114.54	個人住宅	井戸1、溝1、ビット1、本調査	市内14
59	仲2-3-6、9	(2011.8.8～9)2011.8.10～11	559.7	個人住宅	土坑2、溝3、縄文土器、須恵器、本調査	市内14
60	仲1-1-15	(2012.3.26～27)	165.31	個人住宅	堀跡1、溝1、陶磁器、焙烙、工事立会	市内14
61	仲2-3-3	(2012.4.16～19)	113	個人住宅	溝1、土坑3、陶磁器	市内15
62	築地3-5-11、14、19	(2012.6.11～21)2012.7.23～8.1	842	分譲住宅	縄文時代住居跡1、奈良平安時代住居跡1、溝6、縄文土器、銭貨、他	市内12
63	仲1-1-55、56、57	(2012.6.5)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内15
64	築地3-4-9	(2012.6.7～15)	314	分譲住宅	溝4、近世の土坑、陶磁器	市内15
65	仲2-1-25、36	(2013.2.13～18) 2013. 2.19～3.21	630	物置	奈良平安時代住居跡2、掘立柱建物跡3、土坑6、溝6、須恵器、旧石器	市内15
66	仲2-1-53、54		179	個人住宅		市内15
67	築地3-3-13	(2013.2.19)	91.97	個人住宅	遺構遺物なし	市内15
68	築地3-5-1	(2013.3.7～8)	166	個人住宅	井戸1、土坑1、ビット4、須恵器、土師器等	市内15
69	仲1-51、53、55	(2013.9.10～11)2013.9.12～17	298	道路	縄文時代集石土坑1、溝1	市内18
70	仲2-2-39、41	(2013.4.11～16)2013.4.17～23	220.41	道路	奈良平安時代住居跡1、中世以降井戸1、集石土坑1、溝2、須恵器、土師器、土錘、陶磁器	市内18
71	築地3-1-16、32、34	(2013.4.30～5.1)	240	分譲住宅	ビット1、古銭、陶器片1	市内18
72	松山1-4-1	(2013.5.24)	198.86	個人住宅	遺構遺物なし	市内18
73	築地3-1-56	(2013.8.19)2013.8.20	165	個人住宅	平安時代住居跡1、須恵器	市内18
74	仲2-1-37	(2013.12.24～26)	280.24	分譲住宅	井戸1、集石土坑1、溝2、土坑1、陶磁器	市内18
75	仲2-2-2、4	(2014.1.14～20)2014.8.5～11	606	分譲住宅	平安時代住居跡1、溝3、須恵器、土師器	市内18
76	仲2-2-48	(2014.1.22～28)2014.9.26～10.2	120	個人住宅	土坑1、井戸1、溝1、土器	市内18
	仲2-2-37(6区画)	(2014.1.22～28)2014.11.12～17	120	個人住宅	奈良時代住居跡1(70地点と同一)、土師器	市内18
	仲2-2-37	(2014.1.22～28)	362	宅地造成	奈良時代住居跡1(70地点と同一)、井戸2、溝2、土坑3、土師器、須恵器、中世陶器	市内18
77	松山2-6-2、3、12の各一部	(2014.3.3～12)2014.3.13～27	493	個人住宅	平安時代住居跡1、土坑3、土師器、須恵器	市内18
78	松山2-5-5	(2013.5.22)	242	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
79	本新田395-1の一部	(2014.8.5)	153	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
80	池上372	(2015.3.12)	1,183.4	個人住宅	遺構なし、土器、陶磁器	市内20
81	築地1-1-12	(2015.3.23)	247.49	分譲住宅	溝1、遺物なし	市内20
82	本新田411の一部	(2015.7.30～31)	194	個人住宅	溝1、堀1、土器片	市内22
83	仲1-2-22	(2015.8.31)	98	分譲住宅	溝1、土器片	市内22
84	築地3-4-13	(2015.9.15～16)	455	宅地造成	平安時代住居跡1、井戸1、縄文土器片、陶磁器	市内22
85	池上362-1の一部、364、365、366の一部	(2015.10.1～19)2015.10.20～26	1,244.47	分譲住宅	奈良平安時代住居跡2、屋外の焼土跡1、中近世以降の溝5、須恵器、土師器、陶磁器、鉄製品、石製品	市内19
86	築地1-1-4	(2016.7.5・7)	294	分譲住宅	溝1、陶磁器	未報告
87	築地3-1-21・22の一部、39、40、41、84	(2016.9.14)	427	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
88	築地1-3-36	(2016.10.13)	120	個人住宅	土坑1、ビット2、溝1、遺物なし	未報告
89	築地2-1-11、16	(2017.3.3～6)	287.04	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
90	仲1-1-37の一部	(2017.10.12)	120	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
91	築地1-3-8の一部	(2017.10.24)	416	個人住宅	溝(近世以降)5、陶磁器	未報告
92	築地3-4-3	(2017.10.31)	621	分譲住宅	土坑(時期不明)2、ビット(時期不明)1、縄文土器	未報告
93	築地3-5-72	(2017.11.27～28)	571.97	共同住宅	古代住居跡2、堀1、溝1、近世以降土坑2、土師器、須恵器、陶磁器	未報告
94	築地3-5-4	(2018.3.23)	57.12	作業場	古代住居跡1、時期不明ビット1、土師器、陶磁器	未報告
95	松山2-1-12	(2018.8.1～2・9.13)	353	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
96	仲1-1-34	(2018.8.20)	165.43	分譲住宅	溝1、陶磁器片、ガラス容器	未報告
97	築地3-1-5、7の各一部	(2018.10.30)	253	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
98	松山2-2-4	(2018.11.1)	1,291.34	店舗	遺構遺物なし	未報告
99	仲2-4-2	(2019.1.11～15)2019.1.21・22	673.35	分譲住宅	堀状遺構1、陶磁器、ガラス瓶	市内23

* 埋: 上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調: 上福岡市遺跡調査会報告書、教要: 上福岡市教育要覧、市内: ふじみ野市市内遺跡群報告書



第17図 松山遺跡遺構分布図 (1/3,000)

ちなみに、古代の住居跡はこれまでに52軒が調査されてきている。

本報告する堀状遺構は遺跡南東側の低地に近い所である。

II 調査に至る経過と概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2018年12月4日付けで「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南東部に位置する。原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2019年1月11日～15日まで試掘調査を実施した。幅約1.5～2mのトレンチ5本を設定し、重機による表土除去後人力による精査を行ったところ、堀状遺構1本を検出した。遺構確認面までの深さは40～60cmである。開発道路築造部分において遺跡への影響が避けられないため、原因者と再協議の結果、原因者負担による本調査を行った。

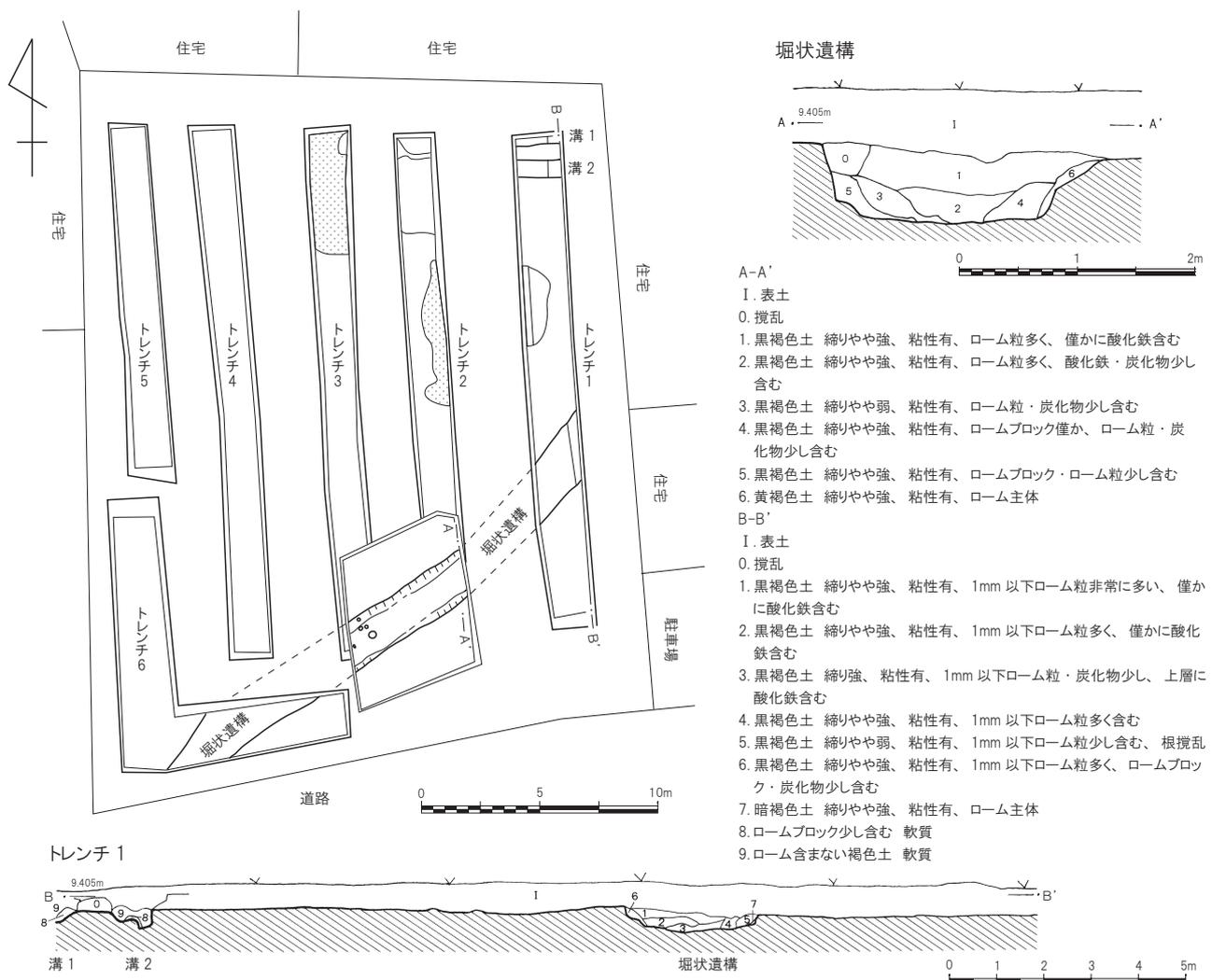
本調査は1月21日～22日に実施した。堀跡部分に調査区を設定し、重機による表土除去後人力で掘削を行った。調査の結果、堀状遺構1本とピット5基を検出した。

III 遺構と遺物

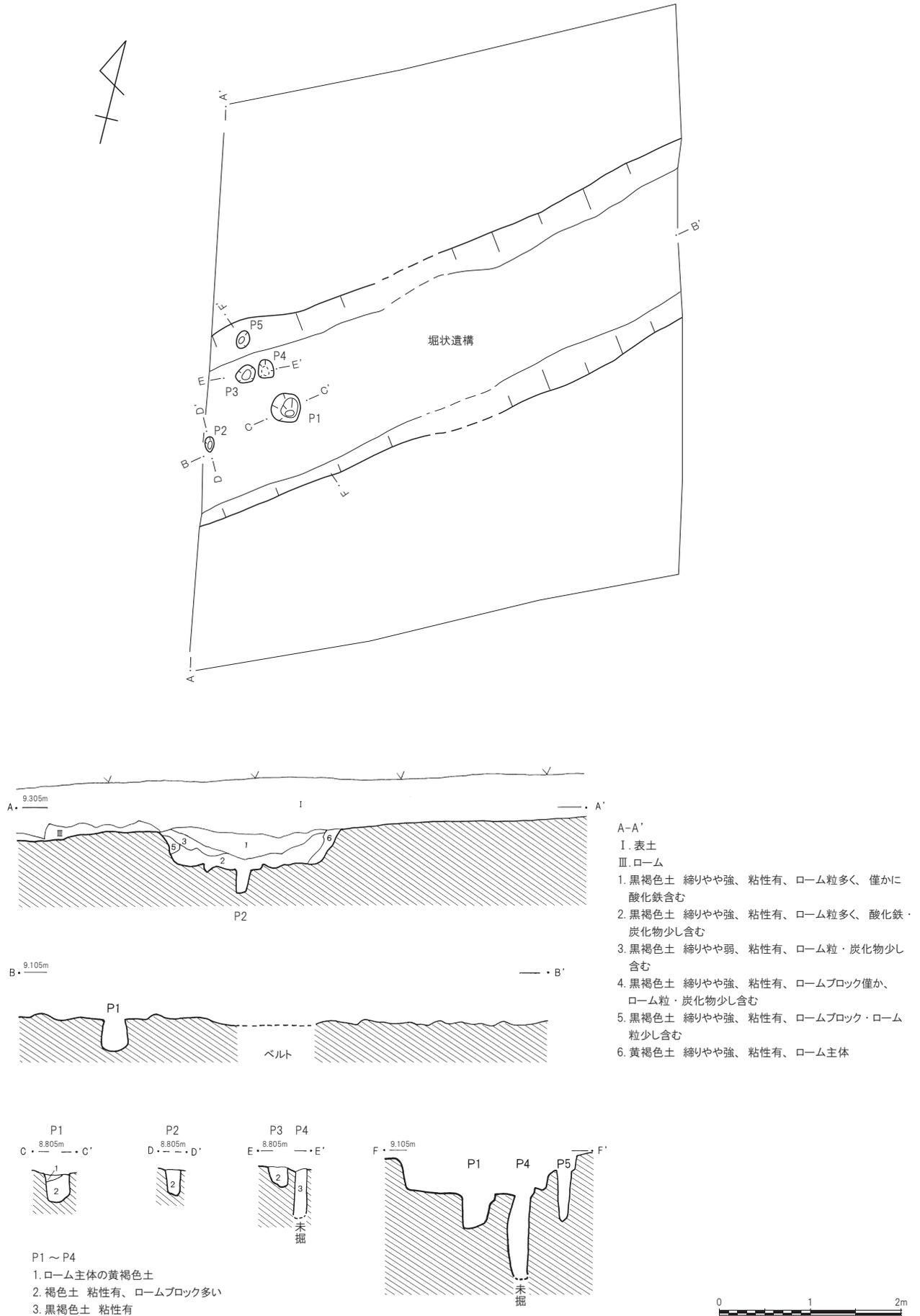
試掘調査と本調査で確認できた遺構は堀状遺構のみである。設定した最東トレンチ(トレンチ1)の北寄り側で、農業耕作関連のイモビツ的な掘り込みが確認できた程度で、遺構としては扱わない。他には現況建物の基礎部分と思われる攪乱や廃棄穴などが確認されたが、礫・ビニールを含む現代の攪乱が調査区北東部で目立った。

【堀状遺構】

規模から判断してここでは堀の名称を使用する。調査区の北東部から南西部にかけて、ほぼ直線に伸びる幅2mの黒色落ち込みを21mにわたって確認した。方位はN-57°-Eを指す。このうち本調査区は私道部



第18図 松山遺跡第99地点遺構配置図(1/300)、土層(1/60・1/150)



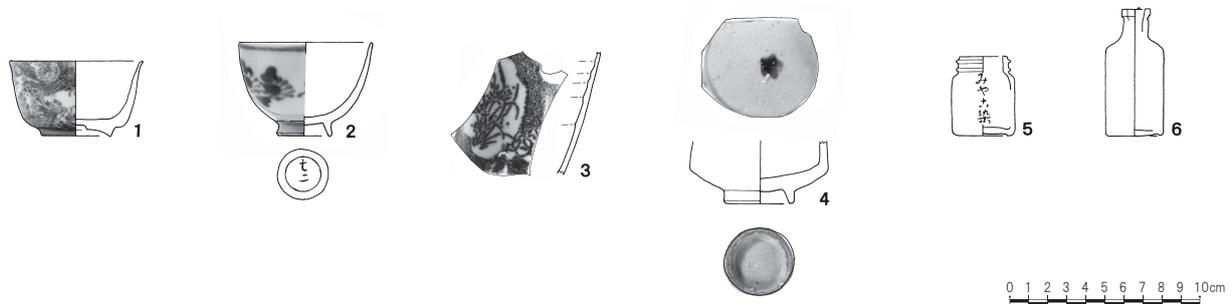
第 19 図 松山遺跡第 99 地点堀状遺構・ピット (1/60)

分にかかる長さ6mである。規模は上幅175～190cm、下幅110～140cm、確認面からの深さは最大で62cm。断面は逆台形状を呈する。底面は小起伏があり凹凸がはげしく、レヴェルは西から東に向かい若干下がる。覆土の全体色調は黒褐色を呈する。側壁からのロームの流れ込みは北側で多い。覆土の特徴として暗赤褐色の酸化鉄成分を含むことである。特に覆土の中央部に顕著に確認された。また、小ピットを調査区西側で集中して5基確認した。ピット内覆土は締まりなく粘性強い。滞水名残か。

第12表 松山遺跡第99地点掘状遺構内ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	隅丸方形	36×30	10×6	35	
2	楕円形	15×10	10×5	28	
3	隅丸方形	20×17	12×8	21	
4	隅丸方形	20×15	—	未掘	
5	隅丸方形	20×15	8×5	55	

※P4は未掘。100cmまで掘り上げたが下部は深すぎて底に到達できない。



第20図 松山遺跡第99地点出土遺物 (1/4)

第13表 松山遺跡第99地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	技法・文様他	備考
第20図-1	3トレンチ内	磁器・小坏	7.0	3.6	4.0	62.6	轆轤成形／銅版絵付／外面屋敷花鳥文、高台内無釉	
第20図-2	3トレンチ内	磁器・小坏	7.0	2.6	5.0	55.4	轆轤成形／染付／草花文／畳付無釉	底裏銘「七二」
第20図-3	3トレンチ内	磁器・爛徳利	—	—	—	13.8	轆轤成形／型紙絵付、内面無釉	瀬戸・美濃
第20図-4	堀状遺構	磁器・碗	—	3.7	—	54.4	轆轤成形／染付／見込二重圈線・花卉文／畳付無釉	
第20図-5	3トレンチ内	ガラス製品・瓶 (染料)	2.7	3.0	4.2	31.0	型吹成形 (割型・前後合せ)／無色・透明、気泡有 ／「みや古染」陽刻胴部	完形：スクリーキャップタイプ
第20図-6	2トレンチ内	ガラス製品・瓶・(薬瓶?)	1.6	3.0	6.7	33.2	型吹成形 (割型・前後合せ)／緑色・透明、気泡有	完形：コルク栓

第4章 駒林遺跡第35地点の調査

I 遺跡の立地と環境

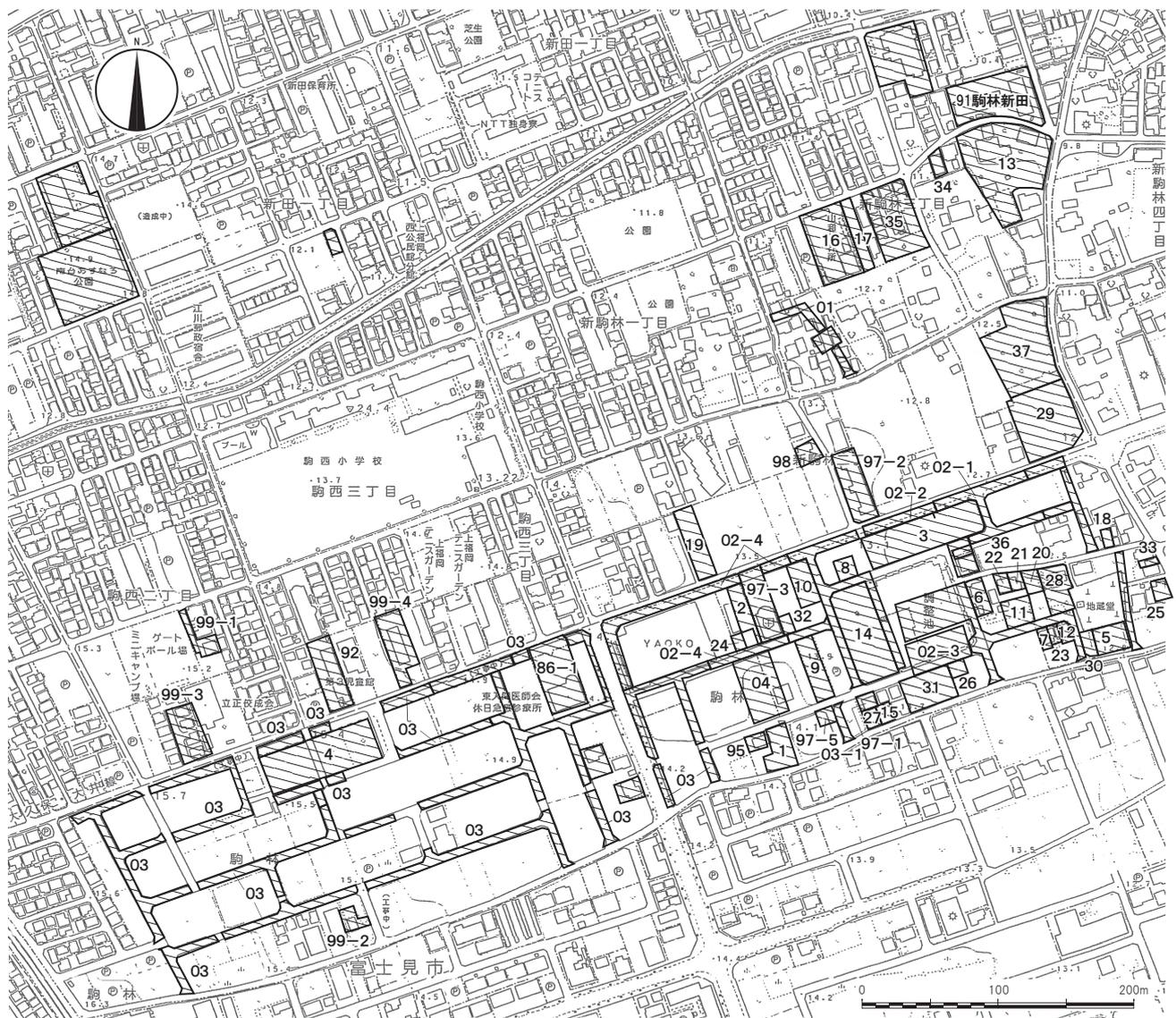
駒林遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の右岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地し、標高12～15m前後の平坦地を形成する。もともと遺跡の範囲は南北300m、東西800mの範囲であったが、2002年～2004年に行った駒林土地区画整理事業に伴う試掘調査の結果、大溝を検出した南北160m、東西80mの範囲に遺跡を縮小し、さらに地下式坑を検出した周辺を駒林新田前遺跡として独立させ、新たな包蔵地として2004年3月に追加した。しかし、第3地点で検出した溝と過去の試掘調査で検出した溝の配置を再検討した結果、一辺140～160mの台形区画に溝が巡る事が明らかとなり、2008年2月に再び遺跡範囲の変更増補を行い、北側の葺石と板

碑を検出した駒林中世墳墓と東側の地下式坑を検出した駒林新田前遺跡を統合した。区画整理後は開発が進み、宅地と商業地に変貌を遂げ、部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は500m下流に福岡新田遺跡、南側にも地下式坑を検出した富士見市の稲荷久保北遺跡がある。2002年以降の試掘調査の結果、幅5m、深さ2mの大溝や茶毘跡、縄文時代の集石土坑等を検出する。

II 調査に至る経過と概要

調査は宅地造成に伴うもので、原因者より2017年6月26日付けて「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置する。原因者と協議の結果、遺



第21図 駒林遺跡の地形と調査区(1/5,000)

第14表 駒林遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()は 試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
86-1	駒林字南原353・354	1986.13~25	1,536	範囲確認	溝、土師器	埋文(IX)
91駒林 新田	駒林新田727-1-3	1991.8.3	2,186	共同住宅	遺構遺物なし	埋文(14)
92	駒林字南原341	1992.9.16~18	987.6	共同住宅	遺構遺物なし	埋文(15)
95	駒林字新田前271-2	1995.11.8~24	231	個人住宅	溝1、遺物なし	埋文(18)
96	駒林本町153-3・4	1996.6.10~13	231	個人住宅	遺構遺物なし	埋文(19)
97-1	駒林新田前266-2	1997.5.8~12	132	個人住宅	溝1、遺物なし	埋文(20)
97-2	駒林字新田前223	1997.5.9~15	991.55	共同住宅	溝1、遺物なしビット1、須恵器片	埋文(20)
97-3	駒林字新田前291-1・2	1997.10.6~17	991	診療所	溝1、壘、すり鉢片	埋文(20)
98	駒林字新田前312	1998.8.10	234	個人住宅	遺構なし、陶磁器片	埋文(21)
99-1	駒林字南原424-2・20の一部、23	1999.4.9	330.38	個人住宅	遺構遺物なし	埋文(22)
99-2	駒林字南原394-2	1999.5.25	125.91	個人住宅	遺構なし、陶磁器片	埋文(22)
99-3	駒林字南原420-1	1999.7.1	1,322	礼拝堂	溝1、遺物なし	埋文(22)
99-4	駒林字南原344-2	2000.1.18~20	785.79	共同住宅	溝1、遺物なし	埋文(22)
01	駒林702・717の一部	2001.8.27~9.5	300	宅地造成	遺構なし、板碑片	埋文(25)
02-1	駒林字新田前238、240~242の一部	2002.6.3~21	650	区画整理予定地	溝1、遺物なし	埋文(25)
02-2	駒林字新田前243~245	2002.8.9~30	275	区画整理予定地	溝1、遺物なし	埋文(25)
02-3	駒林字新田前261-2、263、264の一部	2002.8.30~9.19	1,120	区画整理予定地	土坑1、遺物なし	埋文(25)
02-4	駒林字新田前280~282-2、290、292-1~298	2002.11.11~27	1,150	区画整理予定地	溝4、遺物なし	埋文(25)
03-1	駒林字南原364外43筆	2003.4.25~12.22	7,278.5	土地区画整理	溝3、遺物なし	埋文(26)
03-2	駒林字新田前263、273、275	2003.5.16~21	558	土地区画整理	溝1、遺物なし	埋文(26)
04	駒林字新田前281	2005.1.7~24	1,487	範囲確認	溝1、カワラケ、動物の歯、骨	埋文(27)
1	駒林土地区画整理事業地内20街区4・8・9	2006.7.13~28	646	共同住宅	堀跡、茶毘跡検出	市内3
2	駒林土地区画整理事業地内17街区7・8の一部	2006.11.21~29	421	専用住宅	堀跡検出	市内3
3	駒林土地区画整理事業地内21街区3・4の一部	2006.11.30~12.18	1,916	店舗	近世遺構建設	市内3
4	駒林B地区7街区3・4	2007.6.11~13	1,866	共同住宅	縄文：土坑1	市内4
5	大字駒林字新田前256(仮換地指定30街区2)	(2008.4.9~16) 2008.5.30~6.28	509	分譲住宅	縄文：集石3、中近世：地下式坑1、竪穴状遺構25、溝4、柵列、ビット	市内5・6
6	大字駒林字新田前248-2(仮換地1街区27符号1)	(2008.8.27)	257	個人住宅	遺構遺物なし	市内6
7	駒林土地区画整理事業地内28街区5画地	(2009.2.3) 2009.2.4・5	152	個人住宅	時期不詳の堀・溝跡2	市内6
8	大字駒林字新田前245-5	(2009.6.8)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内8
9	大字駒林字新田前284	(2009.7.22~30) 2009.7.30~8.5	892	共同住宅	縄文：集石土坑1、土坑2、ビット9、溝1	市内8
10	大字駒林字新田前288-1の一部	(2010.2.17・18)	400	個人住宅	遺構遺物なし	市内8
11	駒林区画整理事業27街区2、10画地、11画地の一部	(2010.4.12~21)	689.45	個人住宅	遺構遺物なし	市内10
12	駒林字新田前258-2(28街区12画地)	(2010.7.14)	115	個人住宅	中世~近世：溝確認	市内10
13	新駒林3-722-1・3・4	(2010.7.27~29)	927	共同住宅	近世の土坑2、ビット11	市内10
14	駒林字新田前285~287、288-2・3(22街区区)	(2010.9.1~8)	2,000	公園工事	遺構遺物なし	市内10
15	大字駒林字新田前266-3(24街区12符号)	(2011.2.16・17) 2011.2.17	115	個人住宅	時期不詳の土坑1	市内10
16	新駒林3-706	(2011.5.2~25) 2011.5.25~6.1	1,454	分譲住宅	堀、溝1、井戸2、土坑2、ビット4、縄文土器片、近世陶磁器	市内14
17	新駒林3-707	(2011.5.16~19)	495	分譲住宅		
18	駒林234-2、238-2(仮換地)、31-4・5	(2011.4.28~5.2) 2011.8.25~31	238	個人住宅	土坑2、近世陶磁器類破片	市内14
19	新駒林2-305-1	(2011.11.28~12.5) 2011.12.12	671	分譲住宅	中・近世の溝1、縄文土器	市内14
20	駒林元町1-3-13	(2012.3.5~8)	178.8	共同住宅	土坑1	市内14
21	駒林元町1-3-13の一部	(2012.3.5~8)	110	個人住宅	ビット6、倒木痕1	市内14
22	駒林元町1-3-20	(2012.3.5~8)	118	個人住宅	遺構遺物なし	市内14
23	駒林元町一丁目4番12	(2012.4.10~16)	127	専用住宅	ビット2、溝3(うち1は掘状)、遺物なし	市内15
24	駒林元町二丁目1-7	(2012.5.16)	127	個人住宅	遺構遺物なし	市内15
25	駒林元町一丁目2番7	(2012.6.4)	212	個人住宅	遺構なし、土器	市内15
26	駒林元町一丁目5番16	(2012.8.29・30)	136	個人住宅	ビット6、溝1、遺物なし	市内15
27	駒林元町1-5-9・10	(2012.12.21)	133	個人住宅	時期不明土坑1、遺物なし	市内15
28	駒林元町1-3-8・14~16	(2013.2.21~25) 2013.5.21~27	1,208	宅地造成	中近世以降堀跡、溝1、磁器片、須恵器、陶器	市内14
29	新駒林2-231-1	(2013.6.3~17)	2,200	店舗	土坑2、溝6、石器、近世陶磁器	市18
30	駒林元町1-3-7	(2013.6.19・20)	68.16	個人住宅	近世以降ビット3、陶磁器	市18
31	駒林元町1-5-5・6	(2013.9.17~27)	925	宅地造成	溝4、遺物なし	市18
32	駒林元町2-1-16	(2014.2.10)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市18
33	駒林元町1-2-2	(2016.4.11)	130	個人住宅	遺構なし、土器片、須恵器	未報告
34	新駒林3-725-3	(2016.10.14)	163	共同住宅	泥面子、古銭、陶磁器	未報告
35	新駒林709-1~4、710-1・2	(2017.7.27・28、 8.21・22) 2017.8.23~9.4	1,815	分譲住宅	堀跡(古代~中世)溝4、土坑2(時期不明)、石器、古銭、焙烙	市23
36	駒林元町1-7-4	(2017.9.19)	160	消防団倉庫	遺構遺物なし	未報告
37	新駒林2-216-1、217-1	(2018.3.5~7) 2018.3.12~16	2,515	店舗	堀跡1(中近世)、溝1(近世以降)、陶磁器片、泥面子、土器片、砥石、須恵器	市23



第 22 図 駒林遺跡遺構分布図 (1/2,000)

構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は既存建物の解体作業の都合上、2017年7月27・28日及び8月21・22日の2回に分けて実施した。幅約1.2～1.5mのトレンチ11本を設定し、重機による表土除去後人力による表面精査を行ったところ、中世以降の堀跡、土坑、時期不明の溝を検出した。現地表面から遺構確認面までの深さは30～50cmで遺跡への影響が避けられないため、原因者と再協議の結果、原因者負担による本調査を行った。

本調査は8月23日～9月4日まで実施し、堀跡部分に調査区を設定し、重機による表土除去後人力で掘削を実施した。調査の結果、堀跡1本と堀に伴うピット多数、土坑を検出した。なお、旧石器時代の調査は行っていない。

Ⅲ 遺構と遺物

(1) 堀跡

調査区北側に位置する。2011年に調査を実施した第16・17地点から続く堀跡で、東西方向に走行し、東から西に向かって傾斜する。遺構の規模は上端490～556cm、下端108～173cm、深さ約258cmで、断面形は逆台形を呈する。今回の調査で確認された全長は約30mで、両端とも調査区外へ延伸する。底部に掘り込み等は認められず、平坦である。堀内の南側斜面では複数のピットが検出されており、作業用の足場として掘削された可能性が考えられる。ピットの詳細に関しては、第15表に掲載した。出土遺物は僅かに1点のみで、遺構に伴うものではない。覆土より採取した土壌サンプルについてテフラ分析を実施した結果、12世紀以降に埋没したものと考えられる。なお、土壌サンプル分析の詳細については附編として掲載した。

(2) 土坑

土坑の詳細については第16表参照。

①土坑1

調査区南西部、トレンチ9で確認した。土層の観察から近世以降に帰属するものと考えられる。出土遺物はない。

②土坑2

調査区北側で検出した。堀跡の北側の上端を切るように掘削されている。切り合い関係から堀跡より新しいものと考えられる。出土遺物については第26図及び第18表参照。

(3) 溝

溝の詳細については第17表参照。

①溝1

調査区東側に位置する。トレンチ2で検出した。北東から南西方向に走行し、北東側は調査区外へ延伸する。南西側は溝4に合流するものと考えられる。出土遺物はなく、帰属時期は不明である。

②溝2

調査区南側に位置する。トレンチ9・10で検出した。南西から北東方向に走行し、調査区外に延伸する。土層の観察から、近世以降のものと考えられる。出土遺物はない。

③溝3

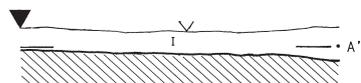
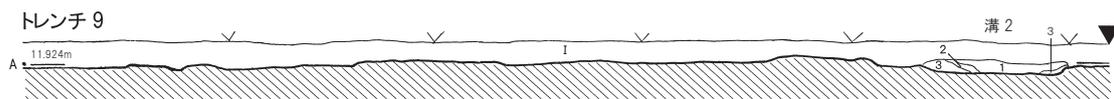
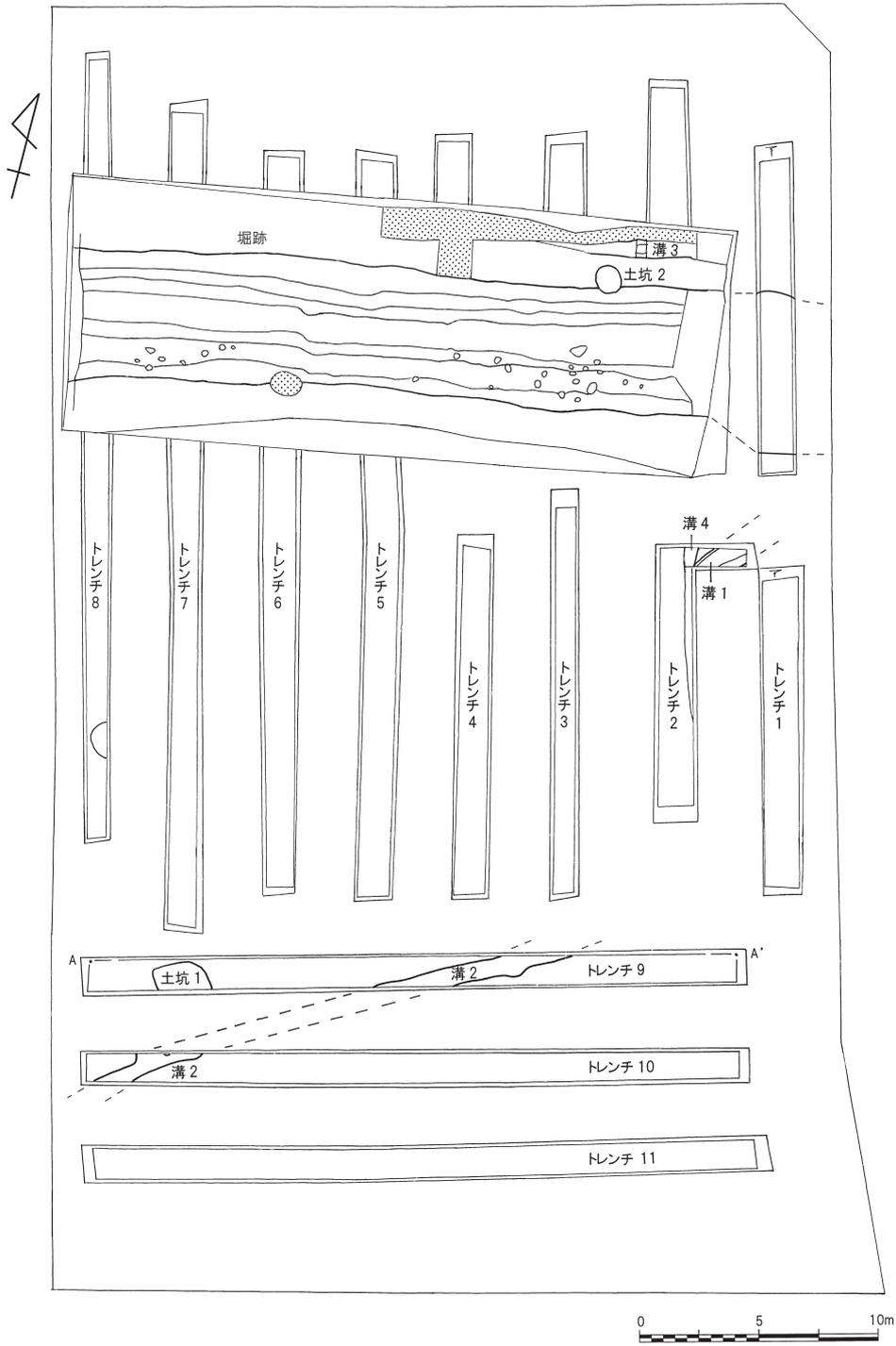
調査区北側、堀跡の北側に位置する。攪乱で破壊されているため正確な規模は不明だが、堀跡と走行方向を同じくするものと想定される。非常に浅く、また出土遺物もないため、正確な帰属時期は不明だが、比較的新しい時期のものと考えられる。

④溝4

調査区東側に位置する。トレンチ2で検出した。走行方向は南北を指向し、調査区外へ延伸するものと考えられるが詳細は不明。途中で東側より溝1が合流する。出土遺物がないため正確な帰属時期は不明である。

(4) 出土遺物

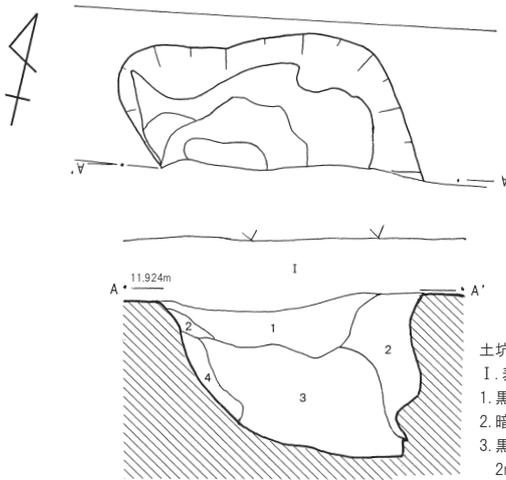
出土遺物については第26図及び第18表に掲載した。全体として出土量が少なく、遺構の時期を決定するようなものは出土していない。



- I. 表土
1. 黒褐色土
 2. 黒褐色土 シミ状に暗褐色土多量に含む
 3. 黒褐色土 シミ状にぶい黄褐色土・ロームブロック多量に含む

第 23 図 駒林遺跡第 35 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)

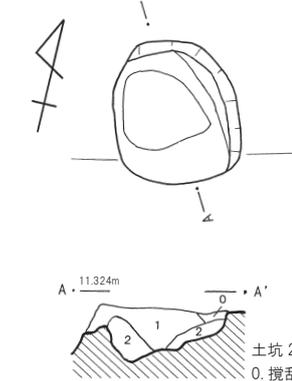
土坑1



土坑1

- I. 表土
 1. 黒褐色土（明るめ）2mm以下ローム粒微量、根多量に含む
 2. 暗褐色土
 3. 黒褐色土（暗め）締り極強、粘性強、1~2mmローム粒少量、2mm以下赤色粒・黒色粒・1cm以下ロームブロックまれに含む
 4. 黒褐色土（暗め）締り極強、粘性強、5mm以下ローム粒中量含む

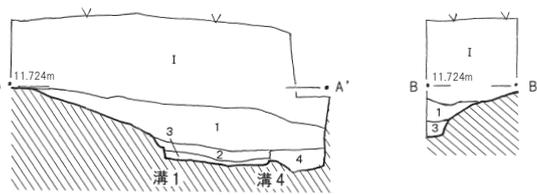
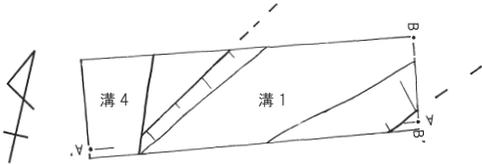
土坑2



土坑2

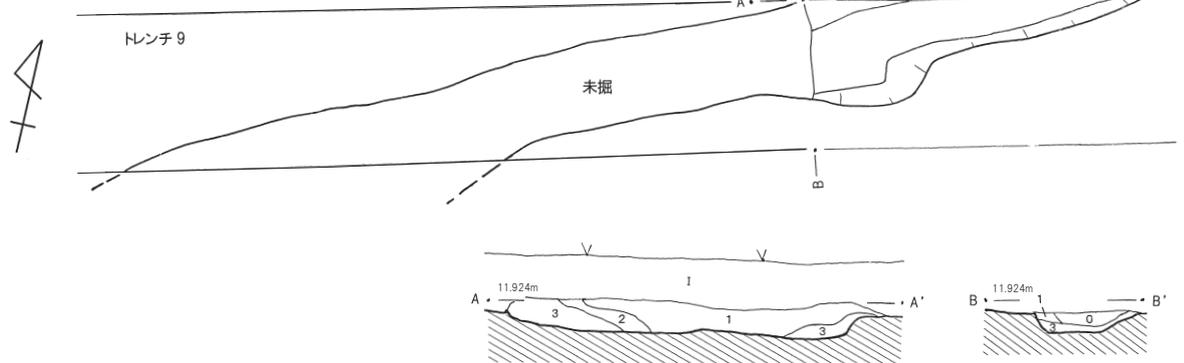
0. 攪乱
 1. 黒褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック微量、3mm以下ローム粒少量含む
 2. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒微量に含む

溝1・4



- I. 表土
 1. 黒褐色土 締り有、粘性強、ロームブロック・5mm以下ローム粒少量、ポロポロした土
 2. 黒褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック多量に含む
 3. 暗褐色土 締り有、粘性やや弱、3mm以下ローム粒少量含む
 4. 黒褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック少量、3mm以下ローム粒多量に含む

溝2

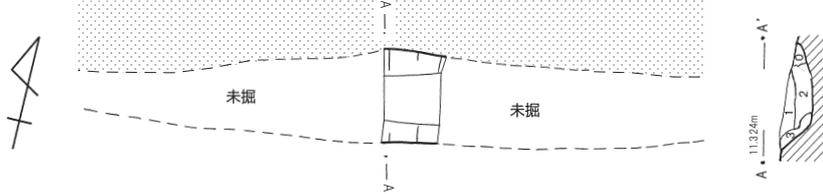


- I. 表土
 0. 攪乱
 1. 黒褐色土
 2. 黒褐色土 シミ状に暗褐色土を多量に含む
 3. 黒褐色土 シミ状ににぶい黄褐色土、ロームブロック微量に含む

トレンチ10



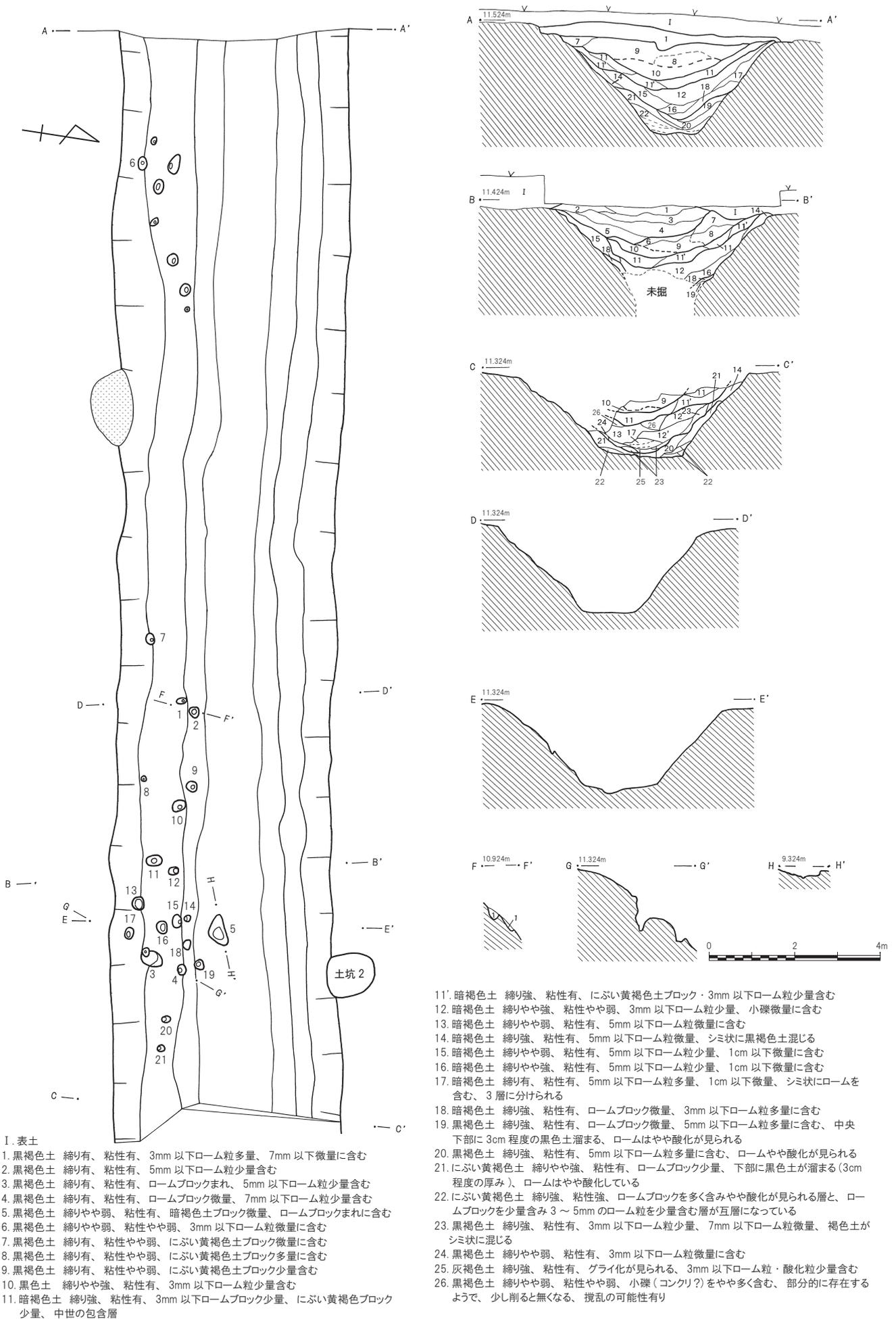
溝3



0. 攪乱
 1. 黒褐色土 締り有、粘性やや弱、にぶい黄褐色土ブロック少量含む
 2. 黒褐色土 締りやや弱、粘性やや有、ローム粒多量に含む
 3. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、ロームブロック・ローム粒多量に含む



第24図 駒林遺跡第35地点土坑・溝(1/60)



第25図 駒林遺跡第35地点堀跡(1/120)

第15表 駒林遺跡第35地点堀跡内ピット一覧表(単位cm)

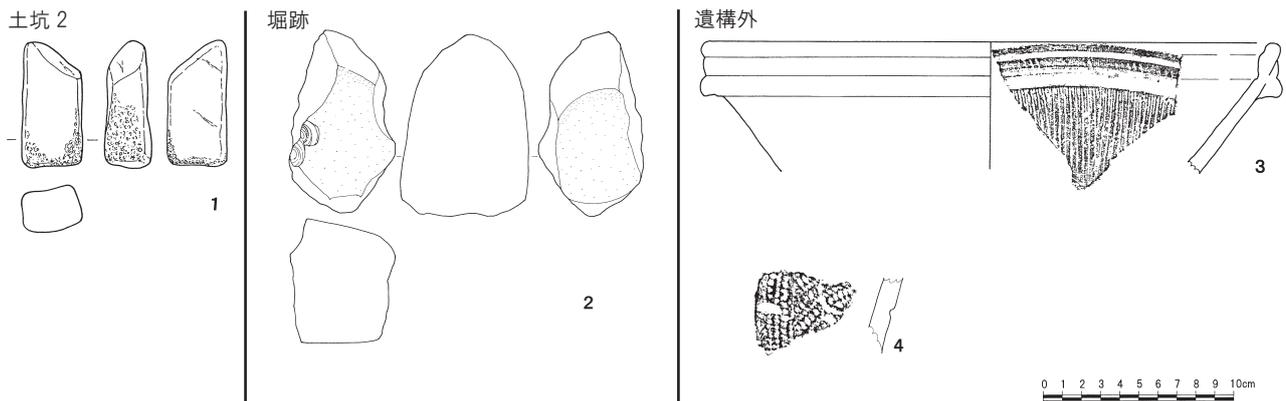
No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考	No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	楕円形	25 × 16	7 × 6	33		12	方形	19 × 13	10 × 8	21.4	
2	楕円形	23 × 18	9 × 8	16		13	円形	25 × 24	22 × 19	45.6	
3	楕円形	51 × 36	7 × 6	80		14	三角形	15 × 11	8 × 6	11.2	
4	楕円形	22 × 19	9 × 8	25		15	楕円形	26 × 20	8 × 4	18	
5	隅丸三角形	76 × 39	30 × 25	14		16	楕円形	27 × 20	14 × 9	33.2	
6	楕円形	28 × 22	9 × 8	5.9		17	楕円形	29 × 17	12 × 7	17.4	
7	楕円形	26 × 18	8 × 7	24.6		18	円形	20 × 19	10 × 10	31.8	
8	円形	11 × 11	8 × 4	11.4		19	三角形	23 × 22	10 × 10	20.9	
9	楕円形	25 × 19	10 × 9	15		20	円形	18 × 15	9 × 9	23.8	
10	楕円形	31 × 23	11 × 10	28.1		21	楕円形	15 × 10	6 × 5	14.5	
11	楕円形	35 × 21	15 × 11	24							

第16表 駒林遺跡第35地点土坑一覧表(単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	不明	221 × (103)	63 × (21)	133.6	
2	隅丸方形	115 × 97	66 × 64	44.1	

第17表 駒林遺跡第35地点溝一覧表(単位cm)

No.	断面形態	上幅	下幅	深さ	備考
溝1	—	—	61 ~ 70	26.6	
溝2	逆台形	45 ~ 90	27 ~ 37	14.6	
溝3	U字型	70 ~ 74	34 ~ 43	23.2	
溝4	—	—	40 ~ 53	59.3	



第26図 駒林遺跡第35地点出土遺物(1/4)

第18表 駒林遺跡第35地点出土遺物観察表(単位cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	技法・文様他	備考
第26図-1	土坑2	砥石/荒砥	6.6	3.0	2.2	87.0	全面使用	砂岩
第26図-2	堀跡	凹石	9.6	5.1	6.2	443.7	凹み1	黒雲母花崗岩
第26図-3	遺構外	炆器・擂鉢	(29.2)	-	-	-	轆轤・櫛目7本単位/焼締無釉/胎土:砂粒・白褐色/口縁外帯3段、口縁内突帯	堺・明石/19世紀前半
第26図-4	遺構外	縄文土器・胴部					地文斜位と縦位LR/黒色粒多	加曾利E

()は推定値

第5章 駒林遺跡第37地点の調査

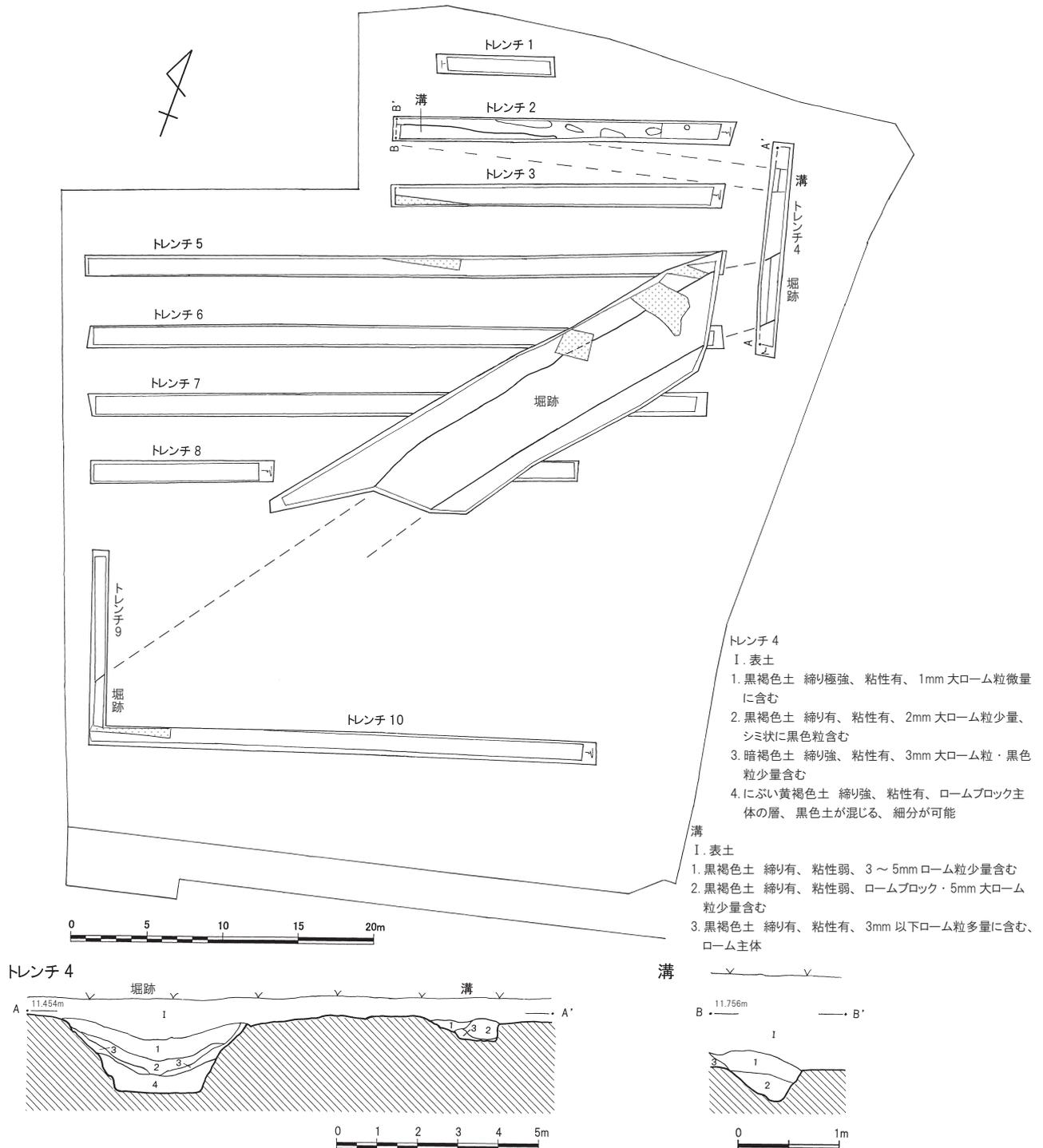
I 調査に至る経過と概要

調査は店舗建設に伴うもので、原因者より2018年2月27日付けで「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の東部に位置する。原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、試掘調査を行った。

試掘調査は2018年3月5日～7日まで実施した。

幅約1.2～1.5mのトレンチ10本を設定し、重機による表土除去後、人力で精査を行ったところ、古代以降の堀跡、時期不明の溝を確認した。遺構確認面までの深さは約50～100cmである。建物建築予定部分に関しては遺跡への影響が避けられないため、原因者と再協議の結果、原因者負担による本調査を実施した。

本調査は2018年3月12日～16日まで実施した。



第27図 駒林遺跡第37地点遺構配置図(1/400)、土層(1/150)、溝(1/60)

遺構への影響が生じる範囲に調査区を設定し、重機による表土除去後、人力で調査を行った。調査の結果、堀跡1本と堀に伴うピットを多数検出した。

II 遺構と遺物

(1) 堀跡

調査区の中央に位置する。走行方向はN-37°-Eで、南西から北東方向に走行する。遺構の規模は上端410cm、下端130cm、深さ175cmで、断面形は逆台形を呈する。今回の調査で確認された全長は約54mで、両端とも調査区外へ延伸する。底部は、南西端から中央部にかけては比較的平坦であるが、南西端から約16m

のところで50cm程高くなる。北東端では2m四方で深く掘り込まれている。また、堀跡の両斜面ではピットを複数検出した。西側斜面に集中する傾向にある。すべてが堀に伴うものとは考えられないが、いくつかは掘削時の作業用であった可能性がある。ピットの詳細に関しては、第19表に掲載した。出土遺物は2点で、遺構に伴うものではない。覆土より採取した土壌サンプルについてテフラ分析を実施した結果、第35地点と同様に12世紀以降に埋没したものと考えられる。なお、土壌サンプル分析の詳細については附編として掲載した。

第19表 駒林遺跡第37地点ピット一覧表(単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考	No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	橢円形	43×20	12×11	44		25	橢円形	68×42	10×6	73.4	
2	円形	26×26	17×17	14		26	不明	(54)×40	26×(24)	25	
3	不明	60×28	46×23	11		27	不明	(43)×34	(29)×21	53.6	
4	方形	18×13	9×7	23		28	橢円形	20×14	7×7	40	
5	橢円形	24×17	12×12	42		29	方形	18×18	11×11	18	
6	橢円形	15×6	10×4	17		30	方形	19×18	11×11	36	
7	方形	19×16	11×8	29		31	橢円形	14×10	9×8	59.9	
8	不明	25×(25)	24×14	37.4		32	方形	19×19	13×10	32.4	
9	不明	(43)×29	40×10	38.7		33	方形	19×14	11×9	18.2	
10	橢円形	48×32	23×20	76.2		34	方形	22×10	14×6	22.3	
11	橢円形	22×17	11×11	45.5		35	三角形	31×22	8×7	63	
12	橢円形	35×27	14×9	69.7		36	円形	19×18	12×11	32.2	
13	橢円形	44×22	17×9	86.7		37	橢円形	21×13	9×6	57.7	
14	方形	21×20	13×11	28.3		38	円形	20×16	9×5	29.5	
15	橢円形	32×18	21×9	66.2		39	方形	30×28	11×11	34.2	
16	方形	33×30	22×11	57.9		40	橢円形	35×24	12×7	39.7	
17	橢円形	22×18	10×7	48.4		41	円形	20×17	11×6	24.1	
18	円形	22×21	8×7	53.7		42	円形	23×23	11×10	20.3	
19	橢円形	34×20	12×11	46		43	円形	47×43	18×13	43.5	
20	円形	25×23	16×11	80.3		44	円形	30×22	11×7	17.7	
21	不整形	78×78	20×16	116.8		45	方形	27×26	10×9	31.8	
22	円形	36×34	20×14	42.1		46	橢円形	23×18	13×6	30.2	
23	方形	33×33	19×16	75.4		47	橢円形	45×26	14×14	71.1	
24	円形	64×60	9×7	53.2							

(2) 溝

溝は調査区北側に位置する。トレンチ2及びトレンチ4で検出した。東西方向に走行し、両端とも調査区外へ延伸する。上端157cm、下端93cm、深さ52cmを測り、断面形はU字形を呈する。出土遺物は1点のみで、遺構に伴うものではない。土層の観察から近世以降に帰属するものと考えられる。

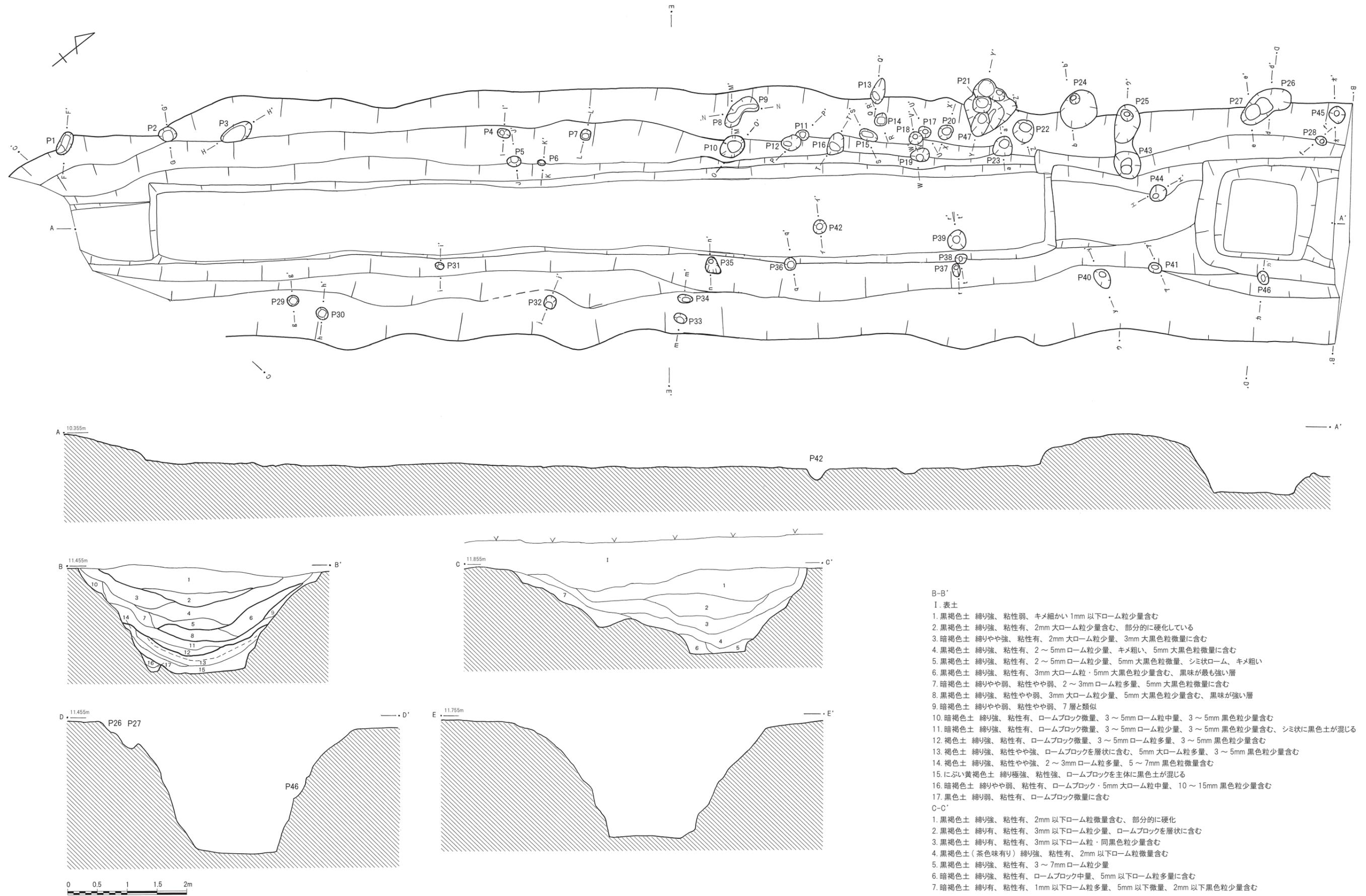
(3) 出土遺物

出土遺物については第30図及び第20表に掲載した。全体として出土量が少なく、遺構の時期を決定するようなものは出土していない。



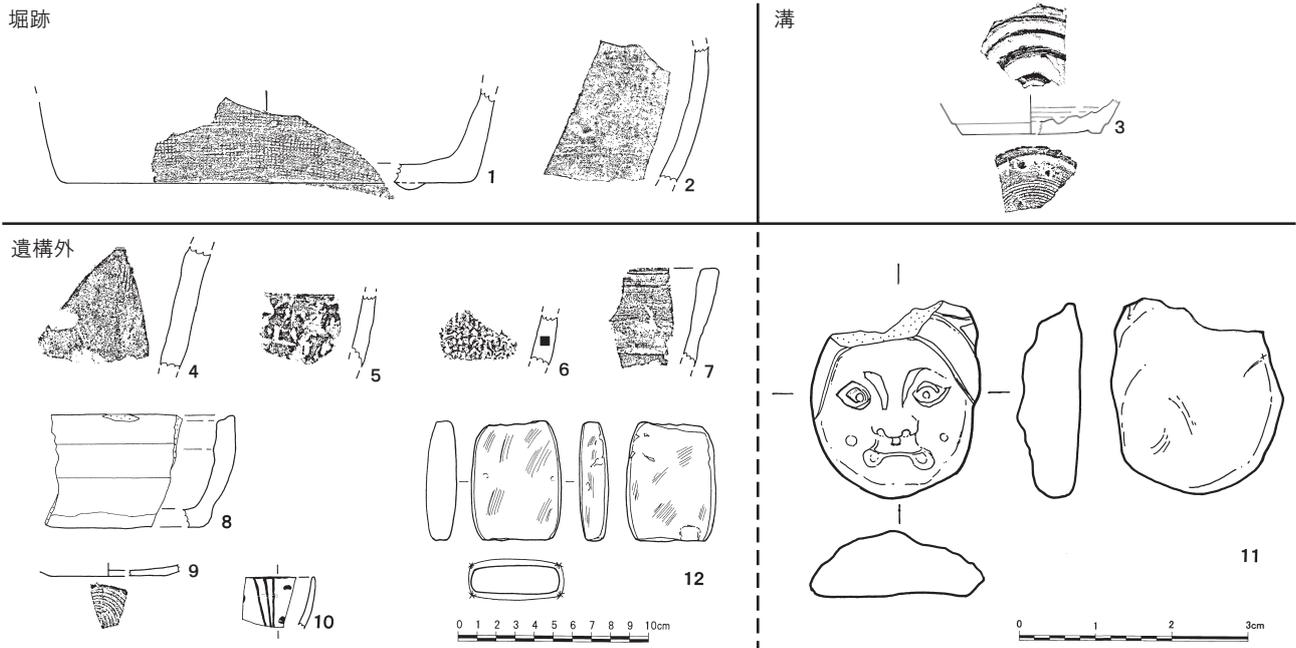
- 0. 攪乱
- 1. 黒褐色土 締り弱、粘性有、3～5mmローム粒少量含む
- 1'. 1層にロームブロックを微量に含む
- 2. 黒褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック・3～5mmローム粒少量含む
- 3. にぶい黄褐色土 締り弱、粘性強、ロームブロックを主体とするボロボロした土
- 4. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒微量

第28図 駒林遺跡第37地点ピット群 (1/60)



- B-B'
- I. 表土
1. 黒褐色土 締り強、粘性弱、キメ細かい1mm以下ローム粒少量含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm大ローム粒少量含む、部分的に硬化している
 3. 暗褐色土 締りやや強、粘性有、2mm大ローム粒少量、3mm大黒色粒微量に含む
 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、2~5mmローム粒少量、キメ粗い、5mm大黒色粒微量に含む
 5. 黒褐色土 締り強、粘性有、2~5mmローム粒少量、5mm大黒色粒微量、シミ状ローム、キメ粗い
 6. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm大ローム粒・5mm大黒色粒少量含む、黒味が最も強い層
 7. 暗褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、2~3mmローム粒少量、5mm大黒色粒微量に含む
 8. 黒褐色土 締り強、粘性やや弱、3mm大ローム粒少量、5mm大黒色粒少量含む、黒味が強い層
 9. 暗褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、7層と類似
 10. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック微量、3~5mmローム粒中量、3~5mm黒色粒少量含む
 11. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック微量、3~5mmローム粒少量、3~5mm黒色粒少量含む、シミ状に黒色土が混じる
 12. 褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック微量、3~5mmローム粒少量、3~5mm黒色粒少量含む
 13. 褐色土 締り強、粘性やや強、ロームブロックを層状に含む、5mm大ローム粒少量、3~5mm黒色粒少量含む
 14. 褐色土 締り強、粘性やや強、2~3mmローム粒少量、5~7mm黒色粒微量含む
 15. にぶい黄褐色土 締り極強、粘性強、ロームブロックを主体に黒色土が混じる
 16. 暗褐色土 締りやや弱、粘性有、ロームブロック・5mm大ローム粒中量、10~15mm黒色粒少量含む
 17. 黒色土 締り弱、粘性有、ロームブロック微量に含む
- C-C'
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒微量含む、部分的に硬化
 2. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒少量、ロームブロックを層状に含む
 3. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒・同黒色粒少量含む
 4. 黒褐色土(茶色味有り) 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒微量含む
 5. 黒褐色土 締り強、粘性有、3~7mmローム粒少量
 6. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック中量、5mm以下ローム粒少量に含む
 7. 暗褐色土 締り有、粘性有、1mm以下ローム粒少量、5mm以下微量、2mm以下黒色粒少量含む

第29図 駒林第37地点掘跡・ピット群(1/60)



第30図 駒林遺跡第37地点出土遺物(1/4・1/1)

第20表 駒林遺跡第37地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	技法・文様他	備考
第30図-1	堀跡	瓦質土器・火鉢	—	(21.5)	4.9	—	轆轤成形、底面に半球状の突起をもつ、輪子による施文、外面黒色研磨	江戸近郊産
第30図-2		陶器・三筋壺	—	—	0.78	—	轆轤、緑釉	常滑
第30図-3	溝	陶器・德利	—	(7.3)	—	—	底部内面轆轤による沈線顕著、糸切底(回転不明)／高台外面釉	瀬戸・美濃系
第30図-4	遺構外	須恵質・甕	—	—	—	—	白色粒多	—
第30図-5		縄文土器・深鉢	—	—	—	—	先端鋭利な刺突具／灰白色	—
第30図-6		縄文土器・深鉢	—	—	—	—	地文無節Lr／繊維	—
第30図-7		土器・焙烙	—	—	—	—	輪積成形、型押	在地系
第30図-8		土器・焙烙	—	—	5.9	—	輪積成形、型押／微白・赤色粒多	在地系
第30図-9		陶器・小皿	—	(5.9)	0.3	—	轆轤成形(糸切底)	—
第30図-10		磁器・碗	—	—	0.3	—	透明釉・染付	肥前系
第30図-11		土製品・泥面子	2.2	2.1	0.7	3.5	男性人物毛子一フ／型押・型抜／明橙褐色／底面に擦痕	在地系
第30図-12		砥石・仕上砥	6.3	4.7	1.5	62.2	内外面、両側面使用／凝灰岩(灰褐色)	上下面未使用／打製石斧再利用か

()は推定

第6章 東久保南遺跡第43地点の調査

I 遺跡の立地と環境

東久保南遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐさかい川の谷頭部から、約400～500m程下った左岸に位置している。標高19～21mで、現谷底との比高差は1m以下とほぼ平坦である。さかい川は富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源をもつ伏流水で、現在は下水路となっている。なお、富士見市にも遺跡範囲は広がり、同じ東久保南遺跡で登録され、同遺跡と接して「オトウカヤマ」と呼ばれる塚がある。周辺の遺跡は、さかい川の対岸に西ノ原遺跡、下流の左岸には中沢遺跡がある。

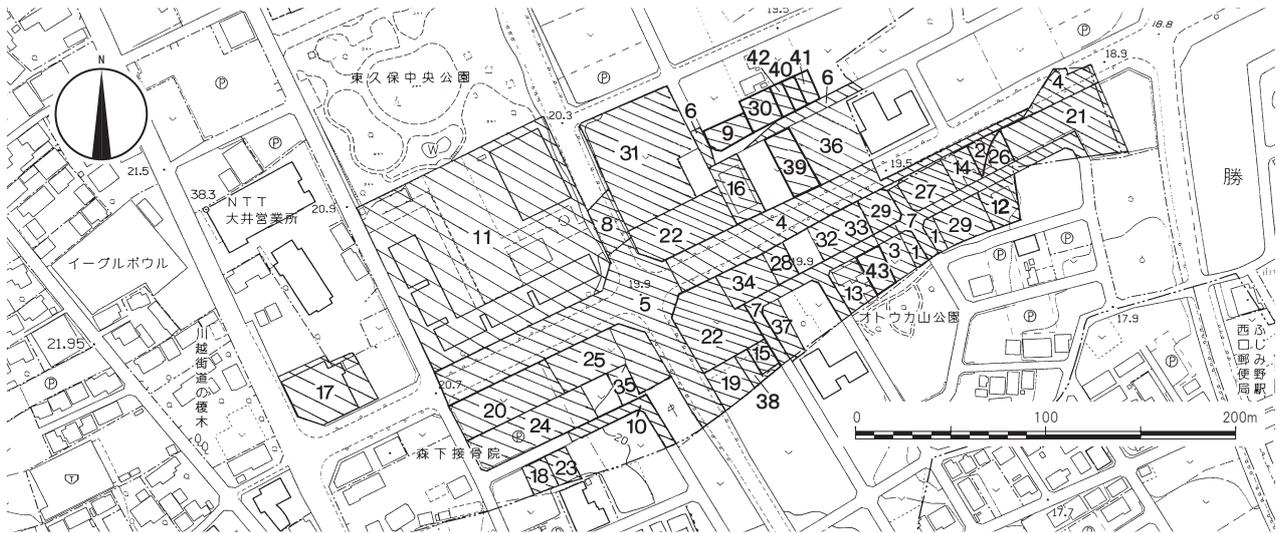
2018年3月現在43ヶ所で調査が行われ、縄文時代中期の住居跡2軒、奈良・平安時代の住居跡4軒(1軒は富士見市内)、縄文時代の落とし穴・土坑・炉穴や時期不明の溝跡が確認されている。

II 調査に至る経過と概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2017年10月24日付けで「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を行った。

試掘調査は11月1・2日に実施した。対象地の東側に関しては、第3地点として1983年に調査済みであるため、未調査の西側部分に幅約1.5～1.8mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。調査の結果、現地表面下約40cmのところ縄文時代の住居跡1軒、ピット4基を確認した。遺構への影響が避けられないため、原因者と再協議の結果、遺構に影響が生じる範囲において、原因者負担による本調査を実施した。

本調査は2017年11月14・15日で行い、縄文時代住居跡1軒、ピット4基、近世以降の溝1条を検出した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第31図 東久保南遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第 21 表 東久保南遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	亀久保字東久保 547	1981.11.24 ~ 12.14	320	農地天地返し	溝 1、縄文土器、石器、近世：内耳土器 3	東部遺跡群 III
2	亀久保字東久保 546-2	1983.5.30 ~ 6.2	264	住宅建設	ピット 1	東部遺跡群 V
3	亀久保字東久保 549-4	1983.6.7 ~ 7.4	326	住宅建設	溝 1、縄文土器、寛永通宝 1	東部遺跡群 V
4	亀久保 549-1 他	1993.12.1 ~ 1994.3.18	1,680	区画整理道路	縄文中期：住居跡 1、落とし穴 1、炉穴 3、土坑 8、ピット 37、平安：住居跡 1、中世以降：溝 6、縄文土器等コンテナ 1 箱、須恵器、土師器	大井町遺跡調査会報告第 14 集
		1994.9.26 ~ 11.22	444			
5	亀久保 557-1・559・560 他	1994.9.26 ~ 12.19	2,500	区画整理道路	縄文：土坑 2、ピット 12、旧石器 1、縄文土器片 遺構遺物なし、報告書では第 4 地点の続きとして掲載	大井町遺跡調査会報告第 14 集 町内遺跡群 VI
		(1996.6.17 ~ 6.21)	680			
6	亀久保 551-4 他	1995.6.20 ~ 7.11 1995.11.22 ~ 12.6	480	区画整理道路	縄文：土坑 3、ピット 24、溝 1、縄文土器片、陶磁器片	大井町遺跡調査会報告第 14 集
7	亀久保 554 他	1995.7.12 ~ 12.5	1,500	区画整理道路	縄文：落とし穴 1、土坑 39、ピット 60、近世：溝 6、柵列 1、縄文土器片、陶磁器片	大井町遺跡調査会報告第 14 集
		1996.8.23 ~ 26	360			
8	亀久保 494 他	1995.11.16 ~ 12.13	467	区画整理道路	縄文：土坑 7、ピット 48、縄文土器片	大井町遺跡調査会報告第 14 集
		1996.2.14 ~ 22	75			
9	東久保 518-1	1996.7.1 ~ 3	225.02	個人住宅	縄文早期：炉穴 1、ピット 2、近世以降：溝 1	町内遺跡群 VI
10	亀久保 562 他	1996.8.19 ~ 26	440	区画整理道路	ピット 1	大井町遺跡調査会報告第 14 集
11	東久保 464・499 他	(1996.11.22 ~ 1997.1.31)	10,500	共同住宅	時期不明：ピット 7、土坑 1、溝 8	町内遺跡群 VI
12	東久保 64 街区 1 画地	(1997.5.8 ~ 16) 1997.5.19 ~ 6.7	446	個人住宅	縄文：落とし穴 1、平安：住居跡 1、土坑 1、須恵器、土師器	町内遺跡群 VII
13	東久保 62 街区 1・2・3 画地	1997.8.25 ~ 9.1	460	個人住宅	縄文：土坑 1、ピット 4、溝 1	町内遺跡群 VII
14	東久保 63 街区 2 画地	(1998.6.23 ~ 7.1)	333	個人住宅	縄文：落とし穴 1、屋外炉跡 2、土坑 1、ピット 4、溝 1	町内遺跡群 VIII
15	東久保 60 街区 6 画地	(1998.7.4 ~ 9)	143	個人住宅	縄文：落とし穴 1	町内遺跡群 VIII
16	東久保 59 街区 3 画地	(1998.12.12 ~ 14)	541	共同住宅	遺構なし、縄文土器片	町内遺跡群 VIII
17	東久保 46 街区 9・10・17 画地	(1999.1.27 ~ 2.3)	1,264	自動車ショールーム	ピット 9、溝 1	町内遺跡群 VIII
18	東久保 48 街区 4 画地	(1999.5.14 ~ 18)	202	個人住宅	遺構遺物なし	町内遺跡群 IX
19	東久保 60 街区 6 画地	(1999.7.8 ~ 12)	466	駐車場	溝状のプラン 3 本確認	町内遺跡群 IX
20	東久保 49 街区 1 画地	(1999.12.22 ~ 2000.1.15)	1,106	店舗	遺構遺物なし	町内遺跡群 IX
21	東久保 64-1 街区	(2001.1.15 ~ 1.31)	1,283	共同住宅	遺構遺物なし、水成堆積した黒色土を確認	町内遺跡群 X
22	東久保 60 街区 1 画地	(2001.2.4 ~ 15) 2001.2.14 ~ 26	2,703	中古車展示場	縄文早期：集石土坑 1、炉穴 14、落とし穴 1、ピット 11、中・近世：溝 2、縄文土器、石器	町内遺跡群 X、 大井町遺跡調査会報告第 14 集
23	東久保 48 街区 6 画地	(2001.3.7・8)	208	個人住宅	遺構遺物なし	町内遺跡群 X
24	東久保 49 街区 6 画地	(2001.4.2 ~ 8)	1,051	共同住宅	遺構遺物なし	町内遺跡群 X I
25	東久保 49 街区 2・3 画地	(2001.9.26 ~ 10.12)	1,388	中古車展示場	溝 4、ピット 33	町内遺跡群 X I
26	東久保 63 街区 3 画地	(2001.10.30 ~ 11.1)	208	店舗	遺構遺物なし	町内遺跡群 X I
27	東久保 63 街区 1 画地	(2002.5.29 ~ 6.7)	610	共同住宅	縄文：ピット 7、溝、遺物なし	町内遺跡群 X II
28	東久保 549-1・5503 (60 街区 3・4 画地)	(2002.9.13 ~ 21)	322	共同住宅	ピット 8、溝 1	町内遺跡群 X II
29	東久保 64-1 街区 1・4 画地	(2003.3.17 ~ 20) 2003.3.24 ~ 4.7	736	駐車場造成	試掘調査後本調査、縄文中期：住居跡 1、炉穴 12、土坑 3、奈良・平安：住居跡 1、溝 3、縄文土器、石器、土師器	大井町遺跡調査会報告第 14 集
30	東久保 58 街区 13 画地	(2003.8.4・5)	164	個人住宅	遺構・遺物なし	町内遺跡群 X II
31	東久保 59 街区 1・2 画地	(2003.8.21 ~ 9.1) 2003.9.5 ~ 10.5	2,948	店舗	試掘調査後本調査、縄文早期：炉穴 32、土坑 6、ピット 19、溝 1、縄文土器	大井町遺跡調査会報告第 14 集
32	ふじみ野 4-9-4 の一部 (60 街区 4 画地)	(2004.1.26 ~ 29)	289	店舗	遺構遺物なし	町内遺跡群 X II
33	ふじみ野 4-9-4	(2004.7.8・9)	354	店舗	遺構遺物なし	町内遺跡群 X II
34	ふじみ野 4-9-2 (60 街区 2 画地)	(2004.7.8 ~ 12)	555	共同住宅	遺構遺物なし	町内遺跡群 X II
35	ふじみ野 1-5-8	(2005.1.17)	194	個人住宅	遺構遺物なし	町内遺跡群 X II
36	ふじみ野 4-8-7	(2005.1.21 ~ 27) 2005.2.2 ~ 15	1,005	事務所建設	縄文：落とし穴 1、土坑 2(風倒木痕)、溝 3、縄文土器片	町内遺跡群 X II、 大井町調査会報告第 14 集
37	ふじみ野 4-10-1	2005.1.7	695	駐車場	遺構・遺物なし	町内遺跡群 X II
38	ふじみ野 4-9-11・12	2010.10.13	177	個人住宅	遺構なし、縄文土器片、近世陶磁器片	大井町遺跡調査会報告第 14 集
39	ふじみ野 4-8-6	(2011.8.11 ~ 16)	579	事務所	遺構遺物なし	市内遺跡群 14
40	ふじみ野 4-7-17	(2017.3.13)	114	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
41	ふじみ野 4-7-18	(2017.5.30)	114	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
42	ふじみ野 4-7-11	(2017.10.27)	114	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
43	ふじみ野 4-11-2・7	(2017.11.1.1・2) 2017.11.14・15	469	共同住宅	縄文時代住居跡 1、ピット 4、近世以降溝 1、縄文土器、陶磁器	市内遺跡群 23



第32図 東久保南遺跡遺構分布図 (1/2,000)

Ⅲ 遺構と遺物

(1) J3号住居跡

【位置・検出状況】 調査区南側に位置する。

【形状・規模】 南側を攪乱によって壊されており、また住居の掘り込みが非常に浅いため、平面形態及び規模は不明であるが、長軸 480 × 短軸 360 cm 以上を測る楕円形を呈する住居であったと推測される。

【構造】 ピットは 11 基検出したが、いずれも浅く支柱穴とは考えられない。住居内ピットの規模等については第 22 表に詳細を示した。

【炉】 南側に位置する地床炉であると考えられる。平面形態は不整形円で、86 × 82 cm、深さ約 14 cm を測る。

【遺物出土状況】 遺構確認面の時点で床面が検出されている状態だったため、出土遺物自体が少ない。住居床面直上からの出土はあまりなく、住居内ピット覆土中からの出土が多い。出土遺物の詳細については第

25 表に掲載した。

【時期】 出土土器の時期が比較的加曾利 E II 式期にまともまっているため、加曾利 E II 式期前後であると推測される。

(2) ピット

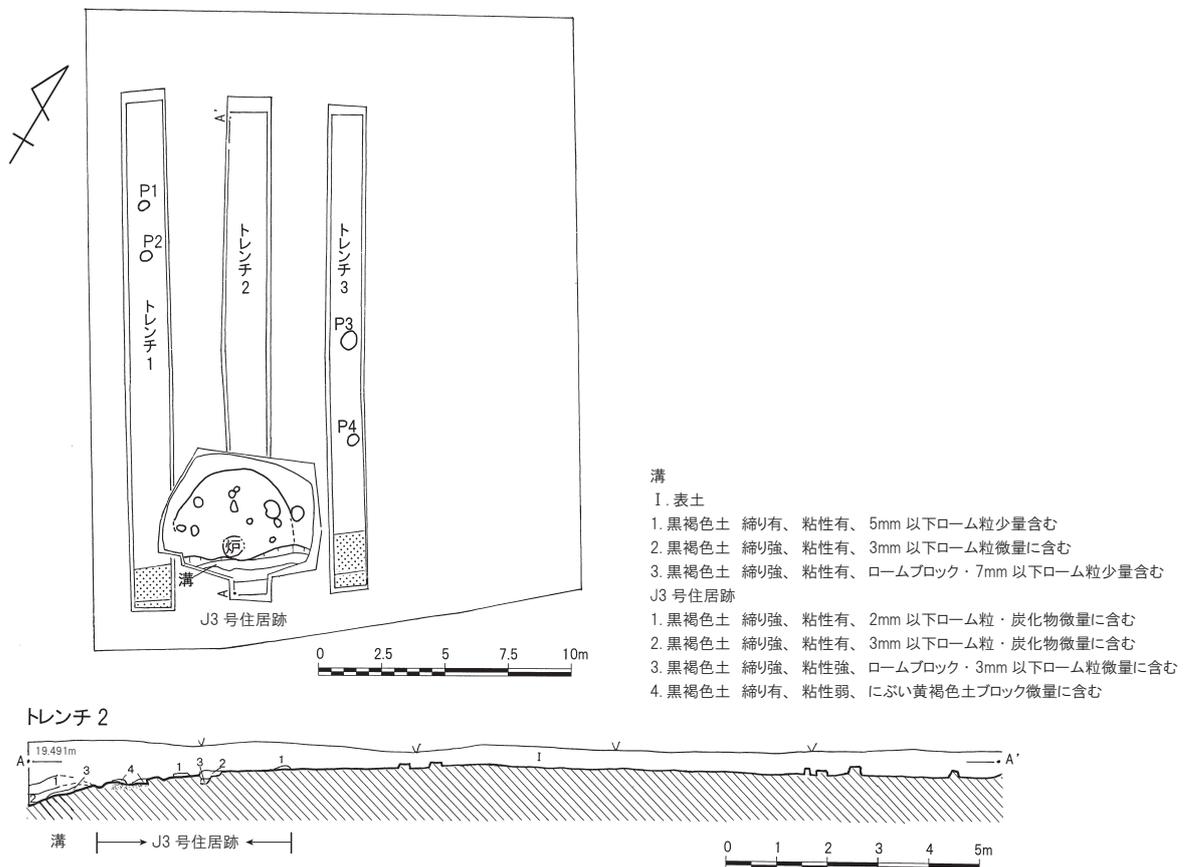
ピットの詳細については第 24 表に掲載した。土層の観察からいずれも近世以降に帰属するものと考えられる。ピット 3 で土製円盤が出土しているが、遺構に伴うものではない。

(3) 溝

調査区南側で検出した。J3 号住居跡を切って掘り込まれており、底面から南側の立ち上がりは調査区外のため確認できていない。南西から北東方向に走行し、両端とも調査区外へ延伸する。土層の観察から近世以降に帰属するものと考えられる。隣接する第 3 地点及び第 13 地点の調査でも同様の溝が検出されて

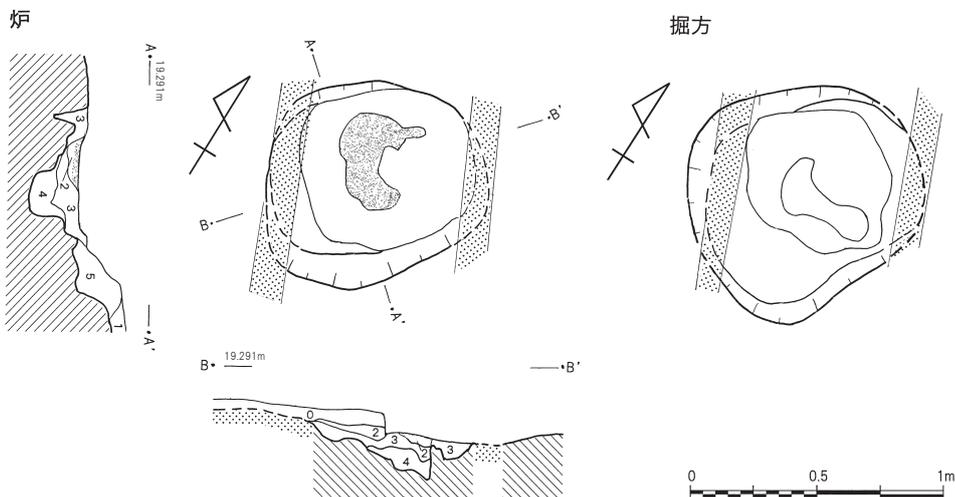
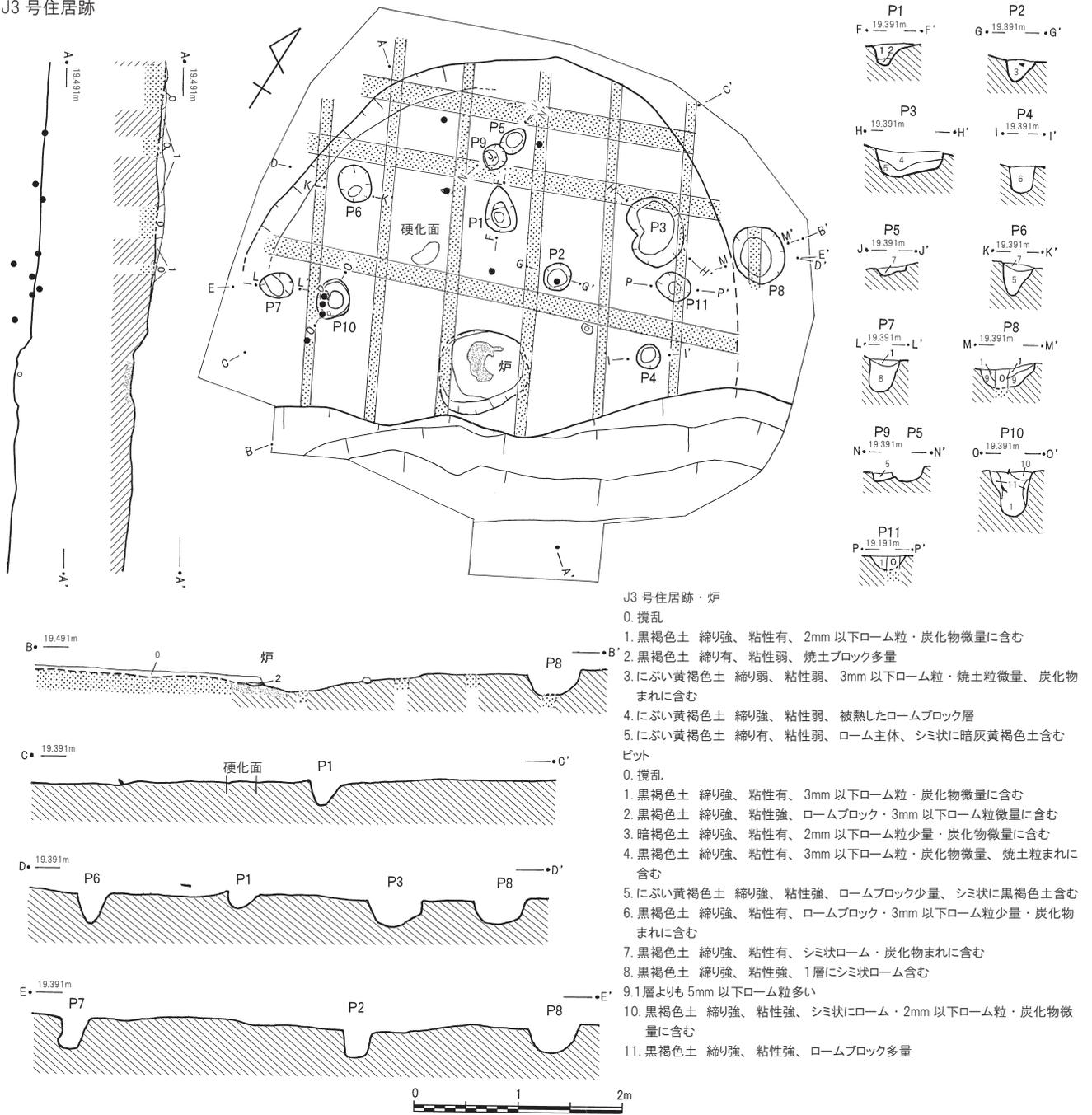
第 22 表 東久保南遺跡縄文時代住居跡一覧表 (単位 cm・g)

住居番号	調査年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模	炉			埋塞	周溝	主軸方位	時期	備考	文献
						地床	炉体	石囲						
1	1993	4 地点 J1 号住居跡	完掘	円形	445 × 490	○			○			加曾利 E II 中層		大井町遺跡調査会 14 集
2	1993	29 地点 J2 号住居跡		楕円形	330 × 385		○	○				勝坂 III 式新相	落とし穴と重複する。落とし穴が本住居跡より新しいとみられる。	大井町遺跡調査会 14 集 町内遺跡群 X II
3	2017	43 地点 J3 号住居跡		楕円形	480 × 360	○						加曾利 E II 式前後		市内遺跡群 23



第 33 図 東久保南遺跡第 43 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)

J3号住居跡



第34図 東久保南遺跡第43地点 J3号住居跡・遺物出土状況(1/60)、炉・掘方(1/30)

おり、近世の根切り溝とされる。縄文土器片 1 点が出土したが、流れ込みであると考えられる。

(4) 出土遺物

出土遺物については第 35 図及び第 25 表に詳細を掲載した。全体的に出土量は少ない。

第 24 表 東久保南遺跡第 43 地点ピット一覧表 (単位 cm)

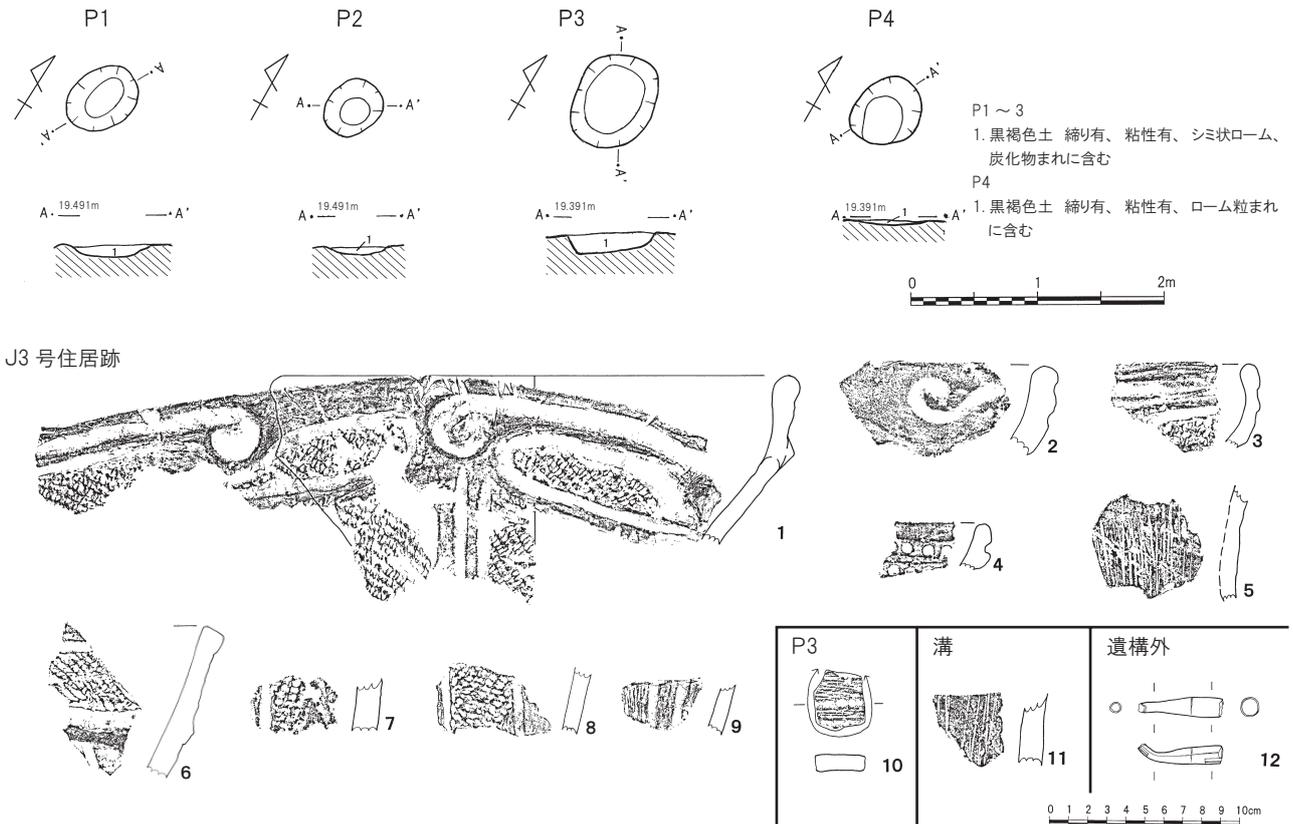
No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
P1	楕円形	60×44	38×20	7.8	
P2	円形	47×40	23×20	8.8	
P3	楕円形	81×66	54×42	16.2	
P4	円形	59×49	38×30	13.3	

第 23 表 東久保南遺跡第 43 地点 J3 号住居内ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
J3号住居P1	三角形	42×30	10×9	23.6	
J3号住居P2	円形	26×26	19×18	28.3	
J3号住居P3	だるま形	66×53	51×34	35.3	
J3号住居P4	円形	23×23	16×13	27.9	
J3号住居P5	楕円形	26×21	17×13	11.8	
J3号住居P6	円形	37×32	14×8	32.8	
J3号住居P7	楕円形	32×24	23×13	33.1	
J3号住居P8	円形	56×50	38×28	25.2	
J3号住居P9	円形	24×23	15×13	9.8	
J3号住居P10	楕円形	40×32	17×15	48.2	
J3号住居P11	円形	32×25	12×11	14.9	

第 25 表 東久保南遺跡第 43 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/胎土/備考	時期/型式
第35図-1	J3号住居跡	深鉢/口縁部~頸部	口径27cm、現存高9cm、残存40%、平坦口縁/横位LR、3本の直行懸垂、沈線渦巻文の延長で長楕円区画/橙色粒	加曾利E II
第35図-2		深鉢/口縁部	沈線による渦巻文/白色粒多・粗砂粒/明褐色	加曾利E II
第35図-3		深鉢/口縁部	沈線区画内は地文LR/中砂粒/暗褐色	加曾利E II
第35図-4		深鉢/口縁部	円形刺突具で交互に施文/肌色粒多/黒褐色	連弧文系?
第35図-5		深鉢/胴部	縦位の櫛歯状工具/粗砂粒多/暗褐色	連弧文系
第35図-6		深鉢/口縁部	沈線区画内地文横位Lr/中砂粒多/内面明褐色	加曾利E II
第35図-7		深鉢/胴部	沈線間地文横位RL/砂粒少	加曾利E II
第35図-8		深鉢/胴部	沈線間地文横位RL/砂粒少	加曾利E II
第35図-9		深鉢/胴部	沈線間地文櫛歯状工具/粗砂粒少/白褐色	連弧文系
第35図-10	P3	土製円板	土器片の三辺を直線に面取り/縦位の櫛歯状工具/明褐色	連弧文系
第35図-11	溝	深鉢/胴部	縦位の櫛歯状工具/白色微粒多・黒色砂粒/暗褐色	連弧文系
第35図-12	遺構外	銅製品・煙管・雁首	火皿欠、残存長42mm、長径0.98mm、短径0.5mm、厚さ1.02mm、合わせ目右横	



第 35 図 東久保南遺跡第 43 地点ピット (1/60)、出土遺物 (1/4)

第7章 西ノ原遺跡第158地点の調査

I 遺跡の立地と環境

西ノ原遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約300m、さかい川の谷頭部から約500m下った右岸、標高18～21mに位置する。さかい川は現在の富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源を持つ伏流水で、東から西へ流れて入間川の支流新河岸川に注ぐ。かつては水量も豊富であったと言われるが、現在は下水路となっている。西ノ原遺跡とさかい川との高低差は2～3mで、武蔵野台地縁辺で一段低い部分、さかい川の侵食によって作り出された低位台地上に立地する。

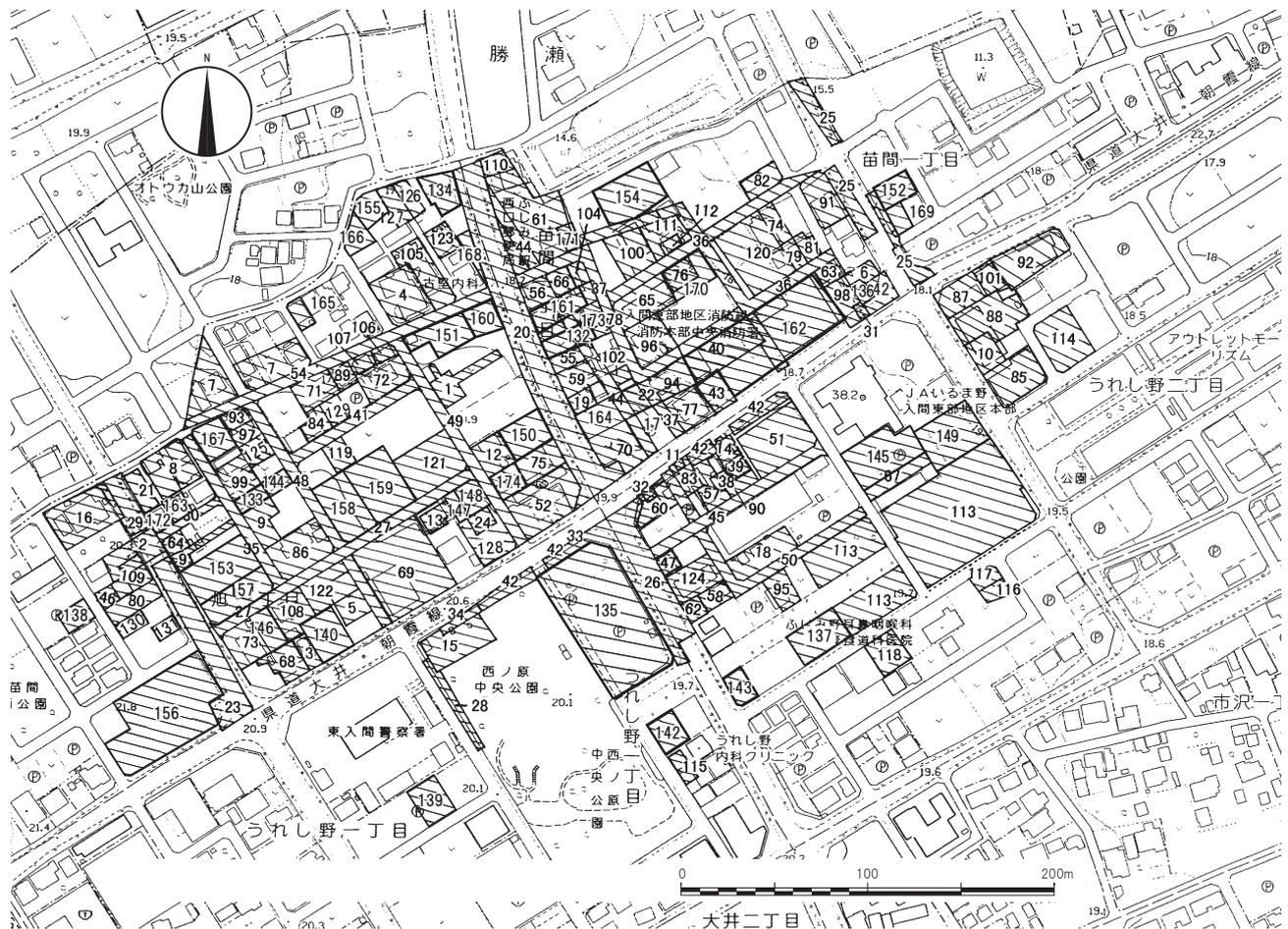
周辺の遺跡は、下流に中沢前遺跡が隣接し、さらに下流域には神明後遺跡、苗間東久保遺跡、浄禅寺跡遺跡等縄文時代の集落が存在する。さかい川対岸には東久保南遺跡と富士見市のオトウカ山があり、その下流には縄文時代中期後半集落の中沢遺跡が広がる。

本遺跡は昭和40年代頃までは武蔵野の面影を残す農村地帯であったが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の増加に伴って遺跡の破壊が

進んでいる。1971年以来2018年4月現在、174地点に及ぶ調査で明らかになった遺跡の時期は、旧石器時代、縄文時代早期・中期・後期、平安時代、中世、近世である。特に縄文時代中期には、210軒を越す住居跡が環状集落として形成され、市内において東台遺跡と共に中期全般を通じた良好な大規模集落跡であったことがわかる。

II 調査に至る経過と概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2016年12月5日付けで「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部やや北寄りに位置しており、2014年1月に試掘調査済みである。試掘調査の概要については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第19集『市内遺跡群18』（2016年11月刊行）に詳しいため割愛する。原因者と協議の結果、遺構への影響が避けられないため原因者負担による本調査を実施した。



第36図 西ノ原遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第26表 西ノ原遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収 報告書
1		1971			住居跡1、土坑3、集石土坑1	町資I
2	西ノ原83	1978.12.6~12.26	270	宅地造成	住居跡1、溝2、旧石器、縄文土器 1979「西ノ原遺跡」	西ノ原遺跡
3		1979.3		宅地造成	土器片のみ出土	
4	西ノ原125-1	1979.7.2~7.9	668	宅地造成	遺構なし、縄文中期土器	東I
5		1979.8.1~8.14		町史編纂事業	住居跡1、土坑1、早期炉穴2、縄文中期土器「大井町史料7集」	町史料7
6	西ノ原170-2	1980.6.19~6.27	450	宅地造成	土坑2、柱穴2、堀之内Ⅱ式土器他	東II
7	西ノ原96-1	1080.10.1~10.29	563	宅地造成	旧石器礫群2、縄文土坑1	東II
8	西ノ原95-2・3	1980.10.30~11.14	661	宅地造成	縄文集石土坑2、土坑1、溝2、縄文中期土器	東II
9	西ノ原93-1、98-1	1981.6.1~6.23	600		柱穴6、溝2、石器、土器	東III
10	西ノ原180-2	1981.11.4~11.13	400	個人住宅	柱穴11	東III
11	西ノ原143-4	1983.5.23~5.27	198	宅地造成	縄文土坑1、縄文中期土器	東V
12	西ノ原123-3	1983.7.6~8.11	330		縄文中期住居跡2、縄文土坑39	東V
13	西ノ原114-6	1983.9.13~10.18	350		縄文中期住居跡1、縄文土坑56、集石1、溝1	東V
14	西ノ原143	1983.10.24~11.7	240		縄文中期住居跡2、縄文土坑3、集石1、溝1	東V
15				共同住宅	縄文土坑2、ピット6	
16					遺構なし	
17	西ノ原135-3	1985.5.13~5.22	165	宅地造成	縄文土坑2、溝1	東VI
18	西ノ原141-2	1985.7.26~8.5	569	宅地造成	縄文中期住居跡1、縄文土坑1、ピット群	東VI
19	西ノ原135-1	1986.7.8~7.21	230	住宅建設	縄文中期住居跡1、縄文土坑1、屋外埋蔵2	東VII
20	西ノ原135-1	1986.11~1987.4	3,553	区画道路	縄文早期炉穴6、中期住居跡跡12、竪穴状遺構、屋外埋蔵2、落とし穴3、土坑40	調査6
21	西ノ原95-1	1986.12.11~1987.1.9	447	住宅	竪穴状遺構1	東VII
22		1987	480	資材置場	縄文中期住居跡2、縄文土坑11、ピット2	東VII
23		1987.7~8	1,024	区画道路	土坑2	調査6
24		1987			縄文中期住居跡2確認、未検出	
25		1988.1~2	781	区画道路	遺構なし	調査6
26		1988.3~4	1,649	区画道路	旧石器礫群、縄文中期住居跡3、土坑9、ピット、屋外埋蔵1	調査6
27		1988.10	942	区画道路	縄文中期住居跡5、縄文土坑2、炉穴1、集石土坑1	調査6
28		1988.11		区画道路	遺構なし	調査6
29		1988.12		区画道路		調査6
30		1989.2~3		区画道路	土坑1	調査6
31	西ノ原115-1	1989.11.4~11.11	21	下水管理設	遺構なし	東IX
32	西ノ原122	1989.1.10~1.19	21	区画道路	縄文中期住居跡1、屋外埋蔵3	東IX
33	西ノ原153-2	1989.1.10~1.19	21	区画道路	縄文中期住居跡1	東IX
34	西ノ原171	1989.1.24~1.31	21	区画道路	縄文中期住居跡1	東IX
35		1989.2~3		区画道路	縄文中期住居跡1、土坑1	調査6
36		1989.3~4	4,000	区画道路	縄文中期住居跡4、縄文土坑5、落とし穴2、井戸1	調査6
37		1989.5~8	200	区画道路		
38	西ノ原142-2	1989.8.29~9.12	74	個人住宅	縄文中期住居跡1、土坑3	東X
39	西ノ原142-2	1989.8.29~9.12	94	個人住宅	土坑2、溝2	東X
40		1989.9.18~10.16 1989.10.19~11.4	980	消防訓練塔	縄文中期住居跡4、土坑4、集石土坑1、ピット28	東X
41		1989.9~10	476	区画道路	縄文中期住居跡4、土坑1	調査6
42		1991.12~1992.7		区画道路	屋外埋蔵2、土坑19	調査6
43	苗間153-3	1990.6.26~7.9	272	個人住宅	縄文中期住居跡4、土坑3	東XI
44		1990.6~8	3,224	区画道路	屋外埋蔵、炉穴3、落とし穴2、土坑16、集石土坑1	調査6
45		1991.2		区画道路		
46	苗間83-2	1991.4.9~10	199	個人住宅	遺構なし、土器片のみ	町I
47	苗間136-2	1991.7.15~7.26	141	個人住宅	遺構なし、石礫、土器片のみ	町I
48		1991.9~10	2,610	区画道路	縄文中期住居跡、土坑3	調査6
49		1991.12~1992.1		区画道路	縄文中期住居跡12、集石土坑1、土坑8	調査6
50		1991.11~12		区画道路	縄文中期住居跡15、屋外埋蔵1、土坑3	調査6
51	苗間153-2	1991.2.4~2.12	1,190	モデルルーム	縄文中期住居跡2、掘立柱跡、土坑2、ピット3	町I
52	苗間122	1991.2.10~2.20	984	ガソリンスタンド	縄文中期住居跡14、集石土坑7、土坑5、野外炉1、ピット19	調査5
53	西ノ原133-2	1992.6	261	分譲住宅		
54		1992.5~7		区画道路	集石土坑1、土坑1	調査6
55	西ノ原135-5他	1992.5.21~6.23	241	駐車場	縄文中期住居跡2、炉穴5、土坑1	調査5
56	西ノ原133-2	1992.6.23~6.26	261	分譲住宅	集石土坑1、土坑3、ピット6、溝1	町II
57	西ノ原143-3・4	1992.7.6~9.1	174	個人住宅	縄文中期住居跡2、土坑1	町II
58	西ノ原137-2	1992.9.8	146	個人住宅	遺構なし、縄文土器若干	町II
59	西ノ原135-1	1992.10.6~11.12	494	個人住宅	縄文中期住居跡3、炉穴11、屋外埋蔵1、土坑1、ピット12	町II
60	西ノ原136-2	1992.12.10~12.25	253	個人住宅	縄文中期住居跡2、炉穴4、土坑1、ピット34、落とし穴1	町II
61	西ノ原	1993.2	2,240	区画整理	早期竪穴状遺構1、落とし穴3、土坑2、炉穴	調査6
62						
63	西ノ原162-3、169	1993.4.13~4.22	147	共同住宅	中(近世)ピット群、遺物なし	町III
64	西ノ原94-1	1993.4.27~28	327	共同住宅	近世・近代溝、前期土器	町III
65	西ノ原145-1	1993.6.7~6.11	615	共同住宅	縄文中期土坑3、平安時代住居跡1、土師器、須恵器	町III
66	西ノ原133-2	1993.6.30~7.19	474	共同住宅	近代溝、縄文土器	町III
67	西ノ原159-2	1994.1.20~21	308	倉庫	縄文中期土坑、ピット、近代溝	町III
68	西ノ原91-2・6	1994.3.22~3.25	285	店舗住宅	遺構遺物なし	町III
69	苗間106	(1994.4.8~4.27) 1994.5.16~10.24	1,821	店舗	縄文中期住居跡28、土坑6、ピット11、溝1	調査13
70	苗間136	1994.5	551	店舗	屋外埋蔵4、土坑14	調査6

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収 報告書
71	苗間112	1994.6~7	309	個人住宅	落とし穴1	
72	苗間112-109	1994.11.2~11.28	321	個人住宅	縄文中期住居跡3、土坑2、溝2	町IV
73	苗間92-1	1994.3.27~3.29	274	個人住宅	遺構遺物なし	町IV
74	苗間163	(1994.4.21~5.13)	169	事務所	ピット6	町V
75	苗間122	(1995.5.16~5.23) 1995.6.2~9.23	379	事務所	縄文中期住居跡17、集石土坑1、土坑4、集石2、ピット9、溝1	調査13
76	苗間151-2他	(1995.4.20~4.27)	468	倉庫	ピット1、溝1	町V
77	苗間143-2	(1995.5.24・25) 1995.6.1~7.28	347	店舗	縄文中期住居跡1、土坑18、溝4、ピット58	調査13
78	苗間22-3-2	(1995.6.28~8.8)	45	貯水槽	縄文中期住居跡3	町V
79	苗間162-2他	(1995.6.29~7.24)	135	個人住宅	遺構遺物なし	町V
80	苗間83-2	(1995.7.19~7.25)	319	駐車場	遺構遺物なし	町V
81	苗間169	(1995.8.2~8.7)	223	店舗付住宅	溝1、遺物なし	町V
82	苗間168	(1995.8.1~8.5)	249	事務所	遺構遺物なし	町V
83	苗間136-2	1995.8.23~10.21	190	個人住宅	縄文中期住居跡2、集石土坑2、土坑2、ピット22	町V
84	苗間108、109	(1995.11.30~12.9)	135	個人住宅	土坑1、ピット5	町V
85	苗間181-3	(1996.1.9~1.26)	654	パチンコ店	遺構遺物なし	町V
86	苗間113-2、93-1	(1996.4.19) 1996.4.22~5.15	698	個人住宅	土坑6、ピット26、溝2	町VI
87	苗間182-1	(1996.6.14~6.17)	344	学習塾	遺構遺物なし	町VI
88	苗間西ノ原182-3、189-2、202-1	(1996.7.16~7.22) 1996.8.1~8.8	745	共同住宅	土坑3、ピット29、欄干1、落とし穴1、銭	調査13
89	苗間西ノ原112	(1996.7.17・18)	143	個人住宅	溝、土器片のみ	町VI
90	苗間西ノ原142-2	(1996.7.3) 1996.8.7~8.30	177	個人住宅	縄文中期住居跡2、炉穴2、土坑1、ピット9	町VI
91	苗間169	(1996.8.1~8.5)	477	店舗	遺構遺物なし	町VI
92	苗間192-2	(1996.10.23~10.28)	684	店共用住宅	遺構遺物なし	町VI
93	苗間315	(1996.10.22・23)	141	分譲住宅	遺構なし、土器片のみ	町VI
94	苗間145-2	(1996.11.11・12)	165	個人住宅	遺構なし、土器片のみ	町VI
95	苗間154	(1996.11.14~11.19)	283	商業ビル	炉1	町VI
96	苗間441	(1996.12.17~12.20) 1997.1.9~1.14	333	個人住宅	縄文中期住居跡2、炉穴2、土坑1、ピット3	町VI
97	苗間97-2	(1996.12.19・20)	141	分譲住宅	遺構遺物なし	町VI
98	苗間171-2	(1997.1.6)	206	個人住宅	盛土保存	町VI
99	苗間97-1	(1997.1.20~1.24)	396	個人住宅	土坑1、落とし穴1、ピット12、溝1	町VI
100	苗間150-2	(1997.4.5~4.12)	447	共同住宅	土坑2、ピット3	町VII
101	苗間183-1・3	(1997.7.22~7.25)	187	モデルハウス	遺構遺物なし	町VII
102	大井苗間22街区5画地	(1997.10.9~10.20)	179	個人住宅	ピット2、溝2	町VII
103						
104	苗間22街区2画地	(1997.10.6~10.8)	223	個人住宅	崩土、溝2	町VII
105	苗間125-2、126-2	(1998.1.13~2.12)	565	共同住宅	縄文中期住居跡1、炉穴1、溝9	町VII
106	苗間112	(1998.1.28~2.4)	135	個人住宅	ピット1	町VII
107	苗間112	(1998.2.9~2.13)	135	個人住宅	ピット4、溝1	町VII
108	苗間91-1、92-1、99-1	(1998.3.3) 1998.3.4~3.17	413	個人住宅	縄文住居跡1、土坑1、近世溝3	町VII
109	苗間83-4、429	(1998.3.11~3.18)	429	共同住宅	遺構遺物なし	町VII
110	苗間146-2	(1998.4.20~5.28)	385	郵便局	落とし穴1、集石1、礫群1	町VII
111	大井苗間23街区9画地	(1998.10.23~10.27)	354	個人住宅	ピット1、近世の溝1、道1	町VII
112	大井苗間23街区9画地	(1999.2.9)	144	個人住宅	近世の溝のみ	町VII
113	大井苗間57・58街区	(1999.4.5~12.14) 2001.6~3.13	2,817	店舗	旧石器時代のユニット、中期住居跡6、炉穴2、土坑、ピット、近世溝	町IX
114	西ノ原194-1	(1999.8.4~8.12)	676	駐車場	落とし穴1、ピット2	町IX
115	大井苗間52街区3画地	(1999.9.27~9.29)	135	事務所	遺構遺物なし	町IX
116	大井苗間59街区11画地	(1999.12.2・3)	119	個人住宅	遺構遺物なし	町IX
117	大井苗間199-2	(1999.12.2~12.4)	131	店舗併用住宅	遺構遺物なし	町IX
118	大井苗間59街区45画地	(2000.4.3~4.12)	548	店舗住宅	遺構なし、縄文中期土器片	町X
119	大井苗間18街区4画地	2000.11.15~12.6	221	倉庫	縄文中期住居跡3、土坑1、近世溝1	町X
120	大井苗間24街区4画地	(2001.5.7~5.15)	1,120	共同住宅	遺構なし、縄文中期土器片	町XI
121	旭1-15	2002.2.7~3.8	803	個人住宅	縄文中期住居跡2、土坑2、ピット35、近世溝4	町XI
122	大井苗間14街区8画地	(2002.3.9~3.19) 2002.6.21~7.22	593	共同住宅	縄文中期住居跡4、溝3	町XI
123	大井苗間19街区10画地	(2002.9.3~9.9)	252	共同住宅	根切溝のみ	町XI
124	苗間137-2	(2002.10.2~10.6) 2002.10.8~10.11	524	個人住宅	縄文中期住居跡1、土坑2、溝2	町XI
125	旭1-8-2	(2003.2.14~2.19)	182	個人住宅	ピット5	町XI
126	旭1-13-6・7	(2004.2.23~2.25)	153	個人住宅	遺構遺物なし	町XI
127	旭1-13-4・19	(2004.5.24・25)	327	個人住宅	土坑1	町XI
128	旭1-16-9・10	(2004.6.14~7.15) 2004.7.16~9.29	614	店舗	縄文中期住居跡17、集石5、土坑10、ピット17	町XI
129	旭1-11-5	(2004.9.30~10.7)	235	共同住宅	縄文中期住居跡1	町XI
130	旭1-5-8	(2004.10.14・15)	116	個人住宅	遺構遺物なし	町XI
131	旭1-5-13	(2004.10.22)	97	店付個人住宅	遺構遺物なし	町XI
132	苗間1-15-17	(2005.7.28~8.2) 2005.8.3~8.11	272	店舗併用共同住宅	縄文中期住居跡3、炉穴7、土坑1	調査18
133	旭1-8-8	(2005.10.11・12)	176	個人住宅	遺構なし、土器片	市2
134	旭1-13-8	(2005.10.6~10.11)	348	店舗	道跡1	市2
135	うれし野1-5-2	(2006.3.14~4.28) 2006.5.29~6.19 (2007.11.5~11.12)	3,341	店舗併用共同住宅	縄文中期住居跡1、炉穴1 土坑1、ピット3	市3 市4

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収 報告書
136	苗間1-13-22・23	(2006.6.23)	630	学生寮	遺構遺物なし	市3
137	うれし野2-17・5・6・7	(2006.8.3~8.7)	861	共同住宅	遺構遺物なし	市3
138	旭1-4-7・8	(2006.11.21~22)	247	個人住宅	遺構遺物なし	市3
139	うれし野1-4-4・5・6	(2007.2.1)	474	共同住宅	遺構遺物なし	市3
140	旭1-16-14の一部	(2007.5.7~5.10)	487	学習塾	遺構遺物なし	市4
141	市沢1-8-8	(2007.5.8・9)	735	店舗兼事務所	土坑1、ピット1	市4
142	うれし野1-6-2	(2008.4.4~4.7)	296	寄宿舎(24F)	遺構遺物なし	市6
143	うれし野2-17-3	(2009.3.23)	287	寄宿舎(25F)	遺構遺物なし	市6
144	旭1-8-11	(2009.9.18~9.25)	155	店舗兼事務所	遺構遺物なし	市8
145	うれし野2-4-1・10	(2010.7.23~8.25)	4,938	農協事務所・農産物直売所	近世以降の溝5	市10
146	旭1-16-3	(2010.10.8~10.13)	246	分譲住宅	遺構遺物なし	市10
147	旭1-16-8の一部	2010.12.8~2011.1.18	135	個人住宅	縄文中期住居跡1、集石土坑1、土坑1、ピット50、近世以降溝2	市10
148	旭1-16-8の一部	2011.1.19~2.1	211	個人住宅	縄文中期住居跡1、土坑3、ピット20、近世以降溝2	市10
149	うれし野2-4-7	(2011.2.7~2.10)	625	農協事務所・農産物直売所	近世以降の溝1	市10
150	旭1-14-5・6	(2012.1.23~2.16) 2.22.20~3.4	108	宅地造成	縄文中期住居跡12、集石土坑2、土坑2、ピット36、縄文土器・石器	市11
	旭1-14-18	2013.1.23~2.14	111	個人住宅	縄文中期住居跡5、風倒木痕1、縄文中期土器・石器コンテナ14箱	市15
	旭1-14-19	2012.6.26・27	107	個人住宅	縄文中期住居跡1、縄文土器・石器	市15
	旭1-14-17	2013.7.1~7.26	111	個人住宅	縄文中期住居跡3、土坑3、ピット2、縄文土器・石器	市18
151	旭1-14-1	(2012.1.25~1.27)	467	分譲住宅	溝5、縄文土器片	市14
152	苗間1-12-3	(2012.1.27~1.31)	324	分譲住宅	遺構遺物なし	市14
153	旭1-6-2の一部、1-6-4・5	(2012.5.28~5.30)	951	共同住宅	縄文中期住居跡1、縄文土器、石器	市15

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収 報告書
154	苗間1-2-2・3	(2011.10.24~10.28)	846	共同住宅	遺構なし 縄文土器片	市14
155	旭1-13-3・25	(2013.10.21・22)	234	分譲住宅	地表面から1.7m掘削するも確認面まで達せず、遺構遺物なし	市18
156	旭1-17-1・2	(2013.11.26~12.9)	2,345	店舗付工場	縄文住居跡床面確認、遺存状態悪く本調査不可	市18
157	旭1-6-3	(2013.12.9~12.17)	602	分譲住宅		市18
158	旭1-15-6の一部	(2014.1.7~1.14) 2017.4.4~7.18	739	共同住宅	縄文時代住居跡12軒検出、要本調査	市18・23
159	旭1-15-8	(2014.1.30~2.10) 2014.3.4~5.2	869	共同住宅	縄文時代住居跡9(プラン・炉・ピットのみを検出含む)	市18
160	旭1-14-2	(2014.4.15・16)	309	駐車場	土坑1、縄文土器	市20
161	旭1-15-18	(2014.6.17)2014.6.18~6.23	442	個人住宅	縄文時代中期住居跡2、溝1、土器片、石器	市20
162	苗間1-13-2~5・11	(2014.8.29・9.4)	2,527	葬祭場	溝1(時期不明、近世以降)、土器片	市20
163	旭1-7-10	(2015.2.2・3)	149	個人住宅	遺構なし、土器片	市20
164	苗間1-15-8	(2015.5.11~5.18)	647	駐車場	住居跡1、屋外埋篋1、土坑6、ピット1、縄文土器	市22
165	旭1-12-1	(2015.9.30)	160	個人住宅	遺構遺物なし	市22
166	旭1-13-1・17・18	(2015.11.5)	212.01	分譲住宅	遺構遺物なし	市22
167	旭1-8-1	(2015.11.9・10)	349	駐車場	遺構なし、土器片	市22
168	旭1-13-20・23	(2013.10.21)	76.8	店舗	遺構遺物なし(旧西ノ原遺跡第154地点の名称を変更)	市18
169	苗間1-12-5	(2016.9.14)	173	共同住宅	遺構遺物なし	未報告
170	苗間1-14-2・3	(2016.10.18・19)	468.36	戸建住宅建設	ピット4、溝1、土器、石器、陶磁器	未報告
171	苗間1-4・5	(2016.11.28)	102.32	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
172	旭1-7-12	(2017.2.17)	147.45	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
173	苗間1-15・3	(2017.4.14)2017.4.17~21	113.82	個人住宅	縄文住居跡1、縄文土器	未報告
174	旭1-14-12・13	(2017.5.24)	229.08	共同住宅	縄文住居跡5、土坑、溝1、縄文土器、石器	未報告

*東：大井町東部遺跡群、町：大井町町内遺跡群、町資：大井町町内遺跡1、調査：大井町遺跡調査報告、市：ふじみ野市内遺跡群

第27表 西ノ原遺跡住居跡一覧表 (単位 cm)

住居番号	地点	平面形 ()は推定	規模	炉		壁溝	備考	時期	文献
				地床埋設	石面				
1	1	楕円形	456×398	○		有	○ 完掘、床直上土器	E II 古	資 I
2	2	不整形	400×400	○	△		完掘	阿 II a	調6集
3	5	楕円形	634×530	○	△		完掘	勝 II 新	調6集
4	12・150	隅丸方形	540×485	○		有	○ 調査率75%、111号と複合 調査率60%、111号に切られる	E I 新 東V	調6集
5	13・69	隅丸方形	不明	○				E I 新 東V	調6集
6	14	(隅丸方形)	520×?	○	○	有	調査率70%	E II 新 東V	調6集
7	14	(隅丸方形)	440×430	○			調査率80%	E II 新 東V	調6集
8	15	不明	削平		○		攪乱、石皿	E II	調6集
9	18 (不整形)	(540)	○				調査率90%	E II	東VI
10	19	楕円形	460×415	○		建替	調査率95%	勝 III 古	町 II
11	20	楕円形	550×497	○	○	建替	完掘、土製品・浮子	勝 III 古	調6集
12	20	(円形)	(440)×?			未掘	調査率30%、下層土器	E I 新古	調6集
13	20	円形	630×660	○		△	完掘、炉西埋設	E II 古	調6集
14	20	楕円形	(430×350)	○	○		完掘	勝 III 古	調6集
15	20 (円形)	543×?	○	○		有	調査率80%	E I 古	調6集
16	20・59	楕円形	548×516	○	○	建替	○ 完掘、耳栓	E I 古	調6集・町 II
17	20	楕円形	665×590	○	○	2回拡張	○ 完掘、復元26個体	勝 III 新	調6集
18	20	楕円形	420×353	○		有	○ 完掘、22号と複合	(勝 III)	調6集
19	20	円形	515×488	○			完掘	E II 中	調6集
20	20	楕円形	500×450	○	○	有	完掘、有効跡付完形・復元15個体	勝 III 新	調6集
21	20	不整形	615×635	○		建替	完掘	E II 新	調6集
22	20	楕円形	550×450	○	○	○	○ 完掘、床直上土器・入面	勝 III 新	調6集
23	21	楕円形	425×370	○			完掘	勝 II 古	東VII
24	22 (円形)	不明	○	○			調査率85%、工事中中止調査	勝 III 古	東VII
25	22	楕円形	床部削平		攪乱	○	調査率85%、工事中中止調査	E II 新 東VII	調6集
26	26 (円形)	7×(530)	○		○		調査率30%、下層土器	E II 古	調6集
27	26	隅丸方形	570×460	○		○	完掘、据付台石・耳栓	E I 新中	調6集
28	26	円形	床部削平	○	○	○	調査率65%、下層土器	E II 中	調6集
29	27	円形	460×420	○	○		完掘	E I	調6集
30	27・69	楕円形	405×403	○		有	○ 調査率80%、121号と複合	勝 III	調6集
31	27・69	円形	半掘	○			完掘、122号と複合	勝 III	調6集
32	27 (不整形)	(380)×350	○	○			調査率50%	勝 II 新	調6集
33	27・122	楕円形	7×(340)	○	○		完掘、2回発掘	E I 新	町 X II
34	32	楕円形	580×490	○		建替	完掘、121号と複合	E II 中	調6集
35	33	楕円形	605×550	○			完掘、耳栓・石皿	E II 中	調6集
36	34	隅丸方形	560×530	○		△	完掘、据付台石・耳栓	E I 新中	調6集
37	35	楕円形	440×390	○		△	完掘、柱穴内土器	阿 II 新	調6集
38	36	隅丸方形	530×524	○			調査率90%、据付台石・耳栓	E II 新	調6集
39	36	円形	(610)×?	○	○		調査率70%	E I 新	調6集
40	26	楕円形	420×380	○		○	調査率95%	E I 古	調6集
41	38・57 (楕円形)	部分のみ調査				未掘	○ 調査率20%	E II 新	町 II
42	41	楕円形	610×510	○			調査率60%、111号に切られる	E I 新	調6集

住居番号	地点	平面形 ()は推定	規模	炉		壁溝	備考	時期	文献
				地床埋設	石面				
43	41・72	円形	506×470		不明	有	○ 完掘、床大部分攪乱	不明	調6集・町IV
44	41	楕円形	(約500)×?	○			調査率50%	E I 新	調6集
45	41・129	楕円形	560×530	○		建替	○ 完掘、耳栓	勝 III 新	調6・X II
46	40	楕円形	600×496	○			完掘、据付台石・耳栓	E II	東X
47	40	円形	約460×約450		○		調査率98%、有孔跡付・横玉状	E II 新	東X
48	40・43	円形	550×560	○	○		完掘、据付台石・耳栓	E II 新	東X I
49	40・43	楕円形	半掘740	○			調査率75%111号と複合	E II	東X I
50	44・161	円形	530×約500		○	○	完掘、据付台石・耳栓	E II	調6・市20
51	132	大部分未掘	540×630	③	○	有	× 調査率80%	E II 新	調18集
52	132	大部分未掘	460×?	○	○	×	調査率60%、111号に切られる	E I 新	調18集
53	44・70	大部分未掘	690×560	○	○	建替	○ 調査率90%、朱塗多い	勝 III 古	調6集
54	43	円形	335×355	○			完掘、55号と複合	E II	東X I
55	43	不明	690×?	○			攪乱、54号と複合	E III	東X I
56	42	楕円形	600×496	○			完掘、床直上土器	E I 新	調6集
57	42	不明	?×約500			未掘	調査率35%	E I 新	調6集
58	42	円形	550×560	○		△	完掘、柱穴内土器	E I 新中	調6集
59	42	楕円形	半掘740	○	○		調査率40%、58号と複合	E I 新	調6集
60	48	楕円形	590×540	○	○	有	○ 調査率85%、復元27個体・石器36	勝末-E	調6集
61	48・158	楕円形	490×440×30	○	○	有	○ 完掘	勝 III 古	調6・市18
62	48・158	楕円形	475×410×30	○	○		○ 完掘	E I 新	調6・市18
63	48・69・122	楕円形	550×492	○		有	○ 完掘、異系土器	E I 新古	調6集
64	50	不整形	418×420	○			完掘	E II 古	調6集
65	49	円形	550×565	○		3回拡張	○ 完掘、耳栓・連弧文・復元33個体	E II	調6集
66	49	楕円形	670×570	○	○	○	調査率90%、耳栓・土器・77・75号と複合	E II	調6集
67	50・124	楕円形	670×620	○	○	○	○ 調査率75%、土鍾・建替有	E I 古	町 II・X II
68	49・121	円形	625×610	○	○	○	○ 調査率75%、3回発掘	E II 中	町 X I
69	49	円形	618×?	○	○		調査率80%曾利式多い	E II 新	調6集
70	49	東半未掘	468×?			未掘	調査率30%、床直上土器	E I 新中	調6集
71	49	円形	420×?			未掘	調査率20%、石皿	勝 III 古	調6集
72	49	隅丸方形	不明			未掘	○ 調査率15%	勝 III 古	調6集
73	49	楕円形?	570×440	○			調査率80%、大磨製石斧・磨台	E II 新	調6集
74	52	隅丸方形	520×410	○	○	有	○ 調査率95%、曾利系98号と複合	E I 新中	調5・6集
75	49・128・148	楕円形	(600)×(600)	○	○	○	○ 調査率80%、ミニ土器・66・77号と複合	勝 III 古	調6集
76	49・121	円形	512×545	○	○	○	○ 完掘、3回発掘	E II 中	町 VI・X I
77	49・128	楕円形	(550)×(550)	○	○		○ 調査率80%、石榑・石皿・75号と複合	E I 新中	町 VI
78	96	楕円形	402×352	○			完掘	勝 III	町 VI
79	42	南半未掘	?×570	○	△	3回拡張	○ 調査率55%、炉上土器	勝 III 新	調6集
80	83	東半未掘	422×460	○		有	調査率80%	E I 新	調6集・町V
81	50・60	円形	588×未掘	○	○		調査率65%、曾利系	E II 中	調6集・町 II
82	83	楕円形	(560~570)	○	○		調査率70%	E I 古	調6集・町V
83	50	円形	364×?			未掘	調査率45%	E II	調6集
84	52	隅丸方形	732×674	○	○	有	○ 完掘、複合・小形磨製石斧	E I 新中	調5集

住居番号	地点	平面形 ()は推定	規模	炉			埋設	拡張	壁溝	備考	時期	文献
				地床	埋設	石囲						
85	52	楕円形	620×598	○	△					完掘、84号と複合	E II 新	調5集
86	52	隅丸方形	520×490	○			○	○	○	完掘、97号と複合	E I 新	調5集
87	52	円形	354×374	○						完掘、88号と複合	E II 新	調5集
88	52	隅丸方形	640×559	○	○	○	○	○	○	調査率85%、複合・復原31個体	E I 古	調5集
89	52	円形?	420×(390)	○						完掘、85号と複合	E I 新	調5集
90	54	楕円形	7×560	○						調査率70%	勝 III 新	調6集
91	57・90	隅丸方形	746×?	○					○	調査率80%	勝 III 新	町 II・VI
92	55	楕円形	508×422	○						完掘	勝 III 新	調5集
93	55	楕円形	580×490	○					○	完掘	E II 新	調5集
94	52	円形	不明	○	○	○				調査率70%、床掘乱	E II 新	調5集
95	96	(円形)	(600×500)	○						完掘	E II 新	町 VI
96	52	楕円形	(560×580)	○		○				完掘、小形磨製石斧	E II 新	調5集
97	52	楕円形	602×505	○						完掘、86号と複合	E II 古	調5集
98	52	楕円形	472×(234)	○						調査率60%、74号と複合	勝 III 古	調5集
99	52・75	不明	7×402	○						完掘、100号と複合	E II 新	調5・13集・町 V
100	52	隅丸方形	614×644	○	○	○	伏	有	○	完掘、小形磨製石斧・99号と複合	E II 新	調5集
101	59	円形	414×420	○					有	完掘	E I 新中	町 II
102	60	円形	7×376	○						調査率40%、58号と複合%	E II 新	町 II
103	52	楕円形	7×380	○						調査率55%、炉上土器	阿 I b 古	調5集
104	69	(楕円形)	(524×449)	○					有	調査率90%	勝 III 新	調13集
105	69	円形	405×420	○						完掘	E I 新	調13集
106	69	円形	560×520	②					有	完掘	E I 新中	調13集
107	69	円形	520×510	②					有	完掘	勝 II 新	調13集
108	69	円形	385×340	○					○	完掘	勝 III 新	調13集
109	69	楕円形	560×494	○					○	完掘	E I 新	調13集
110	69	不整形	418×370	○						完掘	勝 III 新	調13集
111	69	楕円形	不明	未掘					○	調査率30%、5・125号と複合	E	調13集
112	69	隅丸方形	600×574	○					有	完掘、124・126号と複合	E I 新中	調13集
113	69	隅丸方形	520×496	○					○	完掘、120号と複合	E I 新古	調13集
114	69	円形	480×480	○					有	完掘	勝 III 古	調13集
115	69	隅丸方形	460×340	○						完掘	勝 III 新	調13集
116	69	楕円形	540×498	○					○	完掘、添石埋壁炉	E I 古(中群)	調13集
117	69	隅丸方形	7×440	○						調査率70%	勝 III 新	調6集
118	69	楕円形	520×374	○					建替	完掘	E II 新	調6集
119	69	楕円形	580×480	○					有	調査率90%	E II・管 III	調13集
120	69	円形	392×400	○						完掘、113・124号と複合	E I 新古	調13集
121	69	(円形)	380×390	○						完掘、30号と複合	E II 新	調13集
122	69	隅丸方形	②						有	完掘、31号と複合	E II 新	調13集
123												
124	69	円形?	418×420	○						完掘、112・120・126号と複合	勝 III 新	調13集
125	69	不明	不明	未掘					○	調査率10%、111号と複合	E	調13集
126	69	(円形)	550×565	○					有	完掘、112・124号と複合	E I 新	調13集
127	69	不明	645×?	未掘						調査率10%、111号と複合%	E	調13集
128	69	楕円形	(610×580)	○						完掘、削平著しい	E	調13集
129	69	楕円形	618×?	○						完掘	E	調13集
130	72	円形	542×465	○						完掘	勝 III 古	町 IV
131	72	楕円形	560×442	○					○	完掘	勝 III 新	町 IV
132	77	楕円形	590×580	②					有	完掘	E III 新	調13集
133	75	楕円形	7×460	○					有	調査率60%、138号と複合	E III 新	調13集
134	75	隅丸方形	630×530	②					有	完掘、141号と複合	E I 新	調13集
135	75	隅丸方形	540×460	○					○	完掘	勝 III 新	調13集
136	75	楕円形	7×610	②					有	調査率70%	勝 III 新	調13集
137	75	不明	×?	○					有	調査率20%、138・140号と複合	E	調13集
138	75	隅丸方形	450×360	○					有	完掘、133・139・140号と複合	勝 III 新	調13集
139	75・150	不明	(546)×不明	○						調査率55%、138号と複合、4・213号と重複	勝 III 新	調13集
140	75	楕円形	(762)×不明	○						調査率40%、137・138号と複合	勝 III 新	調13集
141	75	不明	528×不明	○						調査率55%、134号と複合	勝 III 新	調13集
142	75	不明	不明	○						調査率50%、143・144号と複合	勝 III 新	調13集
143	75	楕円形	479×421	○					建替	完掘、142・151号と複合	勝 III 新	調13集
144	75・144	(隅丸長方形)	595×430×40	○					有	調査率90%、142号と複合	勝 III 新	調13・市 14
145	75	不明	不明×325	○						調査率60%、149・151号と複合	勝 III 新	調13集
146	78・132	楕円形	585×?	○					有	調査率85%、炉穴群と複合	E II 新	調17集
147	78	楕円形	?×不明	未掘					○	調査率30%、148号と複合	E II 新	町 V
148	78	楕円形	不明	○						完掘、147号と複合	E II 新	町 V
149	75	(楕円形)	430×336	○						調査率90%、145・150号と複合	E II 新	調13集
150	75	(円形)	581×不明	○						調査率80%、149・151号と複合	勝 III 新	調13集
151	75	(楕円形)	664×(642)	○						調査率95%、143・145・150号と複合	E II 古	調13集
152	90	円形	380×370	○						調査率95%、153号と複合	E II 新	町 VI
153	90	(円形)	(600)	○						調査率20%、152号と複合	E II 新	町 VI
154	105	不明	(400)	○					有	完掘、床面まで削平	勝 III 新	町 VII

住居番号	地点	平面形 ()は推定	規模	炉			埋設	拡張	壁溝	備考	時期	文献	
				地床	埋設	石囲							
155	108・122	隅丸方形	610×540	④	②				建替と拡張	○	調査率75%、2回拡張・建替	勝 III 新・E I 新古式	町 X II
156	113	円形	462×365×14	○							完掘	E II 新	調17集
157	113	隅丸方形	594×392×22	○							調査率75%	E II 新	調17集
158	113	不定形	669×455×16	○					○		完掘	E II 新	調17集
159	113	円形	434×415×13	○?							完掘	E II～III	調17集
160	113	円形	547×490×35	○					○?		完掘	E II 新	調17集
161	113	楕円形	512×440×16	○					○?	②	完掘	E II 中～新	調17集
162	119	隅丸方形	715×?	③					2回拡張	○	調査率75%	勝 III 新	町 X
163	119	楕円形	505×482	○					○	有	完掘、脂肪酸分析実施	E I 新古	町 X
164	119	隅丸方形	不明	未掘							調査率20%	E I 新	町 X
165	122	卵形	498×488	②					建替	○	完掘、他地域系多い	勝 III・E I 新古式	町 X II
166	128	不明	不明	○							調査率10%、削平著しく炉・ヒットのみ検出	E II 中	調13集
167	128	(円形)	不明	○							調査率55%、168・170号と複合	E II 新	調18集
168	128	隅丸方形	不明	未掘					有	○	調査率45%、167号に切られる	E I 新	調18集
169	128	円形	不明	○							調査率30%、南・東未掘	勝 III 新	調18集
170	128	(円形)	不明×496	○							調査率60%、167号を切る	E III 新	調18集
171	128	不整形	554×595	○					有	○	完掘、173号を切る	E II 新	調18集
172	128・147	円形	不明×472	未掘							調査率52%	E I 古	調18集
173	128	円形	485×492	○					有		完掘、171号に切られる	E I 新	調18集
174	128	楕円形	612×?	○							調査率90%、179号と複合	E II 古	調18集
175	128	楕円形	640×630	○					有		完掘、176号に切られる	E II 新	調18集
176	128	隅丸方形	690×535	○					2回拡張	○	完掘、175・177号と複合	E I 古	調18集
177	128	楕円形	624×不明	○					不明		調査率95%、176号を切る	E II 新	調18集
178	128	隅丸方形	不明	未掘					有	○	調査率10%、177号と複合	E I 新	調18集
179	128	楕円形							○		調査率95%、174号を切る	E II 新	調18集
180	128	円形	385×392								完掘	E II 新	調18集
181	51	不整形楕円形	340×298	○							完掘、削平著しい	E II 新	調18集
182	51	(円形)	不明×390	○							調査率45%、削平著しい	E II 新	調18集
183	135	隅丸方形	450×370	○							完掘	E I 新	市 3
184	150	(隅丸方形)	(337×225)								調査率25%	市 15	
185	150	(円形)	320×(224)	○							調査率80%、187号と複合	市 15	
186	欠												
187	150	楕円形	480×430	○					○	○	完掘、185号と複合	市 15	
188	150	楕円形	(517×430)	○							調査率50%	E III 新	市 15
189	150	楕円形	452×400	○							完掘	E II～E III	市 11・15
190	150	楕円形	436×302	○							完掘	E III 新	市 11
191	150	(円形)	(392×220)						○		調査率50%	E III 新	市 11
192	150								○		掘り込み確認できず	市 15	
193	156	(円形)	(270×173)	○							調査率90%	阿玉台 I b～II	市 18
194	158	不明	(310×195)								完掘	市 18・23	
195	158										壁穴遺構に変更	市 18・23	
196	158	隅丸長方形	495×460×25	○					有	○	完掘、198号と切り合う	E I 中	市 18・23
197	158	楕円形	460×420×30	○							完掘	勝坂 III 新	市 18・23
198	158	楕円形	440×410×30	○							完掘、196号に切られる	勝坂 III 新	市 18・23
199	158	楕円形	480×410×10	○							完掘、204号と切り合う	E I 新	市 18・23
200	158	隅丸長方形	490×390×40							○	完掘	E I 新	市 18・23
201	158	楕円形	(400×350×10)						○		完掘	E I 新	市 18・23
202	158	不明	(310×140)								プランのみ確認	市 18	
203	158	不明	(440×155)								完掘	市 18・23	
204	158・159	円形か隅丸方形	375×165×20	○					○		調査率50%	市 16・23	
205	159	円形	360×35×35	○					○		完掘、212号と重複	市 16	</



第37図 西ノ原遺跡遺構分布図(1/2,000)

本調査は2017年3月23、24日の重機による表土除去後、4月4日～7月18日まで行った。残土置き場確保の関係上調査区を東西に分け、西側をA区、東側をB区とした。また南側の既存駐車場部分は工事の工程上、A区及びB区の調査終了後に実施した。その際の掘削にかかる重機等は工事主体者である株式会社住建コンサルの提供と協力を得た。

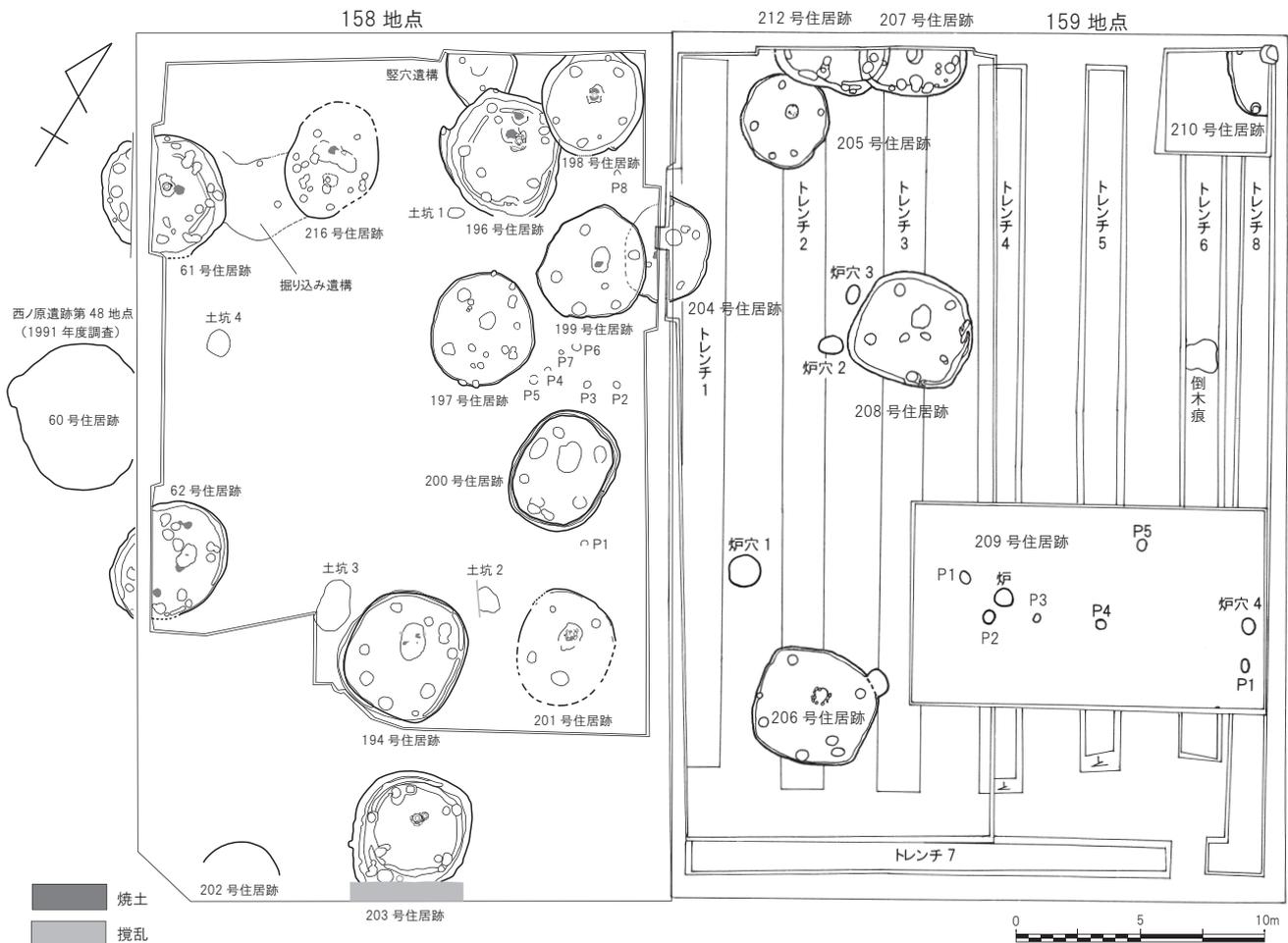
III 遺構と遺物

西ノ原遺跡では2018年3月現在、210軒を超える竪穴建物跡が検出されており、その分布は東西に双環状に広がる。この2つの環状集落には時期差があり、西側集落から東側集落へと変遷することが判明している。

本調査区は西側集落の西限に位置し、初期段階にあたると思われる竪穴建物群が検出された。標高20mのラインが調査区中央を縦断するため西から東へと緩やかな傾斜があり、調査区内での比高差は20cmほどになる。

竪穴建物跡が12軒、他に竪穴遺構1基、掘り込み遺構、土坑4基・ピット8基が検出され、遺物はコンテナで36箱を数える。出土した縄文土器は中期中葉の勝坂Ⅲ式～加曾利EⅠ式が大部分を占める。『大井町遺跡調査会報告 第6集』の西ノ原編年における西ノ原6期～10期にあたり、本章では西ノ原編年を基準に分類を行い、掲載遺物の詳細は観察表に記した。

なお、各遺構の遺物出土状況図は各遺構内すべての出土遺物を表したのではない。



第38図 西ノ原遺跡第158・159地点遺構配置図(1/300)

第28表 縄文時代中期編年対比表

大井町『西ノ原遺跡』
1996新地平
2016黒尾
1995谷井他
1982ふじみ野市報告書
2017(18集)

本書

西ノ原1期		6a	1a中	IVb	猪沢・阿玉台Ib古		
西ノ原2期	Ⅶ群1類	6b	1a新	Va	勝坂I古・新道古・阿玉台Ib新		
西ノ原3期		7a	1b	Vb	勝坂I新・新道新・阿玉台II古	阿玉台II	
西ノ原4期	Ⅶ群2類	7b	2a古	VI	勝坂II古・藤内古・阿玉台II新		
		8a	2a新				
		8b	2b	VII	勝坂II新・藤内新	勝坂II	
西ノ原5期	9a	3a	勝坂III古・井戸尻・阿玉台III古		勝坂II新		
西ノ原6期	Ⅶ群3類	9b	3b古	VIII	勝坂III新・阿玉台III新	勝坂III	
西ノ原7期 —8期直前—		9c	3b新		加曾利E I 古		
西ノ原8期	IX群1類	10a	1a	IXa			加曾利E I 古
西ノ原9a期	IX群2類	10b	1b	IXb	加曾利E I 新 古相		
西ノ原9b期		10c	1c	X	中相	加曾利E I 中	
西ノ原10期		11a	2a		新相	加曾利E I 新	
西ノ原11期	IX群3類	11b	2b	XI	加曾利E II 古相 中相 新相	加曾利E II	
西ノ原12期		11c	2c			XIa	
		12a	3a			XIIa	
西ノ原13期		12b	3b	XIIb	加曾利E III	加曾利E III	
西ノ原14期	IX群4類	12c	3c	XIII	加曾利E IV		
		13a	4				
		13b		XIV			

①第 61 号住居跡

【位置・検出状況】調査区北西部に東側 2/3 を検出。1991 年度調査時に調査済みの西側 1/3 と合わせて調査率は 100%。

【形状・規模】西北方向にやや長い楕円形。長軸 490cm × 短軸 440cm、深さは 30cm 程度である。基本的に壁はしっかり立ち上がるが、北から東にかけて、周溝の外側にあたる範囲では、なだらかな斜面が広く設けられ、テラス状になっている。

【構造】ピットは 22 基検出された。その内、柱穴としての機能が考えられるものは 15 基で、構造としては 6 本あるいは 8 本支柱穴と考えられる。

周溝は東側半分のみで、ピットとの切り合いがある。

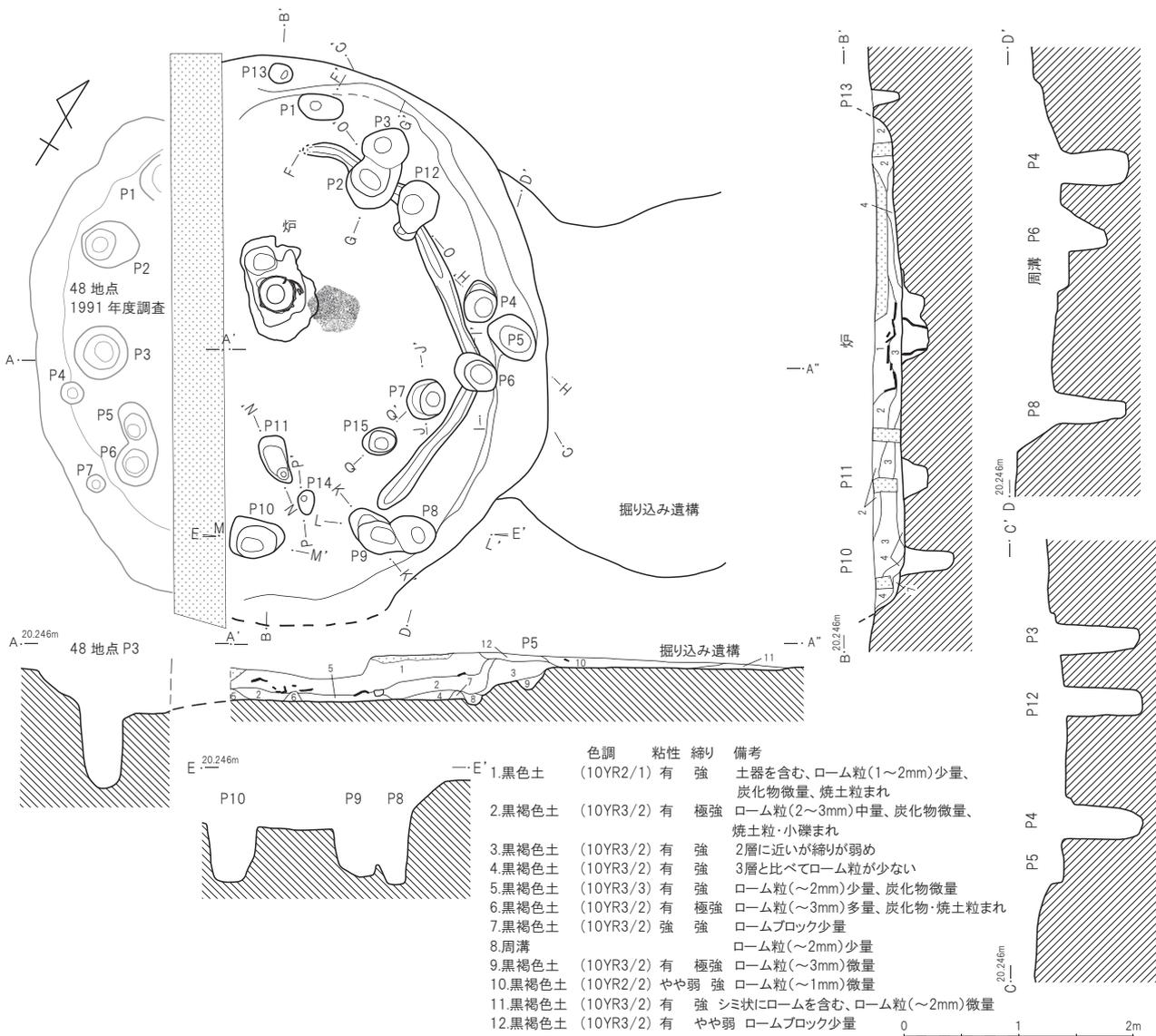
ピット同士、周溝との切り合いからは少なくとも

1 回の建替え（拡張）が考えられる。

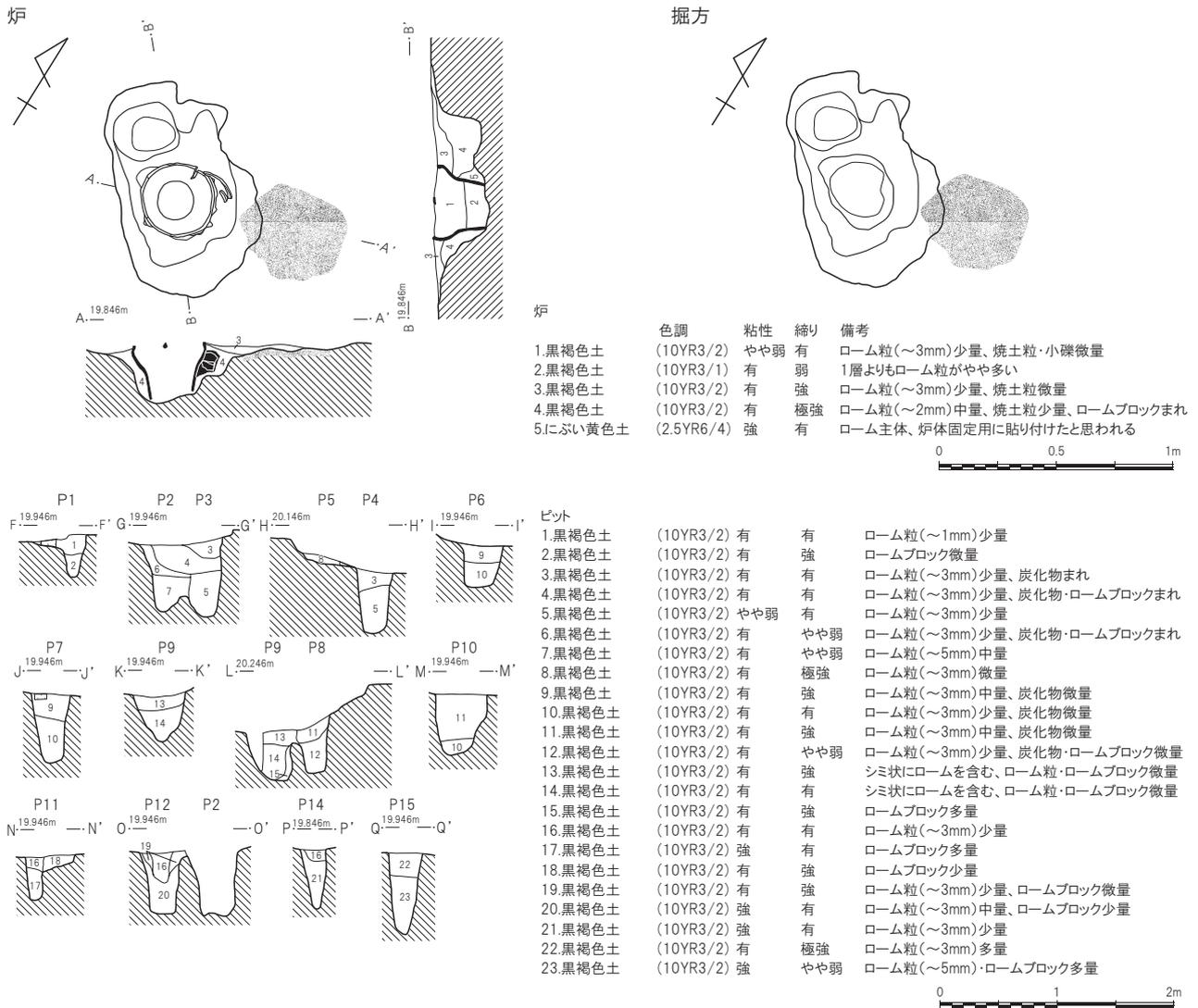
【炉】炉体土器を持つ埋甕炉。住居中央やや北西寄りに位置し、床面を 20cm ほど掘り込み、長軸 90cm × 短軸 60cm を測る。南東に円形の焼土が広がる。炉体土器の脇からは、旧炉体と思われる土器の胴部破片が出土している。

【遺物】主に覆土 1 層の黒色土層から出土しており、これらは住居廃絶後、5 ~ 10cm 程度、覆土の堆積が始まってから廃棄されたものと考えられる。3、4、47 は折り重なって出土し、5 はそこから少量の土器と土の堆積を挟んで出土したが、土層に明確な違いは無く、あまり大きな時間差は無いようである。出土遺物は大部分が勝坂Ⅲ式に属する。

【時期】炉体土器から勝坂Ⅲ式新段階。



第 39 図 西ノ原遺跡第 158 地点 61 号住居跡 (1/60)



第40図 西ノ原遺跡第158地点61号住居跡炉・掘方(1/30)、ピット(1/60)

第29表 西ノ原遺跡第158地点61号住居内ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	楕円形	38 × 22	9 × 7	47.3	
2	不明	(38) × 42	22 × 12	57.7	
3	楕円形	39 × 35	14 × 14	75.1	
4	楕円形	36 × 27	17 × 14	62.6	
5	楕円形	47 × 31	28 × 21	7.7	
6	楕円形	40 × 30	20 × 15	41.8	
7	楕円形	37 × 31	13 × 11	64.2	
8	不明	40 × 32	15 × 11	63.1	
9	不明	55 × 30	22 × 12	53.2	
10	楕円形	47 × 34	19 × 12	60	
11	楕円形	46 × 24	5 × 3	63.6	
12	だるま形	53 × 35	18 × 17	63.9	
13	楕円形	21 × 17	8 × 4	21.9	
14	楕円形	21 × 14	5 × 5	50.5	
15	楕円形	31 × (22)	12 × 11	70	

第30表 西ノ原遺跡第48地点61号住居内ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	不明	44 × (15)	18 × (15)	46	深さは調査会報告書6より
2	楕円形	49 × 39	14 × 12	73	
3	円形	46 × 45	18 × 14	60	
4	円形	20 × 20	9 × 8	20	
5	不明	(42) × 25	12 × 10	46	
6	不明	39 × 35	15 × 15	51	
7	円形	15 × 15	8 × 7	35	



第41図 西ノ原遺跡第158地点61号住居跡遺物出土状況(1/30)

②第62号住居跡

【位置・検出状況】調査区西部にて東側2/3を検出。西側の1/3は1991年度調査時に調査済みであり、調査率は100%である。

【形状・規模】南北に長い楕円形。長軸475cm×短軸410cm、深さは30cm程度である。壁は急角度で立ち上がり、ほぼ垂直に近い部分もある。

【構造】ピットは13基検出され、その内柱穴として捉えられるものは9基である。住居構造は4本主柱穴であり、ピット3・4・5は人為的に埋め戻されていることから、上屋の建替えを行ったようである。

周溝は部分的に途切れながらも全周する。

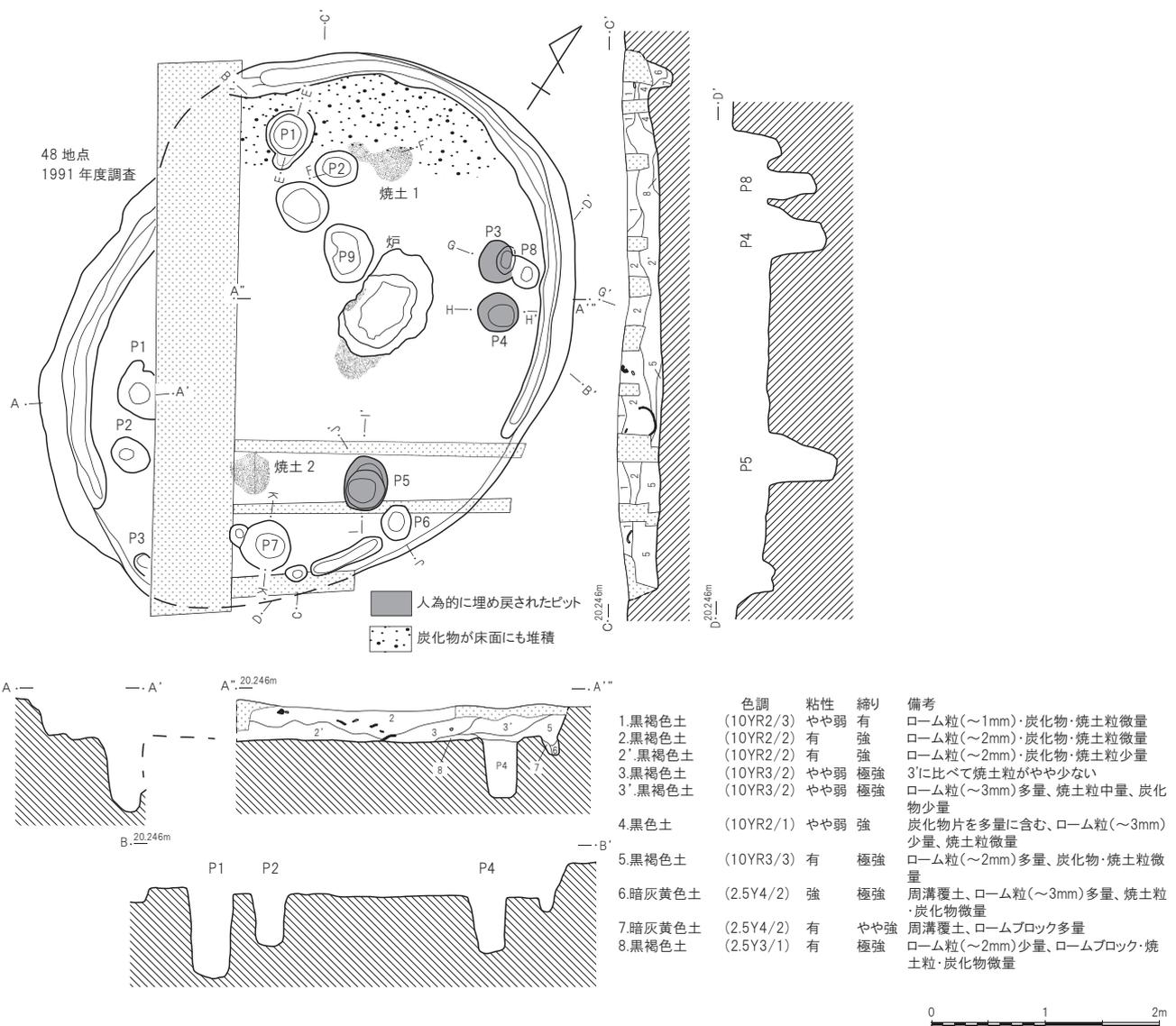
床面には炉の他に焼土が2ヶ所で検出された。また住居の北側では炭化物の碎片を多量に含む4層が堆積しており、堆積範囲の床面には炭化物が入り込むほ

どであった。焼土1はこの炭化物範囲と隣接しており、関連が窺える。

【炉】住居中央北寄りに位置し、楕円形に床面を20cmほど掘り込む地床炉。長軸96cm×短軸60cm。南側床面・西南壁面に焼土が広がる。覆土より土器片が出土しており、土器を利用していた可能性がある。

【遺物】61号住居跡同様、ほとんどの出土遺物は住居廃絶後、覆土の堆積がやや進んでから廃棄されたものと考えられる。完形に近い浅鉢も、床面からは5cmほど浮いた状態で出土している。加曽利E I古式が主体である。曾利・大木式といった他系統も確認される。石器は他の住居跡に比べて剥片石器が多い。

【時期】加曽利E I式中～新段階。

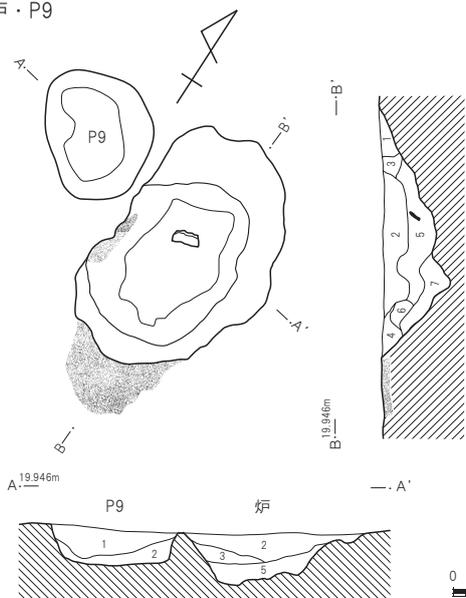


第42図 西ノ原遺跡第158地点62号住居跡(1/60)

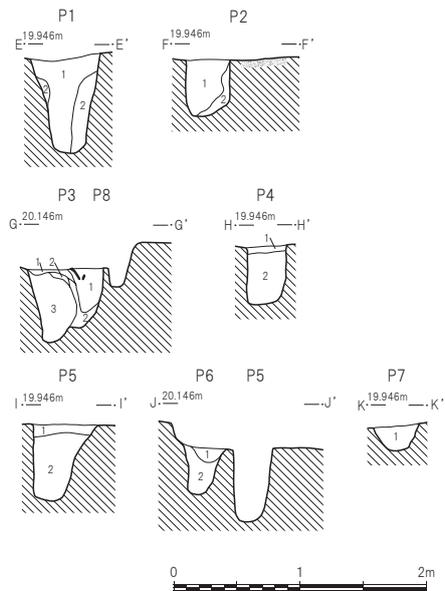


第43図 西ノ原遺跡第158地点62号住居跡遺物出土状況(1/30)

炉・P9



炉	色調	粘性	締り	備考
1.黒褐色土	(10YR3/3)	有	強	ローム粒(～3mm)少量、焼土粒・炭化物微量
2.黒褐色土	(10YR3/3)	有	強	ローム粒(～3mm)少量、焼土粒・炭化物微量
3.黒褐色土	(10YR3/3)	有	強	ローム粒(～3mm)少量、ロームブロック・焼土粒微量
4.黒褐色土	(10YR3/3)	有	強	シミ状にローム、ローム粒(～3mm)少量、焼土粒・炭化物微量
5.黒褐色土	(10YR3/3)	やや弱	有	ローム粒(～3mm)・焼土粒中量、ロームブロックまれ
6.黒褐色土	(10YR3/3)	有	有	ローム粒(～5mm)やや多量、焼土ブロック少量
7.黒褐色土	(10YR5/4)	やや弱	強	ローム主体、焼土粒(～3mm)微量
P9				
1.黒褐色土	(10YR3/3)	有	強	ローム粒(～3mm)少量、焼土粒・炭化物微量
2.黒褐色土	(10YR3/3)	有	強	ローム粒(～3mm)中量、焼土粒・炭化物微量、ロームブロックまれ



P1				
1.黒褐色土	(10YR3/3)	有	強	ローム粒(～3mm)少量、焼土粒・炭化物微量
2.黒褐色土	(10YR3/3)	有	強	ローム粒(～3mm)少量、ロームブロック、焼土粒・炭化物微量
P2				
1.黒褐色土	(10YR3/3)	有	有	ローム粒(～3mm)中量、焼土粒・炭化物微量
2.黒褐色土	(10YR3/3)	有	有	ローム粒(～3mm)・ロームブロック少量
P3				
1.黒褐色土	(10YR3/3)	有	強	ローム粒(～3mm)少量、焼土粒・炭化物微量
2.黒褐色土	(10YR3/3)	有	有	ローム粒(～3mm)多量
3.にぶい黄褐色土	(10YR5/4)	有	やや弱	ローム主体、ローム粒多量、ロームブロック少量、炭化物まれ、人為的埋め土
P4				
1.黒褐色土	(10YR3/3)	有	有	ロームブロック少量、焼土粒まれ
2.にぶい黄褐色土	(10YR5/4)	有	やや弱	ローム主体、ローム粒多量、ロームブロック少量、炭化物まれ、人為的埋め土
P5				
1.黒褐色土	(10YR3/3)	有	有	ローム粒(～3mm)中量、焼土粒・炭化物微量
2.にぶい黄褐色土	(10YR5/4)	有	やや弱	ローム主体、ローム粒多量、ロームブロック少量、炭化物まれ、人為的埋め土
P6				
1.黒褐色土	(10YR3/3)	有	有	ローム粒(～3mm)中量、焼土粒・炭化物微量
2.黒褐色土	(10YR3/3)	有	強	シミ状にローム、ローム粒(～3mm)中量、焼土粒・炭化物微量
P7				
1.黒褐色土	(10YR3/3)	有	有	ローム粒(～3mm)中量、焼土粒・炭化物微量
P8				
1.黒褐色土	(10YR3/3)	有	有	ローム粒(～3mm)中量、焼土粒・炭化物微量
2.黒褐色土	(10YR3/3)	有	強	ローム粒(～3mm)多量、焼土粒・炭化物微量

第44図 西ノ原遺跡第158地点62号住居跡炉(1/30)、ピット(1/60)

第31表 西ノ原遺跡第158地点62号住居内ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	だるま形	55 × 40	23 × 23	75.7	
2	円形	37 × 32	24 × 17	46.9	
3	不明	35 × (30)	16 × 8	62.7	
4	円形	35 × 35	22 × 18	48.3	
5	隅丸方形	47 × 37	23 × 22	58.4	
6	円形	32 × 25	17 × 12	42.4	
7	だるま形	55 × 45	24 × 22	26.5	
8	不明	24 × (22)	13 × 9	47	
9	楕円形	51 × 46	37 × 23	15.8	

第32表 西ノ原遺跡第48地点62号住居内ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	不明	50 × (33)	19 × 18	48	深さは調査会報告書6より
2	楕円形	35 × 27	12 × 10	23	
3	不明	15 × (11)	10 × (8)	10.5	

③第 194 号住居跡

【位置・検出状況】 調査区南部にて検出した。

【形状・規模】 全体的に丸みを持つ隅丸長方形。長軸 520cm × 短軸 470cm、掘り込みは浅く、深くても 15cm ほどであるが、調査区内では大型である。浅いため不明瞭だが、壁は角度を持って立ち上がる。

【構造】 ピットは 10 基確認でき、柱穴と考えられるのは 6 基。やや不均等だが構造は 6 本支柱穴と考えられる。

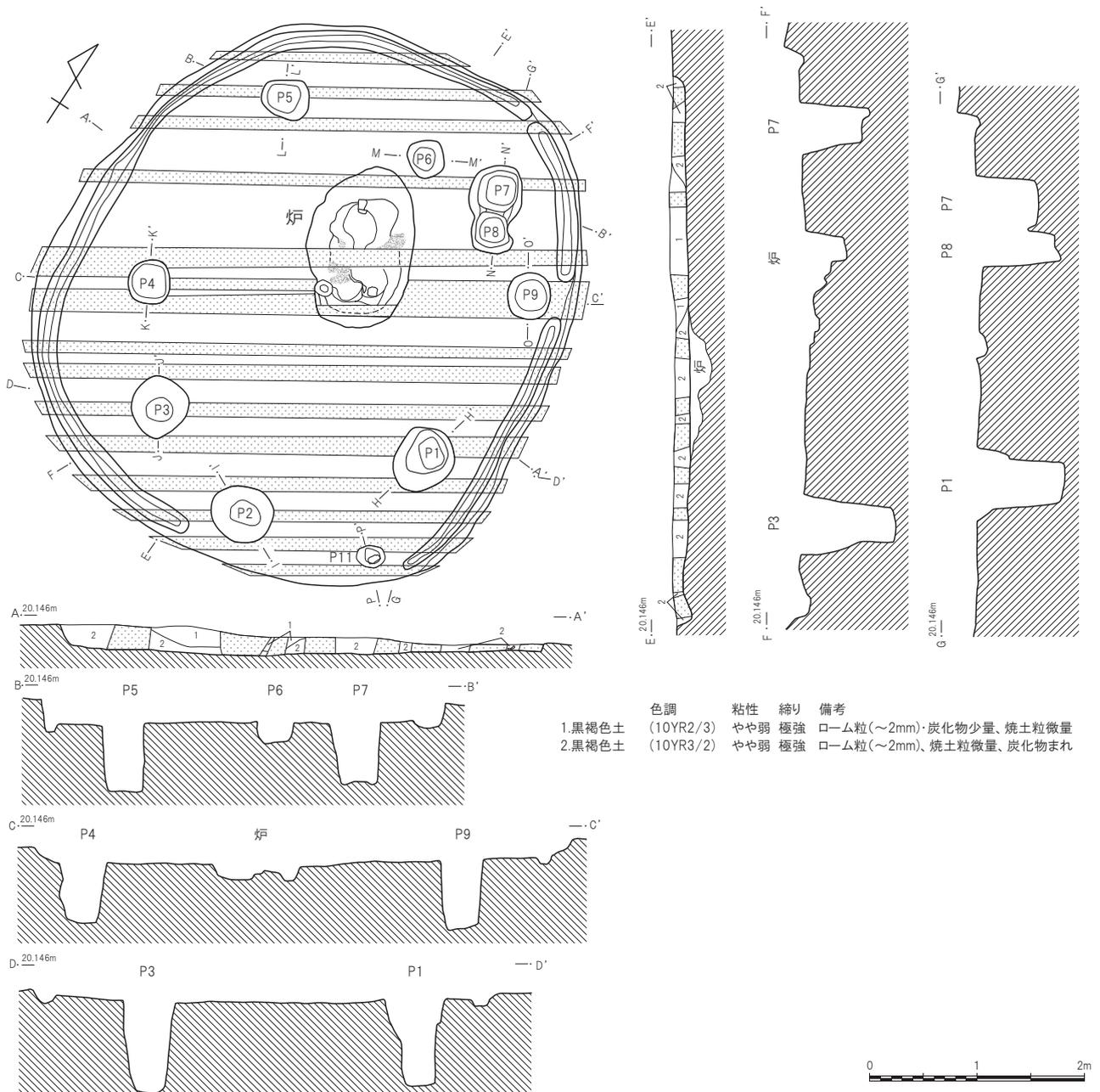
周溝は浅く、途切れながらも全周する。

【炉】 住居中央北寄りに位置する。上端は楕円形で長軸 142cm × 短軸 94cm を測る。中央部が攪乱のため

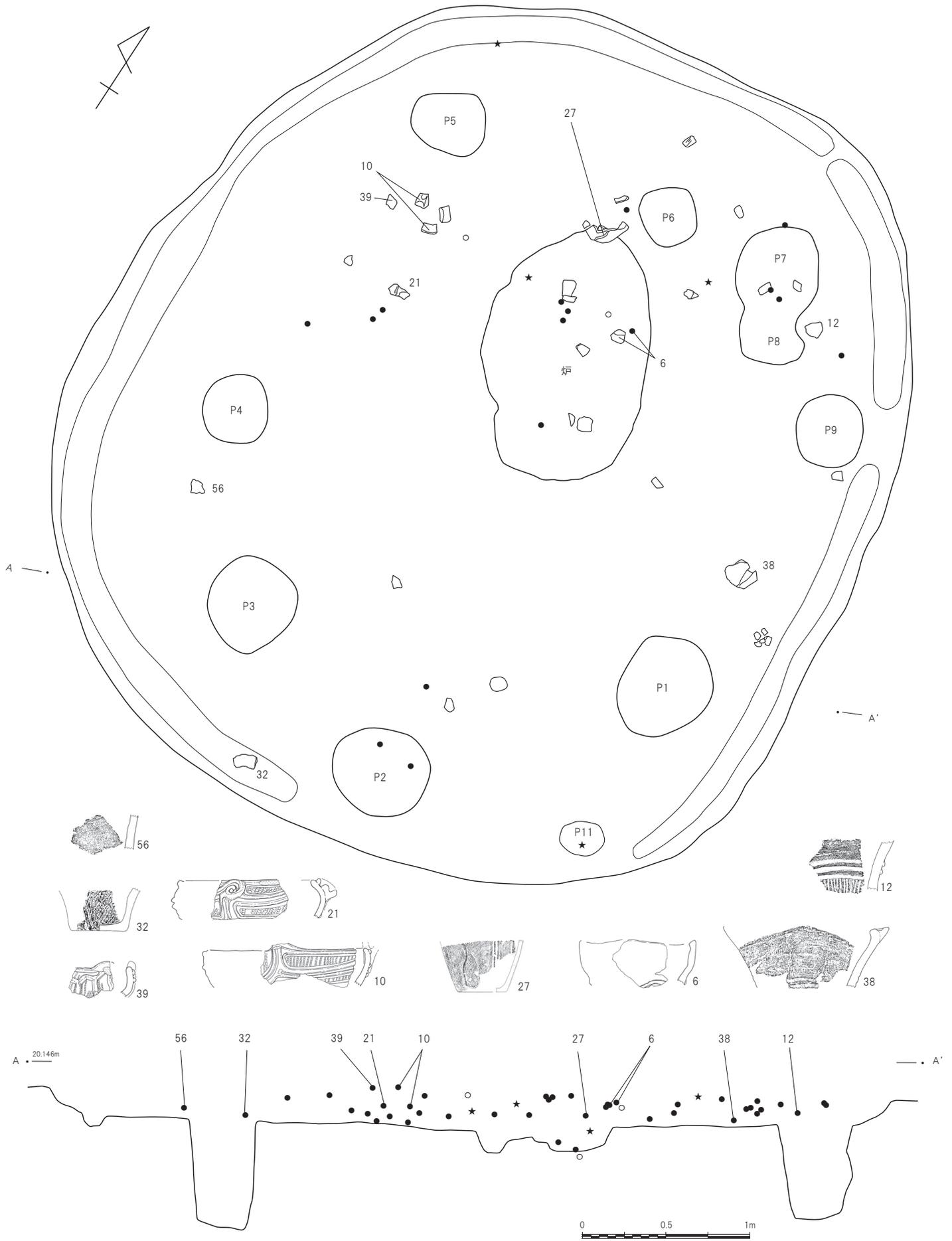
不明確だが、下端は 2ヶ所に分けられ両者の接地するくびれ部分に焼土が広がっている。構造的には炉体土器の存在がうかがわれるが、覆土中の土器は炉体とは考えにくく、作業場を設けた地床炉とみられる。

【遺物】 覆土が薄いため、出土量はあまり多くない。型式別では加曾利 E I 式が大部分を占めており、地文は撚糸と単節縄文、懸垂文は隆帯及び沈線によるものが混在する。

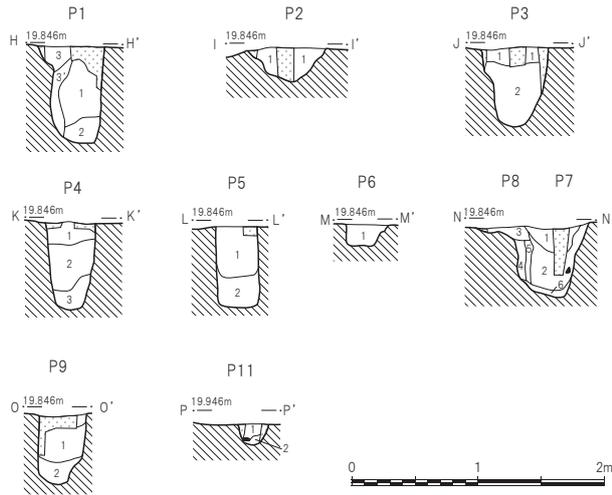
【時期】 加曾利 E I 中～新段階には埋まり始める。



第 45 図 西ノ原遺跡第 158 地点 194 号住居跡 (1/60)



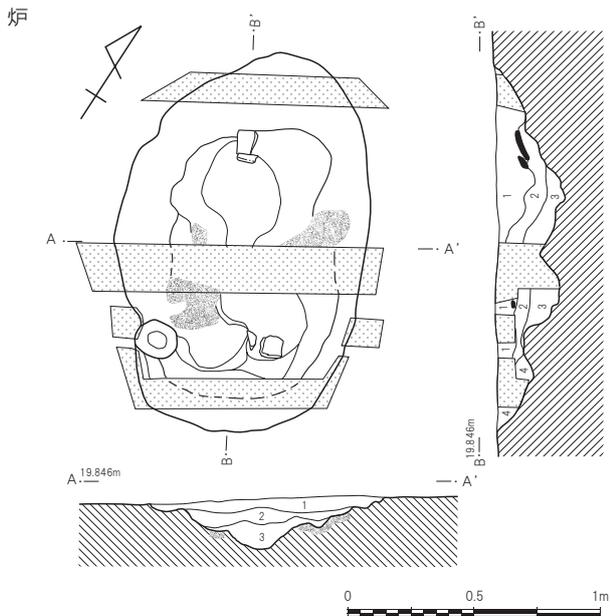
第46図 西ノ原遺跡第158地点194号住居跡遺物出土状況(1/30)



- | Pit No. | Soil Color | Adhesiveness | Shrinkage | Remarks |
|---------|--------------------|--------------|-----------|------------------------------|
| P1 | 1. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 強 | ローム粒(〜3mm)少量、炭化物微量、焼土粒まれ |
| | 2. 黒褐色土 (10YR3/2) | 強 | やや弱 | ローム粒(〜3mm)少量、炭化物微量、焼土粒まれ |
| | 3. 灰黄褐色土 (10YR4/2) | 有 | 極強 | ローム粒(〜2mm)中量、炭化物微量 |
| P2 | 1. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 強 | ローム粒(〜3mm)少量、炭化物微量 |
| | 2. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 有 | ローム粒(〜3mm)中量、炭化物微量 |
| | 3. 灰黄褐色土 (10YR4/2) | 有 | やや強 | ローム粒(〜2mm)中量、炭化物微量 |
| P3 | 1. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 極強 | ローム粒(〜2mm)中量、ロームブロックまれ |
| | 2. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 有 | ローム粒(〜3mm)中量、炭化物微量 |
| | 3. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | やや弱 | ローム粒(〜3mm)中量、炭化物微量 |
| P4 | 1. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 極強 | ローム粒(〜3mm)少量、炭化物・焼土粒まれ |
| | 2. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 有 | ローム粒(〜3mm)中量、炭化物微量 |
| | 3. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | やや弱 | ローム粒(〜3mm)中量、炭化物微量 |
| P5 | 1. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 強 | ローム粒(〜3mm)中量、炭化物微量 |
| | 2. 黒褐色土 (10YR3/2) | 強 | 強 | ローム粒(〜2mm)中量、ロームブロックまれ |
| | 3. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 強 | ローム粒(〜2mm)少量、炭化物微量、ロームブロックまれ |
| P6 | 1. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 強 | ローム粒(〜2mm)少量、炭化物微量、ロームブロックまれ |
| | 2. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 有 | ローム粒(〜3mm)中量、キメ粗くボロボロとした土 |
| | 3. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 極強 | ローム粒(〜3mm)少量 |
| P7・P8 | 1. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 強 | ローム粒(〜2mm)微量 |
| | 2. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 有 | ローム粒(〜3mm)中量、キメ粗くボロボロとした土 |
| | 3. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 極強 | ローム粒(〜3mm)少量 |
| P9 | 1. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 強 | ローム粒(〜3mm)少量、炭化物微量 |
| | 2. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 強 | ローム粒(〜3mm)中量、炭化物微量 |
| | 3. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 強 | ローム粒(〜3mm)少量、炭化物微量 |
| P11 | 1. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 強 | ローム粒(〜3mm)少量、炭化物微量 |
| | 2. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 強 | ローム粒(〜3mm)・ロームブロック少量 |

第33表 西ノ原遺跡第158地点194号住居内ピット一覧表 (単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	楕円形	63 × 53	26 × 21	81.2	
2	円形	55 × 53	29 × 21	25.2	
3	方形	58 × 53	25 × 22	87.7	
4	円形	41 × 39	32 × 30	65.1	
5	方形	44 × 37	30 × 25	63.9	
6	方形	34 × 31	20 × 20	19.1	
7	不明	(57) × 50	27 × 26	58	
8	不明	(38) × 37	23 × 22	76.1	
9	円形	43 × 40	29 × 28	58.9	
10	欠				
11	楕円形	26 × 20	15 × 13	164	



- | No. | Soil Color | Adhesiveness | Shrinkage | Remarks |
|----------------------|------------|--------------|---------------------------------|---------|
| 1. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 強 | ローム粒(〜2mm)中量、焼土粒少量、炭化物微量 | |
| 2. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 強 | 焼土粒(〜2mm)中量、ローム粒・炭化物微量、焼土ブロックまれ | |
| 3. にぶい黄褐色土 (10YR4/3) | やや弱 | 極強 | ローム粒(〜2mm)多量 | |
| 4. 黒褐色土 (10YR3/2) | 有 | 強 | ローム粒(〜2mm)少量 | |

第47図 西ノ原遺跡第158地点194号住居跡炉(1/30)、ピット(1/60)

④第196号住居跡

【位置・検出状況】調査区北部にて検出。竪穴遺構、198号住居跡と切り合う。198号住居跡と切り合う部分では覆土が薄く、不鮮明であったが、本遺構が両者より新しいものと考えられる。

【形状・規模】隅丸長方形で長軸495cm×短軸460cm、深さは25cm程度。壁は角度を持って立ち上がるが、部分的に周溝外に浅くはみ出す。

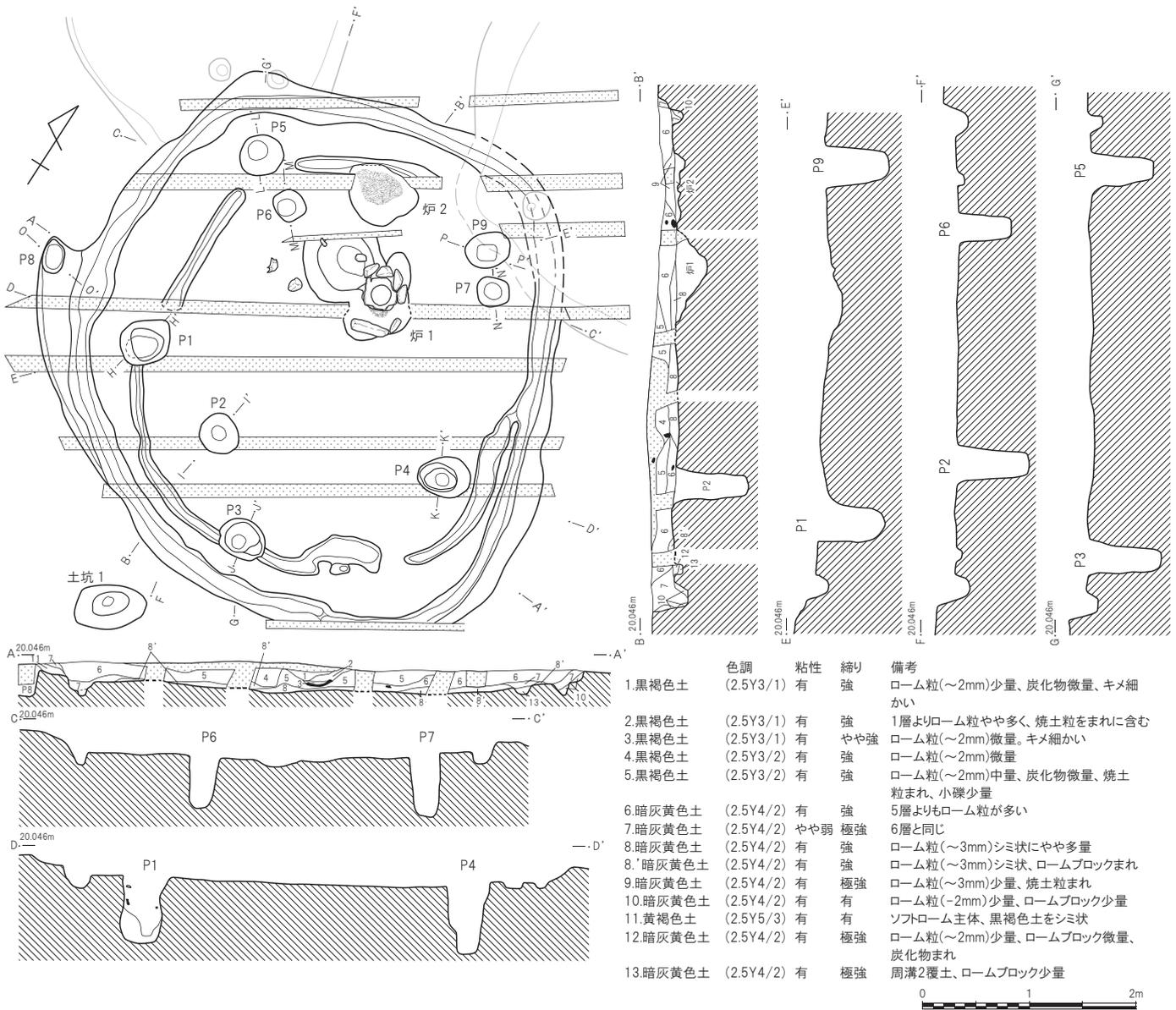
【構造】住居跡は最低1回の拡張が行われている。ピットは9基検出し、内8基が柱穴と考えられる。拡張前は4本支柱穴であったが、拡張後は5本支柱穴となっている。なお拡張前の柱穴に人為的に埋め戻された様子はない。

周溝は拡張前後1本ずつ、どちらとも全周する。

【炉】炉は住居北部に2ヶ所検出された。炉1は長軸90cm×短軸(50)cmを測り、炉体土器と、その周囲

に石囲いを伴う。拡張後住居の主要な炉であろう。石囲いの南側短辺には長大な砂岩を用い、炉体土器との間に空間を持つ。攪乱のため残りは悪いが、この場所に焼土が確認できる。他にも炉内には4～7cmほどの被熱した小礫が6点ほど出土しており、石囲いに用いられていた可能性がある。西側に接する直径75cmほどの円形の掘り込みの覆土には、ローム・焼土ブロックを含む層があり拡張前の炉の可能性もある。炉2は炉1のさらに北に位置し、長軸70cm×短軸50cm、深さは15cm程度である。拡張後住居に伴うものである。

【遺物】覆土上層から下層まで幅を持って出土し、やや離れた位置での接合例がみられる。型的には加曽利E I式が主体を占め、地文は撚糸及び単節縄文、隆帯を用いるものが多数だが、沈線を用いるものも存在する。床面直上から、曽利I式の深鉢が出土したほか、

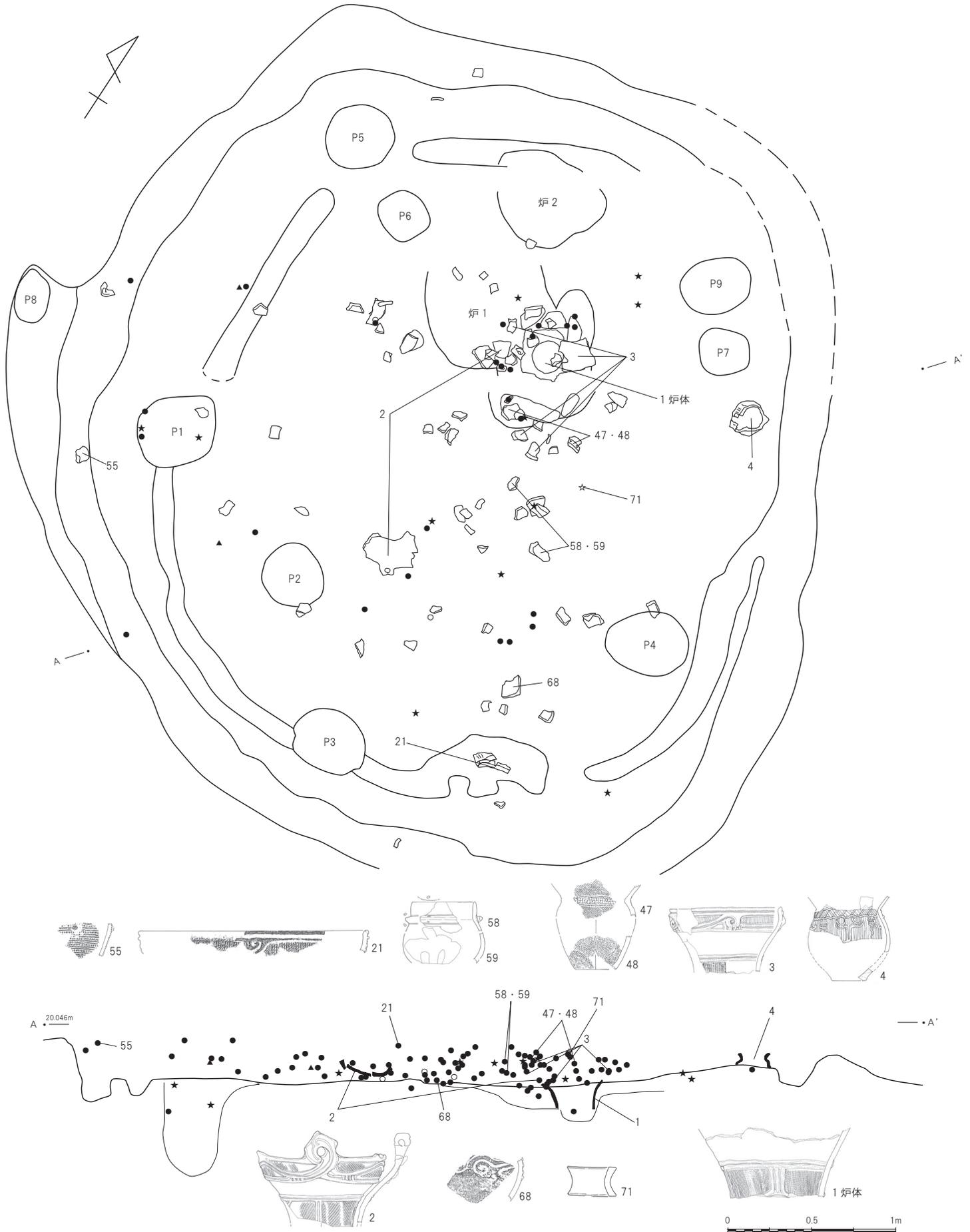


第48図 西ノ原遺跡第158地点196号住居跡(1/60)

土製耳飾が覆土上層から、中層からは赤彩された有孔
鏝付土器が出土している。石器は多くないが、小型の

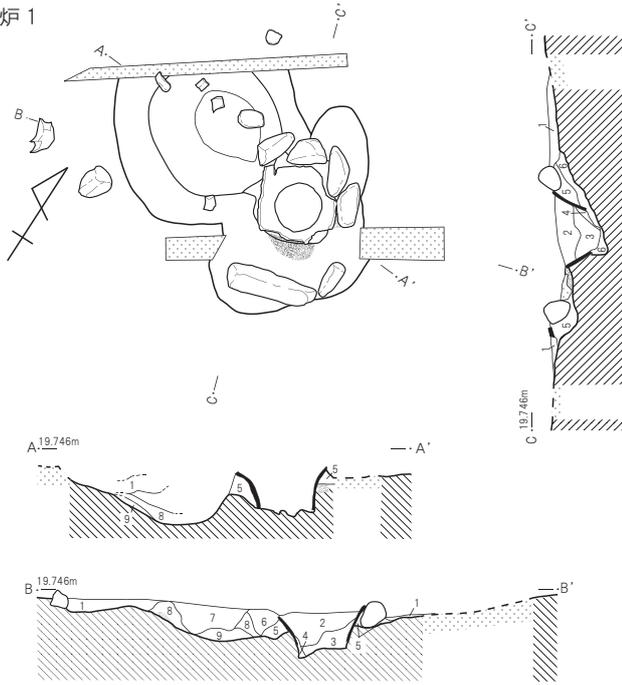
磨製石斧が床面から出土している。

【時期】 炉体土器から加曾利 E I 中段階。

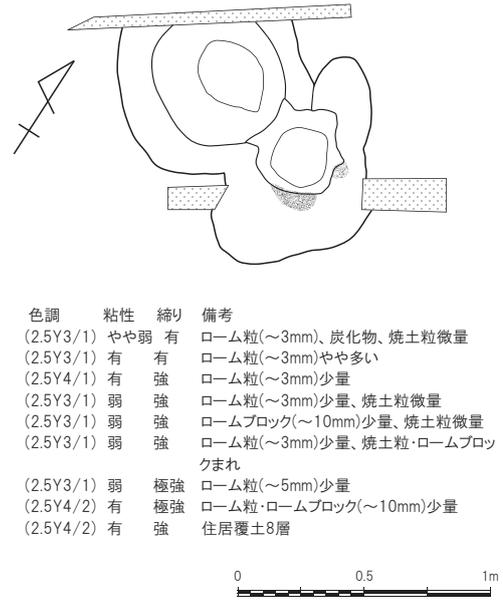


第 49 図 西ノ原遺跡第 158 地点 196 号住居跡遺物出土状況 (1/30)

炉1

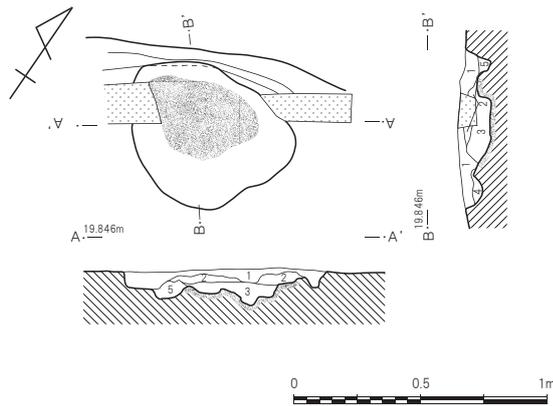


掘方

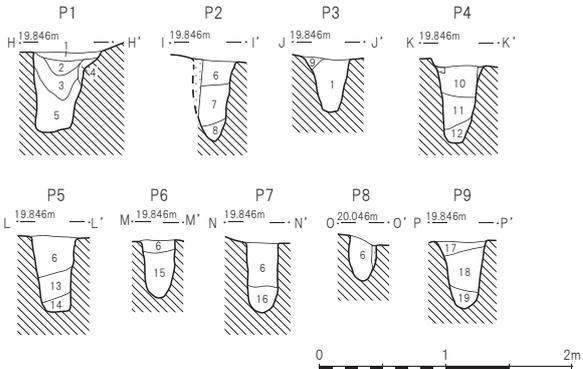


炉1	色調	粘性	締り	備考
1.黒褐色土	(2.5Y3/1)	やや弱	有	ローム粒(~3mm)、炭化物、焼土粒微量
2.黒褐色土	(2.5Y3/1)	有	有	ローム粒(~3mm)やや多い
3.黄灰色土	(2.5Y4/1)	有	強	ローム粒(~3mm)少量
4.黒褐色土	(2.5Y3/1)	弱	強	ローム粒(~3mm)少量、焼土粒微量
5.黒褐色土	(2.5Y3/1)	弱	強	ロームブロック(~10mm)少量、焼土粒微量
6.黒褐色土	(2.5Y3/1)	弱	強	ローム粒(~3mm)少量、焼土粒・ロームブロックまれ
7.黒褐色土	(2.5Y3/1)	弱	極強	ローム粒(~5mm)少量
8.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	極強	ローム粒・ロームブロック(~10mm)少量
9.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	住居覆土8層

炉2



炉2	色調	粘性	締り	備考
1.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	極強	住居覆土9層
2.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	極強	ロームブロック・焼土ブロック少量
3.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	極強	焼土ブロック多量
4.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	極強	ロームブロック少量、焼土粒微量
5.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	極強	住居(周溝2)覆土13層



ピット	色調	粘性	締り	備考
1.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	極強	ローム粒(~3mm)中量、炭化物微量
2.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	極強	ロームブロック・ローム粒(~5mm)少量、炭化物微量
3.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	やや強	やや強	ロームブロック・ローム粒(~5mm)少量、炭化物微量
4.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	ロームブロック中量
5.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	極強	ロームブロック・ローム粒(~5mm)少量
6.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	ローム粒(~3mm)中量、炭化物微量
7.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	弱	有	ローム粒(~3mm)中量、炭化物微量
8.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	強	有	ローム粒(~3mm)中量、炭化物微量
9.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	ロームブロック少量
10.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	やや弱	有	ローム粒(~3mm)中量、炭化物微量
11.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	有	ローム粒(~3mm)中量、炭化物微量
12.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	有	ロームブロック少量
13.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	有	ロームブロック微量
14.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	強	強	ロームブロック微量
15.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	強	有	ロームブロック少量
16.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	強	有	ロームブロック少量
17.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	ローム粒(~3mm)少量、炭化物・焼土粒微量
18.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	有	ローム粒(~3mm)少量、炭化物・焼土粒微量
19.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	やや強	やや強	ローム粒(~3mm)少量、炭化物・焼土粒微量

第50図 西ノ原遺跡第158地点196号住居跡炉・掘方(1/30)、ピット(1/60)

第34表 西ノ原遺跡第158地点196号住居内炉体礫一覧表 (単位cm・個数・g(%))

No.	石材	長さ×幅×高さ (cm)	重量 (kg)	備考
1	中粒砂岩	35 12 10	5.88	6・7と同質
2	中粒砂岩	15 12 7	1.63	4と同質
3	細粒砂岩	18 8 10	2.22	土器と接触する部分が薄く黒色化
4	細粒砂岩	20 11 6	2.35	
5	ホルンフェルス	15 10 9	1.6	
6・7	中粒砂岩	27 12 10	3.72	接合
8	細粒砂岩	13 9 7	1.05	

第35表 西ノ原遺跡第158地点196号住居内ピット一覧表 (単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	楕円形	52 × 43	24 × 21	65.8	
2	円形	38 × 35	14 × 13	70.8	
3	楕円形	46 × 36	14 × 12	67.8	
4	楕円形	50 × 39	13 × 12	70	
5	円形	40 × 37	18 × 18	60.3	
6	方形	29 × 27	17 × 16	51	
7	方形	30 × 28	16 × 16	57.5	
8	楕円形	34 × 20	23 × 16	43.3	
9	楕円形	42 × 33	19 × 15	59.5	

⑤第 197 号住居跡

【位置・検出状況】調査区中央東寄りに検出。

【形状・規模】南北にやや長い楕円形。長軸 460cm×短軸 420cm。深さは 30cm 程度である。壁の立ち上がりは弱く、皿状を呈する。

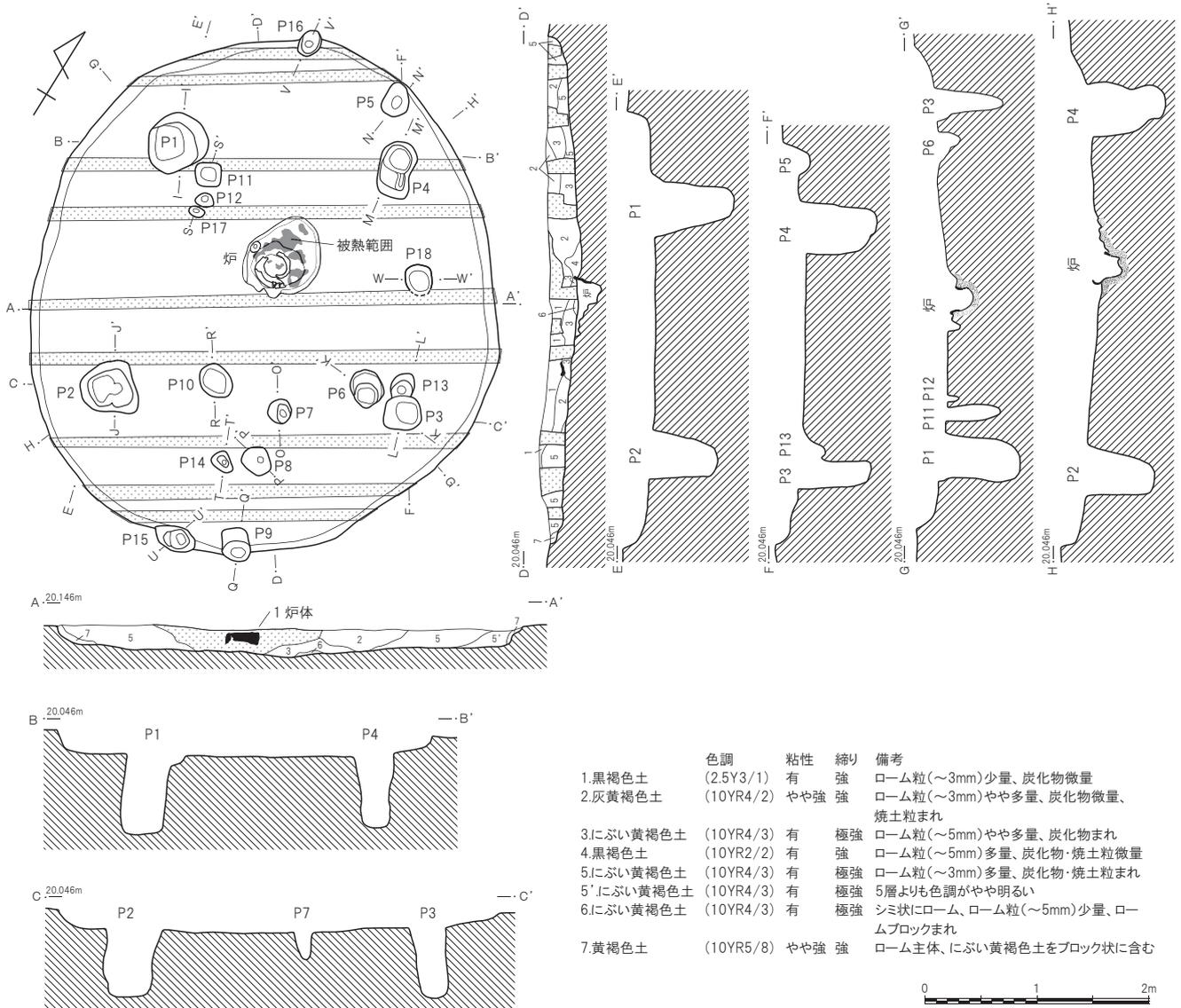
【柱穴・ピット】ピットは 18 基検出。構造は 4 本支柱穴。住居南側に住居軸に沿ったピット列があり、入口施設の存在が考えられる。

【炉】炉体土器を伴う埋甕炉。炉体を埋設した周囲、長軸 70cm×短軸 60cm の範囲を浅く掘り込む。炉体土器内面や周囲のロームには被熱の痕跡が確認できるが、焼土は確認できず、また覆土中での堆積も僅かである。

【遺物】完形に近い土器が 7 個体、住居中央西寄りに重なって出土した。床面との間には土の堆積を挟むが、土器群は短期間に廃棄されたものと見られる。

なお破片には阿玉台式から加曾利 E I 式までみられる。

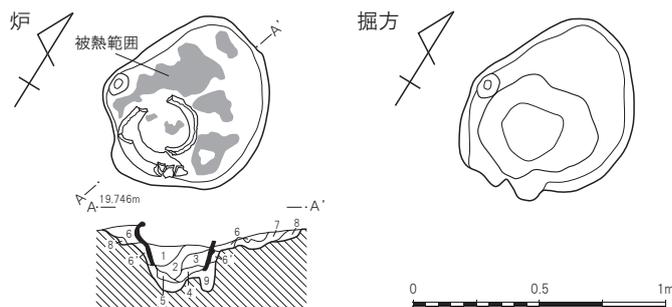
【時期】炉体土器から勝坂Ⅲ新段階。



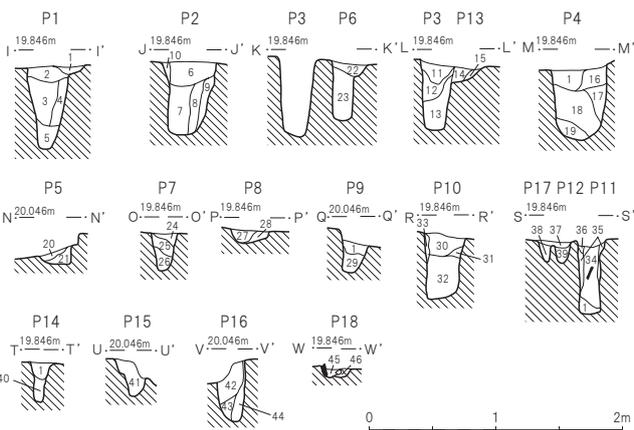
第 51 図 西ノ原遺跡第 158 地点 197 号住居跡 (1/60)



第52図 西ノ原遺跡第158地点 197号住居跡遺物出土状況 (1/30)



層	土質	有	強	弱	特徴
1.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有			ローム粒(~5mm)やや多量
2.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		ローム粒(~7mm)やや多量、 焼土粒(~3mm)微量
3.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		ローム粒(~5mm)やや多量、焼土粒 少量、炭化物まれ
4.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		ローム粒(~7mm)多量
5.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	やや強		ローム粒(~7mm)多量
6.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		ローム粒(~3mm)中量、焼土粒微量
6'	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	有		ローム粒(~3mm)中量、焼土粒微量
7.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	やや弱	強	ローム粒(~5mm)多量、焼土ブロック 微量
8.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	極強		ロームブロック少量
9.	暗灰黄色土 (2.5Y5/2)	有	強		ローム粒(~3mm)・ロームブロック少量



層	土質	有	強	弱	特徴
1.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		ローム粒(~3mm)少量
2.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		ローム粒(~5mm)少量
3.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		キメ粗い、ローム粒(~5mm)・炭化物 微量
4.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	やや強		ロームブロック少量
5.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	有		ロームブロック多量
6.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		ローム粒(~3mm)少量、ロームブロッ ク微量、炭化物まれ
7.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		ローム粒(~3mm)少量、下部にローム ブロック多い
8.	にぶい黄褐色土 (10YR4/3)	有	強		ローム混じりの土
9.	にぶい黄褐色土 (10YR4/3)	有	極強		ローム主体
10.	暗灰黄色土 (2.5Y5/2)	有	やや強		ローム粒(~3mm)多量
11.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		ローム粒(~5mm)中量
12.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		ローム粒(~5mm)中量、焼土粒少量
13.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		ロームブロック中量
14.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		ローム粒(~5mm)やや多量、炭化物微 量
15.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	極強		シミ状にローム
16.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		ローム粒(~5mm)中量、ロームブロッ ク少量
17.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		ローム粒(~5mm)・ロームブロック少量
18.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	やや強		ローム粒(~5mm)・ロームブロック少量
19.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	極強		ローム粒(~5mm)少量
20.	にぶい黄褐色土 (10YR4/3)	有	強		ローム粒(~5mm)微量
21.	にぶい黄褐色土 (10YR4/3)	有	強		ロームブロック微量
22.	暗灰黄色土 (2.5Y5/2)	有	強		ローム粒(~3mm)少量、ロームブロッ ク微量
23.	暗灰黄色土 (2.5Y5/2)	有	強		ローム粒(~5mm)中量、小レキ微量
24.	暗灰黄色土 (2.5Y5/2)	有	強		ローム粒(~5mm)少量
25.	暗灰黄色土 (2.5Y5/2)	有	強		ロームブロック少量
26.	にぶい黄褐色土 (10YR4/3)	有	強		ローム粒(~3mm)少量
27.	暗灰黄色土 (2.5Y5/2)	有	強		ロームブロック微量
28.	暗灰黄色土 (2.5Y5/2)	有	強		ローム粒(~5mm)少量
29.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		ローム粒(~3mm)少量、ロームブロッ ク微量
30.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		ローム粒(~3mm)少量、ロームブロッ ク微量
31.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	やや強		ローム粒(~3mm)・炭化物少量
32.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	有		ローム粒(~5mm)やや多量、 ロームブロック少量
33.	にぶい黄褐色土 (10YR4/3)	有	極強		ロームブロック少量
34.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	やや強		土器含む、ローム粒(~3mm)中量、 炭化物微量
35.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		ロームブロック少量
36.	にぶい黄褐色土 (10YR4/3)	有	強		ローム粒(~3mm)少量
37.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		ローム粒(~3mm)少量、ロームブロッ ク微量
38.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	やや弱		シミ状にローム
39.	にぶい黄褐色土 (10YR4/3)	有	極強		ローム粒(~3mm)少量
40.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	弱		ローム粒(~3mm)少量
41.	灰黄褐色土 (10YR4/2)	有	強		ローム粒(~3mm)多量、炭化物微量
42.	暗灰黄色土 (2.5Y5/2)	有	強		シミ状にローム、ローム粒(~3mm)少量
43.	にぶい黄褐色土 (10YR4/3)	有	極強		ロームブロック少量
44.	にぶい黄褐色土 (10YR4/3)	有	極強		ローム主体、暗灰黄褐色土混じる
45.	暗灰黄色土 (2.5Y5/2)	有	強		ローム粒(~3mm)少量
46.	にぶい黄褐色土 (10YR4/3)	有	強		ローム粒(~3mm)少量、ロームブロッ ク微量

第36表 西ノ原遺跡第158地点197号住居内ピット
一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	円形	54 × 50	31 × 25	74.7	
2	方形	50 × 47	23 × 20	61.8	
3	方形	33 × 30	19 × 18	66.6	
4	だるま形	50 × 31	18 × 16	70.1	
5	円形	29 × 23	13 × 7	16.3	
6	円形	14 × 13	14 × 13	50.7	
7	円形	21 × 19	7 × 5	30.6	
8	円形	27 × 23	5 × 5	16.7	
9	だるま形	30 × 24	12 × 9	36.6	
10	円形	33 × 26	22 × 17	61.4	
11	方形	23 × 21	13 × 11	60.3	
12	楕円形	16 × 12	6 × 5	18.2	
13	不明	(25) × 20	7 × 7	18.2	
14	方形	21 × 15	4 × 3	32.8	
15	不明	38 × (22)	10 × 7	30.2	
16	楕円形	25 × 19	6 × 6	50.4	
17	楕円形	14 × 9	6 × 3	17	
18	不明	(27) × 23	19 × 15	12	

第53図 西ノ原遺跡第158地点197号住居跡炉・掘方(1/30)、ピット(1/60)

⑥第198号住居跡

【位置・検出状況】調査区北隅に検出。南部を196号住居に浅く切られる。

【形状・規模】楕円形で長軸440cm×短軸410cm、深さ30cm程度。壁の立ち上がりは緩やかで皿状を呈する。

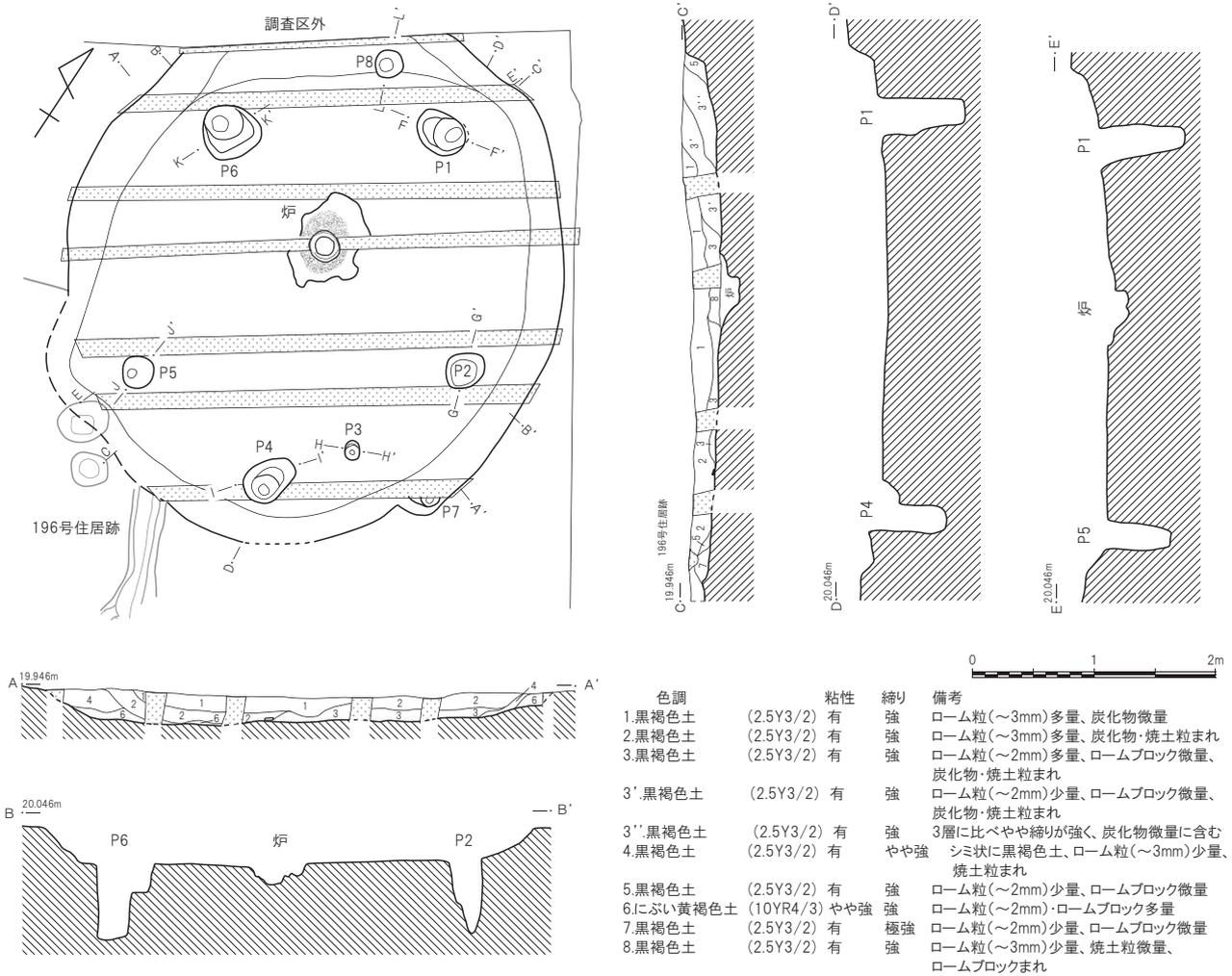
【構造】ピットは8基検出。住居構造は5本主柱穴。

【炉】中央に位置し、炉体土器を伴う埋甕炉。やや不定形の楕円形で長軸75cm×短軸60cm、深さは

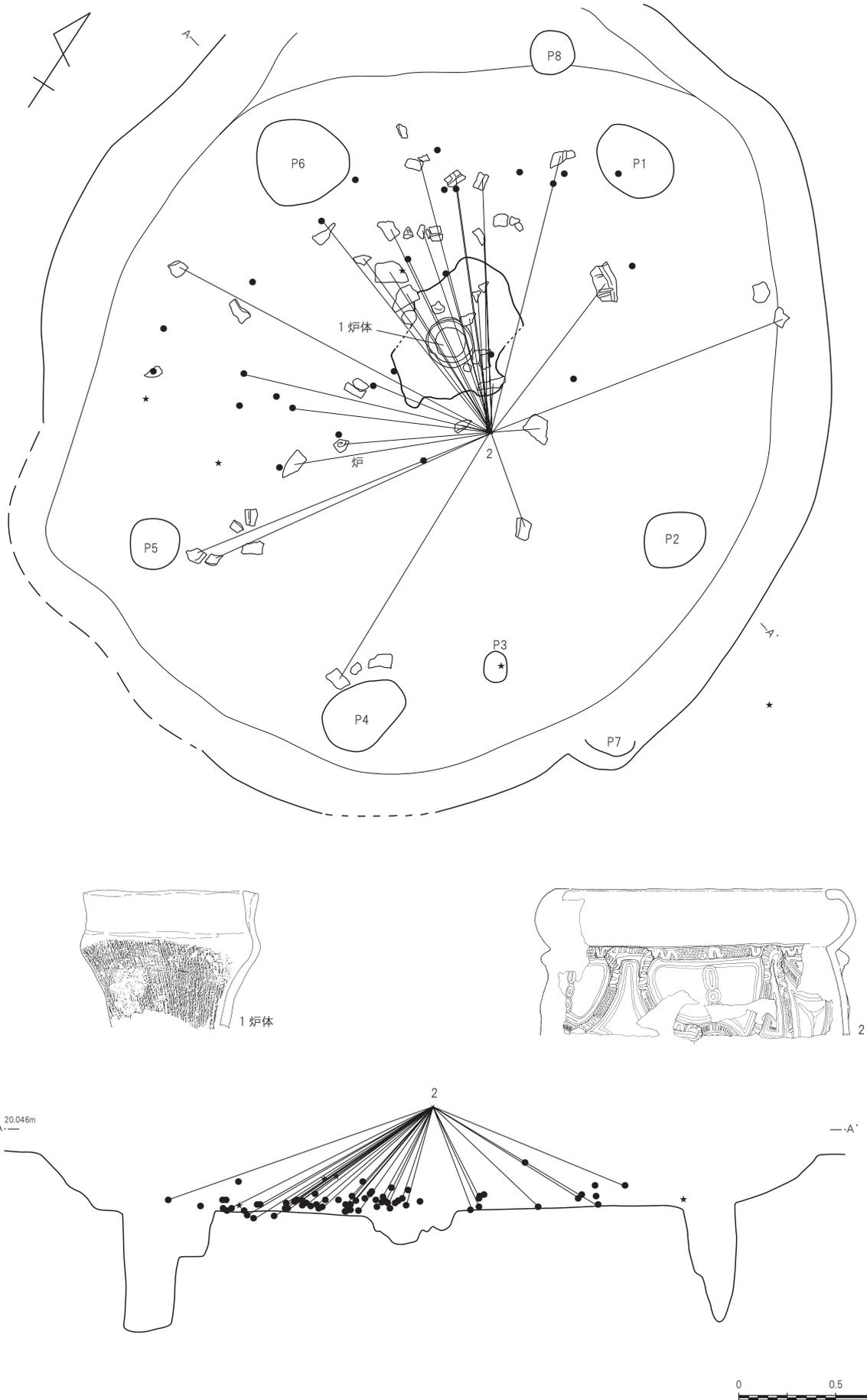
20cmほど。炉体周囲には被熱が確認される。

【遺物】住居下層に多く出土。1個体の口縁部～胴上半部が復元された。住居床面～下層、西部を中心に破片が散乱しており、廃棄状況をうかがわせる。当土器の口縁部及び胴部内面には煤の付着が見られ、また残存形状からも他の住居等で炉体として用いられていたものと考えられる。

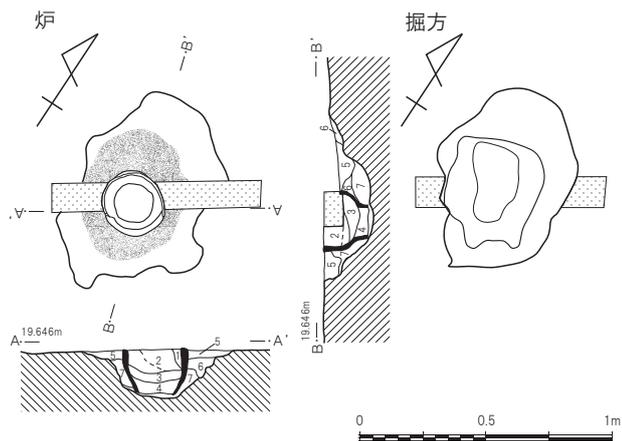
【時期】炉体土器より勝坂Ⅲ式。



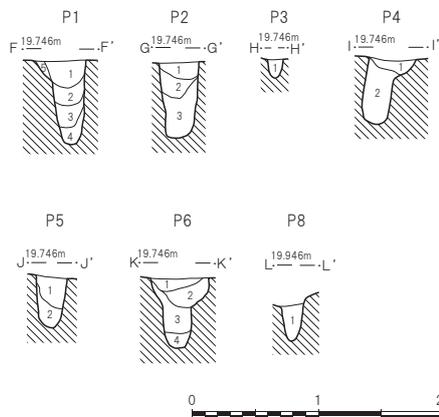
第54図 西ノ原遺跡第158地点198号住居跡(1/60)



第 55 図 西ノ原遺跡第 158 地点 198 号住居跡遺物出土状況 (1/30)



炉	色調	粘性	締り	備考
1.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)・焼土粒微量
2.黒褐色土	(2.5Y3/2)	弱	やや強	ローム粒(～3mm)・焼土粒微量、ロームブロックまれ
3.黒褐色土	(2.5Y3/2)	やや弱	強	焼土粒(～3mm)少量、ローム粒・炭化物微量
4.黒褐色土	(2.5Y3/2)	やや弱	強	ローム粒(～5mm)少量、焼土ブロック微量
5.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	強	住居覆土8層
6.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)少量
7.黒褐色土	(2.5Y3/2)	やや弱	強	ローム粒(～5mm)多量、ロームブロックまれ



P1	色調	粘性	締り	備考
1.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)多量、炭化物微量、ロームブロックまれ
2.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	やや強	ローム粒(～3mm)少量、炭化物微量
3.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	やや弱	ローム粒(～3mm)・ロームブロック微量
4.黒褐色土	(2.5Y3/2)	強	やや強	ロームブロック微量
5.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	極強	ロームブロック多量
P2				
1.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)少量、炭化物微量
2.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)少量
3.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)・ロームブロック少量
P3				
1.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)中量、焼土粒・炭化物まれ
P4				
1.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)少量
2.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)中量
P5				
1.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)少量、炭化物微量
2.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	極強	ローム粒(～3mm)少量
P6				
1.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)やや多量、焼土粒まれ
2.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)やや多量、ロームブロック・焼土粒まれ
3.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	やや強	ローム粒(～3mm)多量、炭化物微量
4.黒褐色土	(2.5Y3/2)	強	有	ローム粒(～3mm)微量
P8				
1.黒褐色土	(2.5Y3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)中量、ロームブロックまれ

第56図 西ノ原遺跡第158地点198号住居跡炉・掘方(1/30)、ピット(1/60)

第37表 西ノ原遺跡第158地点198号住居内ピット一覧表 (単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	楕円形	44 × 33	15 × 9	71.3	
2	不明	34 × 29	22 × 20	68.3	
3	円形	15 × 11	4 × 3	17.7	
4	楕円形	44 × 32	8 × 7	61.8	
5	円形	27 × 25	7 × 6	56.6	
6	不明	46 × 46	13 × 13	63.2	
7	不明	40 × (13)	6 × (3)	43.1	
8	円形	23 × 22	11 × 11	38	

⑦第 199 号住居跡

【位置・検出状況】調査区北部に検出。204 号住居跡と切り合う。掘り込みが浅く判然とはしないが、199 号住居跡が新しいと思われる。

【形状・規模】壁の立ち上がりは不鮮明であったが、長軸 480cm × 短軸 410cm の楕円形となる。深さは 10cm 程度。

【構造】ピットは 5 基検出し、構造は 4 本支柱穴である。

【炉】中央に位置する地床炉。楕円形で長軸 100cm × 短軸 70cm、深さは 15cm 程度。

【遺物】出土数はあまり多くない。勝坂Ⅲ式をわずかに含むが、主体は加曽利 E I 式新段階。撚糸地文で隆帯による文様をもつものが多く、単節縄文と沈線を

用いるものも出土している。大型の浅鉢は床面から少し浮いた状態で出土した。

【時期】加曽利 E I 式の新段階と考えられる。

⑨第 204 号住居跡

【位置・検出状況】調査区北部に約 1/2 を検出、東側半分は 2014 年度調査済（第 159 地点）である。

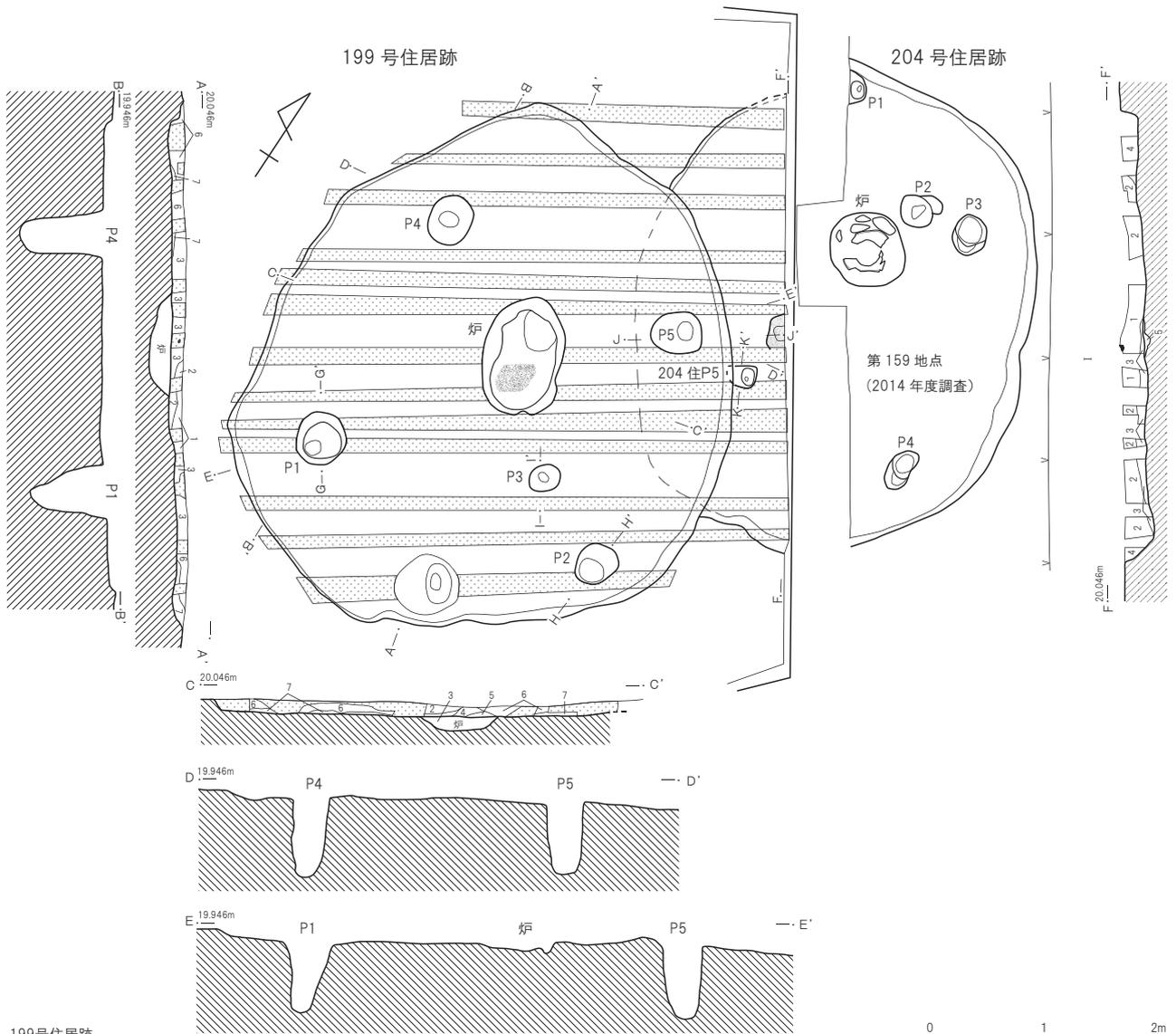
【形状・規模】南北に長い楕円形。

【柱穴・ピット・周溝】本調査では 1 基検出。いずれも規模は小さいが、4 本支柱穴と考えられる。

【炉】159 地点にて確認。炉体土器と石囲いを伴う。

【遺物】出土量は少なく、破片のみであるが、中～下層にかけて出土がみられた。

【時期】炉体土器から加曽利 E I 式の新段階。



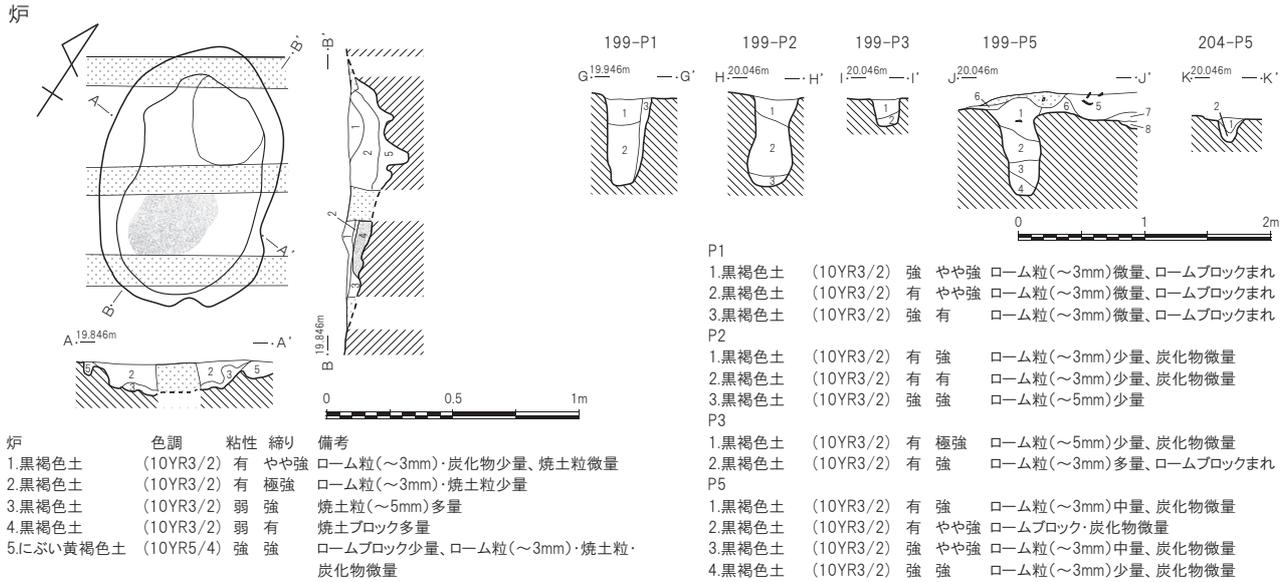
199号住居跡

色調	粘性	締り	備考
1. 黒褐色土 (10YR2/2)	有	有	ローム粒(～3mm)・炭化物微量
2. 黒褐色土 (10YR3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)・焼土粒・炭化物微量
3. 黒褐色土 (10YR3/2)	弱	強	ローム粒(～3mm)少量、焼土粒微量
4. 黒褐色土 (10YR3/2)	弱	強	ローム粒(～5mm)・ロームブロック・焼土粒少量、炭化物微量
5. 黒褐色土 (10YR3/2)	有	強	ローム粒(～5mm)中量、焼土粒微量、炭化物まれ
6. 黒褐色土 (10YR3/3)	有	強	ローム粒(～3mm)少量、炭化物微量
7. 黒褐色土 (10YR3/3)	有	強	ロームブロック少量

204号住居跡

色調	粘性	締り	備考
1. 黒褐色土 (10YR2/2)	有	弱	ローム粒(～3mm)・炭化物・小礫微量
2. 黒褐色土 (2.5Y3/2)	有	強	ローム粒(～5mm)少量、炭化物・小礫微量
3. 黒褐色土 (2.5Y3/2)	有	極強	ローム粒(～3mm)・ロームブロック少量
4. にぶい黄褐色土 (10Y5/2)	有	強	ローム粒(～3mm)少量、炭化物微量
5. 黒褐色土 (2.5Y3/2)	有	強	ローム粒(～5mm)・焼土粒(～5mm)少量

第 57 図 西ノ原遺跡第 158 地点 199・204 号住居跡 (1/60)



第58図 西ノ原遺跡第158地点199号住居跡炉(1/30)、ピット(1/60)

第38表 西ノ原遺跡第158地点199号住居内ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	円形	46 × 43	15 × 11	62.8	
2	円形	37 × 35	22 × 18	71.4	
3	円形	26 × 23	10 × 7	22	
4	円形	44 × 36	17 × 13	72.2	
5	楕円形	45 × 36	17 × 13	65	

第39表 西ノ原遺跡第158地点204号住居内ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	不明	29 × (13)	6 × 3	27.8	
2	だるま形	36 × 28	13 × 9	15.7	
3	円形	(35) × 29	22 × 20	30.8	
4	楕円形	39 × 21	18 × 14	55.4	
5	不明	26 × 19	3 × 4	14.8	



第59図 西ノ原遺跡第158地点199・204号住居跡遺物出土状況(1/30)

⑧第 200 号住居跡

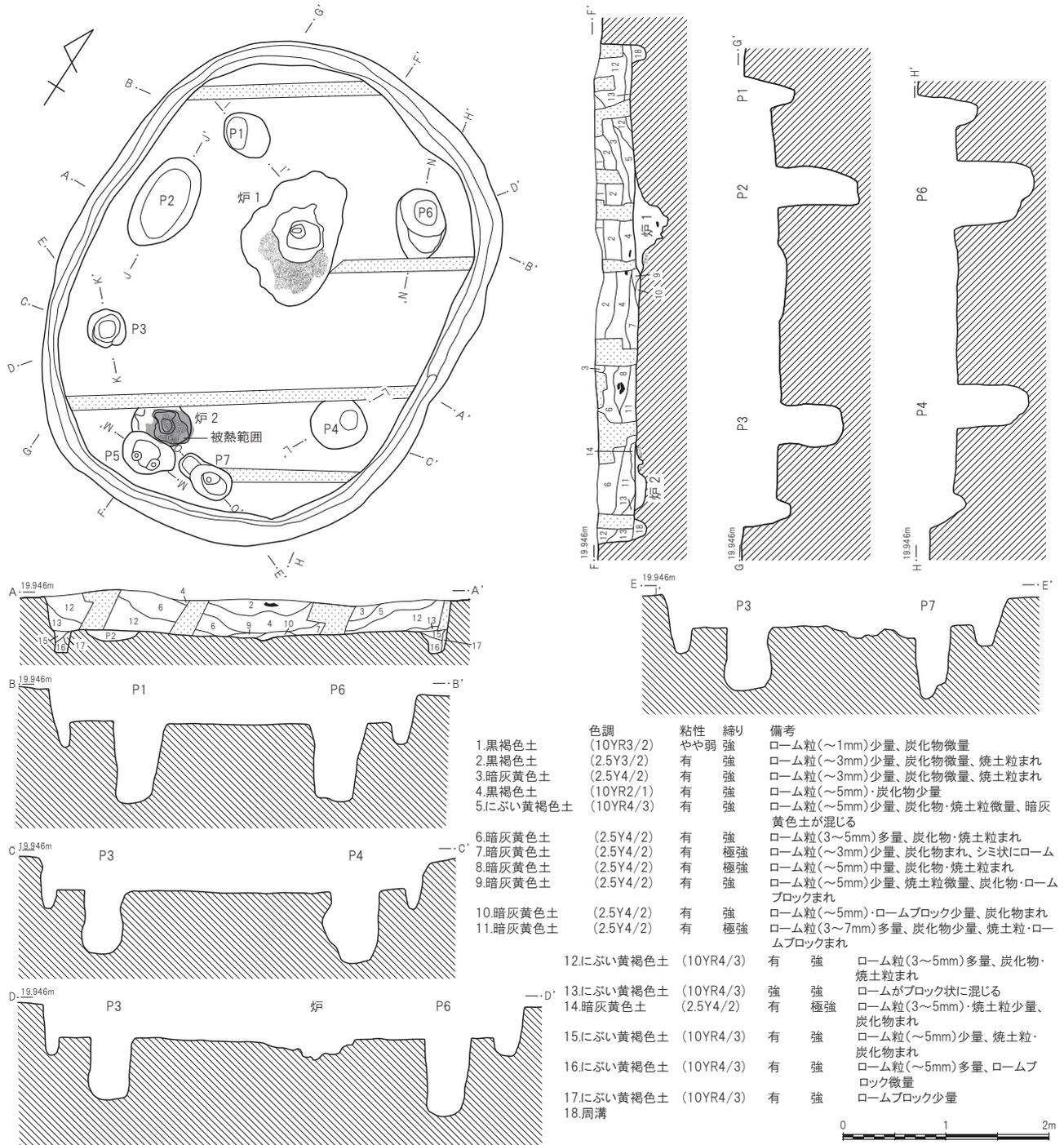
【位置・検出状況】 調査区東部に検出。調査率 100%。
 【形状・規模】 楕円に近い隅丸長方形。長軸 490cm×短軸 390cm、深さは 40cm。深く掘り込まれ、壁はほぼ垂直に立ち上がる。
 【構造】 ピットは 7 基確認され、支柱穴は 4 本である。周溝は 20cm 程度の深さをもって全周する。
 【炉】 住居中央北寄りと南部に 2 基確認。両者共地床炉。炉 1 は平面は長軸 120cm × 短軸 90cm の楕円形を呈し、特に中央 50cm ほどの範囲は断面 V 字状に掘り

込まれ、深さ 30cm ほどに達する。

炉 2 は長軸 50cm × 短軸 35cm の楕円形で、深さは 5 ~ 10cm 程度で浅く掘り込まれる。

【遺物】 住居中央部及び、覆土中層に多く分布し、土器・石器ともに出土量は多い。勝坂式も出土しているが、加曽利 E I 式新段階が主体である。地文に撚糸や単節縄文を用い、隆帯により文様や懸垂文を施したものが多く、沈線による懸垂文などはみられない。石器は打製石斧が多く、ホルンフェルス製が目立つ。

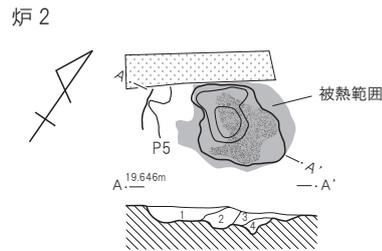
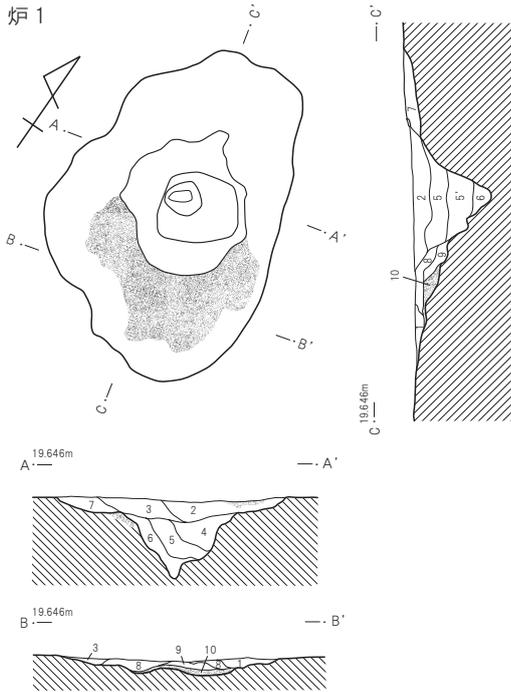
【時期】 加曽利 E I 式新段階前半。



第 60 図 西ノ原遺跡第 158 地点 200 号住居跡 (1/60)

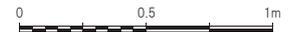


第61図 西ノ原遺跡第158地点200号住居跡遺物出土状況(1/30)

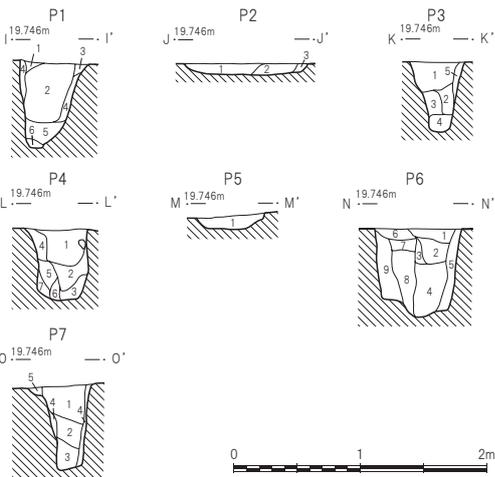


層	土質	色調	粘性	締り	備考
1	黒褐色土 (10YR3/1)	有	極強	有	ローム粒(～5mm)・焼土粒少量
2	黒褐色土 (10YR3/1)	有	やや弱	有	ローム粒(～5mm)・炭化物・焼土粒微量
3	暗灰黄色土 (2.5Y4/2)	やや弱	有	有	ローム粒(～5mm)少量、焼土粒微量、炭化物まれ
4	暗灰黄色土 (2.5Y4/2)	有	有	有	ローム粒(～5mm)・焼土粒少量、炭化物微量
5	黒褐色土 (10YR3/2)	弱	強	有	ローム粒(～5mm)少量、焼土粒微量、炭化物まれ
5'	黒褐色土 (10YR3/2)	有	やや弱	有	ローム粒(～5mm)少量、焼土粒微量、炭化物まれ
6	暗灰黄色土 (2.5Y4/2)	有	有	有	ローム粒(～5mm)少量、焼土粒・ロームブロック微量
7	暗灰黄色土 (2.5Y4/2)	有	強	有	ローム粒(～5mm)・焼土粒少量
8	黒褐色土 (10YR3/2)	やや弱	極強	有	焼土粒(～5mm)多量、炭化物まれ
9	黒褐色土 (10YR3/2)	弱	強	有	焼土粒(～5mm)多量、ローム粒少量
10	黒褐色土 (10YR3/2)	弱	有	有	焼土ブロック多量

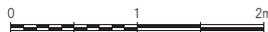
層	土質	色調	粘性	締り	備考
1	暗灰黄色土 (2.5Y4/2)	有	強	有	ローム粒(～5mm)少量、炭化物まれ
2	暗灰黄色土 (2.5Y4/2)	有	強	有	ローム粒(～5mm)・焼土粒少量、炭化物まれ
3	暗灰黄色土 (2.5Y4/2)	有	強	有	焼土粒(～5mm)多量、炭化物微量
4	にじ黄褐色土 (10YR4/3)	有	極強	有	焼土粒(～5mm)・焼土ブロック多量



ピット 1～7



P5	1.暗灰黄色土 (2.5Y4/2)	有	極強	有	ローム粒(～5mm)多量、炭化物微量
P6	1.黒褐色土 (2.5Y3/2)	有	強	有	ローム粒(～3mm)・炭化物微量、焼土粒まれ
	2.黒褐色土 (2.5Y3/2)	有	やや弱	有	ローム粒(～5mm)・炭化物少量
	3.黒褐色土 (2.5Y3/2)	有	やや弱	有	4層にロームが混じる
	4.黒褐色土 (2.5Y3/2)	有	弱	有	ローム粒(～5mm)・炭化物(～10mm)少量
	5.黒褐色土 (2.5Y3/2)	有	弱	有	4層に近似
	6.暗灰黄色土 (2.5Y4/2)	有	強	有	ローム粒(～5mm)多量、炭化物微量
	7.暗灰黄色土 (2.5Y4/2)	有	強	有	ロームブロック多量
	8.暗灰黄色土 (2.5Y4/2)	強	有	有	ローム粒(～7mm)多量、ロームブロック少量
	9.暗灰黄色土 (2.5Y4/2)	有	強	有	ロームブロック多量
P7	1.暗灰黄色土 (2.5Y4/2)	有	強	有	ローム粒(～5mm)多量、炭化物微量、焼土粒まれ
	2.暗灰黄色土 (2.5Y4/2)	有	有	有	ローム粒(～5mm)・炭化物・焼土粒微量
	3.暗灰黄色土 (2.5Y4/2)	有	強	有	小レキ少量、ローム粒(～5mm)・炭化物・焼土粒微量
	4.暗灰黄色土 (2.5Y4/2)	有	強	有	ローム粒(～5mm)少量
	5.暗灰黄色土 (2.5Y4/2)	有	極強	有	ローム粒(～5mm)多量、炭化物微量、焼土粒まれ



P	層	土質	色調	粘性	締り	備考
P1	1.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	強	強	ローム粒(～5mm)多量、炭化物微量
	2.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	強	強	ローム粒(～3mm)少量、焼土粒まれ
	3.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	ローム粒(～5mm)多量、炭化物微量
	4.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	強	強	ロームブロック多量
	5.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	強	やや弱	ロームブロック少量
	6.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	極強	やや弱	ロームブロック少量
P2	1.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	ローム粒(～5mm)中量、炭化物まれ
	2.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	極強	ローム粒(～5mm)中量、炭化物まれ
	3.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	極強	ロームブロック少量
P3	1.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	ローム粒(～7mm)多量、炭化物微量
	2.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	1層に近似
	3.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	有	ロームブロック少量
	4.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	有	ローム粒(～7mm)多量
	5.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	極強	ローム粒(～3mm)多量
P4	1.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	ローム粒(～7mm)中量
	2.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	有	ロームブロック微量
	3.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	有	ロームブロック少量
	4.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	極強	ロームブロック少量
	5.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	ローム粒(～7mm)少量
	6.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	やや弱	ロームブロック少量
	7.	暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	有	ロームブロック多量

第 40 表 西ノ原遺跡第 158 地点 200 号住居内ピット一覽表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	楕円形	50 × 39	32 × 21	80.7	
2	楕円形	96 × 56	71 × 37	11.9	
3	円形	37 × 36	19 × 17	62.9	
4	円形	51 × 51	19 × 16	71.7	
5	楕円形	54 × 36	4 × 4	24	
6	楕円形	67 × 46	24 × 21	76.2	
7	だるま形	55 × 30	5 × 4	72.6	

第 62 図 西ノ原遺跡第 158 地点 200 号住居跡炉 (1/30)、ピット (1/60)

◎第201号住居跡

【位置・検出状況】調査区南東に検出。調査率は100%。

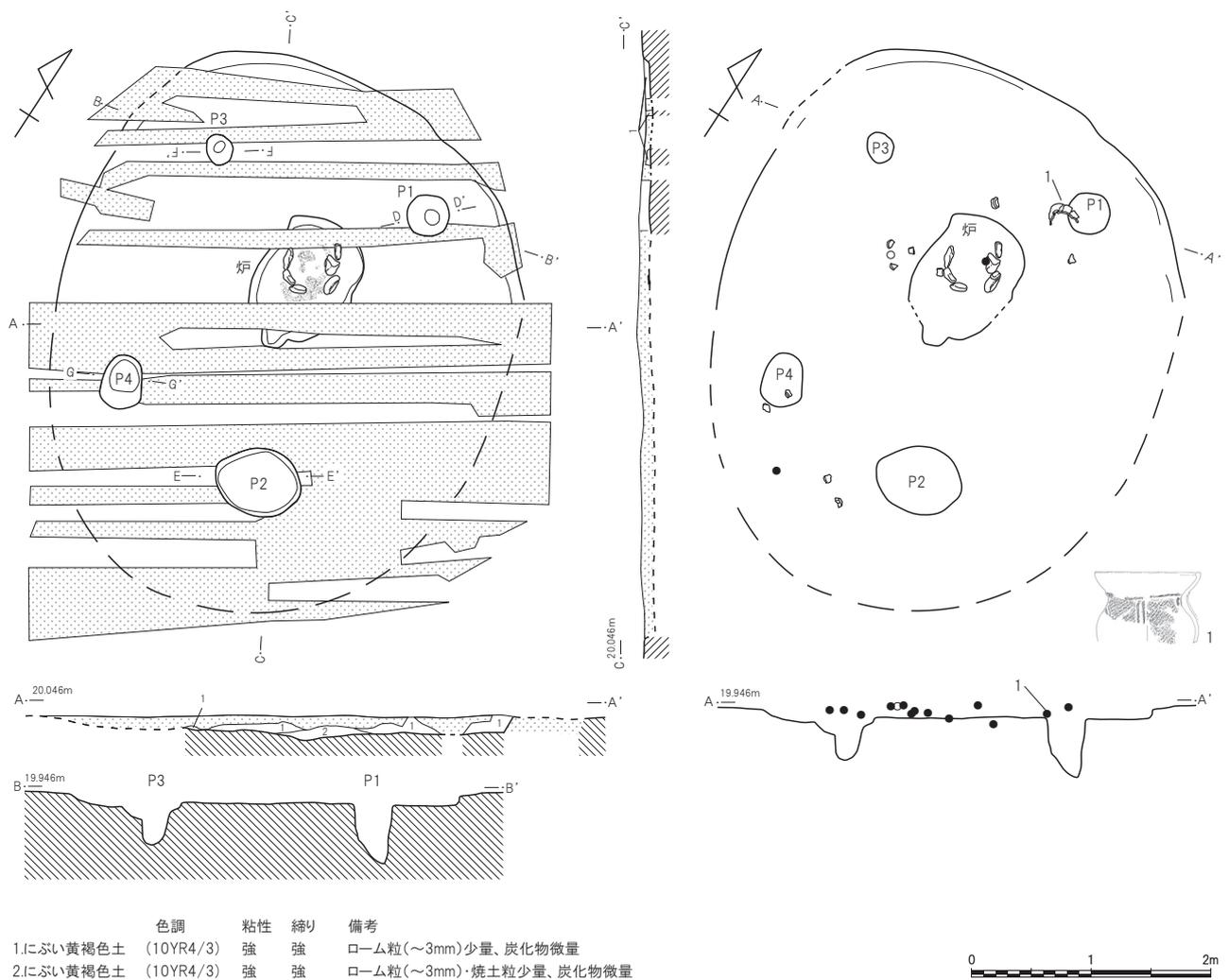
【形状・規模】掘り込みが浅く、攪乱の影響も大きい。ため壁の立ち上がりはほとんど確認できないが、楕円形を呈し、長軸は400cm以上、短軸は350cm以上あるものと考えられる。深さは、深い箇所では20cm程度になるが、大部分は10cm以下である。

【構造】ピットは4基検出し、この内柱穴となるものは3基。配置からは4本主柱穴と考えられる。

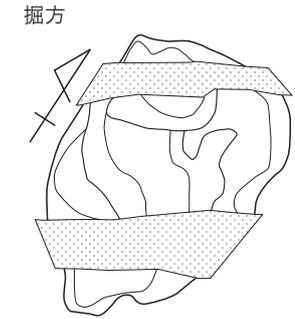
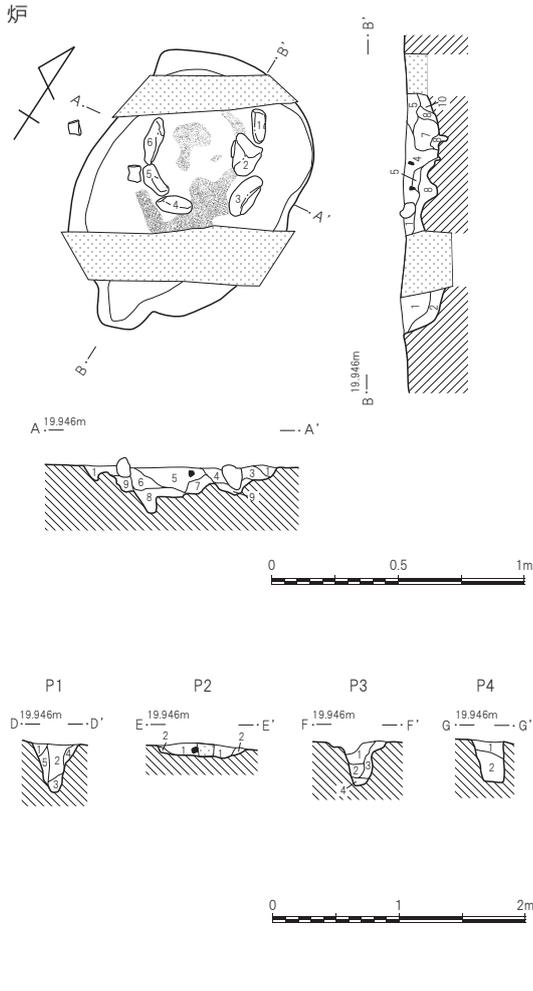
【炉】住居中央やや北寄りに検出。石囲いを伴う。長軸110cm×短軸80cmの楕円形に掘り込まれ、断面は皿状となる。石囲いは中央よりもやや北寄りに、50cm程度の円形に配置され、1～2kgの中粒砂岩、ホルンフェルスが用いられている。詳細は第41表。焼土は石囲いの内側～南部にかけて見られる。

【遺物】破片が少量出土した。床面直上から胴上部まで復元される曽利系の個体出土している。

【時期】加曽利E I 新段階。



第63図 西ノ原遺跡第158地点201号住居跡遺物出土状況(1/60)



炉	色調	粘性	締り	備考
1.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	ローム粒(～5mm)少量、焼土粒まれ
2.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	ロームブロック多量
3.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	1層よりもローム粒を多く含む
4.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	ローム粒(～5mm)・焼土粒少量、炭化物をシミ状に含む
5.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	ローム粒(～5mm)・焼土粒少量、炭化物微量
6.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	やや弱	強	5層よりもローム粒が多く、ロームをシミ状に含む
7.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	弱	強	焼土粒(～7mm)やや多量、ローム粒少量、炭化物微量
8.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	弱	有	焼土ブロック・ローム粒(～5mm)少量、焼土粒微量
9.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	有	ローム粒(～3mm)微量
10.にぶい黄褐色土	(10YR5/4)	弱	有	被熱ローム

P1	色調	粘性	締り	備考
1.黒褐色土	(10YR3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)多量、炭化物微量
2.黒褐色土	(10YR3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)少量
3.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	極強	ローム粒(～3mm)多量
4.黒褐色土	(10YR3/2)	有	強	ロームブロック多量
5.黒褐色土	(10YR3/2)	有	やや弱	ロームブロック少量

P2	色調	粘性	締り	備考
1.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	ローム粒(～3mm)多量、炭化物微量
2.にぶい黄褐色土	(10YR4/3)	有	強	ローム粒(～7mm)・ロームブロック少量

P3	色調	粘性	締り	備考
1.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	ローム粒(～5mm)少量、炭化物まれ
2.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	ロームブロック少量
3.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	やや強	ローム粒(～10)中量
4.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	やや強	ローム粒(～10)微量

P4	色調	粘性	締り	備考
1.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	ローム粒(～3mm)少量、ロームブロック・炭化物微量
2.暗灰黄色土	(2.5Y4/2)	有	強	ローム粒(～5mm)多量

第 64 図 西ノ原遺跡第 158 地点 201 号住居跡炉・掘方 (1/30)、ピット (1/60)

第 41 表 西ノ原遺跡第 158 地点 201 号住居内炉体礫一覧表 (単位 cm・個数・g(%))

No.	石材	長さ×幅×高さ (cm)	重量 (kg)	備考
1	中粒砂岩	13 10 5	0.83	内側がやや赤化
2	中粒砂岩	13 13 8	2.02	被熱による割れ
3	ホルンフェルス	16 11 5	1.42	
4	中粒砂岩	15 9 5	0.8	
5	中粒砂岩	14 10 4	0.95	
6	中粒砂岩	19 9 5	1.07	2・5 と同質

第 42 表 西ノ原遺跡第 158 地点 201 号住居内ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	円形	35 × 35	13 × 12	49.2	
2	楕円形	69 × 57	62 × 51	7	
3	円形	25 × 21	11 × 7	35.6	
4	楕円形	46 × 35	26 × 24	32.3	

⑩第203号住居跡

【位置・検出状況】調査区南端に検出。住居南端部は攪乱により滅失。なお、試掘調査時の遺構検出面は削平を受けており、実際の住居の壁は30cmほど高くなると思われる。

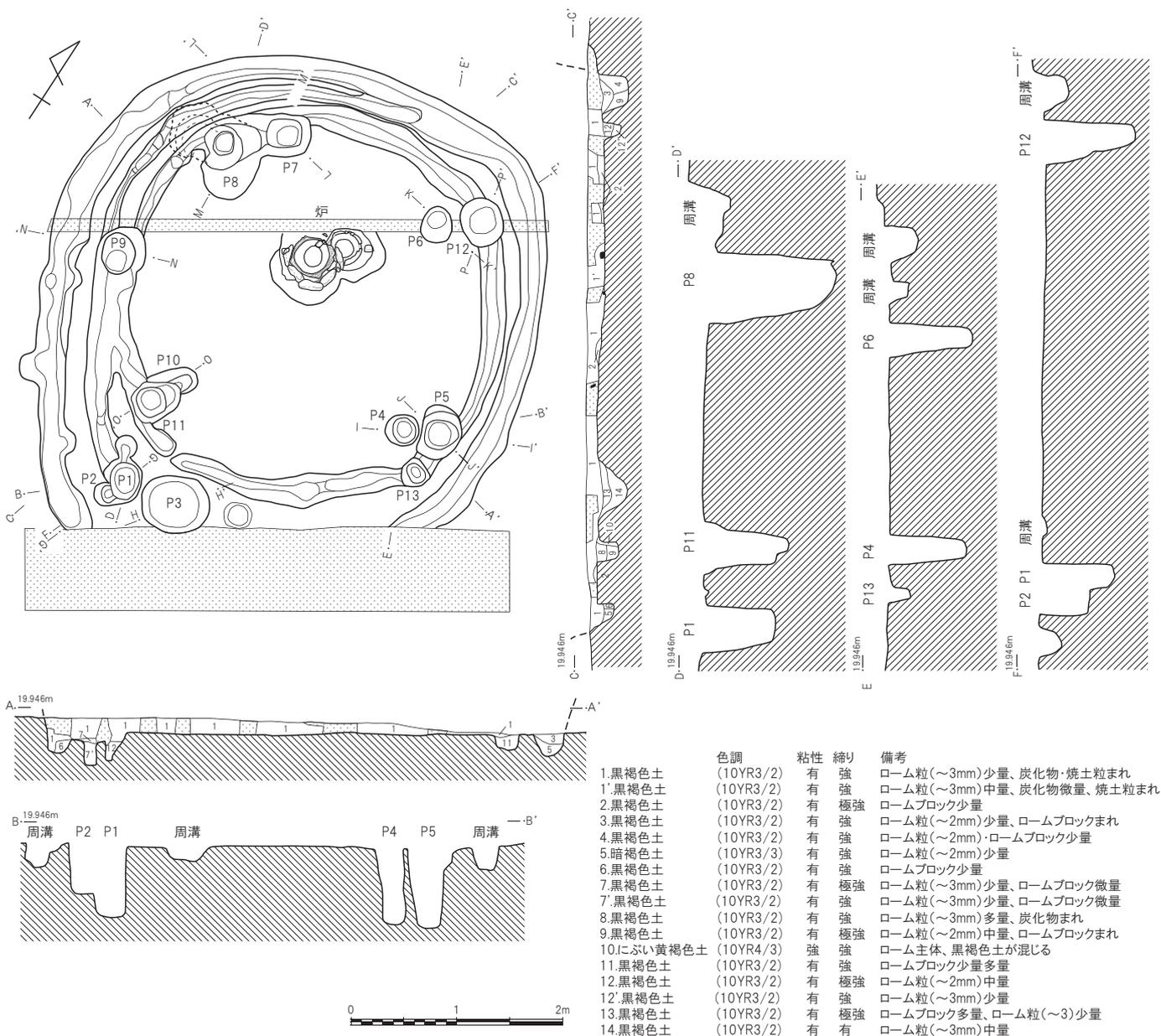
【形状・規模】隅丸長方形で長軸450cm以上×短軸470cm、現状の深さは15cm程度。壁は角度を持って立ち上がる。

【構造】ピットは13基検出し、柱穴と考えられるものは10基あり、4本主柱穴～5・6本主柱穴への変化がたどれる。周溝は全周し、西側では3重に残る。それぞれ15～20cmほどの深さを持つ。最低2回の拡張・建替えが行われている。初段階は360cm×370cmの円形。第65図参照。

【炉】住居中央北寄りに検出。2基が重複しており、新炉体土器、石囲いは旧炉体土器を一部壊して設置されている。

新炉は約60cmの円形に掘り込み、深いところは30cm程度になる。石囲いは1辺50cmほどの方形に、主に20cmほどの細長い中粒砂岩が用いられ、平坦面ではなく稜を下にし、高くなるよう設置してある。炉体土器は内面南側が黒色化している。

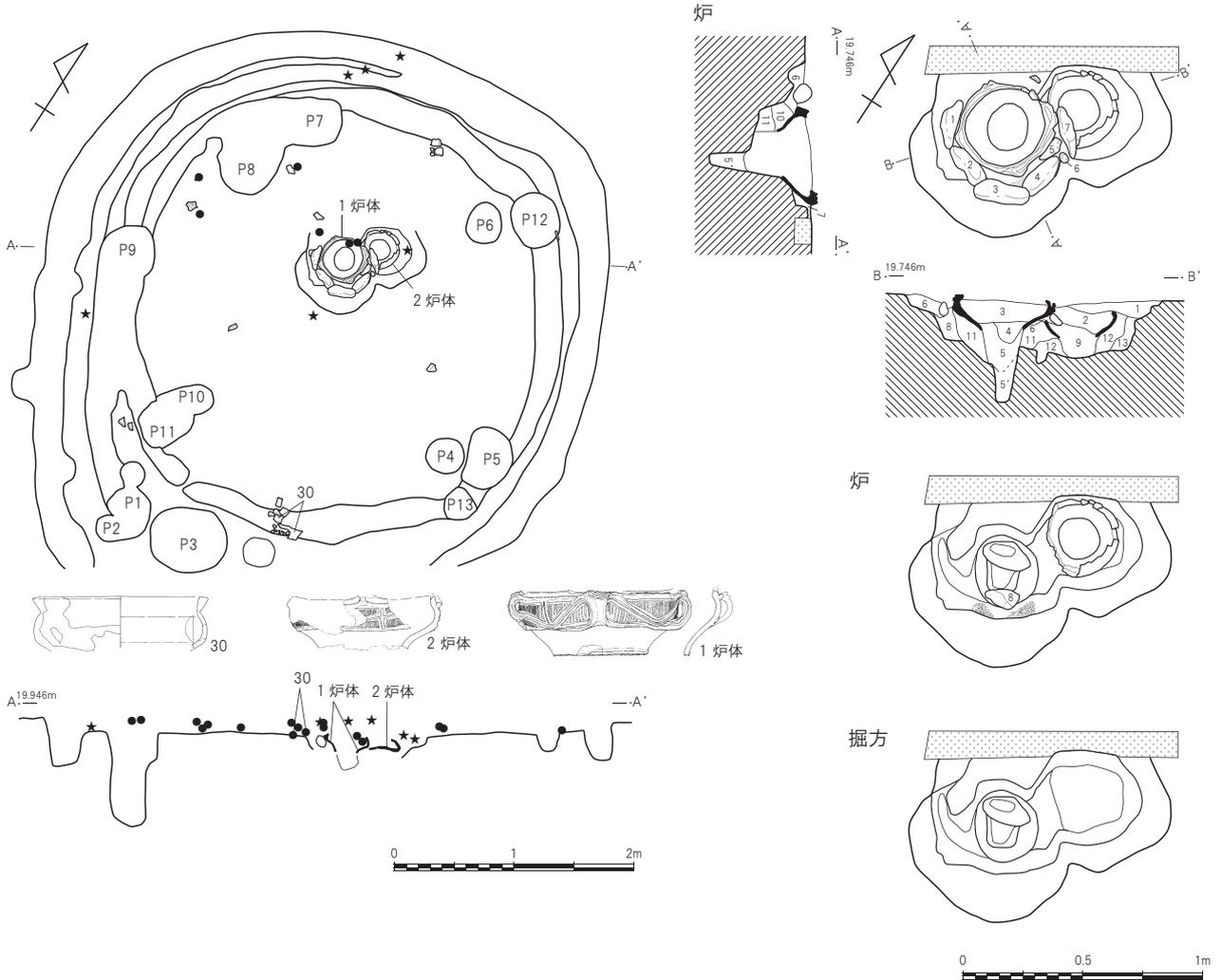
旧炉は約50cmの円形に掘り込まれたとみられる。新炉を取り上げた所、礫が出土したことから、石囲いを伴っていたと考えられる。炉体土器は風化が強く胎土が脆くなっており、内面北部に黒色化がみられる。



第65図 西ノ原遺跡第158地点203号住居跡(1/60)

【遺物】覆土が下層しか残存していないため、遺物量は少ない。床面直上から浅鉢が出土している。土器の出土量のわりに石器(打製石斧)の出土量があり、他の住居跡と比べると短冊型の打製石斧が多い。

【時期】炉体土器より、加曽利 E I 式古段階。

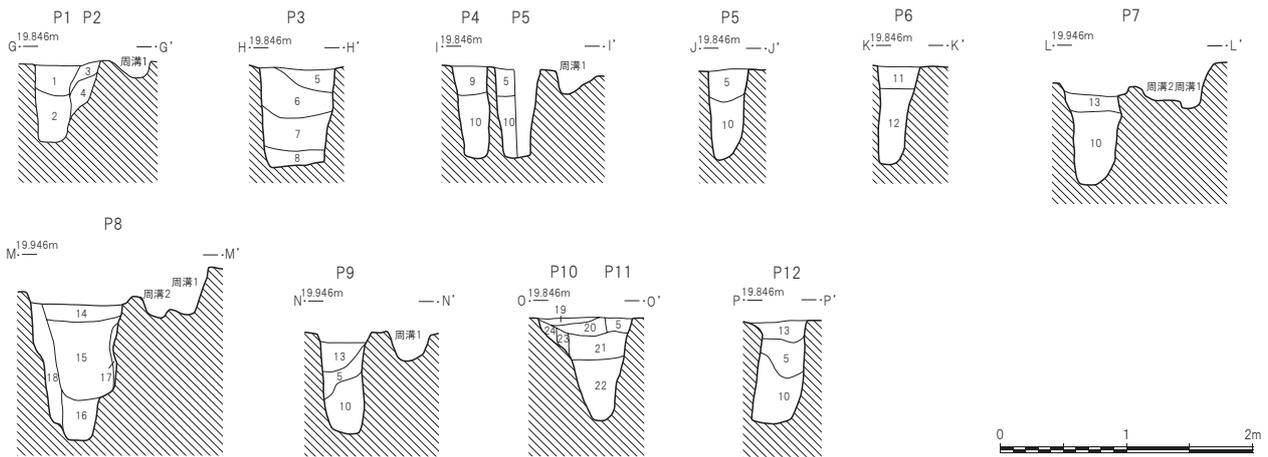


第 43 表 西ノ原遺跡第 158 地点 203 号住居内炉体礫一覽表

No.	石材	長さ×幅×高さ (cm)	重量 (kg)	備考
1	中粒砂岩	21 11 6	1.77	
2	チャート	21 9 8	2.3	
3	中粒砂岩	21 9 10	2.6	
4	細粒砂岩	21 7 10	2.7	内側が赤化
5	安山岩	13 8 6	0.68	赤化や黒色化が見られる
6	中粒砂岩	5 5 3	0.1	
7	中粒砂岩	23 5 7	0.88	1 と同質
8	中粒砂岩	14 9 5	0.6	内側～下面が黒色化

炉	色調	粘性	締り	備考
1. 黒褐色土	(10YR3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)少量、炭化物・焼土粒まれ
2. 黒褐色土	(10YR3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)・焼土粒(～5mm)少量、炭化物まれ
3. 黒褐色土	(10YR3/2)	有	やや強	ローム粒(～3mm)少量、炭化物・焼土粒微量
4. 黒褐色土	(10YR2/3)	やや弱	やや強	ローム粒(～3mm)・(～7mm)少量、焼土粒微量
5. 黒褐色土	(10YR2/3)	やや弱	やや強	ローム粒(～2mm)微量
5'. 黒褐色土	(10YR2/3)	やや弱	弱	ローム粒(～2mm)微量
6. 黒褐色土	(10YR3/2)	有	極強	ローム粒(～5mm)少量
7. 黒褐色土	(10YR3/2)	有	極強	ローム粒(～3mm)・焼土粒少量
8. 黒褐色土	(10YR3/2)			ロームブロック少量、ローム粒(～3mm)微量、焼土粒まれ
9. 黒褐色土	(10YR2/3)	有	有	ローム粒(～2mm)微量
10. 黒褐色土	(10YR3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)・焼土粒少量
11. 黒褐色土	(10YR3/2)	弱	強	ローム粒(～3mm)・焼土粒少量
12. 黒褐色土	(10YR3/2)			焼土粒(～3mm)少量、ローム粒微量
13. 黒褐色土	(10YR3/2)	やや弱	有	焼土粒・炭化物・ロームブロック微量

第 66 図 西ノ原遺跡第 158 地点 203 号住居跡炉・掘方(1/30)、遺物出土状況(1/60)

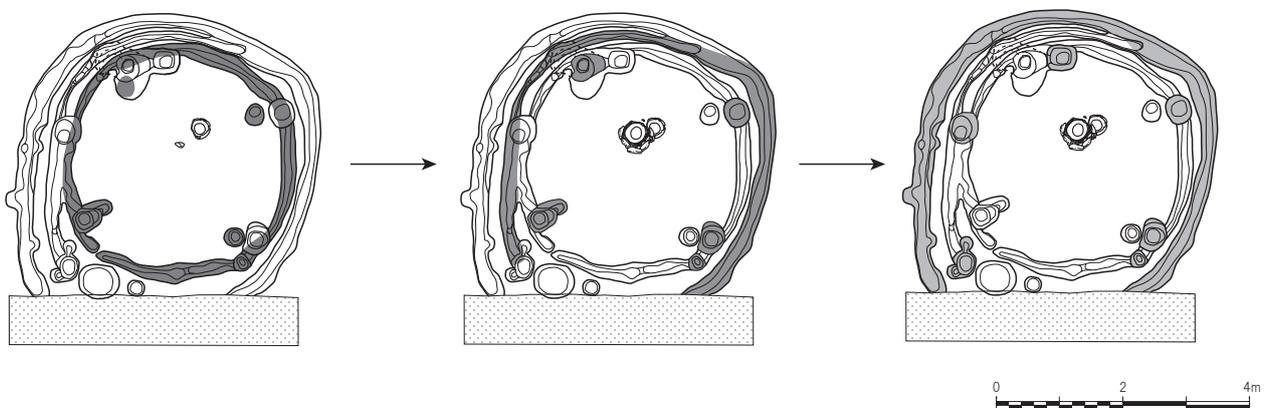


ピット	色調	粘性	締り	備考
1.黒褐色土	(10YR3/2)	有	強	ローム粒(～5mm)多量
2.黒褐色土	(10YR3/2)	有	強	ローム粒(～5mm)・ロームブロック少量
3.黒褐色土	(10YR3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)少量
4.黒褐色土	(10YR3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)少量、ロームブロック微量
5.黒褐色土	(10YR3/2)	有	やや強	ローム粒(～3mm)少量、炭化物まれ
6.黒褐色土	(10YR3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)中量、炭化物まれ
7.黒褐色土	(10YR3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)・ロームブロック少量
8.にぶい黄褐色土	(10YR4/3)	強	強	ローム主体
9.黒褐色土	(10YR3/2)	有	強	ローム粒(～2mm)・ロームブロック多量
10.黒褐色土	(10YR3/2)	有	弱	ローム粒(～3mm)・炭化物まれ
11.黒褐色土	(10YR3/2)	有	極強	ローム粒(～3mm)・ロームブロック少量
12.黒褐色土	(10YR3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)少量
13.黒褐色土	(10YR3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)中量、炭化物まれ
14.黒褐色土	(10YR3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)中量、ロームブロック微量、炭化物まれ
15.黒褐色土	(10YR3/2)	有	有	ローム粒(～3mm)多量、ロームブロック微量、炭化物まれ
16.黒褐色土	(10YR3/2)	有	有	ロームブロック多量
17.黒褐色土	(10YR3/2)	有	やや弱	ローム粒(～3mm)・ロームブロック少量
18.にぶい黄褐色土	(10YR4/3)	有	強	ローム粒(～3mm)・ロームブロック少量、炭化物まれ
19.黒褐色土	(10YR3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)中量、炭化物・焼土粒まれ
20.黒褐色土	(10YR3/2)	有	極強	ロームブロック多量、ローム粒(～3mm)少量、焼土粒・炭化物まれ
21.黒褐色土	(10YR3/2)	有	やや強	ローム粒(～3mm)・ロームブロック・炭化物微量
22.黒褐色土	(10YR3/2)	強	やや強	ローム粒(～3mm)・ロームブロック少量
23.黒褐色土	(10YR3/2)	強	やや強	5層に近い
24.黒褐色土	(10YR3/2)	有	極強	ローム粒(～3mm)・ロームブロック多量

第44表 西ノ原遺跡第158地点203号住居内ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	不明	63 × 36	24 × 19	57.9	
2	不明	24 × (18)	(8) × 6	48.7	
3	円形	63 × 56	46 × 44	79.9	
4	円形	32 × 29	15 × 13	72.9	
5	楕円形	52 × 38	22 × 21	76.3	
6	楕円形	34 × 29	17 × 15	77.7	
7	不明	(42) × (40)	19 × 18	82.7	
8	不明	(72) × (53)	16 × 15	117	
9	不明	44 × 42	20 × 18	81.3	
10	不明	26 × (21)	6 × (4)	25.3	
11	不明	48 × 36	18 × 18	73.3	
12	円形	46 × 40	25 × 23	87.7	
13	円形	26 × 25	10 × 7	77.7	

203号住居跡変遷模式図



第67図 西ノ原遺跡第158地点203号住居跡ピット(1/60)、変遷模式図(1/120)